B1WY-4561-03

Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-6100 ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
ESC/P、ESC/Pageは、セイコーエプソン(株)の登録商標です。
VP-1000、LP-8000Sは、セイコーエプソン(株)の商標です。
PC-PR201、PC-9800シリーズ、PC-9801シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気(株)の商標です。
IBM PS/55シリーズ、PS/Vシリーズは、米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntranetWare、NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。
AdobeおよびAcrobatは、アドビシステムズ社の商標です。
True Type フォントは、米国アップルコンピュータ社の登録商標もしくは商標です。
PowerPC、PowerPC603eは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

●ＶＣＣＩ適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-6100をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは、最大28枚／分（A4サイズ横送り）の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2002年4月

本文中の略語について

・Microsoft® Windows® Version 3.1→ Windows 3.1
・Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server → Windows 2000
・Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Edition → Windows XP
・Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0、Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 → Windows NT4.0
・Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me
・Microsoft® Windows® 98 → Windows 98
・Microsoft® Windows® 95 → Windows 95
・Microsoft® Internet Explorer → Internet Explorer
・Netscape® Communicator → Netscape
・Adobe® Acrobat® Reader → Acrobat Reader

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

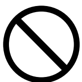
⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してます。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

◆プリンタ設置および移動時のご注意

 警告



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、9Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

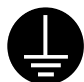
梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

 警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

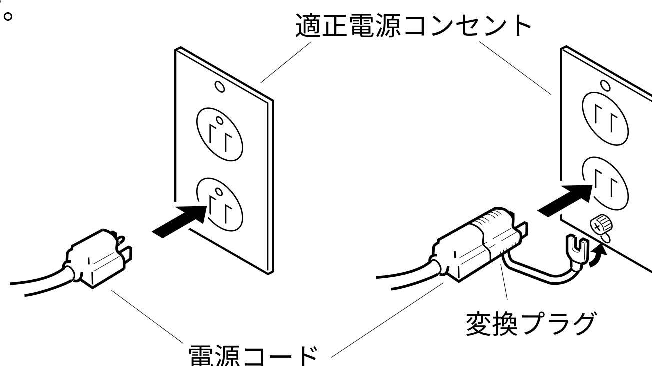
感電・火災の原因となります。

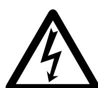


本プリンタに添付されている平行３ピンの電源コードを使用してください。３ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を必ずいずれかに取り付けてください。

- **電源コンセントのアース線**
- **銅片などを650㎜ 以上地中に埋めたもの**
- **接地工事（第３種）を行っている接地端子**

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。





プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災・故障の原因となります。

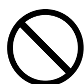


近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



注意



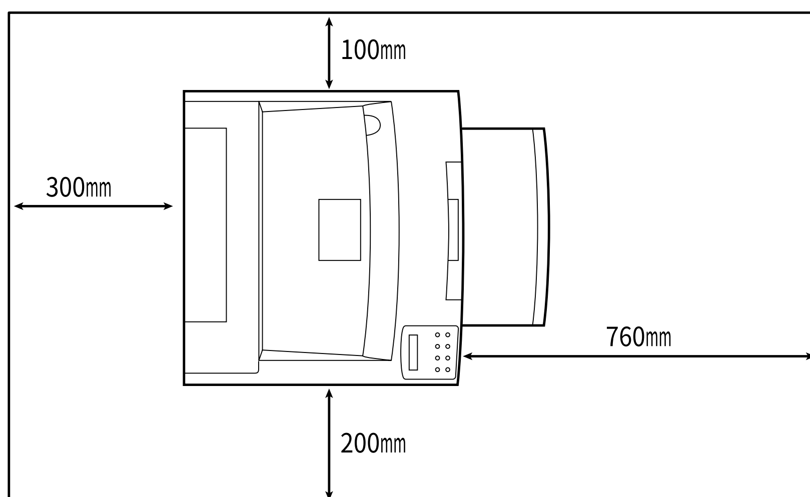
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から100㎜ 以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な500㎜以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。



注意



プリンタは、重さ約40kg（フルオプション、消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

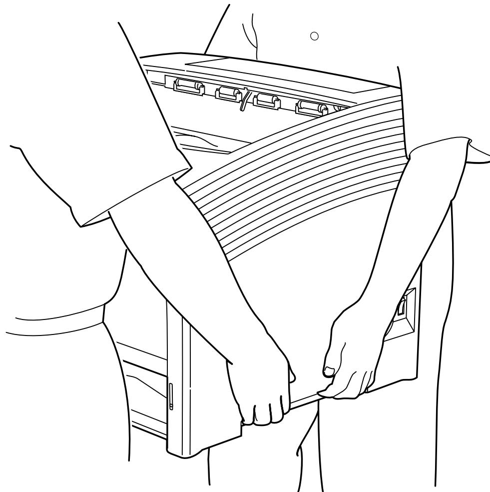
プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。





プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

◆プリンタ使用時のご注意


警告



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

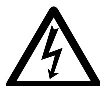
電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
故障の修理は、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



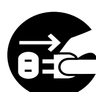


電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

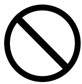
万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

 注意



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



注意



１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。
・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。
・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。
・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（369ページ参照）までご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

◆プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意





プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。（「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（168ページ）参照）



トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」と、プリンタをご使用中に必要となる内容を詳しく説明する「運用編」から成ります。
「セットアップ編」と「運用編」には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

	目　次	内　容
第1章	お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第２章	プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第３章	外部との接続	プリンタをパソコンまたはLANに接続する方法や、ケーブル類の接続について説明します。
第４章	ネットワークプリンタの設定	プリンタをネットワークプリンタとして設定する方法について説明します。
第５章	ネットワークプリンタのインストールとネットワークポートの追加	ネットワークソフトウェアのインストール方法およびネットワークポートの作成、設定変更について説明します。
第６章	プリンタドライバのインストール	パソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
第７章	プリンタ共有の設定	サーバを経由して複数のパソコンからプリンタを使えるようにする方法について説明します。

【運用編】

目　次		内　容
第８章	用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第９章	オプションについて	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
第10章	日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します
第11章	オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第12章	プリンタドライバの設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第13章	添付ソフトウェア（CD-ROM）について	本プリンタに添付されているソフトウェア（CD-ROM）について説明します。
第14章	こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
付　　録		プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。



本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。



本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。



本書内で参照していただきたい参照先を示します。



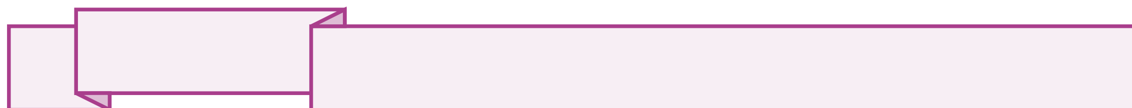
本プリンタ添付のCD-ROMに収められているソフトウェアマニュアル内の参照先を示します。

目　次

セットアップ編

運　用　編

セットアップ編



第1章

お使いになる前に

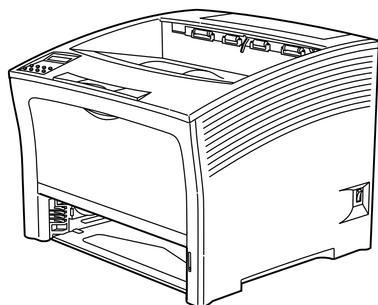
この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認（梱包されている製品）

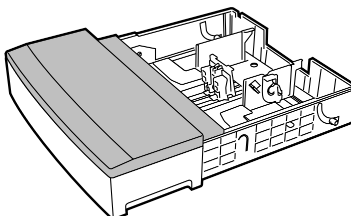
本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

梱包箱

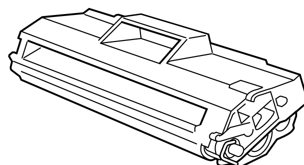
1.プリンタ本体



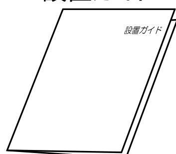
2.給紙カセット
(A3ユニバーサル)



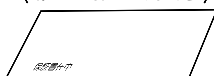
3.プロセスカートリッジ



4.設置ガイド



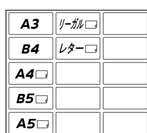
5.保証書
(梱包箱に貼付)



6.電源コード、変換プラグ

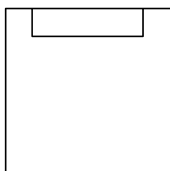


7.用紙サイズラベル
(プリンタ本体に貼付)

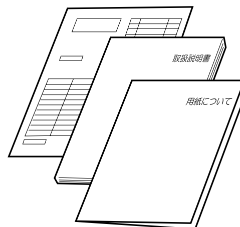


ドキュメントパック

8.CD-ROM



9.取扱説明書、用紙について、
修理・サービス網一覧表



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

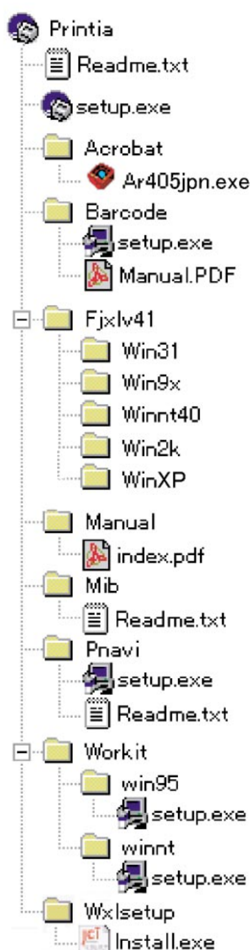
参照　「プリンタケーブルについて」（149 ページ）参照

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

CD-ROMの内容

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROMが同梱されています。この中に収められているおもなファイルは、次のとおりです。

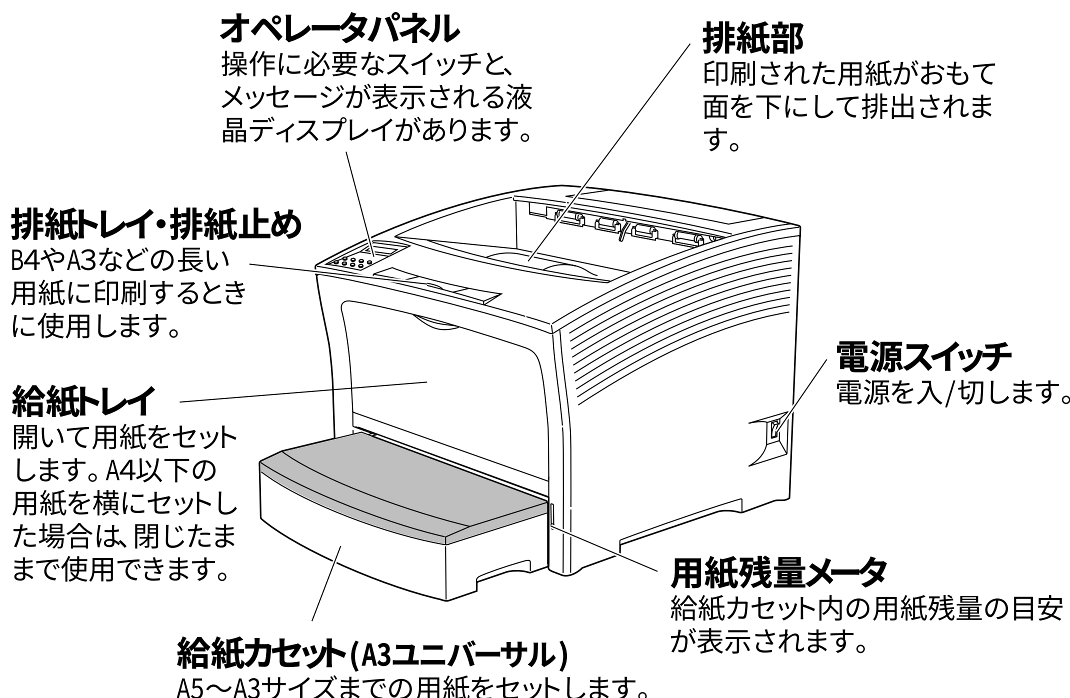


はじめにお読みください
Printianaviインストーラ
Acrobat Reader 4.05J用フォルダ
・Acrobat Reader 4.05Jインストーラ
かんたんバーコードLite用フォルダ
・かんたんバーコードLiteインストーラ
・かんたんバーコードLiteソフトウェアマニュアル(PDF形式)
Printia XLドライバディスク V4.1用フォルダ
・Windows 3.1用プリンタドライバ
・Windows 95/98/Me用プリンタドライバ
・Windows NT4.0用プリンタドライバ
・Windows 2000用プリンタドライバ
・Windows XP用プリンタドライバ
ソフトウェアマニュアル用フォルダ
・ソフトウェアマニュアル（PDF形式）
SNMP/MIB定義ファイル用フォルダ
・説明ファイル
Printianaviネットワークソフトウェア用フォルダ
・Printianaviネットワークソフトウェアインストーラ
・説明ファイル
Printianaviネットワーク連携ユーティリティ用フォルダ
Windows 95/98/Me対応連携ユーティリティ用フォルダ
・Windows 95/98/Me用インストーラ
Windows NT4.0/2000/XP対応連携ユーティリティ用フォルダ
・Windows NT4.0/2000/XP用インストーラ
Printianaviネットワーク設定ユーティリティ用フォルダ
ネットワーク設定ユーティリティインストーラ

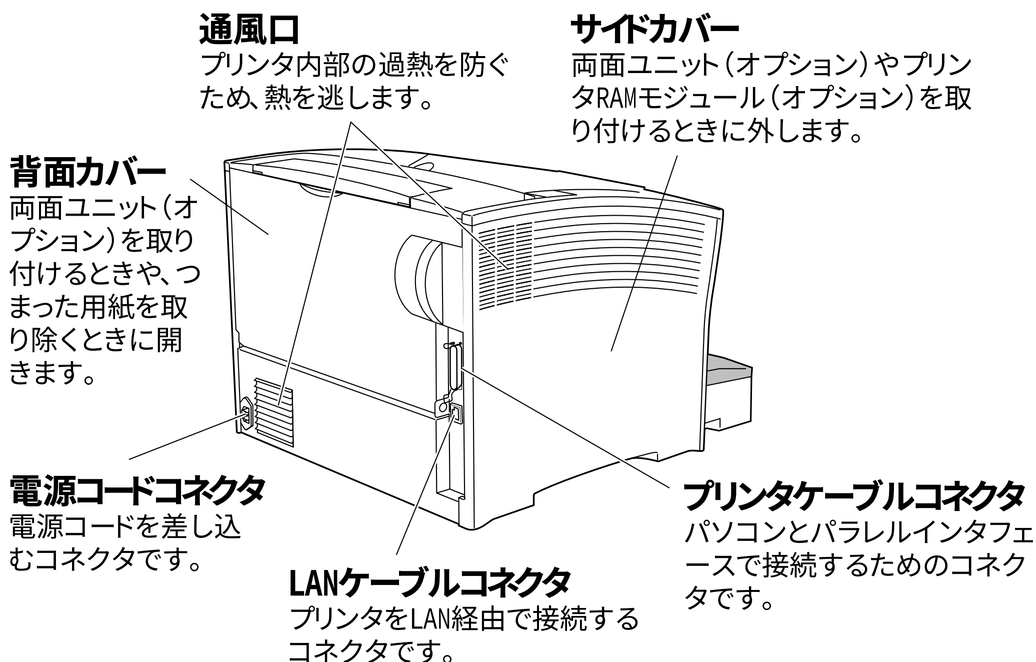
各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

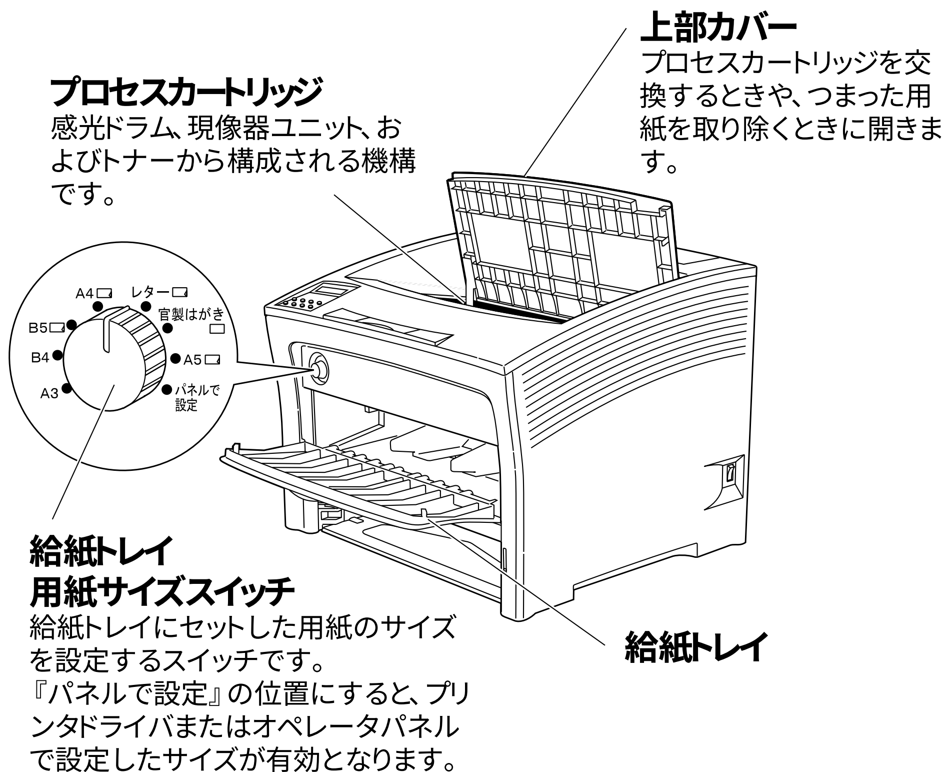
前　面



背　面



内　部


上部カバー
プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。
プロセスカートリッジ
感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。
A4
レター
官製はがき
B5
B4
A3
A5
パネルで設定
給紙トレイ用紙サイズスイッチ
給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するスイッチです。
『パネルで設定』の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。
給紙トレイ

第2章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置し、プリンタ単体で正しく動作することを確認するまでの手順を、順を追って説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

- いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　温度：10～32℃　　湿度：15～85％（結露がないこと）
温度32℃のときは湿度70％以下、湿度が85％のときは温度28℃以下でご使用ください。
冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙探知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- プリンタを前後左右に５°以上傾けないでください。
トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。
電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  - ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  - ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  - ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

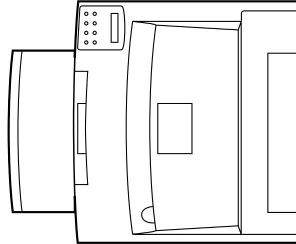
お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

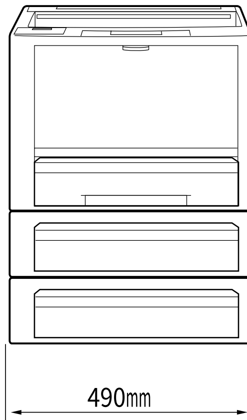
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

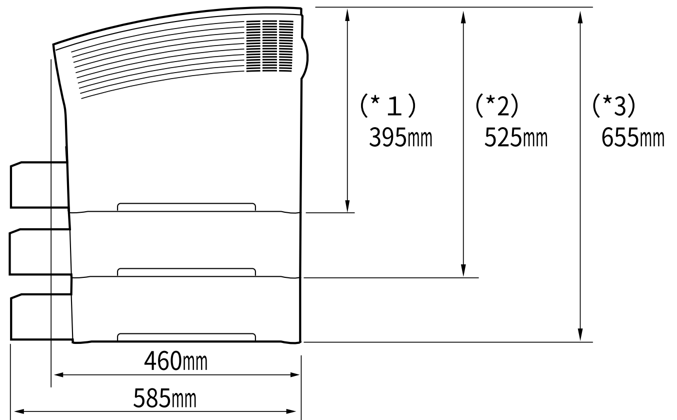
＜上面図＞



＜正面図＞



＜側面図＞



*1:標準構成時
*2:拡張給紙ユニットを１段搭載時
*3:拡張給紙ユニットを２段搭載時



火　災 プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。(「安全上のご注意」(ｉｉ ページ)参照)

け　が 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

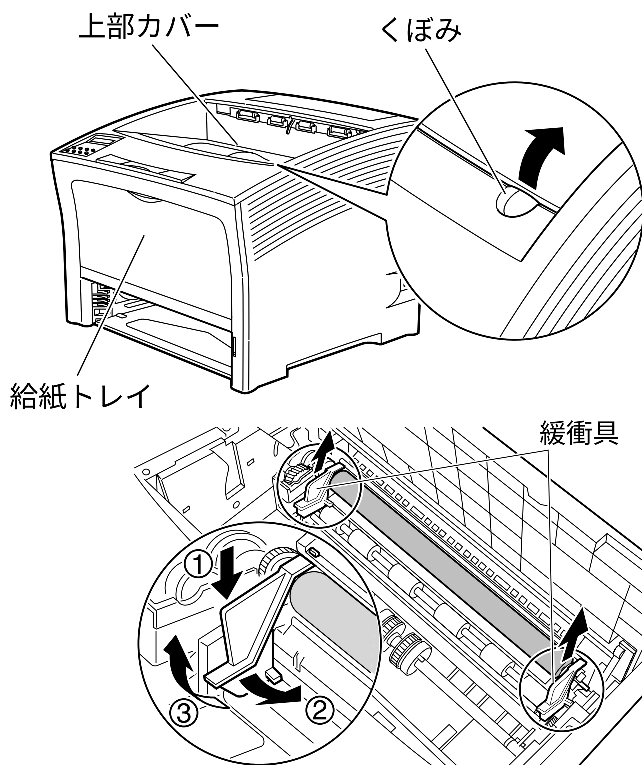
ガイド 本プリンタのオプションには、「プリンタ RAM モジュール」「両面ユニット」「拡張給紙ユニット」があります。

参照　オプションの取り付けの詳細
「第９章　オプションについて」(147 ページ）参照

梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」(4 ページ)に記載してあります。

緩衝具の取り外し



1　くぼみに指を入れ、上部カバーを開ける

上部カバーおよび給紙トレイ内部の段ボールを抜き取ります。

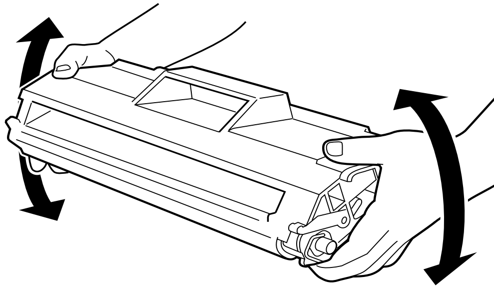
2　緩衝具を引き抜く

緩衝具（オレンジ色、２か所）は、つまんだ状態で押し、内側にずらして引き抜きます。

プロセスカートリッジの取り付け

プロセスカートリッジの取り付けは、プリンタの上部カバーを開き、次の手順で行います。

参照　プロセスカートリッジの交換、および使用上の注意事項の詳細「プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項」(165 ページ)参照

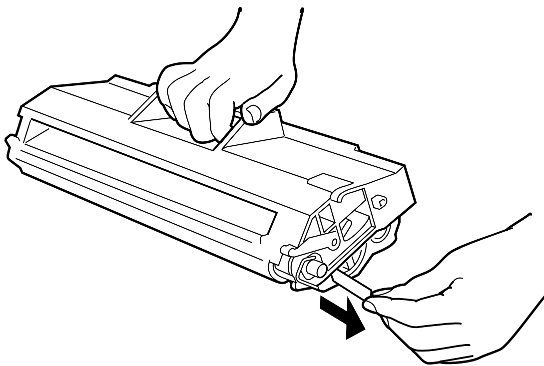


1　トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

図のように上下に７〜８回振ります。トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

お願い

感光体（ドラム）の表面には、絶対に手を触れないでください。

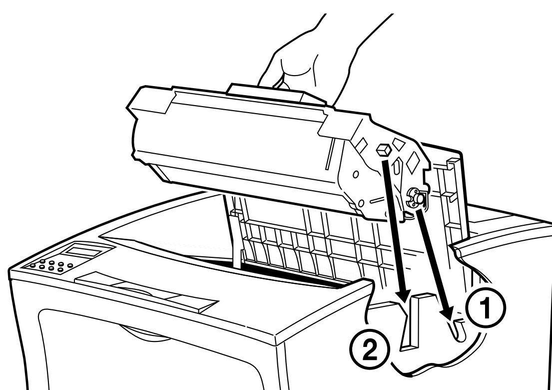


2　トナーシールを引き抜く

プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールをゆっくり引き抜きます。

お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
トナーシールは、引き抜くと全長約 65cm です。
トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

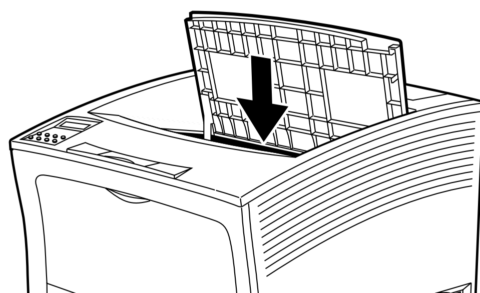


3 プロセスカートリッジを挿入する

プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせます。
次に斜めにプリンタ内部に挿入します。

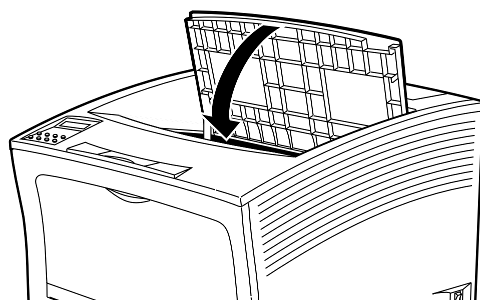
お願い

- **プリンタ内部の部品には手を触れないでください。**
- **プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。**



4 プロセスカートリッジを確実にセットする

プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認します。



5 上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。

お願い

上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

電源を入れる

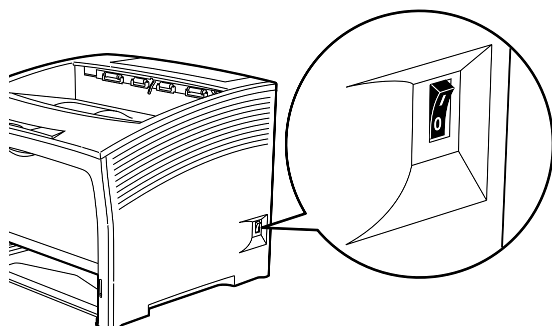
電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

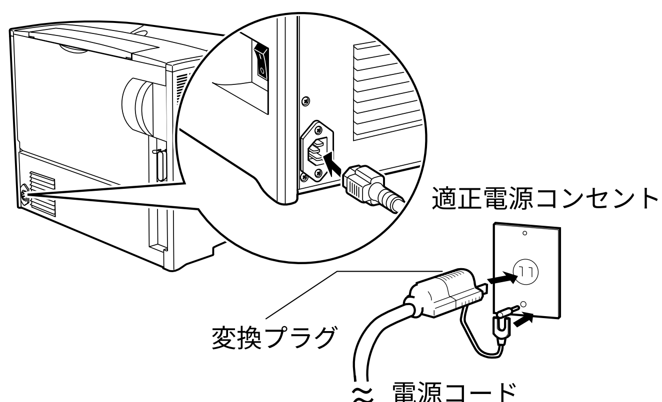
本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

⚠警告	
	感　電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。
	火　災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
	感　電 危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）



1　*スイッチがオフ(｢○｣側)であることを確認する*

電源スイッチが｢○｣側に倒れていることを確認します。



2　*電源コードを接続する*

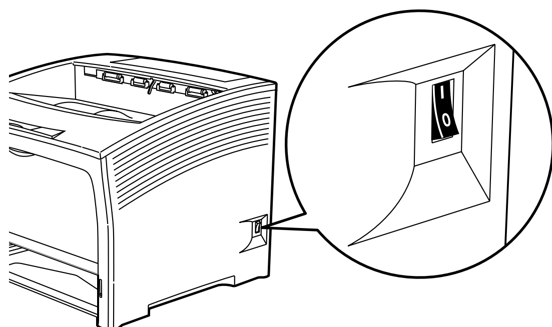
電源コードをプリンタ背面にあるコネクタに差し込みます。

お願い

本プリンタには平行３ピンの電源コードが添付されています。できるだけ３ピンのコンセントをご使用ください。
もし、３ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを｢｜｣側に倒して電源を入れます。



プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「メッセージ」「データ」「オンライン」「電源」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のように表示が切り替わります。

表示	説明
ショキシンダ゛ンチュウ	初期診断中を示します。
↓	
メモリ　ヨウリョウ ＸＬ－６１００　　　××ＭＢ	メモリの総容量を示します。
↓	
ファーム ロード゛チュウ ×××××××××××××	ファームロード中を示します。 下段にMACアドレスを表示します。
↓	初期化動作およびファームロード動作に約60秒程度かかりますので、そのままお待ちください。
カセット　ナシ カセット　ヲ　イレテ　クダ゛サイ	


参照　電源を入れても、液晶ディスプレイや「オンライン」ランプが点灯しないとき
「オペレータパネルのエラーメッセージ」（273 ページ）参照

2

セットアップ編

給紙カセットに用紙をセットする

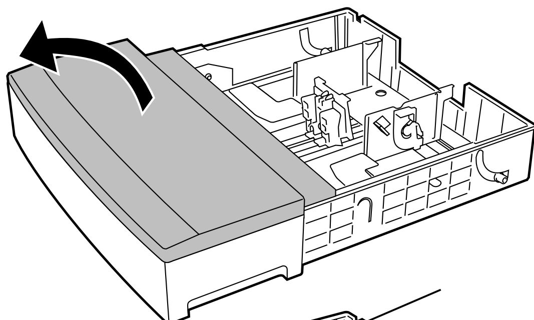
ここでは、用紙を給紙カセットにセットする手順について説明します。

お願い

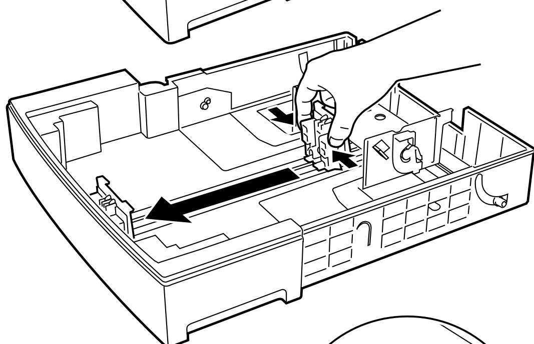
官製はがき、厚紙（重量90g/㎡～135g/㎡）、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙は、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。

ガイド

- 拡張給紙ユニット（オプション）が装着されている場合は、給紙カセットを、本体、拡張給紙ユニットのどちらにもセットできます。
- 異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。

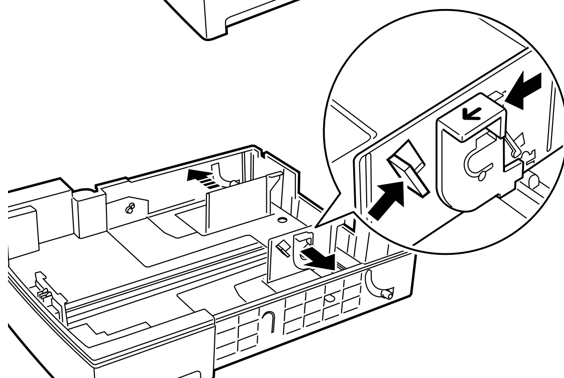


1 *給紙カセットのフタを開ける*



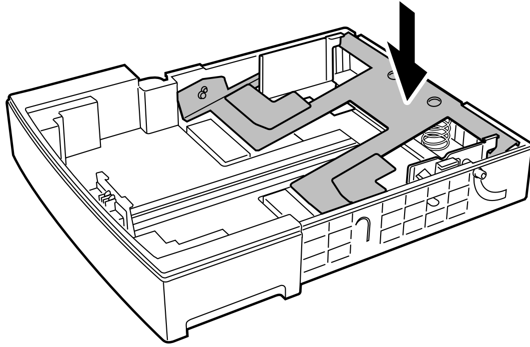
2 *縦ガイドクリップを外側にずらす*

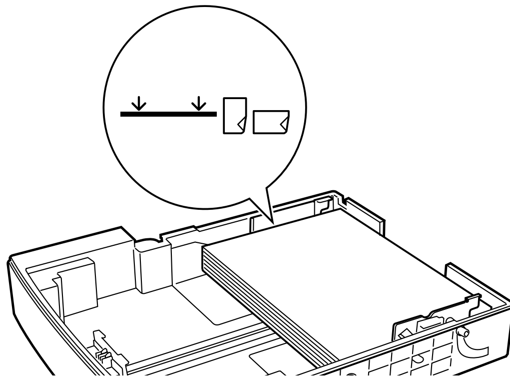
縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、外側にずらします。



3 *横ガイドクリップを外側にずらす*

横ガイドクリップを指でつまみながら、外側にずらします。





4　給紙カセットの中の金属板をロックする

給紙カセットの中の金属板が上がっている場合は、手で下げて、浮き上がらないようにロックします。

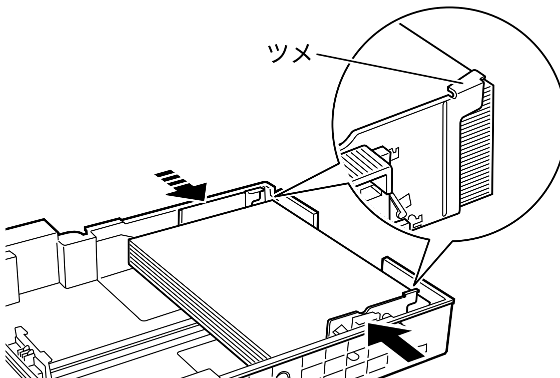
5　用紙をセットする

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセットの中央に入れます。

お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。**
- **横ガイドのラベルの線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。**
- **用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。**
- **A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。**
- **A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。**

ガイド　給紙カセットに収容できる枚数は、約500枚（64g/㎡の場合）です。

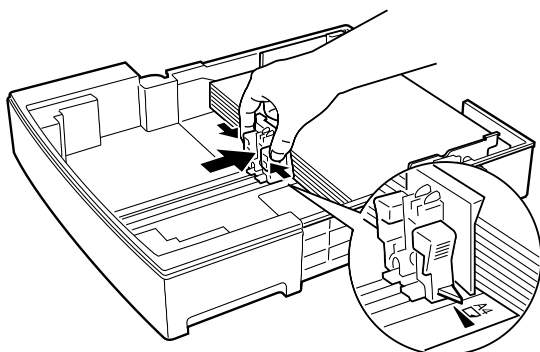


6　横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

横ガイドクリップを指で押しながらずらし、用紙の幅に合わせます。

お願い

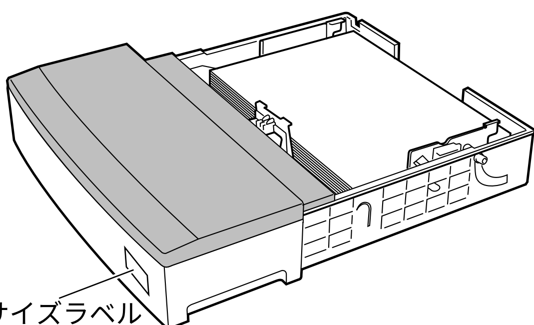
用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。



7　用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる

お願い

- **用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。**
- **縦ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。**



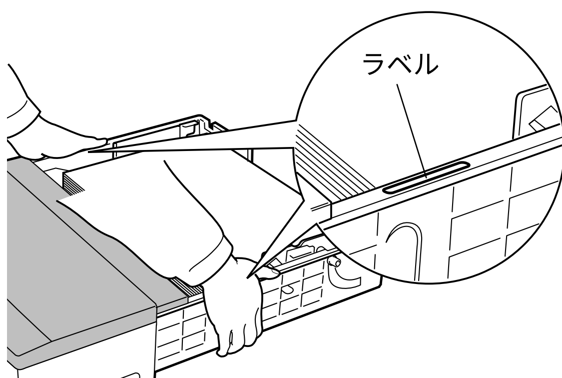
用紙サイズラベル

8　給紙カセットのフタを閉める

お願い

ほこりの付着を防ぐため、フタは必ず閉めてください。

ガイド　必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。



9　給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、プリンタに差し込みます。

給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

お願い

- **セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。**
- **給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。**

2

動作の確認

プリンタを設置したら、プリンタが正しく動作するかを、プリンタ単体で確認します。

設定の一覧を印刷する

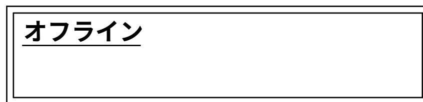
次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。



1　オンライン状態であることを確認する

オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されていることを確認します。

↓「オンライン」



2　プリンタをオフライン状態にする

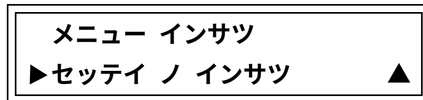
「オンライン」スイッチを押して、プリンタをオフライン状態にします。

↓「メニュー」



3　「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする

↓「▼」



4　「▼」スイッチを１回押す

↓「設定」

印刷開始

↓

5　「設定」スイッチを押す

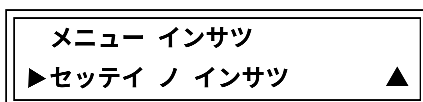
設定の一覧の印刷が開始されます。

セットアップ編

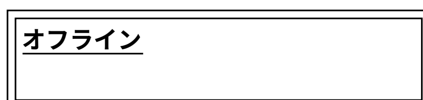
↓

印刷終了

↓



↓「オンライン」



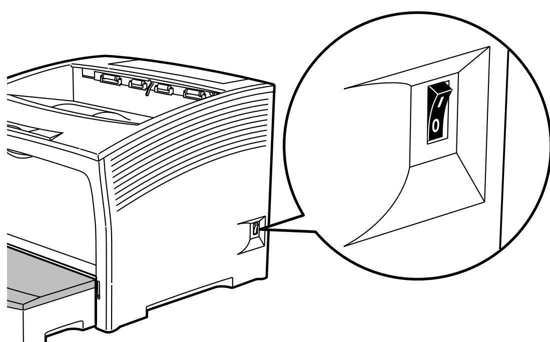
6 *印刷状態を確認する*

正常に印刷されないときは、「こんなときには」（255ページ）を参照してください。

7 *「オンライン」スイッチを押して、オンライン状態に戻す*

印刷が終わったら、「オンライン」スイッチを押して、印刷を行う前の状態に戻します。

電源を切る



電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「○」側）に倒します。

電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、「紙づまりになったとき」（256ページ）を参照して、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

第3章

外部との接続

この章では、プリンタをパソコンまたは LAN に接続する方法について説明します。

インストールの手順と設定の概要

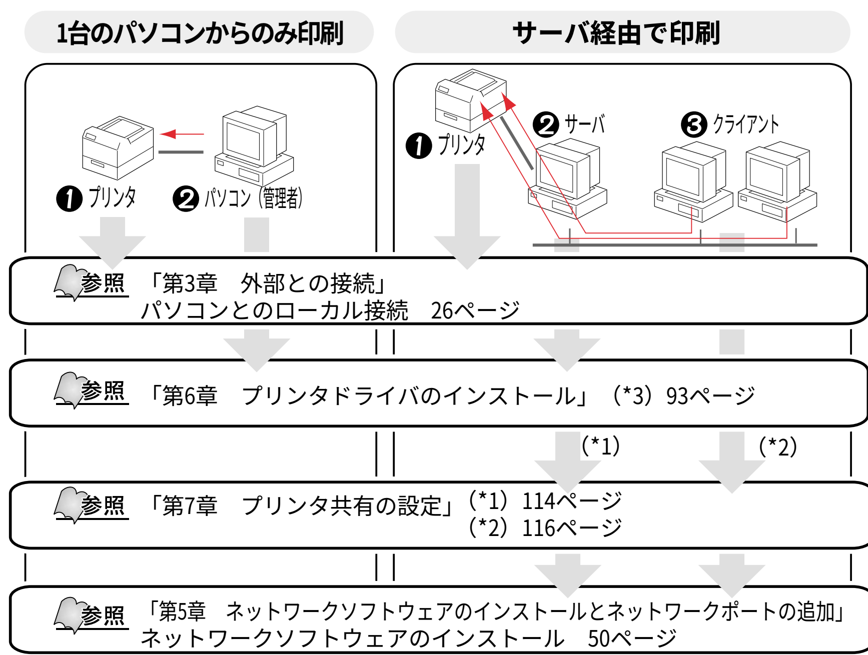
プリンタの設置が終わったら、パソコンまたはLANと接続し、印刷するために必要な設定を行います。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。
設定は、❶プリンタ→❷サーバまたはパソコン（管理者）→❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

ガイド　接続・運用形態は、お使いの環境にあわせて以下を目安に選択してください。

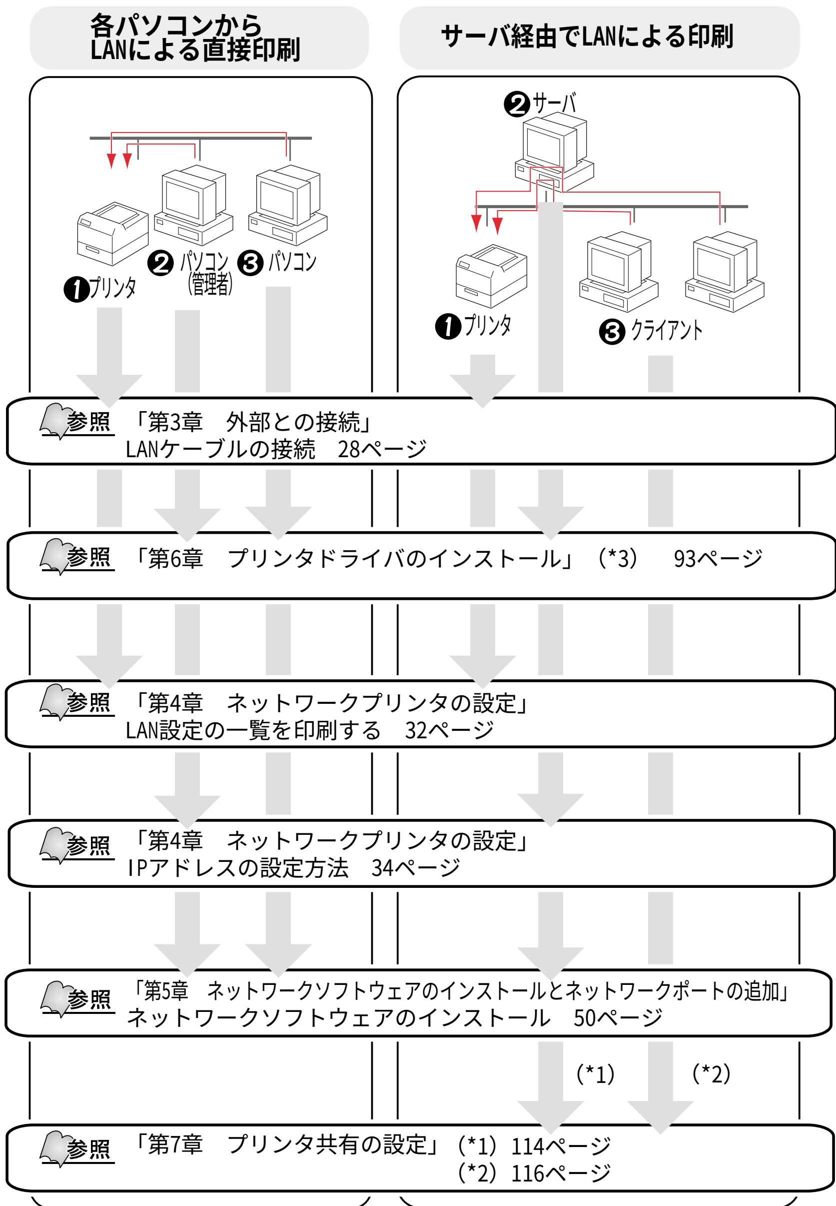
- プリンタケーブルで接続 ..... １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用にIPアドレスを使いたくない場合
- LANケーブルで接続 .... プリンタの設置場所が自由、データの転送速度が高速

サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

プリンタケーブルで接続するとき



LAN ケーブルで接続するとき



*1　OSによりサーバ側の共有設定方法が異なります。
Windows 95/98/Meのとき ……… 114ページ
Windows NT4.0のとき ……… 118ページ
Windows 2000/XPのとき ……… 123ページ

*2　OSによりクライアント側の共有設定方法が異なります。
Windows 95/98/Meのとき ……… 116ページ
Windows NT4.0のとき ……… 121ページ
Windows 2000/XPのとき ……… 126ページ

*3　OSによりインストールの手順が異なります。
Windows 95/98/Meのとき ……… 94ページ
Windows NT4.0のとき ……… 98ページ
Windows 2000のとき ……… 102ページ
Windows XPのとき ……… 106ページ

パソコンとのローカル接続

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

⚠警告

感　電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠注意

故　障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

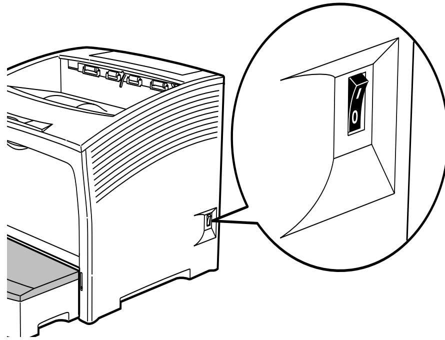
お願い

- **プリンタケーブルについては、次の制約があります。**
  - **パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。**
  - **ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。**
- **本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。**

参照**「プリンタケーブルについて」（149 ページ）参照**

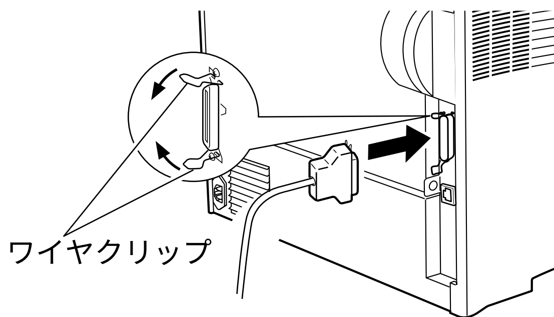
接続のしかた

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。



2 プリンタケーブルを接続する

プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。
パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

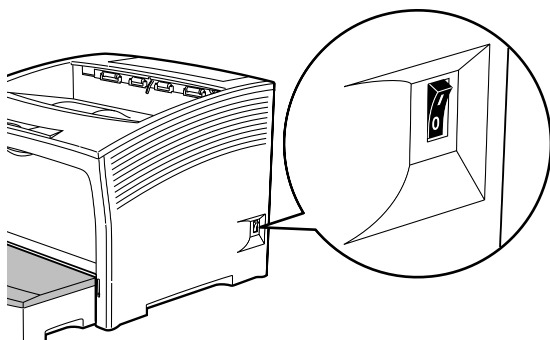
パソコンとの接続が終わりましたら、プリンタドライバをCD-ROMからインストールしてください。

参照　「第６章　プリンタドライバのインストール」（93ページ）参照

LAN ケーブルの接続

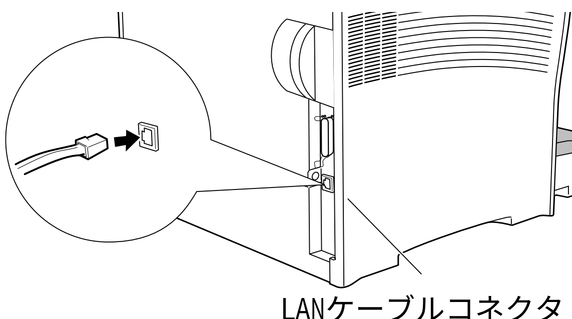
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-6100 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

接続のしかた



1　プリンタの電源の切断を確認する

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。


LANケーブルコネクタ

2　LAN ケーブルを接続する

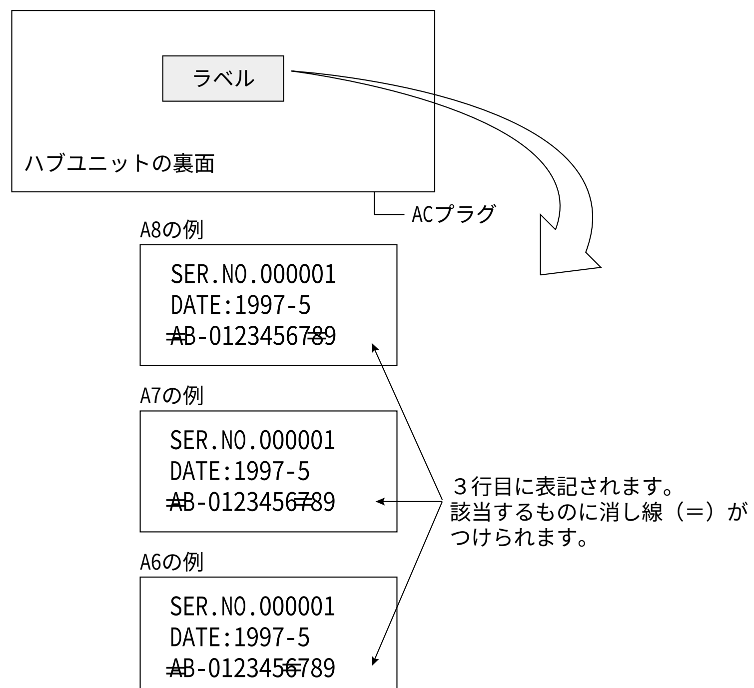
LANケーブルを、プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

LANケーブルの接続が終わりましたら、LAN設定の一覧を印刷をしてください。

参照　「LAN 設定の一覧を印刷する」（32 ページ）参照

LAN に接続するときの注意事項

- LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
  本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、セットアップの「LAN 設定」にある「Ethernet タイプ」で変更します。(セットアップについては、「セットアップの操作」(186 ページ) 参照)
  ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  ・ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、ハードウェア修理相談センター（369 ページ参照）にご相談ください。
  ラベルの見かたを次の図に示します。



パソコンとLANの両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう１台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。
パラレルポートとLANポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。２つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・Printianaviを利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
・PrintianaviおよびPrintianaviネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

お願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタからLANケーブルを抜き差ししないでください。

ガイド

ポートの切り替え時間は、セットアップの操作の「補助機能設定」の「ポート切替時間」で設定してください。(196ページ参照)

第4章

ネットワークプリンタの設定

この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定して、印刷できるようにするまでの操作について説明します。

ネットワークプリンタの準備

ここでは、本プリンタをネットワークプリンタとして設定する前に必要な準備について説明します。

電源を入れる

電源スイッチを「｜」側に倒して、プリンタの電源を入れます。

LAN 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

オンライン状態
↓「オンライン」

```
オフライン
```

↓「メニュー」

```
セットアップ゜
▶メニュー　インサツ　　　　▼
```

↓「▼」

```
　メニュー インサツ
▶セッテイ ノ インサツ　　　▲
```

↓「◀」または「▶」

```
　メニュー　インサツ
▶ＬＡＮ　ノ　インサツ　　　▲
```

↓「設定」

```
　ＬＡＮ　ノ　インサツ
インサツチュウ
```

↓印刷終了

```
　メニュー　インサツ
▶ＬＡＮ　ノ　インサツ　　　▲
```

1 プリンタをオフライン状態にする

「オンライン」スイッチを押して、プリンタをオフライン状態にします。

2 「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする

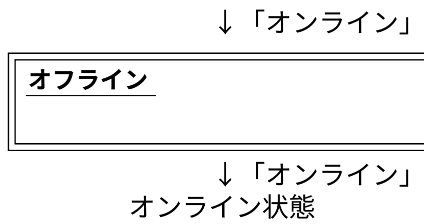
3 「▼」スイッチを1回押す

4 「◀」または「▶」スイッチを押して「ＬＡＮ　ノ　インサツ」を表示する

5 「設定」スイッチを押す

LAN設定の一覧が印刷されます。

6 「オンライン」スイッチを２回押して、オンライン状態に戻す



引き続き、「IP アドレスの設定方法」（次ページ）に進んでください。

IP アドレスの設定方法

ここでは、本プリンタに IP アドレスを設定する方法について説明します。

設定方法の種類

本プリンタに IP アドレスを設定する方法には、次の 3 つがあります。
ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

DHCP によるアドレス自動取得（35 ページ）

プリンタの電源投入時に DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得します。DHCP サーバのある環境では、最も簡単な方法です。

オペレータパネルによる設定（37 ページ）

プリンタのオペレータパネルから直接操作を行います。
プリンタ単体で設定することができます。

ネットワークソフトウェアによる設定（41 ページ）

添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、IP アドレスを設定します。

DHCP によるアドレス自動取得

ここでは、DHCP によって IP アドレスを自動的に取得する方法について説明します。

準　備

IP アドレスを取得する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
設定の一覧	プリンタの設定情報の一覧です。オペレータパネルの操作で印刷しておきます。 参照 「ネットワークプリンタの準備」(32 ページ)参照
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	DHCP サーバとプリンタを、ネットワーク上に接続してください。

設定方法

1　設定の一覧を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う

次の設定になっているか確認します。

項　目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP 設定 = 有効
TCP/IP 設定	DHCP 自動取得 = 設定



工場出荷時の初期値は上記の設定になっていますので、通常、設定は不要です。設定が必要な場合は、「オペレータパネルによる設定」(37 ページ)を参照してください。

4

セットアップ編

2 DHCP サーバの設定を行う

DHCP マネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定してください。

・開始アドレス
・終了アドレス
・サブネットマスク
・リース期間(無期限を推奨)

設定が終わったら、〔スコープ〕をアクティブにします。

割り当てる IP アドレスを固定したいときは､続けて〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し､次の項目を設定します。

・IP アドレス ...... 設定したい IP アドレス
・一意の ID .... MACアドレス(設定の一覧のネットワーク基本情報に印刷されています。半角英数字12文字で入力してください。)
・クライアント名 .... 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

3 プリンタの電源を再投入する

プリンタがネットワークに接続されていることを確認し､電源を入れなおしてください。

以上で、DHCP によるアドレスの自動取得は終了です。

以降の操作は、接続運用形態にあわせて進んでください。


参照 **LANによる印刷を行いたいとき**

「ネットワークソフトウェアのインストール」(50ページ) 参照


参照 **Netware環境で印刷したいとき**

「Netware 環境での印刷設定」(86 ページ) 参照


参照 **LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP、NetWare5)**

「LPR 印刷について」(69 ページ) 参照

オペレータパネルによる設定

ここでは、プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定する方法について説明します。

準　備

プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定をする前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタ

設定方法

1　プリンタの電源を入れる

電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

2　プリンタをセットアップモードにし、「LAN 設定」を選択する

オペレータパネルで次の操作を行います。

オンライン状態

↓「オンライン」

```
オフライン
```

↓「メニュー」

```
セットアップ゜
▶メニュー　インサツ　▼
```

↓「◀」または「▶」

```
セットアップ゜
▶ホシ゛ョ　キノウ セッテイ　▼
```

↓「▼」

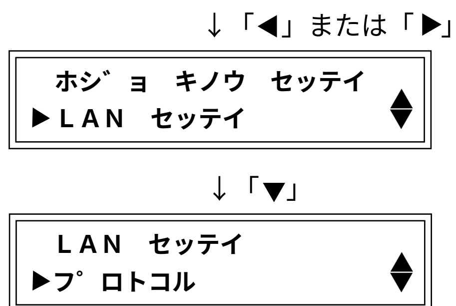
① 「オンライン」スイッチを押してプリンタをオフライン状態にします。

② 「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにします。

③ 「◀」または「▶」スイッチを押して「ホジョ　キノウ　セッテイ」を表示し、「▼」スイッチを押します。

4

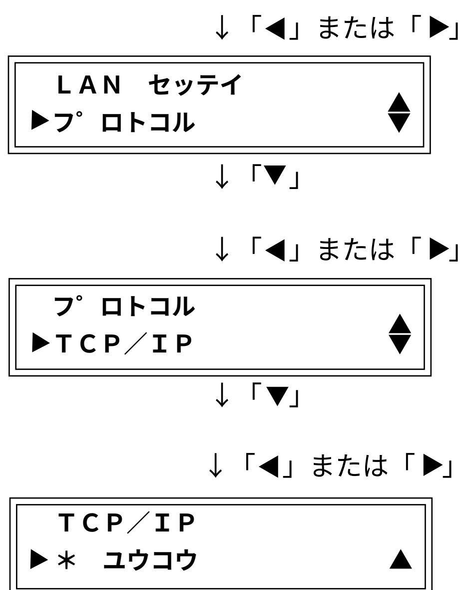
セットアップ編



④「◀」または「▶」スイッチを押して「LAN　セッテイ」を表示します。

⑤「▼」スイッチを押し、LANに関する設定ができる状態にします。

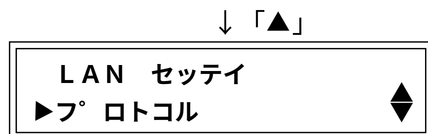
3　TCP/IP設定を有効にする



①「◀」または「▶」スイッチを押して「プロトコル」と表示し、「▼」スイッチを押します。

②「◀」または「▶」スイッチを押して「TCP/IP」と表示し、「▼」スイッチを押します。

③「◀」または「▶」スイッチを押して「ユウコウ」と表示します。
「＊」は現在の設定値です。
初期値は「＊ユウコウ」です。
「＊ユウコウ」になっていないときは、「設定」スイッチを押してください。



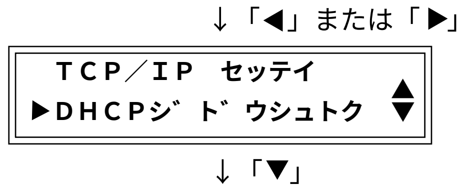
④「▲」スイッチを2回押して①の表示に戻します。

4　DHCP自動取得を設定／解除する



①「◀」または「▶」スイッチを押して「TCP/IP セッテイ」と表示し、「▼」スイッチを押します。

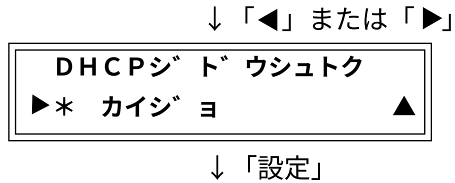
↓「◀」または「▶」



↓「▼」

②「◀」または「▶」スイッチを押して「DHCPジドウシュトク」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」



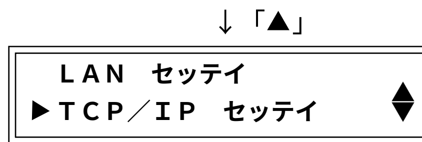
↓「設定」

③「◀」または「▶」スイッチを押して設定したい値を表示し、「設定」スイッチを押します。
「＊」は現在の設定値です。初期値は「＊セッテイ」です。

IPアドレスの設定方法によって次のよう設定してください。

設定値	IP アドレスの設定方法
カイジョ	・オペレータパネルから設定するとき 「＊カイジョ」にしないとオペレータパネルに IP アドレス設定する画面は表示されません。
セッテイ	・DHCP による自動取得のとき ・IP アドレス設定ユーティリティを使うとき

↓「▲」



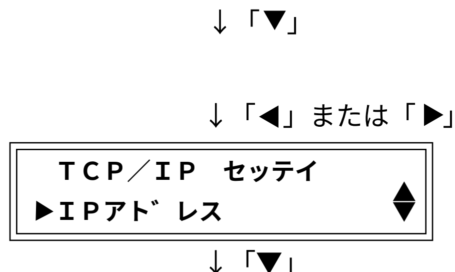
④「▲」スイッチを2回押して①の表示に戻します。

5 IP アドレスを設定する

↓「▼」

①「▼」スイッチを押します。

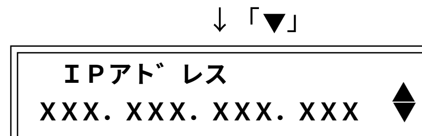
↓「◀」または「▶」



↓「▼」

②「◀」または「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「▼」



③ 現在の設定を確認して「▼」スイッチを押します。

4

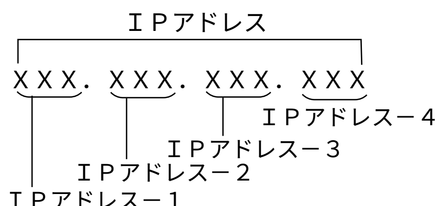
セットアップ編

↓「◀」または「▶」

```
  IPｱﾄﾞﾚｽ
▶IPｱﾄﾞﾚｽ-X              ◆
```

↓「▼」

④「◀」または「▶」スイッチを押してIPアドレスを変更するブロック(IPアドレス-1〜4)を選択して「▼」スイッチを押します。



↓「◀」または「▶」

```
  IPｱﾄﾞﾚｽ-X
▶*  XXX                 ▲
```

「設定」

⑤「◀」または「▶」スイッチを押して値を設定したら、「設定」スイッチを押します。

↓「▲」

```
  IPｱﾄﾞﾚｽ
▶IPｱﾄﾞﾚｽ-X              ◆
```

⑥「▲」スイッチを押して④の表示に戻します。

⑦ブロックごとに④〜⑥の操作を繰り返します。

↓「▲」

```
  IPｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX         ◆
```

⑧「▲」スイッチを押して③の表示に戻し、設定値を確認します。

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して②の表示に戻した後、「◀」「▶」スイッチを押して〔サブネットマスク〕〔ゲートウェイ〕とそれぞれ表示された状態で②〜⑧の操作を行ってください。

6　設定を終了する

設定が終わったら、「オンライン」スイッチを押します。
プリンタの初期化が行われ、設定値が反映されます。
以降の操作は、プリンタの接続・運用形態にあわせて進んでください。

参照　**LANによる印刷を行いたいとき**
「ネットワークソフトウェアのインストール」(50ページ) 参照

参照　**LPR印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP、NetWare5）**
「LPR印刷について」（69ページ）参照

ネットワークソフトウェアによる設定

ここでは、添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、プリンタにIPアドレスを設定する手順について説明します。

準　備

IPアドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内容
設定の一覧	プリンタのネットワークに関する設定情報の一覧です。オペレータパネルの操作で印刷しておきます。 参照 「ネットワークプリンタの準備」(32ページ)参照
IPアドレス	プリンタに設定するIPアドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタをネットワーク上に接続してください。

インストール

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

1 ***添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、ネットワーク連携ユーティリティを起動する***

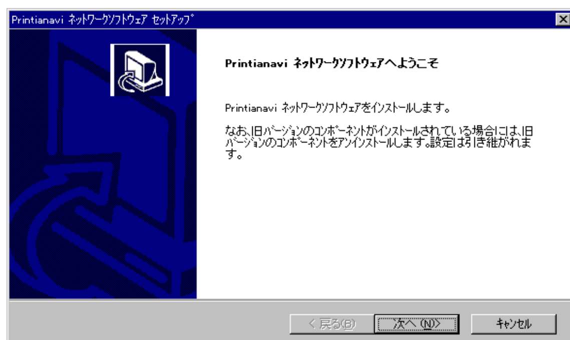
〔ネットワーク連携ユーティリティ〕を起動する



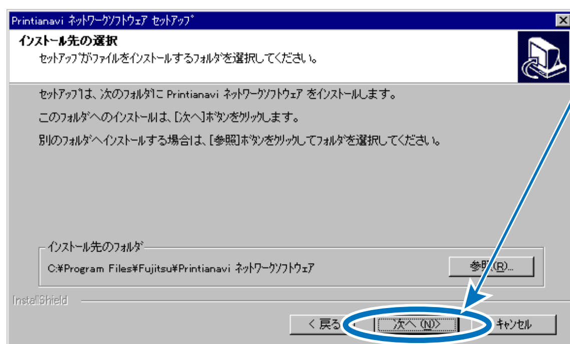


上図のような画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの直下のSetup.exe（CD-ROMドライブがD:のときは「D:\Setup.exe」）を実行して表示させてください。

2　〔次へ〕をクリックし、インストール先の選択画面にてインストール先を選択する

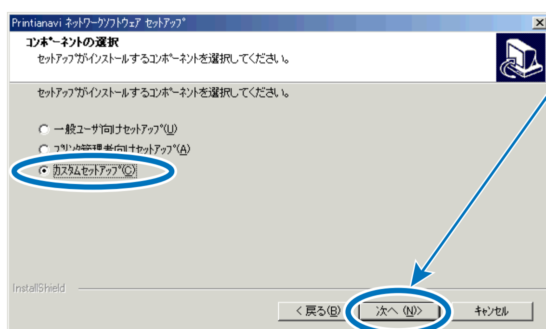






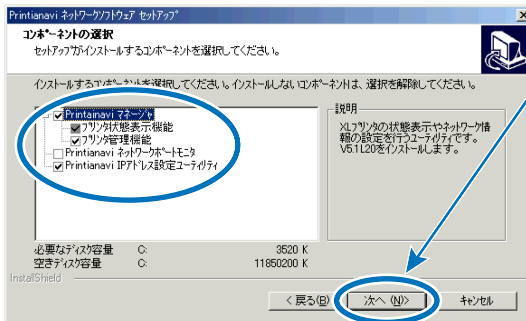
Printianaviネットワークソフトウェアのインストール先を選択し、〔次へ〕をクリックする

3　セットアップタイプを選択する



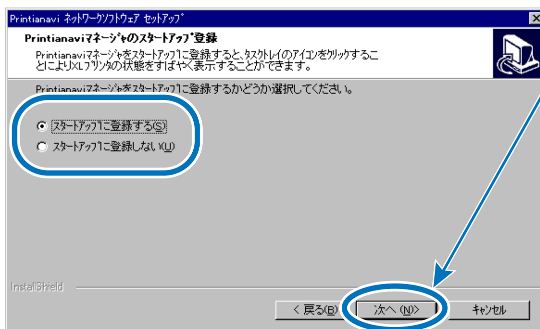
「カスタムセットアップ」を選択し、〔次へ〕をクリックする

4　インストールするコンポーネントを選択する



「Printianavi マネージャ」と「Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ」を選択し、〔次へ〕をクリックする

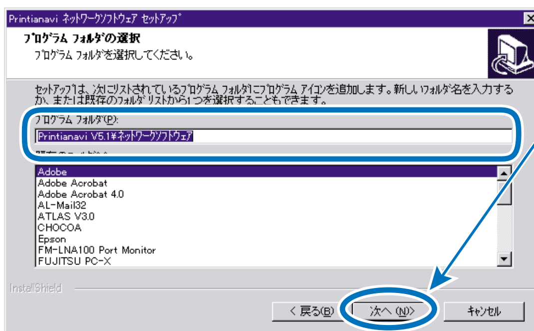
5　スタートアップに登録する



Printianavi マネージャをスタートアップに登録するか選択し、〔次へ〕をクリックする

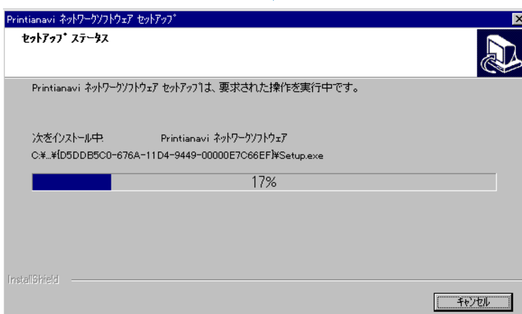
スタートアップに登録しておくと Windows 起動時に Printiavavi マネージャが最小化された状態で起動されます。

6　プログラムフォルダを指定する



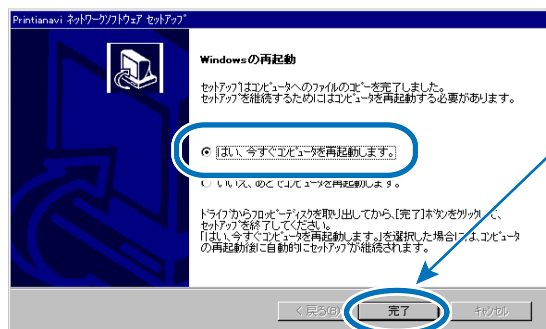
プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

※ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。初期設定は「Printianavi V5.1\ネットワークソフトウェア」です。



ファイルのコピーが開始されます。
〔キャンセル〕をクリックするとインストールは中断されます。

7 〔完了〕をクリックする



「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、〔完了〕をクリックする

ガイド

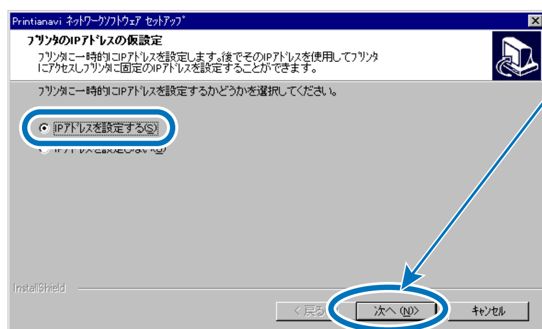
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択するとWindowsを再起動後、手順8の操作から自動的に再開されます。(※)

「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」を選択するとインストールは終了します。

なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんのでプリンタ使用前に必ず再起動してください。

(※)Windows再起動後プリンタのIPアドレスの仮設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。このような場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

8 IPアドレス仮設定プログラムを起動する



「IPアドレスを設定する」を選択し、〔次へ〕をクリックする

IPアドレス設定ユーティリティが起動されます。

9　プリンタの電源を切り、〔次へ〕をクリックする



電源スイッチを「○」側に倒して、プリンタの電源を切り、〔次へ〕をクリックする

ガイド　プリンタのTCP/IP設定がDHCP自動取得になっていることを確認してから電源を切ってください。

10　IP アドレスを入力し〔次へ〕をクリックする



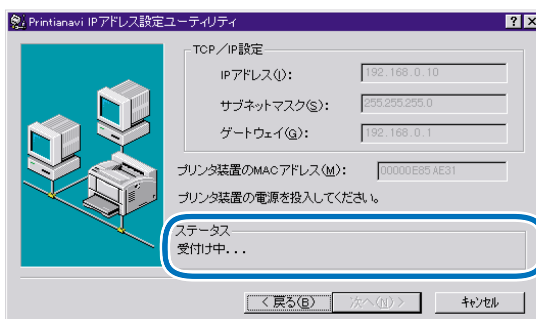
IP アドレスを入力する

半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。IP アドレス以外は省略できます。

MAC アドレスを入力する

半角英数字 12 文字（間に「:」を入れない）で入力します。
MAC アドレスは「設定の一覧」を参照してください。

11　プリンタの電源を入れる



電源スイッチを「｜」側に倒して、プリンタの電源を入れる

「ステータス」欄の表示が「受付け中」から「通信中」に変わります。

12 〔完了〕をクリックする

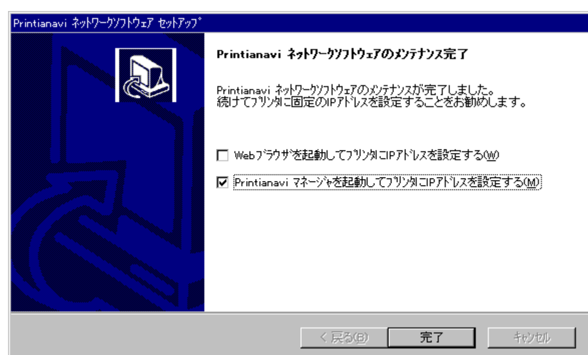


〔完了〕をクリックする

お願い

IP アドレスをプリンタに固定するには、次ページ以降の操作が必要です。この操作をせずにプリンタの電源を切ると、IP アドレスは消えてしまいます。

13 完了処理を行う



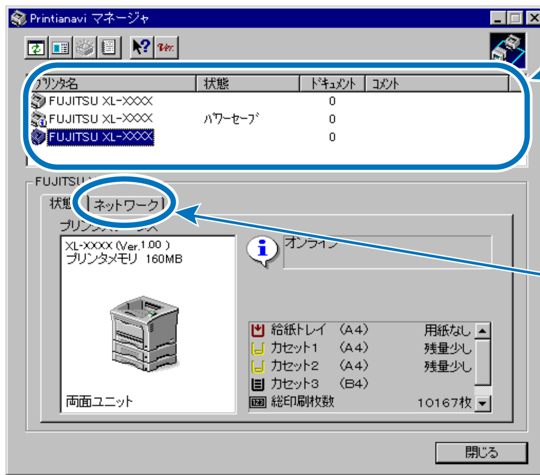
「Printianaviマネージャを起動してプリンタにIPアドレスを設定する」を選択し、〔完了〕をクリックする

引き続き「Printianavi マネージャによる設定」（次ページ）に進んでください。

Printianavi マネージャによる設定

手順 13 で「Printianavi マネージャを起動してプリンタに IP アドレスを設定する」を選択したときは、Printianavi マネージャが起動します。次の手順で IP アドレスを固定してください。

1 設定を行うプリンタのネットワーク情報を表示させる



一覧から設定するプリンタを選択する

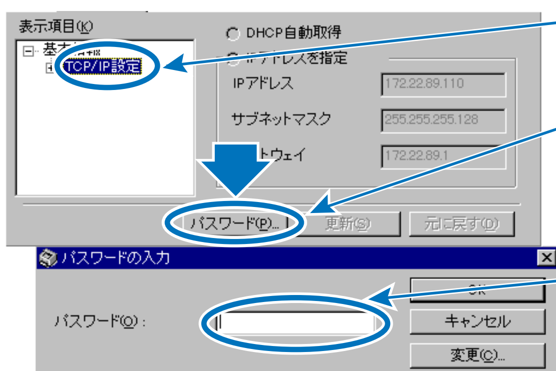
〔ネットワーク〕タブをクリックする



ネットワーク情報が表示されます

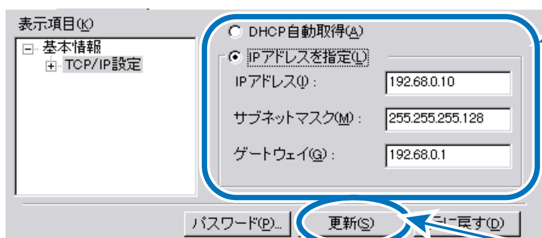


2　TCP/IP 設定を選択し、パスワードを入力する



「TCP/IP 設定」を選択する

〔パスワード〕をクリックする



パスワードを入力後〔OK〕をクリックする

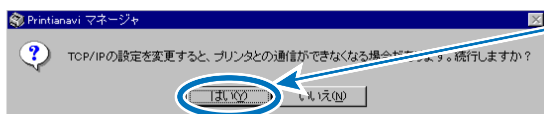
初期設定はパスワードが設定されていません。何も入力せず〔OK〕をクリックしてください。

3　IP アドレスを入力し〔更新〕をクリックする

〔I P アドレスを指定〕をクリックし設定を行う

半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。IP アドレス以外は省略できます。

〔更新〕をクリックする



〔はい〕をクリックする

プリンタに設定内容が反映されます。


参照　Printianavi マネージャがもつ機能の詳細
『ソフトウェアマニュアル』「第６章　Printianaviマネージャ」参照

以降の操作は接続・運用形態に合わせてそれぞれ進んでください。


参照　**LAN による直接印刷を行いたいとき**
各パソコンで「ネットワークソフトウェアのインストール」（50 ページ）の一般ユーザ向けの設定を行ってください。


参照　**サーバ経由で LAN による印刷を行いたいとき**
「プリンタの共有の設定」でサーバ側の設定（Windows 95/98/Me は 114 ページ、Windows NT4.0 は 118 ページ、Windows 2000/XP は 123 ページ）を行ってください。


参照　**LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP、NetWare5）**
「LPR 印刷について」（69 ページ）参照

第5章

ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加

この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法とネットワークポートの追加および設定変更について説明します。

※ 本章の中では、ネットワークソフトウェアを本ソフトウェアと表記します。

ネットワークソフトウェアのインストール

本ソフトウェアはLANの設定、および管理機能に必要なモジュールを、一括してインストールするアプリケーションです。

本ソフトウェアは以下のときに使用します。
・LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する場合
・サーバ上にある複数のプリンタをパソコンから管理（プリントサーバ運用）する場合

ネットワークソフトウェアは以下の3つで構成されています。運用形態、環境に合わせて選択してください。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向け	クライアント側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi マネージャプリンタ状態表示機能（*2）
プリンタ管理者向け	サーバ側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ ・Printianavi マネージャプリンタ状態表示機能（*2）＋プリンタ管理機能（*3） ・Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ（*4）
カスタム	個別の機能（すべて選択制）	・Printianavi ネットワークポートモニタ ・Printianavi マネージャプリンタ状態表示機能 ・Printianavi マネージャプリンタ管理機能 ・Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ（*4）

*1：LAN（TCP/IP）で接続したXLプリンタに対し、印刷先のポートを作成するのに必要なソフトウェアです。
*2：プリンタの状態を表示する機能です。
*3：ネットワークに関する設定を行う機能です。
*4：IPアドレスを設定していないプリンタを、LAN（TCP/IP）に接続したとき、一時的に（電源を切るまでの間）IPアドレスを割り当てます。

新規インストール

準　備

ここでは、管理機能について必要なモジュールを一括してインストールする方法を説明します。

あらかじめ IP アドレスを設定しておいてください。

参照　IP アドレスの設定方法の詳細
「第４章 ネットワークプリンタの設定」（31 ページ）参照

ガイド　インストールするには本プリンタに添付の CD-ROM が必要です。

インストール

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

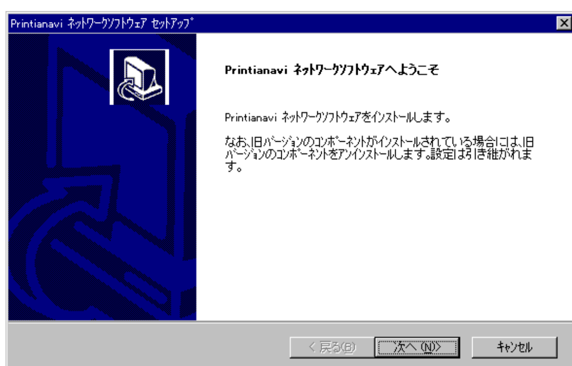
1　添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、ネットワークソフトウェアを起動する



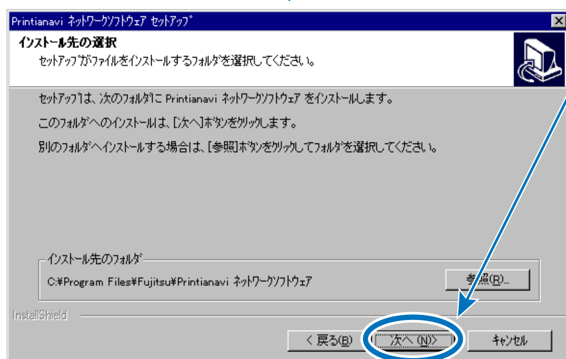
〔ネットワークでプリンタを使う〕をクリックする

ガイド　上図のような画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の直下の Setup.exe（CD-ROM ドライブが D:のときは「D:\Setup.exe」）を実行して表示させてください。

2 〔次へ〕をクリックし、インストール先の選択画面でインストール先を選択する

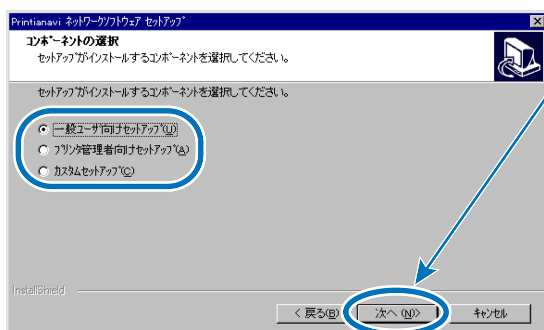






Printianavi ネットワークソフトウェアのイントール先を選択し、〔次へ〕をクリックします。

3 セットアップタイプを選択する



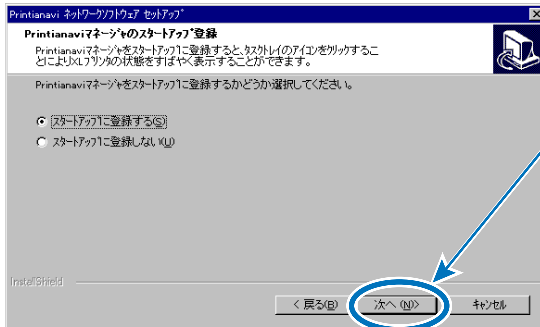
セットアップタイプを選択し、〔次へ〕をクリックする

それぞれの説明の項目へ進んでください。

一般ユーザ向け ....53 ページ
プリンタ管理者向け
..................56 ページ
カスタム ....59 ページ

一般ユーザ向け

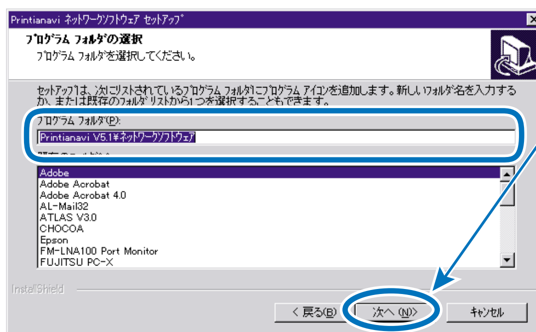
1　スタートアップに登録する



Printianavi マネージャをスタートアップに登録するかどうかを選択し、〔次へ〕をクリックする

スタートアップに登録しておくとWindows起動時にPrintianaviマネージャが最小化された状態で起動されます。

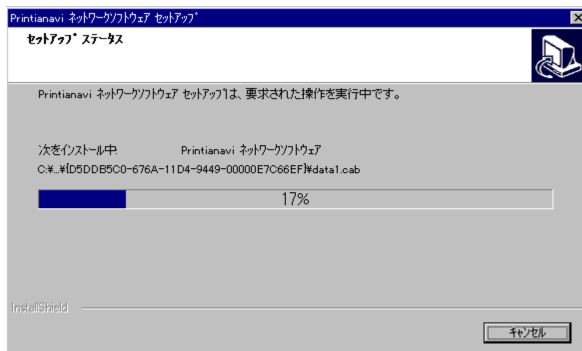
2　プログラムフォルダを指定する



プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

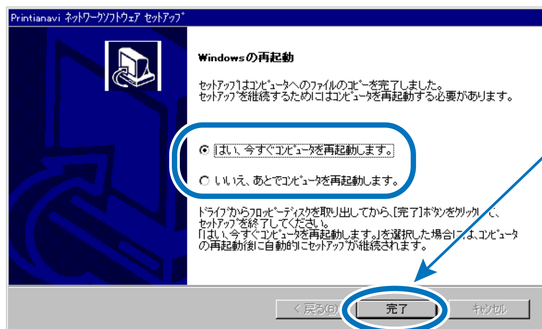
※ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。初期設定は「Printianavi V5.1\ネットワークソフトウェア」です。





ファイルのコピーが開始されます。
〔キャンセル〕をクリックするとインストールは中断されます。

3　〔完了〕をクリックする



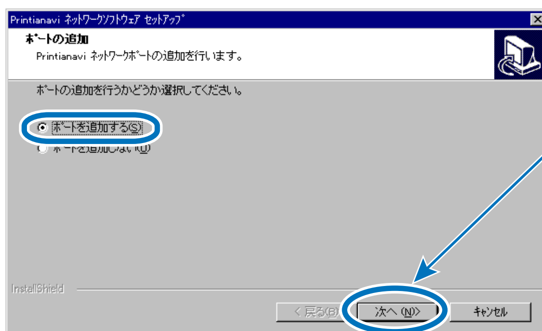
「はい、今すぐコンピュータを再起動します」、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」のいずれかを選択し、〔完了〕をクリックする



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択するとWindows を再起動後、手順４の処理から自動的に再開されます。（※）
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールは終了します。
なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんので、プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

（※）Windows再起動後ポートの追加画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。そのような場合は、タスクバーに表示されている「Printianaviネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

4　ポートを追加する

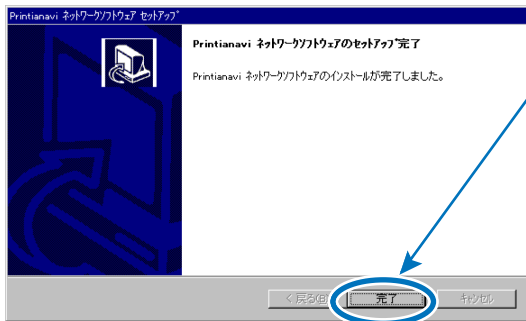


「ポートを追加する」を選択して〔次へ〕をクリックする

Printianaviネットワークポートモニタが起動します。
ポートの追加処理を行った後、手順５の画面へ進みます。
※「ポートの追加を行わない」を選択して〔次へ〕をクリックするとポートは追加されず手順５の画面へ進みます。


参照　ポートの追加処理の詳細
「ポートの追加」（66 ページ）参照

5　完了処理を行う

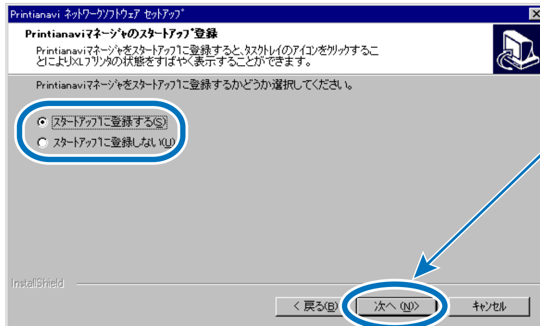


〔完了〕をクリックする

インストールを完了します。

プリンタ管理者向け

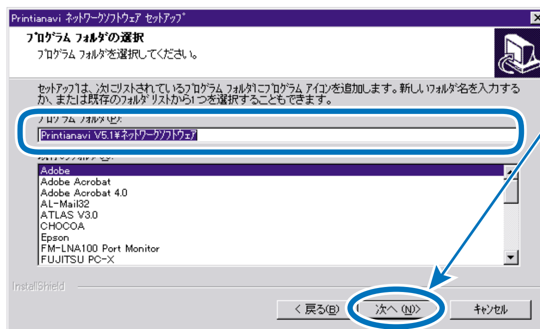
1　スタートアップに登録する



Printianavi マネージャをスタートアップに登録するかどうかを選択し、〔次へ〕をクリックする

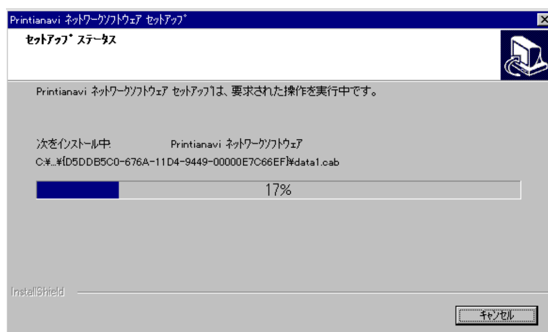
スタートアップに登録しておくとWindows起動時にPrintianaviマネージャが最小化された状態で起動されます。

2　プログラムフォルダを指定する



プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

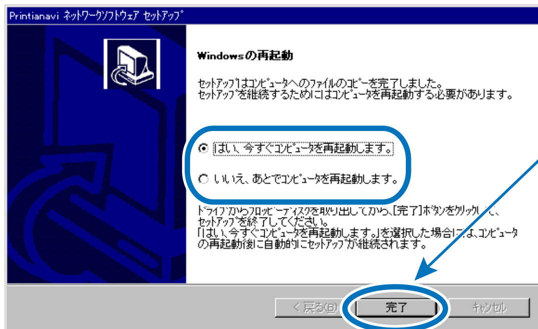
※ ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。初期設定は「Printianavi V5.1\ネットワークソフトウェア」です。



ファイルのコピーが開始されます。

〔キャンセル〕をクリックするとインストールは中断されます。

3 〔完了〕をクリックする



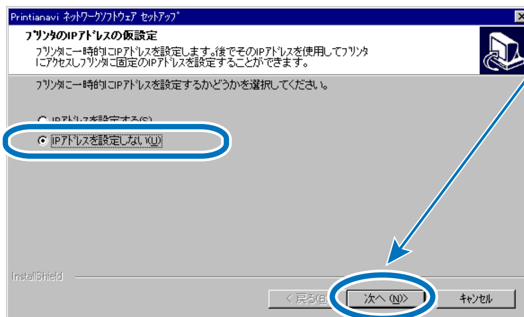
「はい、今すぐコンピュータを再起動します」、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」のいずれかを選択し、〔完了〕をクリックする



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択するとWindows を再起動後、手順４の操作から自動的に再開されます。(※)
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールは終了します。
なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんので、プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

(※)Windows 再起動後プリンタの IP アドレスの仮設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。そのような場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

4 「IP アドレスを設定しない」を選択する



「IP アドレスを設定しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする



あらかじめ IP アドレスを設定していない場合は、ここで「IP アドレスを設定する」を選択し、IP アドレスの設定を行うことができます。

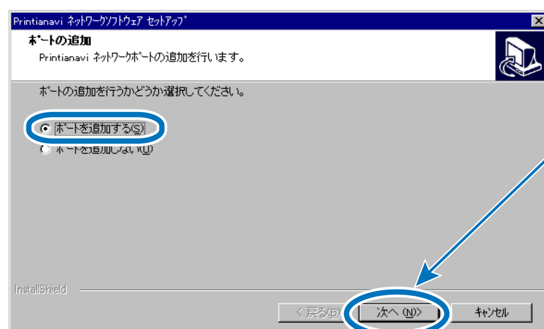


設定方法は、「ネットワークソフトウェアによる設定」の手順７～11（41 ページ）参照

5

セットアップ編

5　ポートを追加する

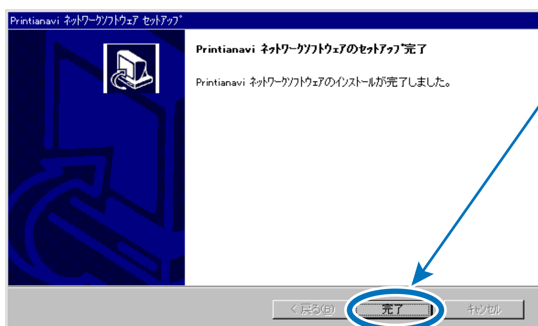


「ポートを追加する」を選択して〔次へ〕をクリックする

Printianaviネットワークポートモニタが起動します。
ポートの追加処理を行った後、手順６の画面へ進みます。
※「ポートを追加しない」を選択して〔次へ〕をクリックするとポートは追加されず手順６の画面へ進みます。

参照　ポートの追加処理の詳細
「ポートの追加」（66 ページ）参照

6　完了処理を行う



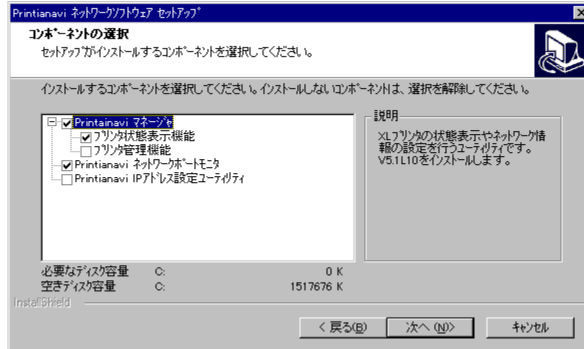
〔完了〕をクリックする

インストールが完了します。

カスタム

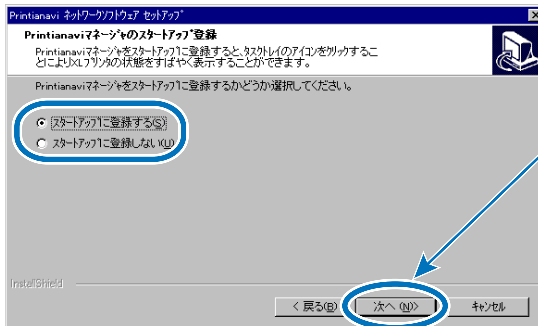
ユーザがインストールしたいコンポーネントを選べるモードです。

1 インストールしたいコンポーネントにチェックを付け〔次へ〕をクリックする



ガイド　「プリンタ管理機能」にチェックを付けると「プリンタ状態表示機能」も同時にチェックされます。

2 スタートアップに登録する

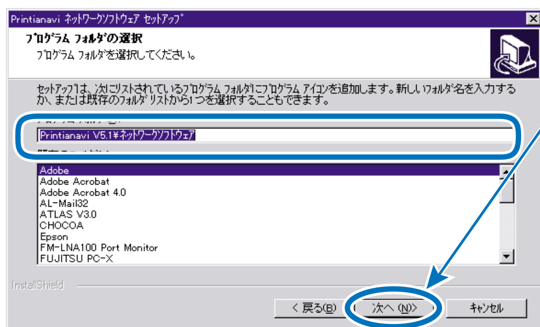


Printianavi マネージャをスタートアップに登録するかどうかを選択し、〔次へ〕をクリックする

スタートアップに登録しておくと Windows 起動時に Printianavi マネージャが最小化された状態で起動されます。

※この画面は「Printianavi マネージャ」をチェックした場合に表示されます。

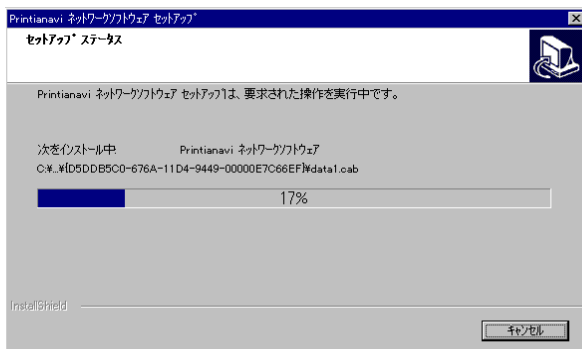
3　プログラムフォルダを指定する



プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

※ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。初期設定は「Printianavi V5.1\ネットワークソフトウェア」です。

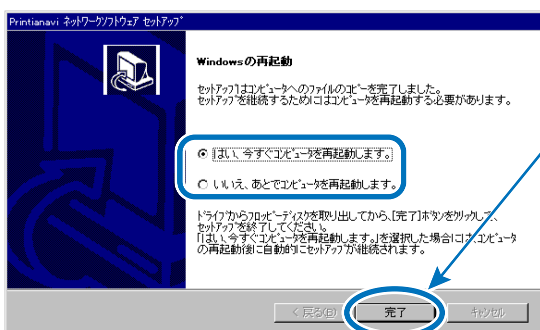




ファイルのコピーが開始されます。

〔キャンセル〕をクリックするとインストールは中断されます。

4　〔完了〕をクリックする



「はい、今すぐコンピュータを再起動します」、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」のいずれかを選択し、〔完了〕をクリックする

ガイド 「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択するとWindowsを再起動後、下記の操作から自動的に再開されます。(※)
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールは終了します。
なお、再起動を行わない場合の動作保証はされませんので、プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

(※)Windows再起動後、設定画面が他の画面の後ろにかくれている場合があります。そのような場合は、タスクバーに表示されている「Printianaviネットワークソフトウェア」をクリックしてください。

手順1「インストールしたいコンポーネントの選択」によってこの先の処理画面は変わります。選択に合わせた手順へ進んでください。


「Printianavi マネージャ（プリンタ状態表示機能）」
「一般ユーザ向け」処理へ（53ページ）
(処理の中でポートの追加画面は飛ばされます)


「Printianavi マネージャ（プリンタ管理機能）」
「プリンタ管理者向け」処理へ（56ページ）
(IP設定ユーティリティとポート追加画面は飛ばされます)


「Printianavi ネットワークポートモニタ」
「一般ユーザ向け」の手順2の処理へ（53ページ）


「PrintianaviIPアドレス設定ユーティリティ」のみの選択
「プリンタ管理者向け」の手順4へ（57ページ）
(処理の中のポートの追加画面は飛ばされます)

ガイド Printianaviネットワークポートモニタを選択すると、ポートの追加およびプリンタの追加処理画面が表示されます。選択していない場合は、各々の選択処理画面の中でのポートの追加画面が飛ばされて処理が進みます。

5

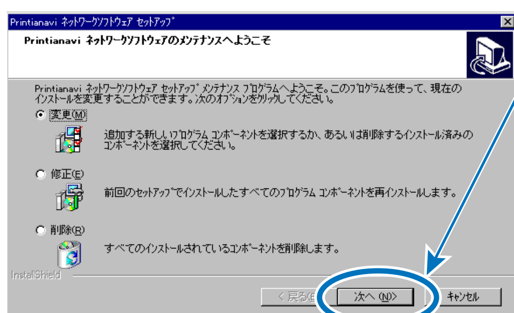
セットアップ編

コンポーネントの追加、削除

一度インストールしたネットワークソフトウェアのコンポーネントのインストール内容を変更したり、再セットアップをする場合、本ソフトウェアを起動すると変更、修正、削除選択画面が表示されます。

ガイド この機能はプリンタドライバの削除は行いません。

参照 プリンタドライバの削除の詳細
「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（241 ページ）参照

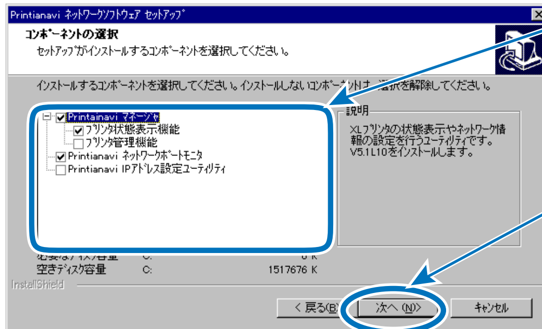


1 目的に合わせて選択し〔次へ〕をクリックする

変更 .... コンポーネントの追加、インストール済みのコンポーネントの削除をしたい場合
修正 .... 現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールしたい場合
削除 .... インストールしたすべてのコンポーネントを削除したい場合

変更を選択した場合

コンポーネントを追加、またはインストールされているコンポーネントを削除します。



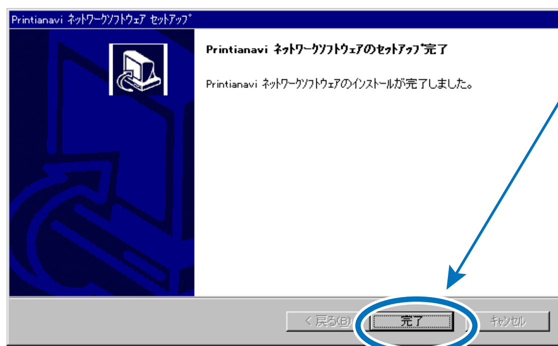
必要なコンポーネントを選択し、削除したいコンポーネントはチェックをはずす

〔次へ〕をクリックする

画面の指示に従って進めてください。



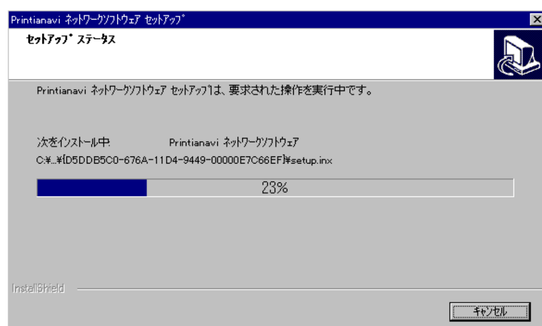
「新規インストール」の「カスタム」(59ページ）参照



〔完了〕をクリックする

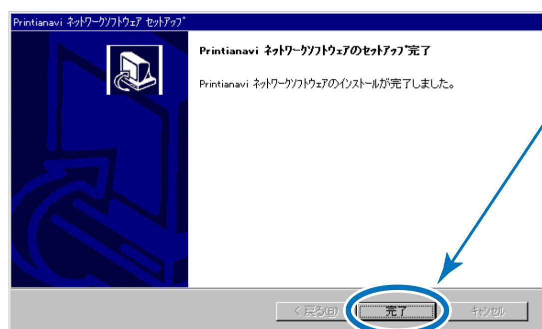
修正を選択した場合

現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールします。



再インストールが終了すると次の画面が表示されます。

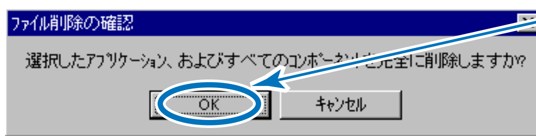
〔完了〕をクリックする

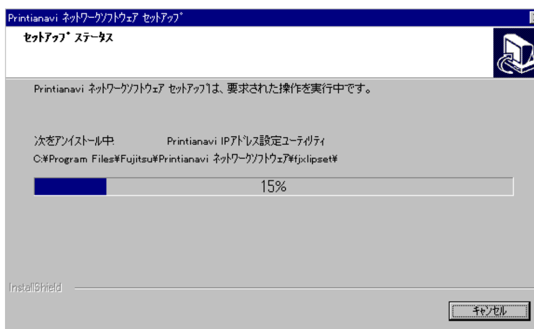


削除を選択した場合

現在インストールされているすべてのコンポーネントを削除します。

〔OK〕をクリックします





すべてのコンポーネントを削除すると次の画面が表示されます。

〔完了〕をクリックする



削除を行うと、スタートメニューの登録も削除されます。



プリンタポートにネットワークポートを設定していると、中断を示す画面が表示されます。この画面が表示されている間に他のポートに設定し直して、〔再試行〕をクリックすると、削除が再試行されます。

5

セットアップ編

ポートの追加

ここではネットワークポートの追加方法について説明します。
まず、下記の方法でポートの追加方法を選択してください。

プリンタのプロパティから印刷先ポートを追加する場合

OSによってポートの追加画面までの操作が異なります。操作については「プリンタの接続方法を変更するとき」を参照してください。

参照　Windows 95/98/Me のとき ....234 ページ

参照　Windows NT4.0/2000/XP のとき ....237 ページ

Printianaviネットワークポート管理から印刷先ポートを追加する場合

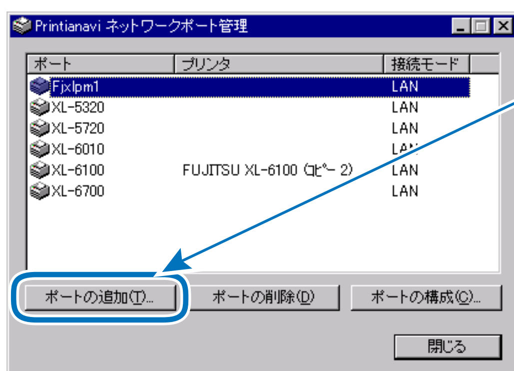
1　*Windows を起動する*

Windows NT4.0/2000/XP の場合は、管理者権限でログオンします。

2　*Printianavi ネットワークポート管理を起動し、ポートの追加画面を表示する*

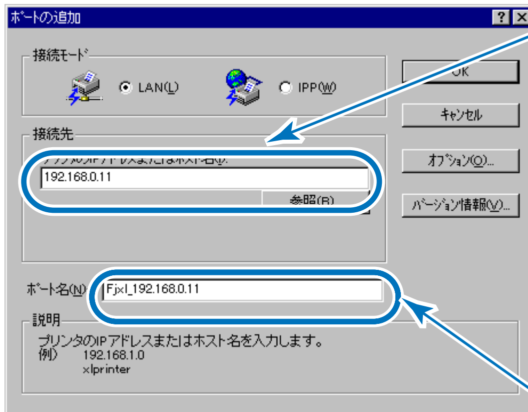
〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔Printianavi ネットワークポート管理〕の順に選択します。

「Printianavi ネットワークポート管理」が起動したら、〔ポートの追加〕をクリックします。



〔ポートの追加〕をクリックする

3 接続先、ポート名を設定し〔OK〕をクリックする



IPアドレスまたはホスト名を入力する

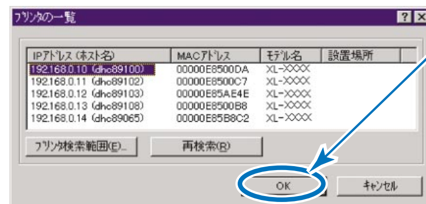
IPアドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。（各XXXは0〜255の範囲の半角数字）
ホスト名はネットワーク上で定義されているプリンタのホスト名を指定します。（最大255バイト文字）

ポート名を入力する

システムに登録する任意のポート名を日本語 / 半角英数字を含め、63バイト文字または全角31文字以内で指定します。



- ポート名を指定しなかった場合は、IPアドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。
- IPアドレスを設定するときに〔参照〕をクリックすると、ネットワーク上に接続されているXLプリンタを「プリンタの一覧」に表示することができます。
  設定したいIPアドレスを選択して「接続先」に反映することができます。



IPアドレスを選択して〔OK〕をクリックする

5

セットアップ編

・プリンタとの通信に必要な情報を設定する必要がある場合は〔オプション〕をクリックし、必要箇所を入力してください。



ポート番号 ..... プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。
通常は、標準値の 9313 のままにします。
変更する場合は、プリンタ側の設定（ポート番号 1）と同じ値にしてください。

プリンタタイムアウト監視時間 ... プリンタからの応答を待ち合わせる時間を 60 ～ 7200 秒の範囲で設定します。
標準値は 300 秒です。

標準に戻す ..... この画面の設定値を標準値に戻します。
標準値は以下のとおりです。
・ポート番号：9313
・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒
・プリンタの IP アドレス変更を自動認識する：チェックあり

プリンタの IP アドレス変更を自動認識する ... チェックを付けると、プリンタとの通信異常を検出した場合にはネットワークに接続された XL プリンタを検索し、XL プリンタの IP アドレスが変更された場合には変更後の IP アドレスを自動認識し、プリンタとの通信を続行します。

プリンタ検索範囲 ... ネットワークに接続された XL プリンタの検索範囲を指定する画面を表示します。


参照 Printianavi ネットワークポートモニタの詳細
『ソフトウェアマニュアル』「第４章　Printianavi ネットワークポートモニタ」参照

LPR 印刷について

ここでは、Windows NT4.0/2000/XP、NetWare5 のときの LPR 印刷について説明します。

Windows NT4.0 のとき

Windows NT4.0 では、次の手順で LPR 印刷を行うことができます。なお、Printianavi 機能は使用できませんのであらかじめご了承ください。

準　備

プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。

参照　設定方法は、「IP アドレスの設定方法」（34 ページ）参照

サービスの組み込み

「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んであることが必要です。
〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔ネットワーク〕〔サービス〕の順に選択し、「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が表示されることを確認します。表示されない場合は、組み込んでください。

手　順

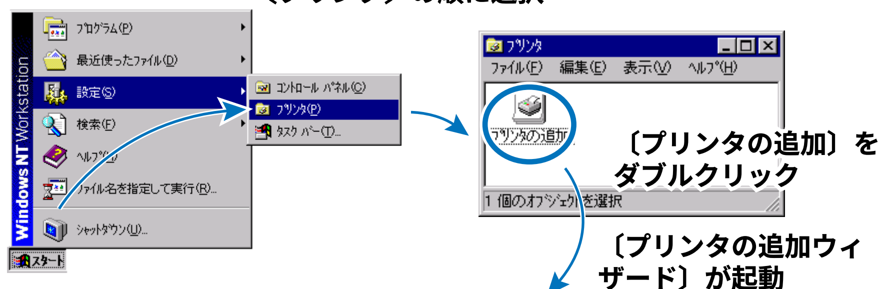
1 ***Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする***

2 ***添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する***



3　プリンタの追加ウィザードを起動する

〔スタート〕から〔設定〕
〔プリンタ〕の順に選択



〔プリンタの追加〕を
ダブルクリック

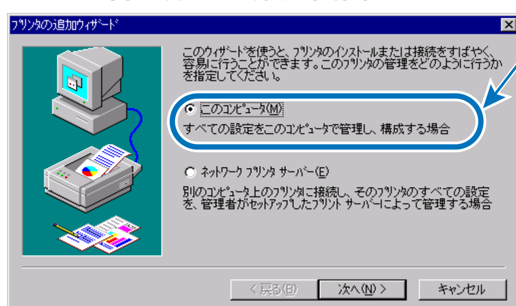
〔プリンタの追加ウィザード〕が起動



4　画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールする

以降表示される画面において、注意が必要な内容について説明します。
（次の７つの画面に注意してください。）

プリンタ管理方法の指定画面



「このコンピュータ」を選択する

ポートの選択画面



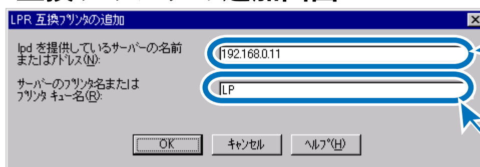
〔ポートの追加〕をクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログボックスの「利用可能なプリンタポート」のリストから「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

〔LPR 互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する

半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する

ガイド

「サーバのプリンタ名または、プリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

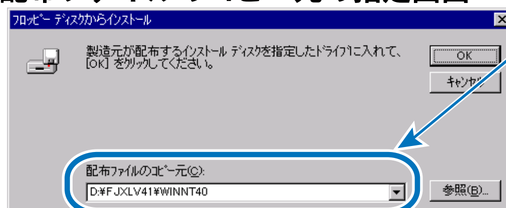
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

CD-ROM に収められているプリンタドライバをインストールするため、〔ディスク使用〕をクリックします。

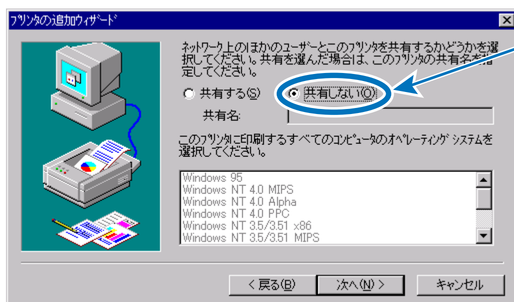
配布ファイルのコピー元の指定画面



「配布ファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定する

※ CD-ROM ドライブが D:のときは、「D:\FJXLV41\WINNT40」と指定します。

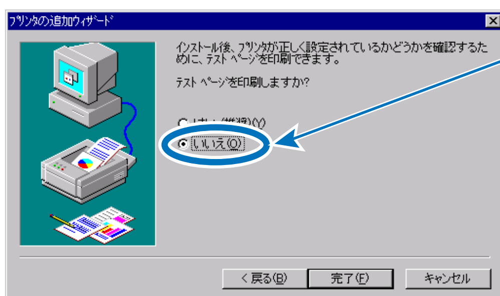
プリンタ共有の選択画面



「共有しない」を選択する

共有設定はインストールの後で行います。
ここでは、「共有しない」を選択して先に進んでください。

テストページ印刷の選択画面



「いいえ」を選択する

手順５～６を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷に失敗します。そのときは、〔印刷中止〕をクリックしてください。

5　*印刷データのスプール方法を変更する*

次の手順で印刷データのスプール方法を変更します。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、LPR印刷を行うプリンタを選択します。

2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示します。

3 〔スケジュール〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

6　*双方向通信を無効にする*

1 プリンタのプロパティから〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

2 〔OK〕をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

Windows 2000のとき

Windows 2000では、次の手順でLPR印刷を行うことができます。
なお、Printianavi機能は使用できませんのであらかじめご了承ください。

準　備

LPR印刷を行う前に、以下の準備が必要です。

プリンタのIPアドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。

参照　設定方法は、「IPアドレスの設定方法」（34ページ）参照

サービスの組み込み

「UNIX用印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1　〔オプション　ネットワーク　コンポーネント〕ウィザードを表示する

〔スタート〕から〔設定〕〔ネットワークとダイアルアップ接続〕の順に選択し、〔ネットワークとダイアルアップ接続〕ダイアログの〔詳細設定〕メニューから〔オプション　ネットワークコンポーネント〕を選択します。

2　「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

〔そのほかのネットワークファイルと印刷サービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか（右側に「0.0MB」と表示されているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

3　「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか確認する

〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか（右側に「0.0MB」と表示されているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

以降は、〔次へ〕をクリックして画面の指示にしたがって、操作をしてください。

手　順

1　Windows 2000を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

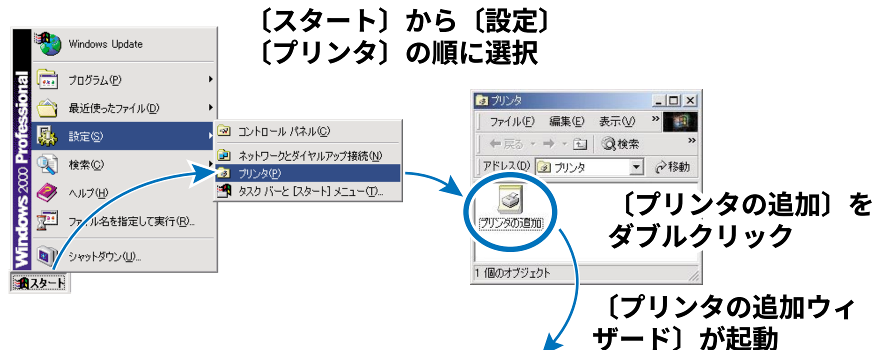
2　添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する



終了をクリックする

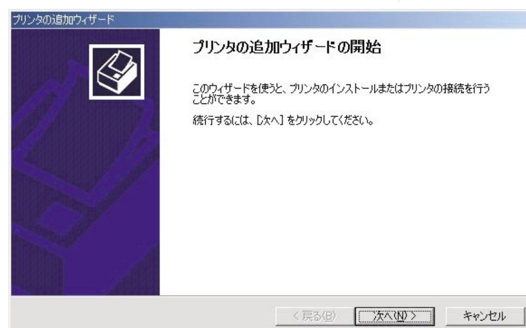
3　プリンタの追加ウィザードを起動する

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択



〔プリンタの追加〕をダブルクリック

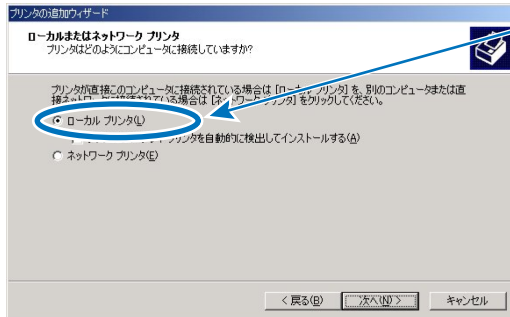
〔プリンタの追加ウィザード〕が起動



4 画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールする

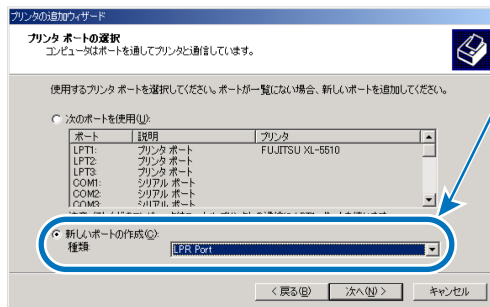
以降に表示される画面において、注意が必要な内容について説明します。
（次の８つの画面に注意してください。）

プリンタの接続先の選択画面



「ローカル　プリンタ」を選択し、「プラグ　アンド　プレイ　プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外す

ポートの選択画面



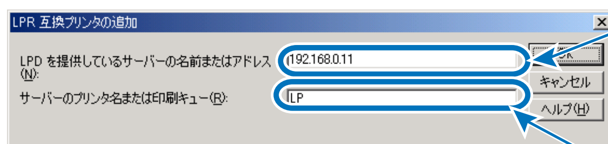
「新しいポートの作成」を選択し、「種類」のリストから「LPR Port」を選択して〔次へ〕をクリックする

〔LPR 互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。
次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する

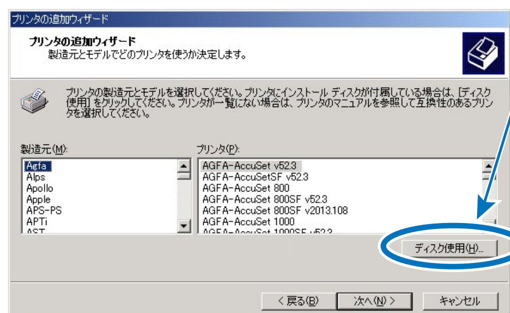
半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する

ガイド

「サーバーのプリンタ名または、印刷キュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

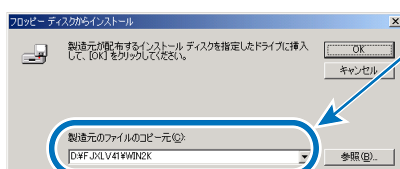
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

CD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするので、〔ディスク使用〕をクリックします。

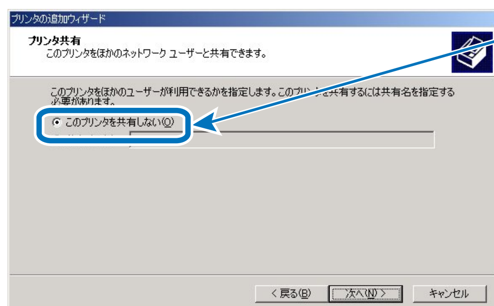
製造元のファイルのコピー元の指定画面



「製造元のファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定する

※ CD-ROM ドライブが D:のときは、「D:\FJXLV41\WIN2K」と指定します。

プリンタ共有の選択画面

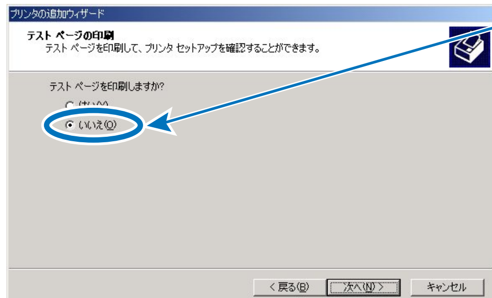


「このプリンタを共有しない」を選択する

共有設定はインストールの後で行います。

ここでは、「このプリンタを共有しない」を選択して先に進んでください。

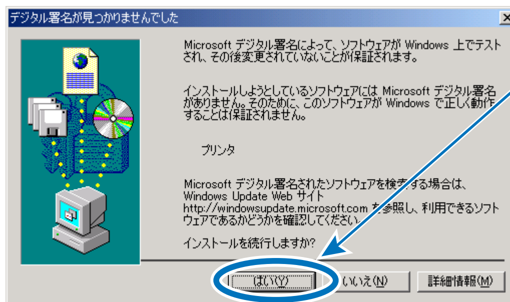
テストページ印刷の選択画面



「いいえ」を選択する

手順５～６を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷に失敗します。そのときは、〔印刷中止〕をクリックしてください。

デジタル署名の警告画面



表示された場合は、〔はい〕をクリックする

5　*印刷データのスプール方法を変更する*

次の手順で印刷データのスプール方法を変更します。

1〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、LPR印刷を行うプリンタを選択します。

2〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示します。

3〔詳細設定〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

6　*双方向通信を無効にし、ポートの構成を設定する*

1 プリンタのプロパティから〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

2〔OK〕をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

Windows XP のとき

Windows XP では、次の手順で LPR 印刷を行うことができます。
なお、Printianavi 機能は使用できませんのであらかじめご了承ください。

準　備

LPR 印刷を行う前に、以下の準備が必要です。

プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。

参照　設定方法は、「IP アドレスの設定方法」（34 ページ）参照

サービスの組み込み

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 ***〔オプション ネットワーク コンポーネント〕ウィザードを表示する***

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕〔ネットワーク接続〕の順に選択し、〔詳細設定〕メニューから〔オプション ネットワークコンポーネント〕を選択します。

2 ***「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか確認する***

〔そのほかのネットワークファイルと印刷サービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか（右側に「0.0MB」と表示されているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

3 ***「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認する***

〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか（右側に「0.0MB」と表示されているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

以降は、〔次へ〕をクリックして画面の指示にしたがって、操作をしてください。

手　順

1 ***Windows XPを起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする***

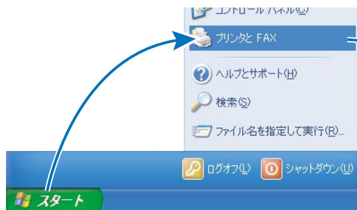
2 ***添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する***



終了をクリックする

3 ***プリンタの追加ウィザードを起動する***

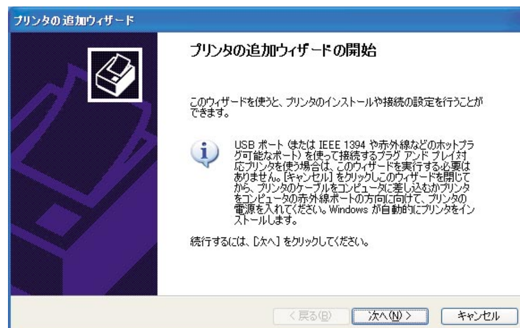
〔スタート〕から
〔プリンタとFAX〕を選択





〔プリンタのインストール〕をクリック

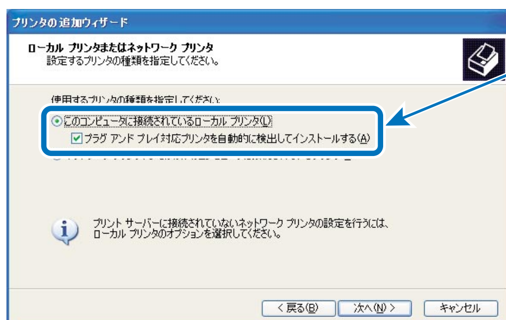
〔プリンタの追加ウィザード〕が起動



4　画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールする

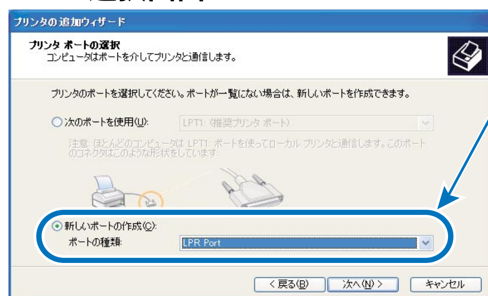
以降に表示される画面において、注意が必要な内容について説明します。
（次の 8 つの画面に注意してください。）

プリンタの接続先の選択画面



「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグ　アンド　プレイ　プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外す

ポートの選択画面



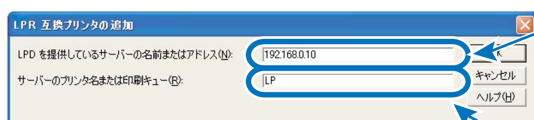
「新しいポートの作成」を選択し、「ポートの種類」のリストから「LPR　Port」を選択して〔次へ〕をクリックする

〔LPR 互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。
次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面



IP アドレスを入力する

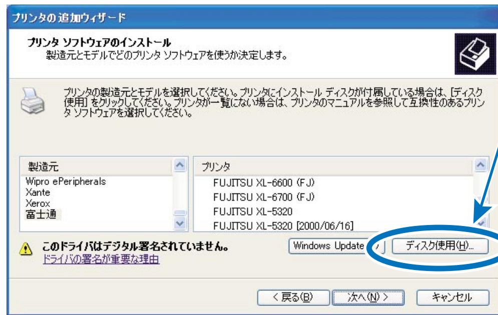
半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「LP」と入力する

ガイド

「サーバーのプリンタ名または、印刷キュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN カード XL-LN100 やプリンタ LAN アダプタ FM-LNA100 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

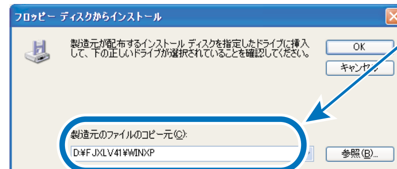
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

CD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするので、〔ディスク使用〕をクリックします。

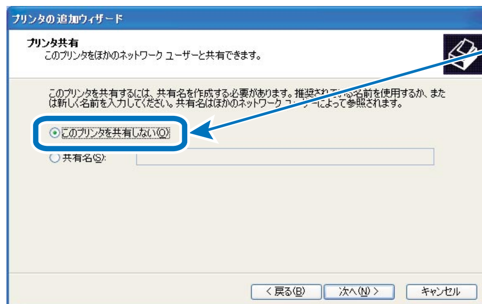
製造元のファイルのコピー元の指定画面



「製造元のファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定する

※ CD-ROMドライブがD:のときは、「D:\FJXLV41\WIN2K」と指定します。

プリンタ共有の選択画面

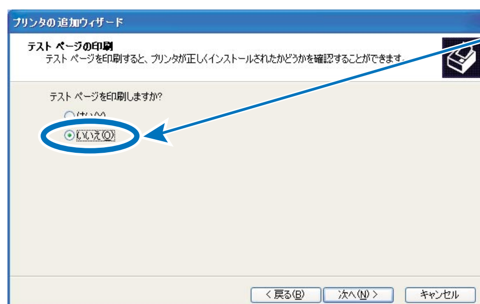


「このプリンタを共有しない」を選択する

共有設定はインストールの後で行います。

ここでは、「このプリンタを共有しない」を選択して先に進んでください。

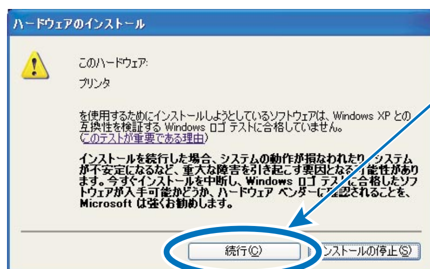
テストページ印刷の選択画面



「いいえ」を選択する

手順５～６を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷に失敗します。そのときは、〔印刷中止〕をクリックしてください。

デジタル署名の警告画面



表示された場合は、〔続行〕をクリックする

5　*印刷データのスプール方法を変更する*

次の手順で印刷データのスプール方法を変更します。

1 〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択します。

2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示します。

3 〔詳細設定〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

6　*双方向通信を無効にし、ポートの構成を設定する*

1 プリンタのプロパティから〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外します。

2 〔OK〕をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

NetWare5 のとき

本プリンタは、Novell NetWare5 の NDPS を使用して TCP/IP 環境での LPR 印刷が可能です。

ここでは、本プリンタを Novell NetWare5 の NDPS で使用する場合の NDPS プリンタの作成手順（管理者のみ）について説明します。NDPS に関する詳細な情報については、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianavi の機能はご使用になれませんのでご了承ください。

準　備

プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスは固定で取得するように設定してください。

参照　設定方法は、「IP アドレスの設定方法」（34 ページ）参照

なお、添付ソフトウェアによって I P アドレスを設定する場合は、Printianavi ネットワークポートモニタのポートを作成する必要はありません。

NDPS のセットアップ

あらかじめ、NDPS をサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。

手　順

NDPS マネージャの作成を行ってから、NDPS プリンタの作成を行います。

NDPS マネージャの作成

1　***NetWare アドミニストレータを起動する***

\SYS\PUBLIC\WIN32\NWADMN32.EXE を実行してください。

2　***NDPS マネージャを置くコンテキストに移動する***

3　***〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする***

4　***〔NDPS Manager〕をクリックし〔ＯＫ〕をクリックする***

5 NDPSマネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリュームを設定する

NDPS マネージャ名 ....作成するNDPSマネージャの名前を入力します。
常駐先サーバ ....右の〔参照〕をクリックし、NDPS マネージャを常駐させるサーバを選択します。
データベースボリューム ....右の〔参照〕をクリックし、NDPS マネージャが利用するデータベースを置くボリュームを選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

NDPS プリンタの作成

1 NDPS プリンタを置くコンテキストに移動する

2 〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする

3 〔NDPS Printer〕をクリックし、〔ＯＫ〕をクリックする

4 NDPSプリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する

NDPS プリンタ名 ....作成するNDPSプリンタの名前を入力します。
プリンタエージェントのソース ....「新規プリンタエージェントを作成する」を選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

5 NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する

NDPS マネージャ名 ....右の〔参照〕をクリックし、先ほど作成した NDPS マネージャを選択します。
ゲートウェイタイプ ....「Novellプリンタゲートウェイ」をクリックします。

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

6 NDPS マネージャをロードする

「NDPSマネージャがロードされていません。ロードしますか？」という意味の警告が表示されます。ここでは〔OK〕をクリックしNDPSマネージャをロードしてください。

7 プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novellポートハンドラ」を選択し、〔OK〕をクリックする

8 接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する

接続タイプ ....「リモート（IP 上で LPR)」を選択します。
ホストアドレス ....本プリンタの IP アドレスを入力します。
プリンタ名 ....「LP」と入力します。

設定が終わったら、〔完了〕をクリックしてください。

9 〔プリンタドライバの選択〕画面で、接続したプリンタを選択する

一覧にない場合は「なし」を選択してください。(ブローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。詳細は Novell のマニュアルを参照してください。)
プリンタの選択が終わったら、〔続行〕をクリックし、〔OK〕をクリックしてください。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照 **プリンタドライバの設定方法や機能を知りたいとき**
「第 12 章　プリンタドライバの設定」(205 ページ）参照

参照 **プリンタドライバの印刷機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき**
「便利な印刷機能」(219 ページ）参照

5

セットアップ編

NetWare環境での印刷設定

ここでは、NetWare環境から印刷するための手順の概要を説明します。

お願い

本プリンタでサポートしている環境は次のとおりです。
- **NetWare 3.xJ**
- **NetWare 4.xJ（バインダリモードのプリントサーバモードのみ）**

NetWare 4.xJのNDSモードはサポートしていません。バインダリモードのプリントサーバモードでお使いください。

設定の前に

印刷設定の前に、以下の環境が整っているか、確認してください。

準　備

パソコン側：

NetWare環境の印刷設定を行うためには、以下の環境が必要です。

- Windows 95/98/MeおよびNovell NetWare（Workstation Shell 4.0 and above〔VLM〕）
- Windows 95/98/MeおよびNovell NetWare Client 32

また、IPX/SPX互換プロトコル、NetWareクライアントサービスをあらかじめ組み込んでおく必要があります。

プリンタ側：

NetWareプロトコルが有効に設定されている必要があります。

手　順

1　*ネットワーク設定ユーティリティを管理者のパソコンにインストールする*

CD-ROMの「WXLSETUP」フォルダにある「INSTALL.EXE」を実行すると、セットアップが起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。

参照　インストール方法の詳細
『ソフトウェアマニュアル』NetWare編「第２章　Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ」参照

2　*NetWare環境で印刷するための設定を行います。*

以降で、サーバ側とクライアント側でのそれぞれの設定について説明します。

参照　詳細は、『ソフトウェアマニュアル』NetWare編「第3章 NetWare印刷の設定」参照

サーバ（管理者）側の設定

プリンタLANポートのNetWare動作環境設定（管理者のみ）

1　*NetWareサーバにスーパーバイザでログインする*

2　*ネットワーク設定ユーティリティを起動する*

3　*プリンタの一覧から環境設定を行うプリンタを選択する*

4　*NetWareプロトコルの設定を選択する*

5　*設定を行う*

画面に従って、マシン名、パケット形式、動作モード、動作モード別の詳細設定、NetWareポート名を設定し、設定内容をプリンタに反映して終了します。

ガイド　手順3でプリンタの一覧に該当するプリンタが表示されない場合は、LAN設定の一覧で「NetWare設定」が「有効」に設定されているか確認してください。「NetWare設定」が「無効」となっている場合には、「有効」に変更します。

5

セットアップ編

NetWareプロトコルの設定項目（管理者のみ）

マシン名 .... プリントサーバモード時のプリントサーバ名として使用します。

パケット形式 .... 802.2が初期値です。NetWareサーバが認識できるパケット形式を選択します。

動作モード .... リモートプリンタモードとプリントサーバモードを選択します。
リモートプリンタモードでは、ネットワーク内に対応するNetWareのプリントサーバが起動している必要があります。
プリントサーバモードでは、プリンタ自身がNetWareのプリントサーバとして動作するため、専用のプリントサーバを起動する必要はありません。ただし、NetWareファイルサーバに１ユーザとしてログインします。
リモートプリンタモードでは最大8台のプリントサーバに接続して、最大８ 個のプリントキューを処理することができます。プリントサーバモードでは最大8台のファイルサーバに接続して、最大32個のプリントキューを処理することができます。

リモートプリンタ詳細 ...最大８台までのプリントサーバ名の登録とジョブタイムアウト時間を設定します。

プリントサーバ詳細 .. 最大８ 台までのファイルサーバ名の登録と、ファイルサーバにログインする際に必要となるパスワードの設定、およびジョブポーリング間隔を指定します。

NetWareポート名 ..... PCONSOLEの「プリントサーバ情報」の「プリンタの構成」に使用する名前です。



マシン名、プリントサーバ名、ファイルサーバ名、パスワード、NetWareポート名に使用できる文字は31文字以内の半角英数字です。

NetWareサーバ側の設定手順（管理者のみ）

NetWareサーバ側の設定は、次の手順で行います。

お願い

サーバがNetWare 4.xJ(IntranetWare)の場合は、バインダリモードでログインし、プリントサーバモードで使用するように設定してください。
また、NetWare 4.xJのユーザに対してキューを公開する場合は、サーバにNDSモードでログイン後、キューユーザを追加してください。

1　NetWareサーバにスーパーバイザでログインし、PCONSOLEを実行する

2　「利用可能な項目」から「プリントキュー情報」を選択する

3　「プリントキュー情報」で〔Insert〕キーを押し、任意のプリントキュー名を追加する

4　〔Esc〕キーを押して「利用可能な項目」に戻り、「プリントサーバ情報」を選択する

5　「プリントサーバ」で〔Insert〕キーを押して新プリントサーバ名を入力する

リモートプリンタモードの場合は、任意のプリントサーバ名を、プリントサーバモードの場合はプリンタLANポートに設定したマシン名を入力します。

6　手順5で作成したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」の「プリントサーバ構成」を選択する

7　「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタの構成」を選択すると表示される「構成完了プリンタ」から「インストールされていません0」を選択する

「プリンタ0の構成」へ移行します。

8 **「プリンタ０の構成」画面の「名前：」に、プリンタLANポートに設定したNetWareポート名を入力する**

9 **「タイプ：」を選択し、「プリンタタイプ」に移行し、プリンタタイプで「リモートプリンタ、LPT1」を選択する**

10 **〔Esc〕キーを押して、設定を保存する**

11 **「プリントサーバ情報」に戻り、「プリントサーバ構成」、「プリンタでサービスされているキュー」を順に選択して「定義済みのプリンタ」へ移行し、「プリンタ０の構成」で設定したプリンタポート名を選択する**

12 **サービスキューリストで〔Insert〕キーを押して、「使用可能キュー」の中から「プリントキュー情報」で設定したキュー名を選択する**

13 **PCONSOLEを終了する**

14 **リモートプリンタモードのときは、PCONSOLEの設定を有効にするため、NetWareのプリントサーバを再起動する**

15 **すべての設定作業が終わったら、プリンタ本体の電源を再投入する**

クライアント側の設定

クライアントから印刷できるようにするための設定手順について説明します。

1 プリンタドライバをインストールする


参照　プリンタドライバのインストールの詳細
「第6章　プリンタドライバのインストール」(93ページ) 参照

インストール 中に印刷先ポートの指定を求められます。このときは、仮のポート（ローカルポート：LPT1など）を選択してください。



ここでは、実際に接続されていないポートを仮の印刷先として指定します。テストページ等の印刷は行わないでください。

2 印刷先ポートを変更する

手順１で仮に指定した印刷先ポートを変更します。パソコンのOSごとに、変更手順を説明します。

Windows 95/98/Meのとき

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、設定を行うプリンタを選択します。
2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択します。
3 〔詳細〕から〔ポートの追加〕をクリックします。
〔ポートの追加〕ダイアログが表示されます。
4 「ネットワーク」を選択し、「プリンタへのネットワークパス」にNetWare共有プリンタのパス（「\\ファイルサーバ名\プリントキュー名」）を指定します。

5

セットアップ編

Windows NT4.0/2000のとき

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、設定を行うプリンタを選択します。

2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択します。

3 〔ポート〕から〔ポートの追加〕をクリックします。
〔プリンタポート〕ダイアログが表示されます。

4 「Local Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。

5 〔ポート名〕ダイアログにNetWare共有プリンタのパス（「\\ファイルサーバ名\プリントキュー名」）を指定します。

Windows XPのとき

1 〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕の順に選択し、設定を行うプリンタを選択します。

2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択します。

3 〔ポート〕から〔ポートの追加〕をクリックします。
〔プリンタポート〕ダイアログが表示されます。

4 「Local Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。

5 〔ポート名〕ダイアログにNetWare共有プリンタのパス（「\\ファイルサーバ名\プリントキュー名」）を指定します。

Windows 3.1のとき

1 〔メイン〕グループの〔コントロールパネル〕をダブルクリックします。

2 〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕をダブルクリックします。

3 〔プリンタの設定〕ダイアログの「組み込まれているプリンタ」から設定を行うプリンタを選択し、〔接続〕をクリックします。

4 〔プリンタの接続〕ダイアログの〔ネットワーク〕をクリックしてNetWare共有プリンタのパス（「￥￥ファイルサーバ名￥プリントキュー名」）を指定してください。

以上で設定は終了です。テスト印刷を行って、正常に印刷されることを確認してください。

第6章

プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンにプリンタドライバ（Printia XL ドライバ）をインストールし、印刷できるようにするまでの操作について説明します。使用するOSによってインストール方法が異なりますので、それぞれの手順に従ってください。

Windows 95/98/Me のとき

ここでは、Windows 95/98/Me をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

準　備

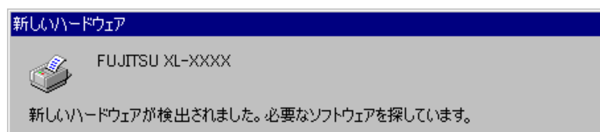
プリンタドライバのインストールには、**本プリンタに添付のCD-ROM**が必要です。

お願い

CD-ROMの「FJXLV41」フォルダ（または作成したフロッピーディスク）にある「WIN9X.TXT」ファイルには、プリンタドライバに関する留意事項などが記載されています。インストールの前に、メモ帳などでお読みください。

インストール

ここでは、CD-ROMからプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
※画面の例はWindows 98のものです。







1　Windows 95/98/Me を起動する

テスト印刷をすぐに行う場合は、プリンタの電源を入れておいてください。
プリンタケーブルで接続している場合は、Windows 起動後、プラグアンドプレイによって左のような画面が表示されることがあります。
このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

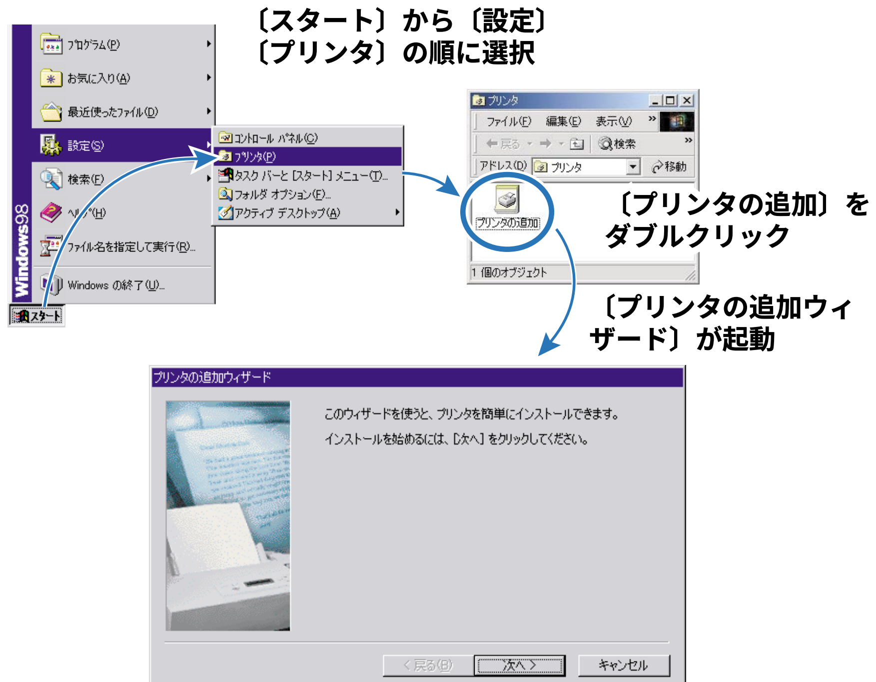
2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する



終了をクリック

3 プリンタの追加ウィザードを起動する

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択



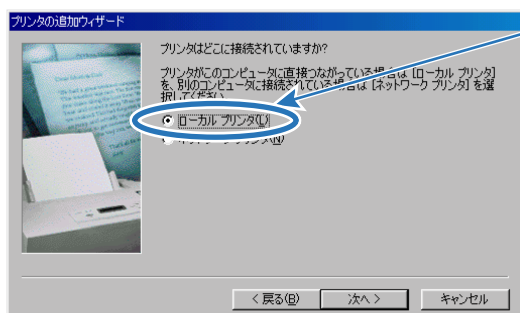
〔プリンタの追加〕をダブルクリック

〔プリンタの追加ウィザード〕が起動

4　画面の指示に従ってインストールする

プリンタの追加ウィザードが表示されたら、画面の指示に従ってインストールします。（次の４つの画面に注意してください。）

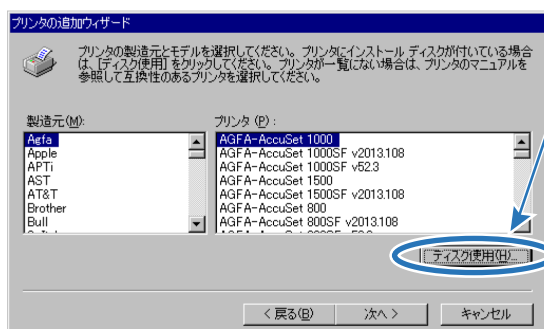
プリンタの接続先の選択画面



「ローカル プリンタ」を選択する

※この画面はパソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。

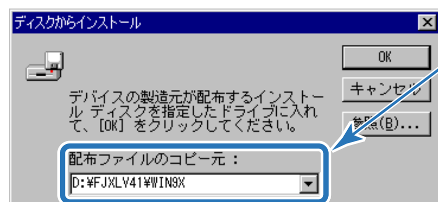
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

ここではCD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするため、〔ディスク使用〕をクリックします。

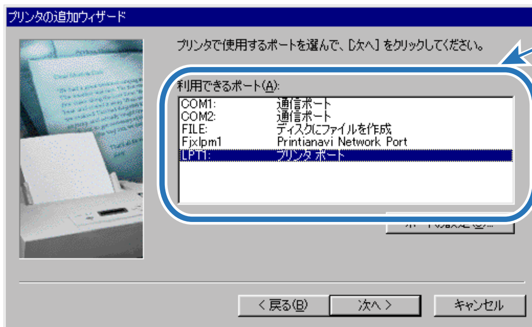
配布ファイルのコピー元の指定画面



「D:\FJXLV41\WIN9X」を指定する（CD-ROMドライブがD:のとき）

「配布ファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定します。

ポートの選択画面



プリンタの接続方法に合わせて、「利用できるポート」から使用するポートをクリックして選択する

プリンタケーブルで接続したとき

プリンタポート（通常はLPT1：）を選択

LAN（TCP/IP）で接続したとき

Printianavi Network Port（Fjxlpm1 など）を選択

以降の操作も画面の指示に従って進めてください。
ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

その他の設定については、以下を参考に設定してください。

参照　**このプリンタを他のパソコンと共有するとき**
「第 5 章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照
「第 7 章　プリンタ共有の設定」（113 ページ）参照

参照　**プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき**
「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照

参照　**インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき**
「第 14 章　こんなときには」（255 ページ）参照

6

セットアップ編

Windows NT4.0のとき

ここでは、Windows NT4.0をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

準　備

プリンタドライバのインストールには、**本プリンタに添付のCD-ROM**が必要です。

お願い

CD-ROMの「FJXLV41」フォルダにある「WINNT40.TXT」ファイルには、プリンタドライバに関する留意事項などが記載されています。インストールの前に、メモ帳などでお読みください。

インストール

ここでは、CD-ROMからプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

1　*Windows NT 4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする*

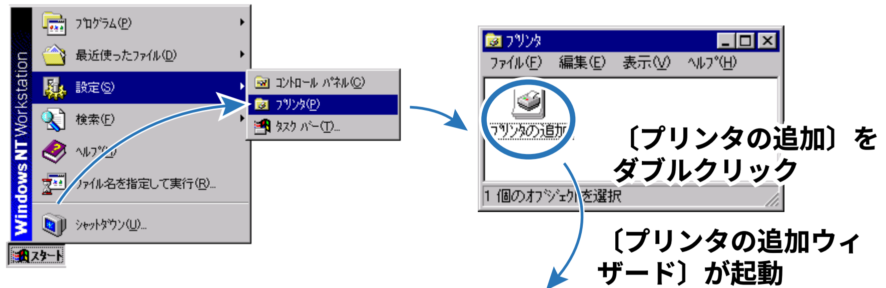
テスト印刷をすぐに行う場合は、プリンタの電源も入れておいてください。

2　*添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する*



3　プリンタの追加ウィザードを起動する

〔スタート〕から〔設定〕
〔プリンタ〕の順に選択

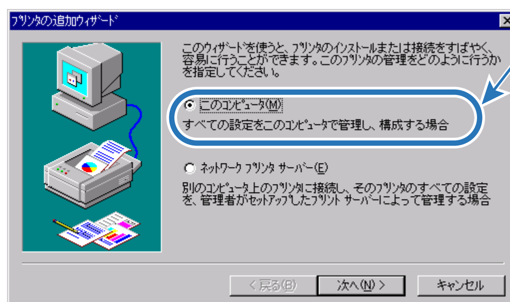




4　画面の指示に従ってインストールする

プリンタの追加ウィザードが表示されたら、画面の指示に従ってインストールします。（次の５つの画面に注意してください。）

プリンタの管理方法の指定画面



「このコンピュータ」を選択する

ポートの選択画面



プリンタの接続方法に合わせて、「利用可能なポート」から使用するポートをクリックして選択する

プリンタケーブルで接続したとき

プリンタポート（通常はLPT1：）を選択

LAN（TCP/IP）で接続したとき

Printianavi Network Port（Fjxlpm1など）を選択

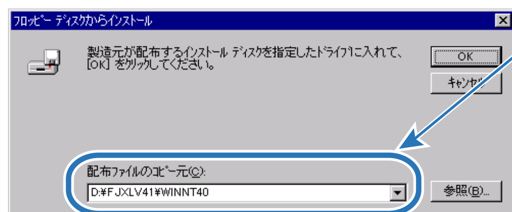
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

ここではCD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするため、〔ディスク使用〕をクリックします。

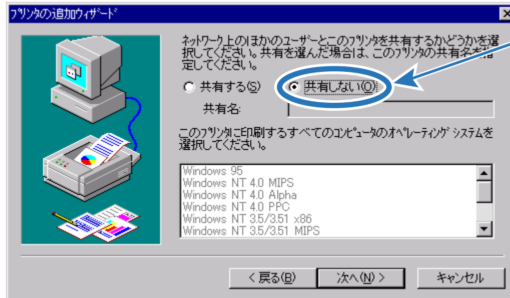
配布ファイルのコピー元の指定画面



「D：\FJXLV41\WINNT40」を指定する（CD-ROMドライブがD：のとき）

「配布ファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定します。

プリンタ共有の選択画面



「共有しない」を選択する

共有設定はインストールの後で行います。ここでは､「共有しない」を選択して先に進みます。

以降の操作も画面の指示に従って進めてください。
ファイルがコピーされ､〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

その他の設定については、以下を参考に設定してください。

参照　**このプリンタを他のパソコンと共有するとき**
「第５章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照
「第７章　プリンタ共有の設定」（113 ページ）参照

参照　**プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき**
「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照

参照　**インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき**
「第 14 章　こんなときには」（255 ページ）参照

Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

準　備

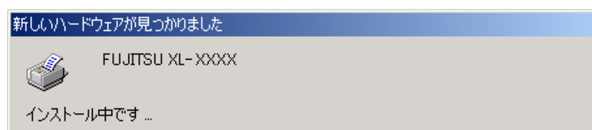
プリンタドライバのインストールには、**本プリンタに添付のCD-ROM**が必要です。

お願い

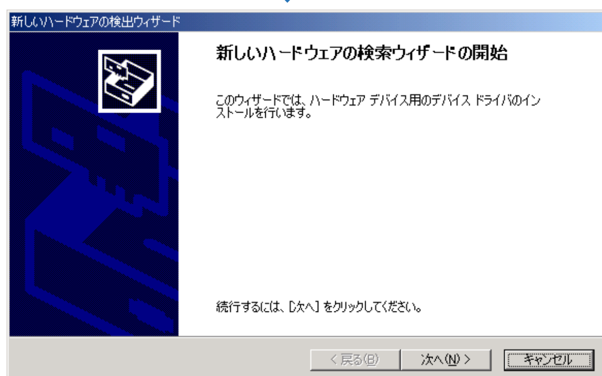
CD-ROMの「FJXLV41」フォルダにある「WIN2K.TXT」ファイルには、プリンタドライバに関する留意事項などが記載されています。インストールの前に、メモ帳などでお読みください。

インストール

ここでは、CD-ROMからプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。







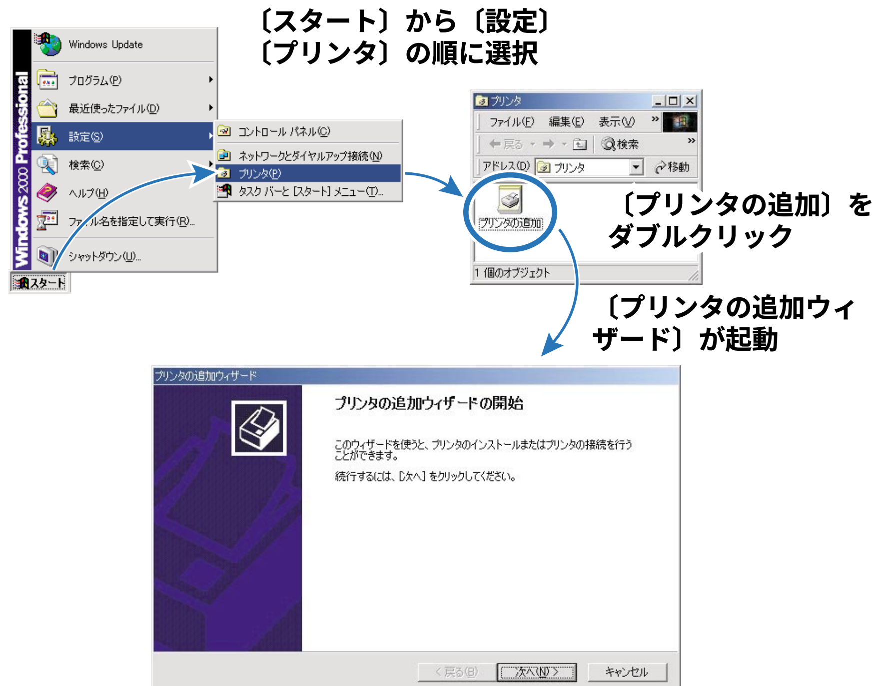
1 *Windows 2000 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする*

テスト印刷をすぐに行う場合は、プリンタの電源を入れておいてください。
プリンタケーブルで接続している場合は、Windows起動後、プラグアンドプレイによって左のような画面が表示されることがあります。このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

2　添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了する



3　プリンタの追加ウィザードを起動する



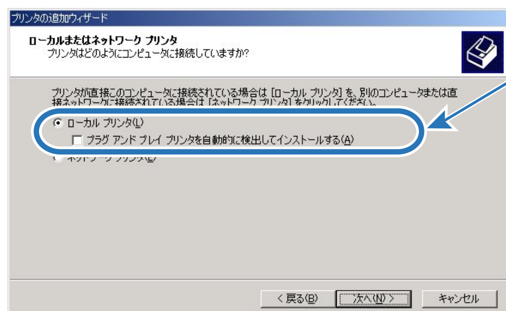
6

セットアップ編

4　画面の指示に従ってインストールする

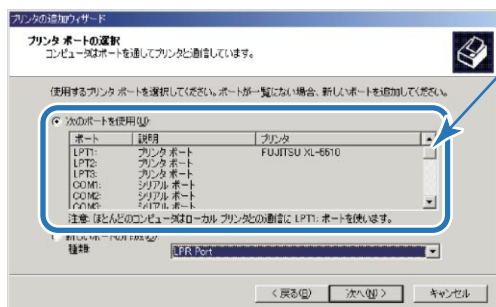
プリンタの追加ウィザードが表示されたら、画面の指示に従ってインストールします。（次の６つの画面に注意してください。）

プリンタの接続先の選択画面



「ローカル　プリンタ」を選択し、「プラグ　アンド　プレイ　プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外す

ポートの選択画面



「次のポートを使用」を選択し、一覧から使用するポートをクリックする

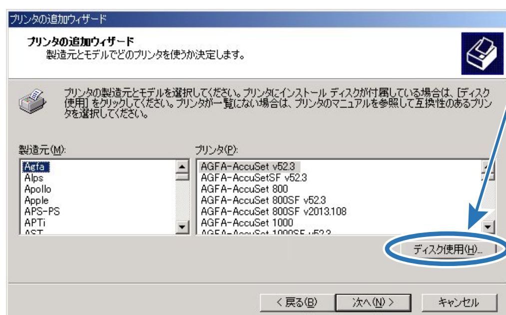
プリンタケーブルで接続したとき

プリンタポート（通常はLPT1：）を選択

LAN（TCP/IP）で接続したとき

Printianavi Network Port（Fjxlpm1など）を選択

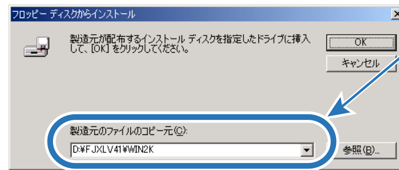
製造元とモデルの選択画面



〔ディスク使用〕をクリックする

ここではCD-ROMに収められているプリンタドライバをインストールするため、〔ディスク使用〕をクリックします。

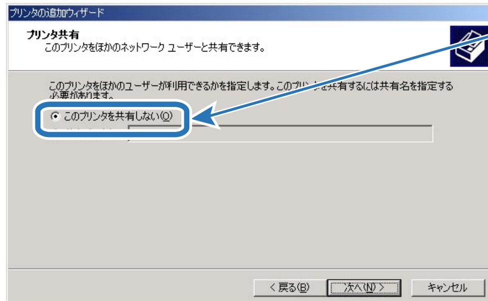
製造元のファイルのコピー元の指定画面



「D：\FJXLV41\WIN2K」を指定する（CD-ROM ドライブが D：のとき）

「製造元のファイルのコピー元」にプリンタドライバのフォルダ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定します。

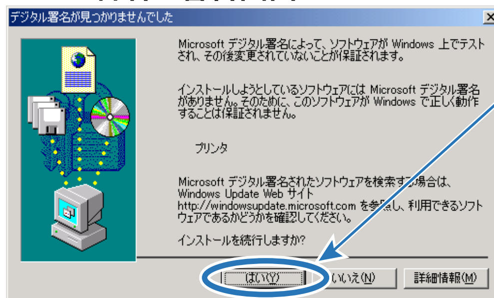
プリンタ共有の選択画面



「このプリンタを共有しない」を選択する

共有設定はインストールの後で行います。ここでは、「このプリンタを共有しない」を選択して先に進みます。

デジタル署名の警告画面



表示された場合は「はい」を選択する

以降の操作も画面の指示に従って進めてください。ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたら、プリンタドライバのインストールは完了です。

その他の設定については、以下を参考に設定してください。

参照　**このプリンタを他のパソコンと共有するとき**

「第５章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照
「第７章　プリンタ共有の設定」（113 ページ）参照

参照　**プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき**

「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照

参照　**インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき**

「第 14 章　こんなときには」（255 ページ）参照

6

セットアップ編

Windows XP のとき

ここでは、Windows XP をご使用の場合の、プラグアンドプレイによるプリンタドライバのインストール方法について説明します。

準　備

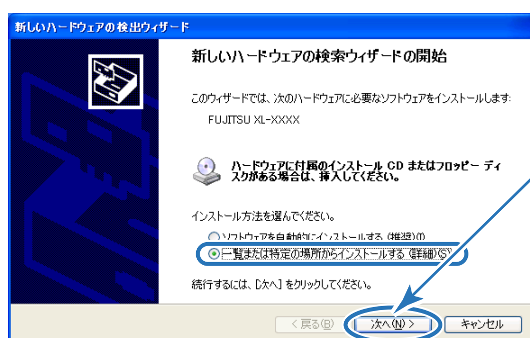
プリンタドライバのインストールには、**本プリンタに添付のCD-ROM**が必要です。

お願い

- **CD-ROMの「FJXLV41」フォルダにある「WINXP.TXT」ファイルには、プリンタドライバに関する留意事項などが記載されています。インストールの前に、メモ帳などでお読みください。**
- **他のパソコンに、XLプリンタドライバをインストールして使用していた方が、プリンタドライバの削除を行わずにWindows XPにアップグレードした場合、Windows XPの〔プリンタ〕フォルダからXLプリンタを削除した後、再インストールしてください。**

参照 **「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（241ページ）参照**

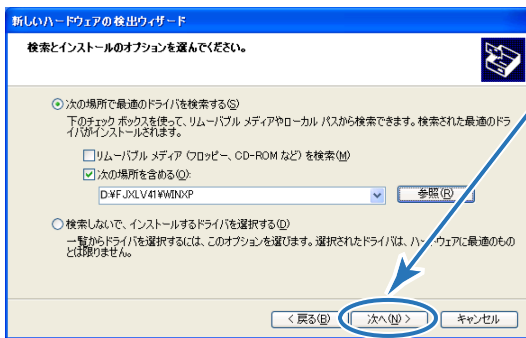
以降の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。



1 ***「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、〔次へ〕をクリックする***

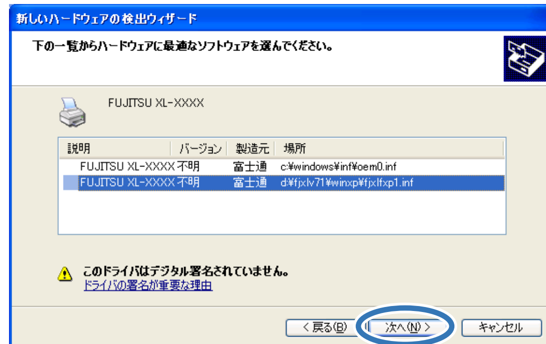


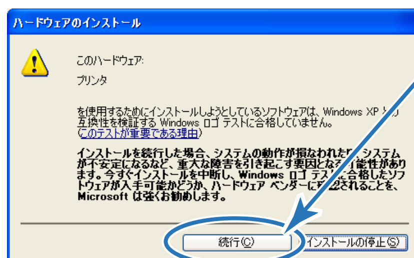
2 ***添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストーラ画面が表示された場合は終了をクリックする***



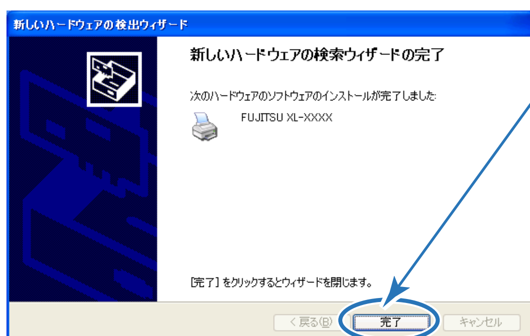
3 ***「次の場所を含める」をチェックし、「D：\FJXLV41\WINXP」（CD-ROMドライバがD:の場合）を入力し、〔次へ〕をクリックする***

ガイド 環境によっては次の画面が表示される場合があります。「c:windows\inf\oemX.inf」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。X：任意





4 ***〔続行〕をクリックする***



5 ***必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする***

以上でインストールは完了です。



通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、〔FUJITSU XL-6100〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕メニューから〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。



このプリンタを他のパソコンと共有するとき
「第 5 章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照
「第 7 章　プリンタ共有の設定」（113 ページ）参照



プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照



インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 14 章　こんなときには」（255 ページ）参照

Windows 3.1のとき

ここでは、Windows 3.1をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

準　備

プリンタドライバのインストールには、**本プリンタに添付のCD-ROM**が必要です。

お願い

CD-ROMの「FJXLV41」フォルダにある「WIN31.TXT」ファイルには、プリンタドライバに関する留意事項などが記載されています。インストールの前に、メモ帳などでお読みください。

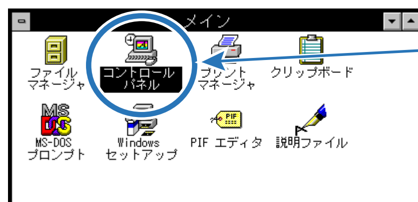
インストール

ここでは、CD-ROMからプリンタドライバをインストールする方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

1　*Windows 3.1を起動する*

テスト印刷をすぐに行う場合は、プリンタの電源を入れておいてください。

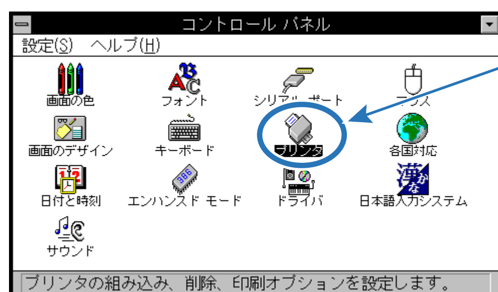
2　*添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする*



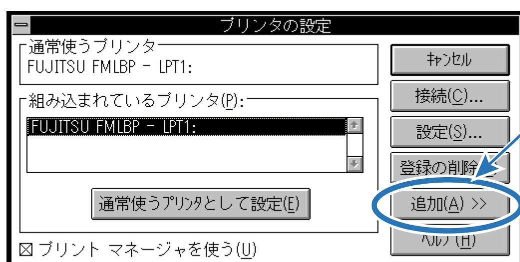
3　*〔メイン〕グループの〔コントロールパネル〕をダブルクリックする*

6

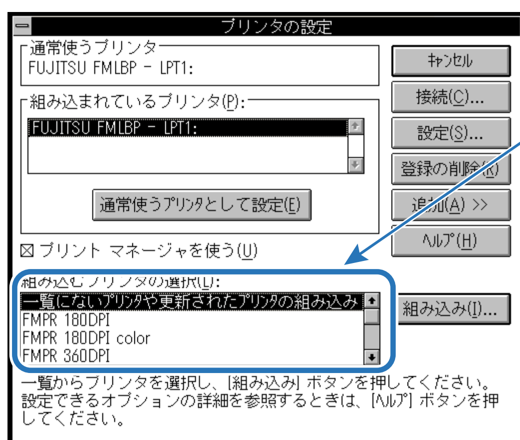
セットアップ編



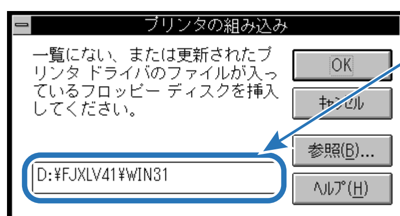
4 〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕をダブルクリックする



5 〔追加〕ボタンをクリックする

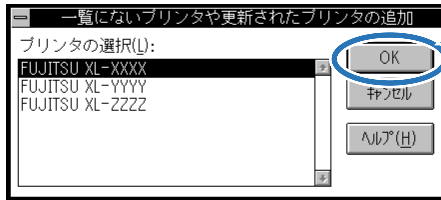


6 「組み込むプリンタの選択」リストボックスの「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択し、〔組み込み〕ボタンをクリックする



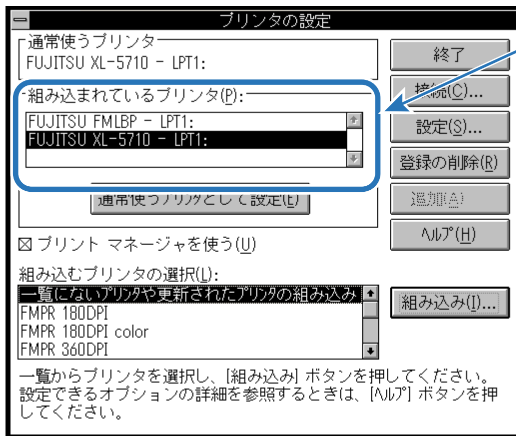
7 「D：\FJXLV41\WIN31」を指定して〔OK〕をクリックする（CD-ROMドライブがD：のとき）

テキストボックスにプリンタドライバのディレクトリ名を直接入力するか、〔参照〕をクリックして指定します。



8 プリンタを選択して〔OK〕をクリックする

実際の画面ではインストール可能なプリンタのモデル名がリストアップされます。



9 通常使うプリンタの設定を行う

「組み込まれているプリンタ」から通常使うプリンタに設定するプリンタを選択して、〔通常使うプリンタとして設定〕ボタンをクリックします。
〔終了〕をクリックすると、インストールが完了します。

その他の設定については、以下を参考に設定してください。

参照 **このプリンタを他のパソコンと共有するとき**
「第５章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照
「第７章　プリンタ共有の設定」（113 ページ）参照

参照 **プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき**
「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照

参照 **インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき**
「第 14 章　こんなときには」（255 ページ）参照

6

セットアップ編

第7章
プリンタ共有の設定

この章では、プリンタドライバをインストールしたパソコン（サーバ）から印刷可能なプリンタを、他のパソコン（クライアント）からもサーバ経由で印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 95/98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 95/98/Me のパソコンから共有プリンタを使用するために必要な設定について説明します。

サーバ側の設定

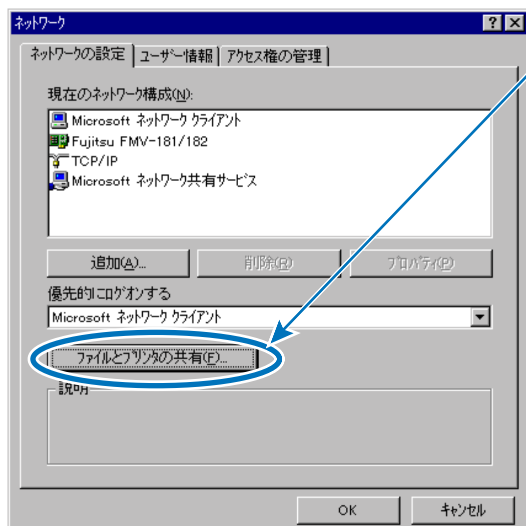
サーバ側で必要な設定について説明します。

準　備

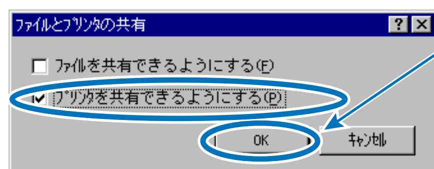
ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1　〔ネットワーク〕プロパティを開く

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。



2　〔ファイルとプリンタの共有〕をクリックする



3　「プリンタを共有できるようにする」を選択し、〔OK〕をクリックする

4　〔ネットワーク〕プロパティの〔OK〕をクリックして閉じ、Windows を再起動する

設　定

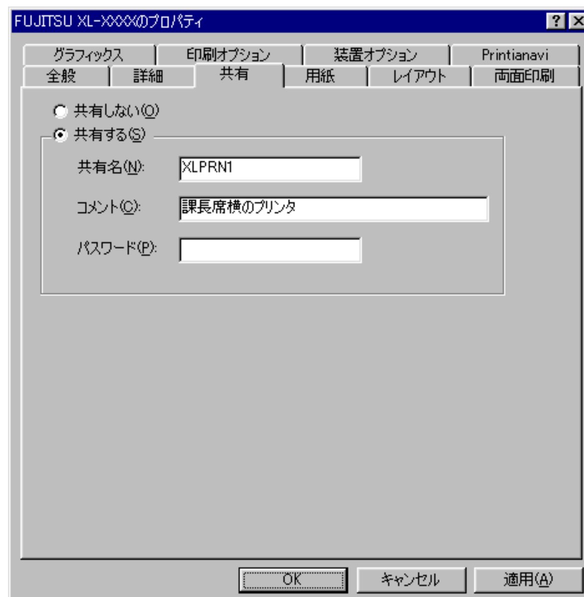
共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1　***〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする。***

2　***〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する***

3　***「共有する」を選択し、共有名を入力する***

必要ならコメント、パスワードを入力してください。



共有名 ……… 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント ……. プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード ….. 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

4　*Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする*

以下の条件を満たしている場合は、Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

・TCP/IPプロトコルを使用している
・Printianaviが有効になっている
・クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPである

参照　インストール方法の詳細
「Printianaviネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132ページ）参照

クライアント側の設定

Windows 95/98/Meのクライアントから共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 95/98/MeのクライアントからWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ....Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント ...Windows 95/98/Meが動作するパソコンです。

参照　代替インストールは、「サーバ側の設定」（Windows NT4.0は118ページ、Windows 2000/XPは123ページ）参照

設　定

1　エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕（Windows Meは〔スタート〕から〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕）の順に選択します。

2　サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク　コンピュータ〕（Windows Meは〔マイネットワーク〕）をクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3　設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

4　Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする

以下の条件を満たしている場合は、Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

- TCP/IPプロトコルを使用している
- 共有プリンタのPrintianaviが有効になっている
- サーバのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPで、Printianaviネットワーク連携ユーティリティがインストールされている



インストール方法の詳細
「Printianaviネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132ページ）参照

7

セットアップ編

Windows NT4.0のとき

ここでは、OSがWindows NT4.0のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

設　定

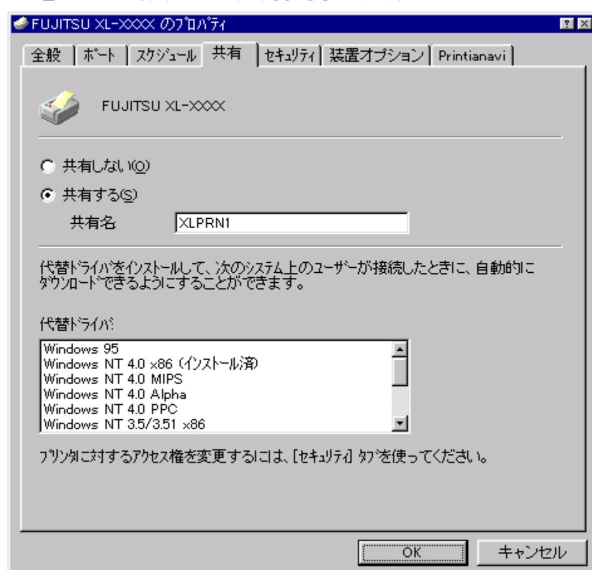
共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1　Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2　〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

3　共有するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

4　「共有する」を選択し、共有名を入力する

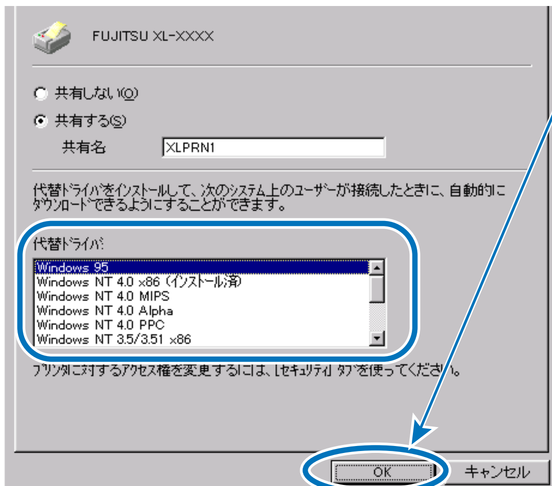


共有名 ... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
ただし、全角７文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Meの場合は、引き続き手順5以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。



代替ドライバをインストールしないときは、〔ＯＫ〕をクリックして設定を終了します。



5 「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択し、〔OK〕をクリックする

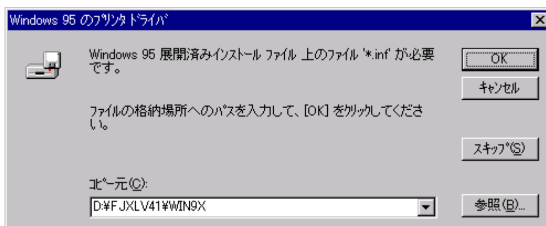


Windows 98/Meの代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、〔OK〕をクリックする



CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



7 「コピー元」に「D:\FJXLV41\WIN9X」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV41\WIN9X」を選択する（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

8 Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする

以下の条件を満たしている場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

・TCP/IP プロトコルを使用している
・Printianavi が有効になっている
・クライアントの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP である

参照　インストール方法の詳細
「Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132 ページ）参照

クライアント側の設定

ここでは、Windows NT4.0をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows NT4.0のクライアントからWindows NT4.0/2000/XPのサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってサーバからプリンタドライバのインストールが簡単に行えます。



サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

準　備

クライアント側の設定には、本プリンタに添付のCD-ROMが必要です。（サーバがWindows 95/98/Meのとき）

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ....Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント ...Windows NT4.0が動作するパソコンです。

設　定

1　エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Windows NTエクスプローラ〕の順に選択します。

2　サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から、共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

4 Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする

以下の条件を満たしている場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

- TCP/IP プロトコルを使用している
- 共有プリンタの Printianavi が有効になっている
- サーバの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP で、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティがインストールされている

参照　インストール方法の詳細
「Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132 ページ）参照

Windows 2000/XPのとき

ここでは、OSがWindows 2000/XPのパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

1　Windows 2000/XPを起動し、管理者権限でログオンする

2　Windows 2000の場合：

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択します。

Windows XPの場合：

〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、共有するプリンタをクリックします。

3　〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

4　「共有する」（Windows XPの場合は「このプリンタを共有する」）を選択し、共有名を入力する



共有名 ...... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。
ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

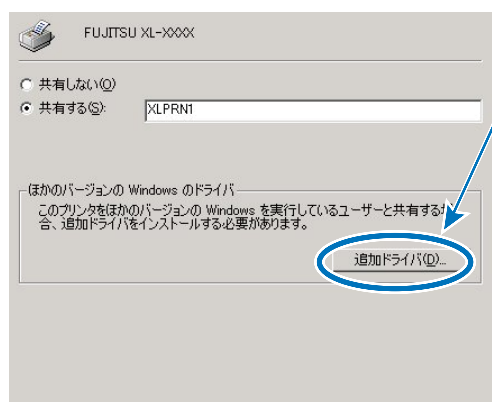
7

セットアップ編

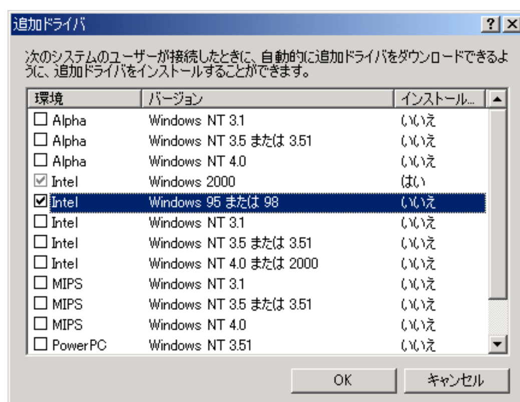
クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0の場合は、引き続き手順5以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。
（画面はWindows 95/98/Meの追加ドライバをインストールする場合）



- 追加ドライバをインストールしないときは、〔ＯＫ〕をクリックして設定を終了します。
- 共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリントドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。



5 〔追加ドライバ〕をクリックする

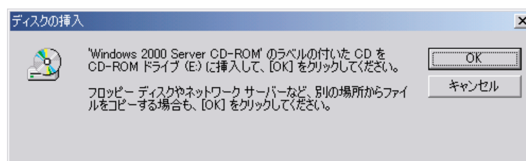


6 「追加ドライバ」リストからクライアントのＯＳをチェックし、〔ＯＫ〕をクリックする

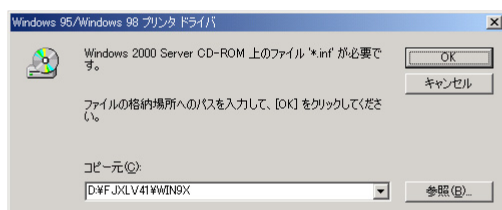
（画面はクライアントがWindows 95/98/Me用のとき）



添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットにセットして、〔OK〕をクリックしてください。



CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



7　「コピー元」にクライアントのＯＳ用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

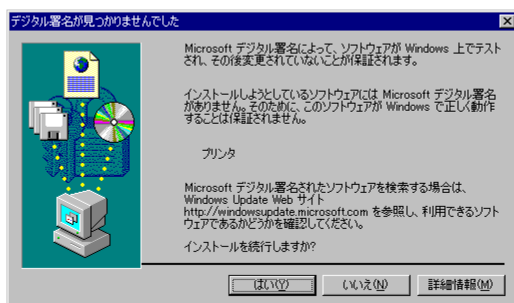


プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。（CD-ROM ドライブが D:の場合）

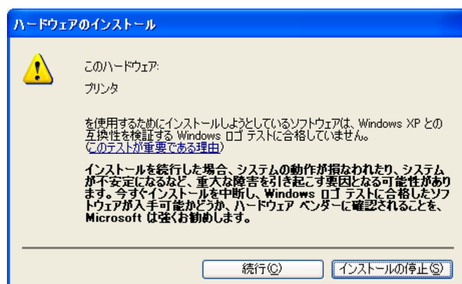
クライアントの OS	フォルダ名 （CD-ROM の場合）
Windows 95/98/Me	D:\FJXLV41\WIN9X
Windows NT4.0	D:\FJXLV41\WINNT40

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

- Windows 2000 のとき
  〔デジタル署名が見つかりませんでした〕ダイアログボックスが表示されたときは「はい」を選択してください。



- Windows XP のとき
  〔ハードウェアのインストール〕ダイアログボックスが表示されたときは、「続行」を選択してください。



8　*Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする*

以下の条件を満たしている場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

- TCP/IP プロトコルを使用している
- Printianavi が有効になっている
- クライアントの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP である

参照　インストール方法の詳細
「Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132 ページ）参照

クライアント側の設定

Windows 2000/XP をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 2000/XP のクライアントから Windows 2000/XP のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

ネットワークインストール

Windows 2000/XP のクライアントから Windows 2000/XP のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバがWindows 2000/XP以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」（128 ページ）でインストールしてください。

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 2000/XP が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 2000/XP が動作するパソコンです。

設　定

1　*Windows 2000の場合：*

〔スタート〕から〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択します。

Windows XPの場合：

〔スタート〕から〔プログラム一覧〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択します。

2　*〔マイネットワーク〕の〔ネットワーク全体〕を表示し、〔コンピュータの検索〕（Windows XPの場合は〔検索〕）をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する*

検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3　*設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする*

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

4　*Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする*

以下の条件を満たしている場合は、Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

- TCP/IPプロトコルを使用している
- 共有プリンタのPrintianaviが有効になっている
- サーバのOSがWindows 2000/XPで、Printianaviネットワーク連携ユーティリティがインストールされている



インストール方法の詳細
「Printianaviネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132ページ）参照

7

セットアップ編

ポート変更による方法

Windows 2000/XP のクライアントからサーバが Windows 2000/XP 以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定してCD-ROMからプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。
この際、管理者権限でログオンしてください。

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Winsows 95/98/Me/NT4.0が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント ... Windows 2000/XP が動作するパソコンです。

設　定

1　*プリンタドライバをインストールする*

参照　プリンタドライバのインストールの詳細
「第６章　プリンタドライバのインストール」（93ページ）参照

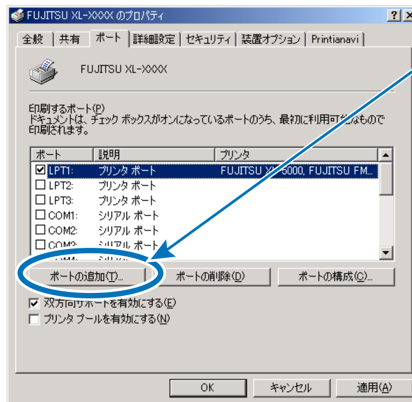
インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

お願い　**手順２を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。**

2　*印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する*

1 **Windows 2000 の場合：**
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する
Windows XP の場合：
〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、設定を行うプリンタを選択する

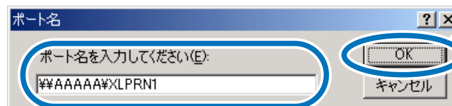
2 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕タブをクリックする



3〔ポートの追加〕をクリックする



4「Local Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックする



5〔ポート名〕ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「\\ サーバのネットワークコンピュータ名 ¥ プリンタの共有名」）を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

3　*Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする*

以下の条件を満たしている場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティをインストールすることにより、印刷を行ったクライアント側にPrintianaviによるプリンタの状態表示やエラーメッセージを表示することができます。

- TCP/IP プロトコルを使用している
- 共有プリンタの Printianavi が有効になっている
- サーバの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0 で、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティがインストールされている

参照　インストール方法の詳細
「Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132 ページ）参照

7
セットアップ編

Windows 3.1のとき

ここでは、OSがWindows 3.1のクライアントから共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

クライアント側の設定

Windows 3.1のクライアントから共有プリンタを使用する場合は、CD-ROMからプリンタドライバのインストールを行ったあと、接続先を変更して共有プリンタに接続します。

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ....Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ...Windows 3.1が動作するパソコンです。

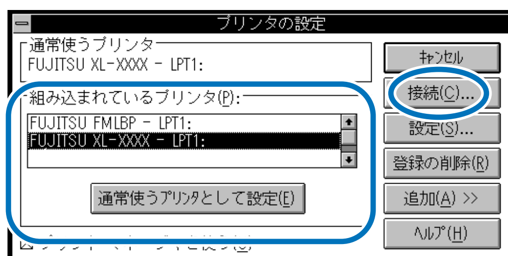
設　定

1　プリンタドライバをインストールする

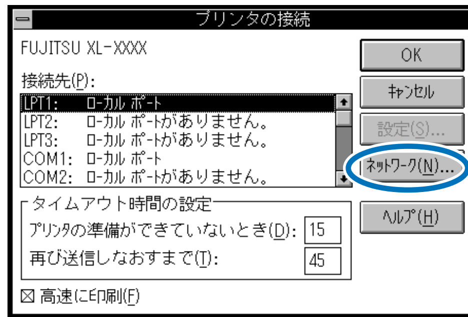
参照　プリンタドライバのインストールの詳細
「第６章　プリンタドライバのインストール」（93ページ）参照

2　接続先を共有プリンタのネットワークパスに変更する

1 〔メイン〕グループの〔コントロールパネル〕をダブルクリックし、〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕をダブルクリックします。



2 「組み込まれているプリンタ」から設定するプリンタを選択し、〔接続〕をクリックする



3 〔ネットワーク〕をクリックし、共有プリンタのネットワークパスを指定する

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストール

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは、サーバ共有プリンタの状態やエラーメッセージをクライアントに表示させるためのソフトウェアです。
本ユーティリティは、サーバとクライアントの両方にインストールします。

準　備

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールには、本プリンタに添付の CD-ROM が必要です。

また、設定の前に以下の条件を満たしていることを確認してください。

ネットワーク ... TCP/IP で接続
サーバ .... Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコン
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント ... Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコン

インストール

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティは、以下の手順でインストールします。

1　*Windows を起動する*

Windows NT4.0/2000/XP の場合は管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。



実行中のアプリケーションがある場合は、終了させておいてください。

2　添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールを開始する



〔ネットワーク連携ユーティリティ〕をクリックする

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのインストールは、左のインストーラ画面から開始します。

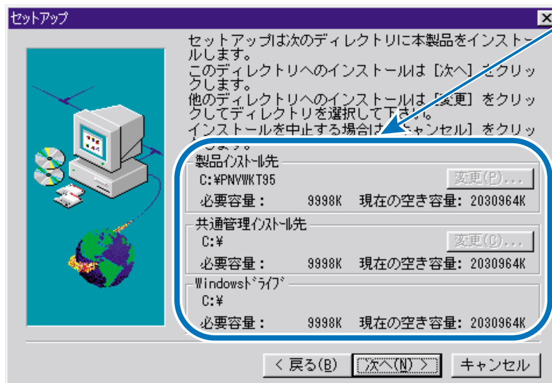
※ インストーラ画面が表示されない場合は、CD-ROM 直下の SETUP.EXE（CD-ROM ドライブがD:のときは「D:\SETUP.EXE」）を実行して表示させてください。

3　画面の指示に従ってインストールする

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティのセットアッププログラムが表示されたら、画面の指示に従ってインストールします。

インストール中、次の画面では注意して指定してください。（画面は Windows 95/98 の場合）

インストール先の指定画面



インストール先を指定する

画面に表示されたディレクトリにインストールする場合は〔次へ〕をクリックしてください。

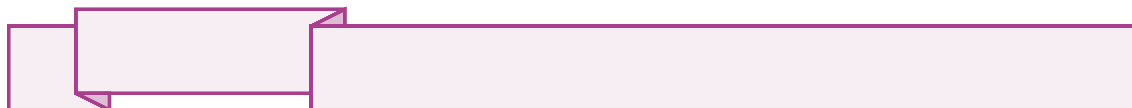
- 多階層（c:\aaa\bbb\ccc）のディレクトリ指定はできません。
  表示されたインストール先を変更する場合は注意してください。
- 再インストールのときは、インストール先は変更できません。

参照 Printianavi ネットワーク連携ユーティリティの詳細
『ソフトウェアマニュアル』「第５章　Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」参照

参照 プリンタドライバの機能を使っていろいろな印刷を行いたいとき
「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照

参照 インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 14 章　こんなときには」（255 ページ）参照

運　　用　　編



第8章

用紙について

本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙

本プリンタで使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙カセット	普通紙（再生紙）	Ａ３タテ Ｂ４タテ Ａ４ヨコ Ｂ５ヨコ Ａ５ヨコ リーガルタテ レターヨコ	60～90g/㎡	約500枚（重量64g/㎡の用紙の場合）
給紙トレイ	普通紙（再生紙）	100×148～297×420㎜	60～135g/㎡	約200枚（重量64g/㎡の用紙の場合）
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/㎡	約75枚
	OHPﾌｨﾙﾑ	A4ヨコ	60～135g/㎡	約75枚
	ラベル紙	A4ヨコ	60～135g/㎡	約75枚

お願い

- **用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。**
- **はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。**
- **官製はがき、厚紙（重量90g/㎡～135g/㎡）、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙は、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。**

普通紙

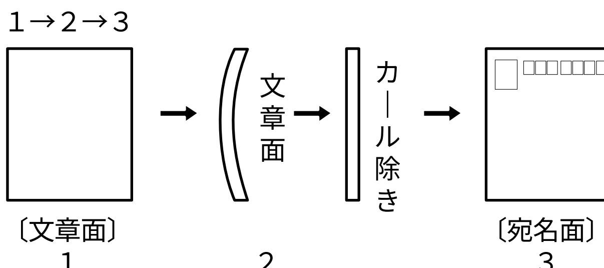
本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。

参照　サプライ用紙の詳細
「サプライ用品のご紹介」（164ページ）参照

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に印刷してください。

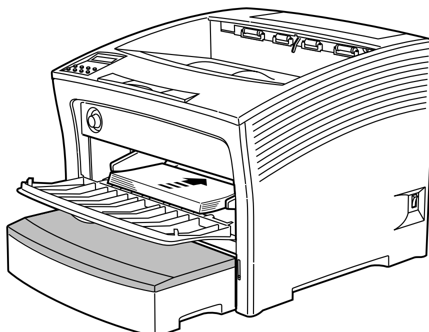
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2㎜以内の反りになるように修正してから印刷してください。



官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

・印刷面を上にしてセットしてください。

・給紙トレイに横長方向にセットしてください。



・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

ＯＨＰフィルム

定着時の熱（約190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い

OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

使用できない用紙

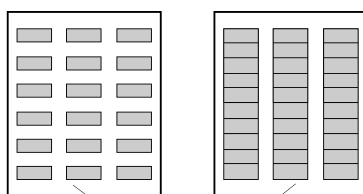
以下の用紙は本プリンタでは使用できません。

本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

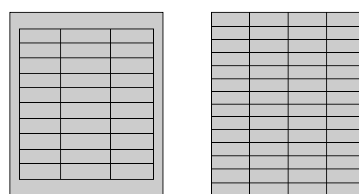
- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190°Cの熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 190°Cの熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

×使用できません



つるつるした台紙面

○使用できます



全面ラベル紙

両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。

官製はがき、厚紙（重量90g/㎡～135g/㎡）、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙

給紙カセットで使用できない用紙

以下の用紙は給紙カセットでは使用できません。

官製はがき、厚紙（重量90g/㎡～135g/㎡）、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。
- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らなパレットの上
- 温度 20℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。
- 床の上に直接置く
- 直射日光の当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や、曲がりのある場所
- 静電気が発生するところ
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。
- 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む



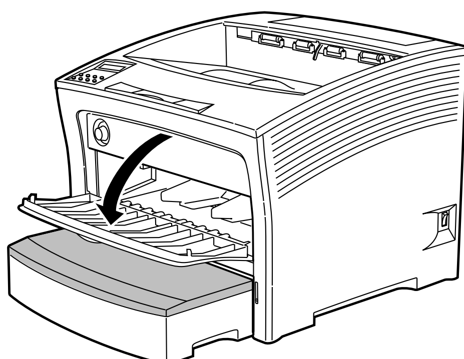
長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

用紙のセット（給紙トレイ）

給紙トレイに用紙をセットする方法について説明します。

参照　**給紙カセットに用紙をセットする手順**は、「給紙カセットに用紙をセットする」（18ページ）参照

次の手順に従って、給紙トレイに用紙を入れます。

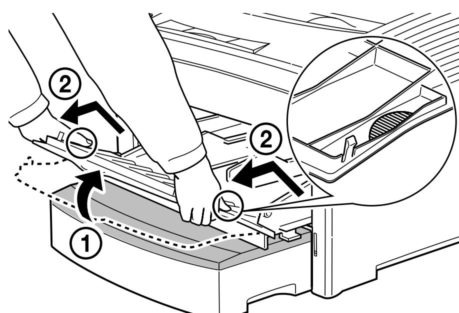


1　給紙トレイを開ける

プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、給紙トレイを開けます。

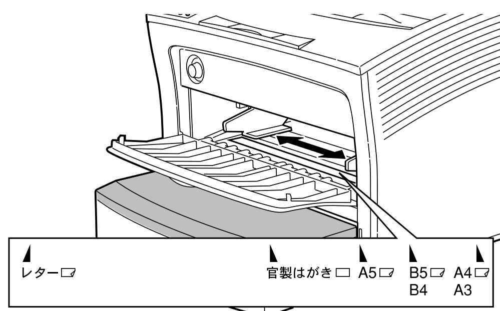
お願い

給紙トレイは約80°の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。
破損の原因となります。



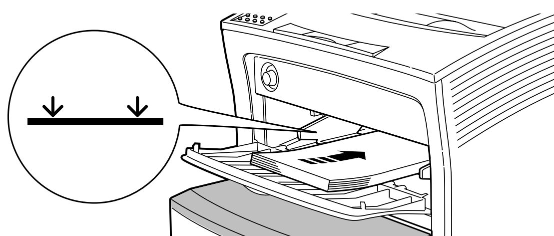
2　A5以下の小さなサイズの用紙をセットするときはトレイを引き出す

トレイの左右を持って少し傾け(①)、さらに軽く持ち上げ手前に引き出します(②)。



3　用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす

運用編
8



4　用紙を入れる

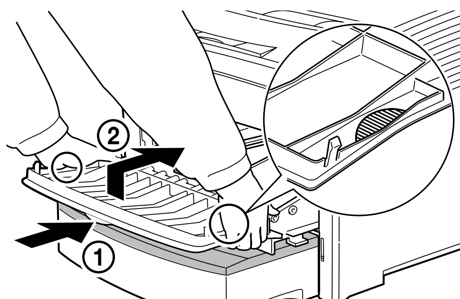
用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。**
- **A4、B5、A5、レターサイズの用紙とハガキは、横長にセットしてください。**
- **印刷方向については、「用紙関係」（327 ページ）を参照してください。**
- **用紙ガイドのラベルにある線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。**

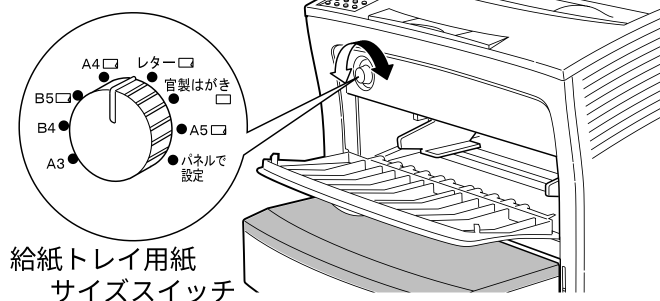
ガイド

給紙トレイに収容できる枚数は、約200枚（64g/㎡の場合）です。



5　給紙トレイを引き出している場合は、元に戻す

給紙トレイの左右を持って突き当たるまで押し込み、さらに軽く持ち上げて押し込み元の位置に戻します。



給紙トレイ用紙
サイズスイッチ

6　*用紙サイズを設定する*

給紙トレイにセットした用紙のサイズを、給紙トレイ用紙サイズスイッチで設定します。

ガイド

- 「パネルで設定」の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。
- 給紙トレイ用紙サイズスイッチの設定値に該当するサイズがない場合は「パネルで設定」に合わせ、オペレータパネルで設定します。

  参照　「メニュー印刷設定の操作」（199ページ）参照
- A4 横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。

お願い

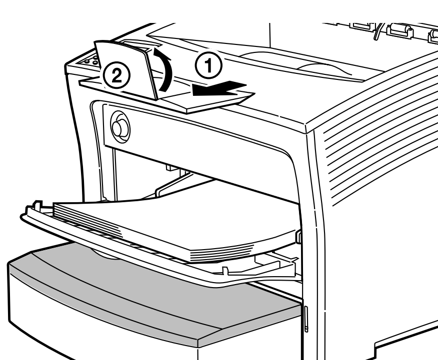
印刷中は、給紙トレイ用紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤作動する場合があります。

運用編

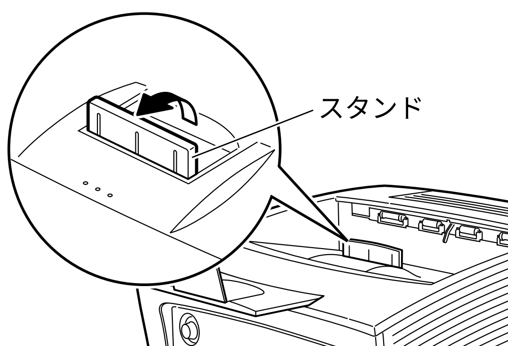
8

排紙トレイのセット

排紙トレイをセットする手順について説明します。



1　*B4以上の用紙を排紙する場合は、排紙トレイを引き出し(①)、排紙止めを立てる(②)*



2　*印刷した用紙が排紙部でばらばらになったり、プリンタから落下するときは、排紙部のスタンドを立てる*



特にめくれるようなカール癖のある用紙は排紙部でばらけやすいのでスタンドを立ててご使用ください。
また、コシの弱い用紙はスタンドに立てておくと先端が引っかかることがありますので、ご注意ください。

第9章

オプションについて

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニットと拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

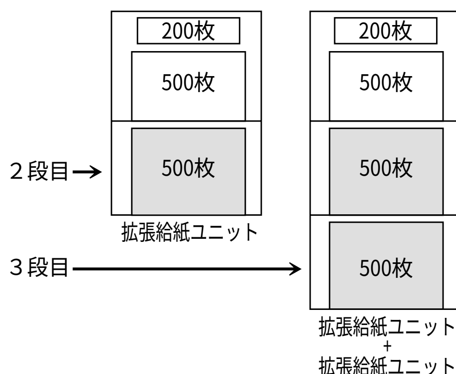
オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット	XL-EF50K1	２段目、３段目の給紙ユニットとして使用できます。 (A3 ユニバーサル、500 枚給紙カセット添付)

〈形態〉



両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット	XL-DUPK1	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4横、A5横、B4、B5 横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

プリンタ RAM モジュール

品　名	型　名	内　容
プリンタ RAM モジュール -32MB	XL-EM32M4	RAM を 32MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール -64MB	XL-EM64M4	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。

〈用途〉

ビットマップメモリの容量増加により、印刷速度の向上が図れます。特に、600 ドット／インチの印刷をする場合は、より効果があります。

32MB	8 ページ分のビットマップメモリが増えます。(A4、600dpi のとき)
64MB	・16 ページ分のビットマップメモリが増えます。(A4、600dpi のとき) ・部単位印刷ができます。

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

- **本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。**
- **長さが1.5メートル以下のシールドケーブルをお使いください。**

別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
FMR シリーズ　デスクトップタイプ	FM60-711
FMR シリーズ　CARD タイプ	FM50N711G
FMR シリーズ　ノートブックタイプ	FM50N713G
FMR　TOWNS シリーズ	FM60-711
GRANPOWER 5000 シリーズ FM-Server シリーズ	FMS-CBL711

【N E C】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin) PC-9801 シリーズ(ハーフピッチ 36Pin)	XL-CBL981(*1)

*1: XL-CBL981はプリンタインタフェースとして36ピンハーフピッチコネクタを持つPC-9800シリーズに対応しています。36ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つPC-9800シリーズは、NEC製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠警告	感　電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、火災や感電または故障の原因となります。

⚠注意	け　が オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠警告	感　電 プリンタRAMモジュールを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチがオフ（「○」側）に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

静電気によってプリンタRAMモジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

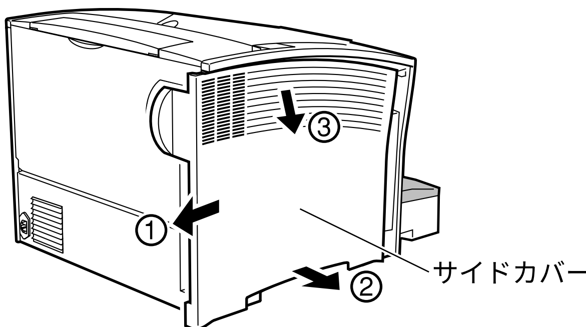
- **本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。**
- **モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。**
- **モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。**

プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

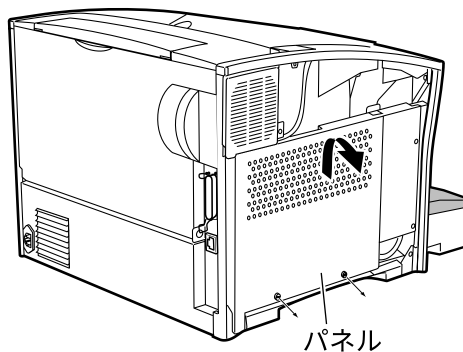
1 電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認し（電源スイッチが「○」側に倒れている状態）、電源コードをコンセントから抜いてください。



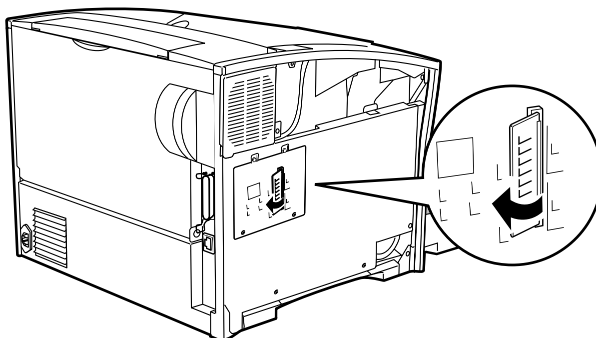
2 サイドカバーを外す

サイドカバーを背面にずらし(①)、下方のくぼみ部分を手前に引いて(②)下方向に抜きます(③)。



3 パネルを外す

パネルのネジ２か所をドライバを使って外し、パネルを上に持ち上げながら上部のツメから外し、パネルを外します。



4 プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールの切り欠きとコネクタの突起の位置を合わせてゆっくりと差し込み、カチッと音がするまで奥に押します。

お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、手を触れないでください。

5 パネルとサイドカバーを元に戻す

パネルをネジ(2 本)で固定してから、サイドカバーを取り付けます。

サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み(①)、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所にサイドカバーの突起を合わせます(②)。サイドカバーをプリンタ本体に沿って、前側にスライドさせます(③)。

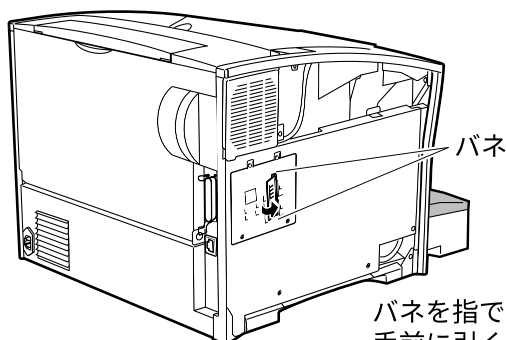
ガイド

メモリを増設したときは、電源を投入し、オペレータパネルの液晶ディスプレイ上に表示される「メモリ　ヨウリョウ」でメモリの総容量を確認します。

増設メモリ	表示
32MB	48MB
64MB	80MB

プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールの両側をとめているバネを指で開き、プリンタ RAM モジュールを手前に倒してから引き抜きます。サイドカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」(151 ページ) を参照してください。



両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

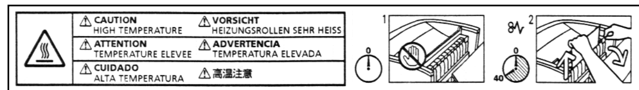
⚠警告

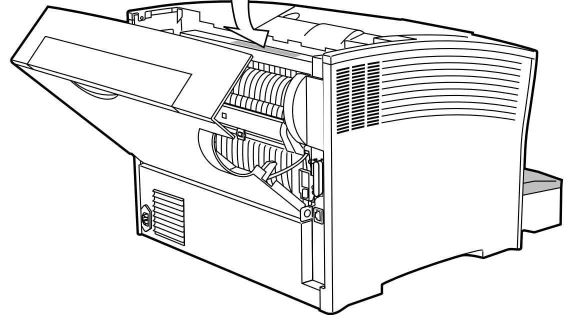
感　電　両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意

やけど　「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



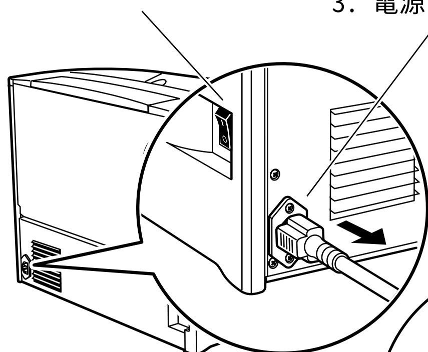


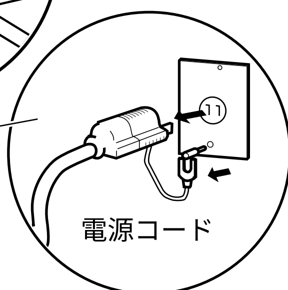
運用編

9

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

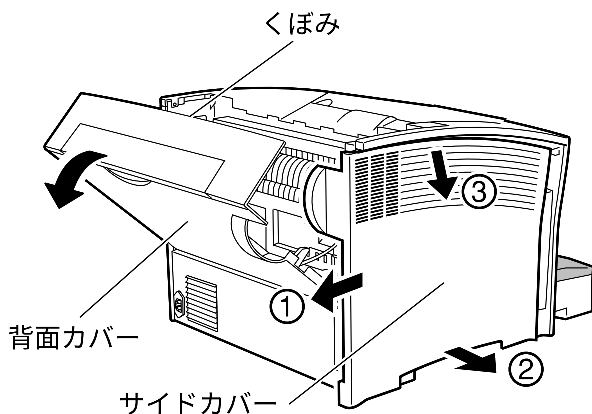




1　プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

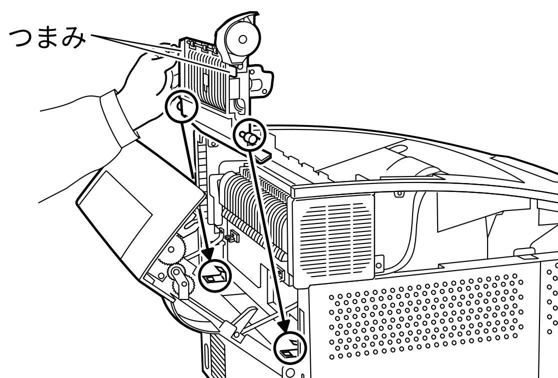
プリンタケーブル、および LAN ケーブルを外します。



2　背面カバーを開き、サイドカバーを取り外す

プリンタ背面カバーの上部中央にあるくぼみに指をかけて、背面カバーを開きます。

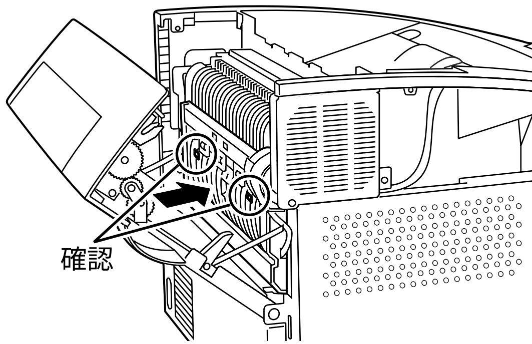
サイドカバーを背面にずらし(①)、下方のくぼみ部分を手前に引いて(②)下方向に抜きます(③)。



3　両面ユニットの２本のピンをガイドにのせる

両面ユニットの左右のつまみ（オレンジ色）を持ち、下部にある２本のピンをプリンタのガイドにのせます。

4　両面ユニットを固定する

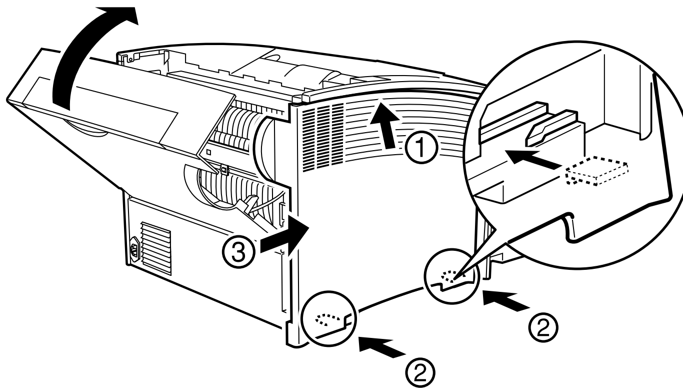


両面ユニットの左右のつまみを持ち、前方へ押しながらプリンタに固定します。しっかりと固定されていること（２か所）を確認します。

お願い

両面ユニットが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、動作不良や紙づまりなどの原因となります。

5　サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる



サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み(①)、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所にサイドカバーの突起を合わせます(②)。サイドカバーをプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます(③)。
背面カバーを閉じます。

両面ユニットを取り外す

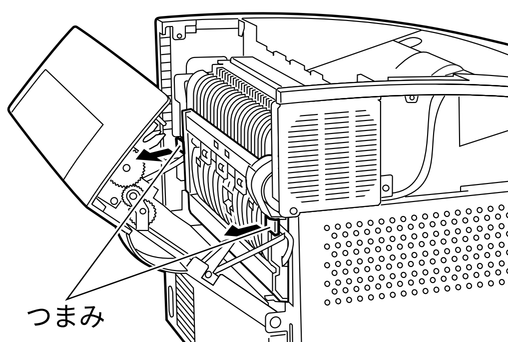
両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1　プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す 背面カバーを開き、サイドカバーを取り外す

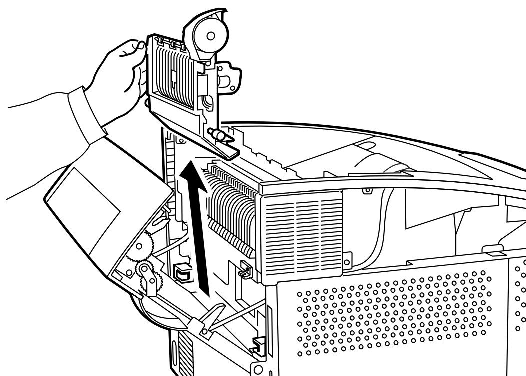
両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、プリンタケーブル、および LAN ケーブルを外します。
次に背面カバーを開き、サイドカバーを取り外します。

2　両面ユニットを取り外す

両面ユニットの左右のつまみを持って手前に引き、プリンタから取り外します。



3　両面ユニットを真上に引き上げる



4　サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じます。

拡張給紙ユニットの取り付けかた

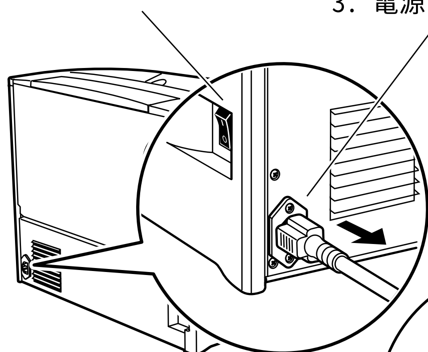
本プリンタには、必要に応じて拡張給紙ユニットを２段まで取り付けることができます。

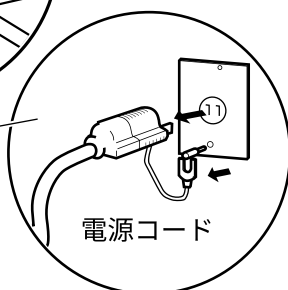
⚠警告	感　電 拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意	け　が ・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因となることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

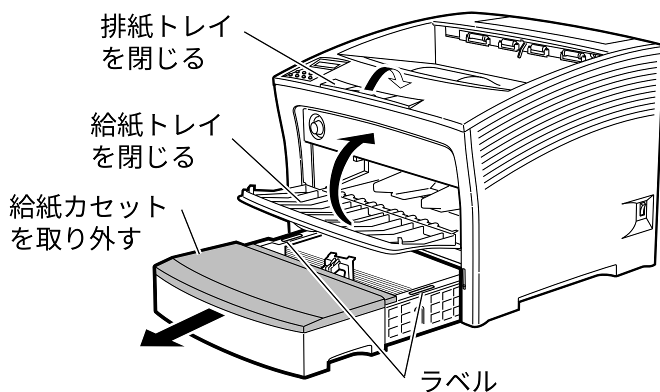




1 ***プリンタの電源を切る***

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

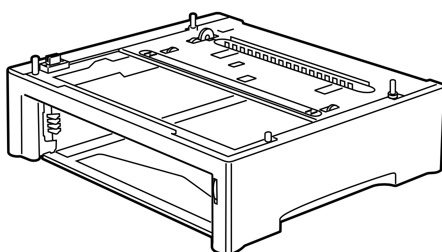
プリンタケーブル、および LAN ケーブルを外します。



2 ***給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを取り外す***

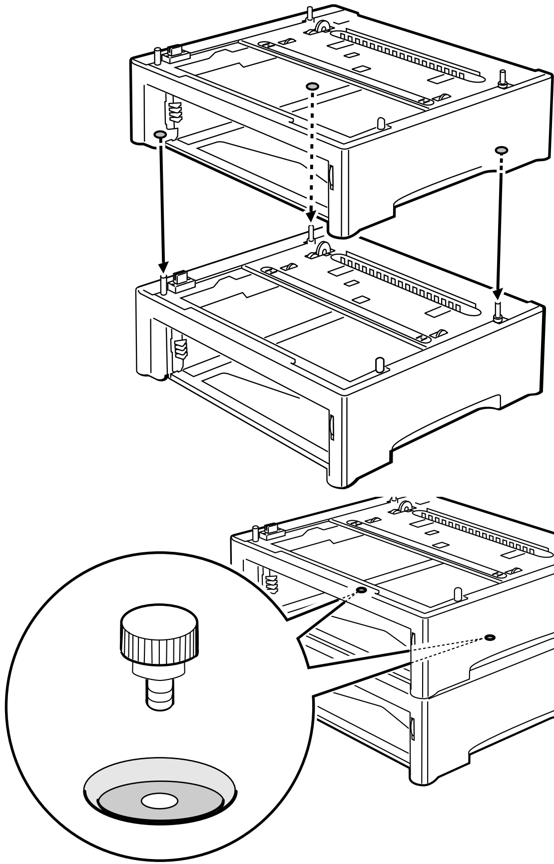
給紙トレイと排紙トレイを閉じます。

給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。



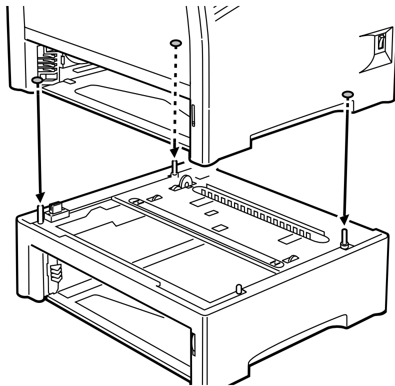
3 ***拡張給紙ユニットを設置場所に置く***

拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置きます。



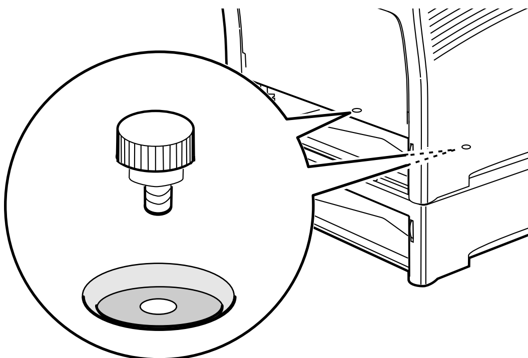
4 拡張給紙ユニットを２段取り付けるときは、あらかじめ２個の拡張給紙ユニットをネジで固定する

１段目の拡張給紙ユニットを２段目の拡張給紙ユニットに重ねます。 このとき、２段目の拡張給紙ユニットの突起（3か所）が１段目の拡張給紙ユニットの底面の穴に納まるように位置を合わせます。１段目の拡張給紙ユニット内部のネジ穴(2か所)に、付属のネジを通して締め拡張給紙ユニットを固定します。



5 プリンタを拡張給紙ユニットに載せる

プリンタを水平に持ち上げ、拡張給紙ユニットの突起（3か所）が、プリンタ底面の穴に入るように、プリンタをゆっくりおろします。

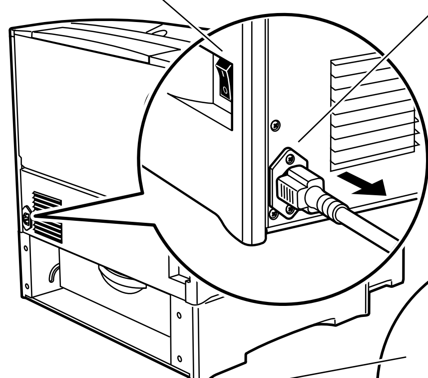


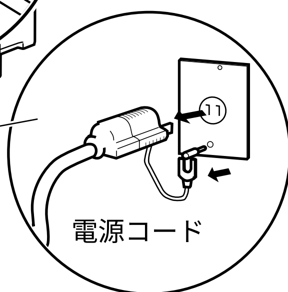
6 ネジで固定する

プリンタ本体の給紙ユニット内部のネジ穴に付属のネジ(２本)を通して締め、拡張給紙ユニットを固定します。

拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

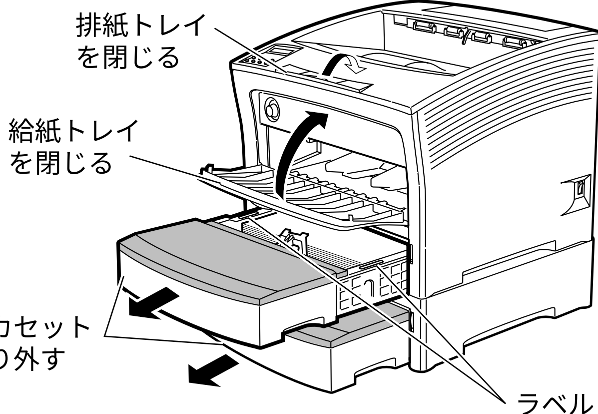




1　プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

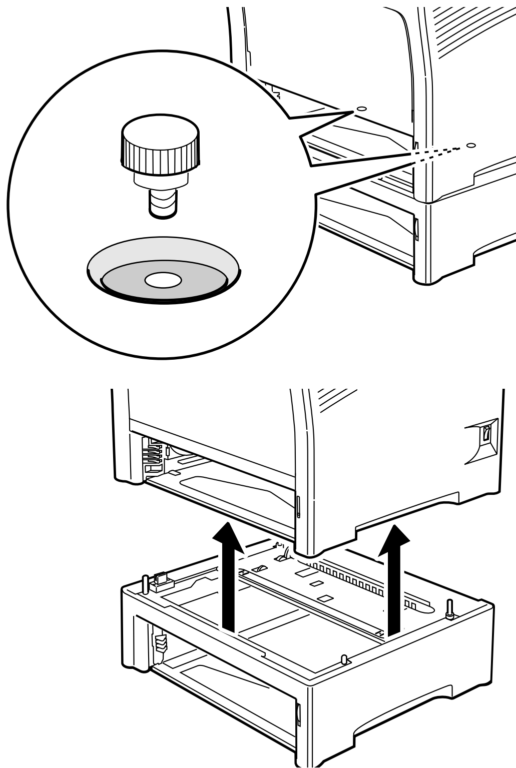
プリンタケーブル、および LAN ケーブルを外します。



2　給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを取り外す

給紙トレイと排紙トレイを閉じます。

給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタおよび拡張給紙ユニットから抜きます。



3　2か所の固定ネジを外す

お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定ネジを、破損または紛失することのないように保管してください。

4　プリンタをまっすぐに持ち上げる

プリンタの左右両側のくぼみを2人でしっかり持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げます。

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続用ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

第10章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

サプライ用品のご紹介

サプライ用品の一覧

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商　品　名		商品番号	備　考
普通紙推奨用紙	Ａ３サイズ	0411650	500枚×３冊で１ケース
	Ｂ４サイズ	0411620	500枚×５冊で１ケース
	Ａ４サイズ(Ｙ)	0411612	
	Ｂ５サイズ(Ｙ)	0411645	
	Ａ５サイズ(Ｙ)	0411635	
プロセスカートリッジ	LB309	0877110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約10,000枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
LB309	給紙カセット (A3ユニバーサル)	0877310	A3～A5サイズで500枚 添付のカセットと同一です。
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法　600(W)×610(D)×440(H)mm

プロセスカートリッジの交換と使用上の注意事項

プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ１本あたりの目安として、A4 サイズの用紙で約10,000 枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、168 ページ以降の手順でプロセスカートリッジを取り外し、「プロセスカートリッジの取り付け」(13ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。

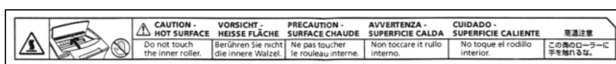
⚠警告

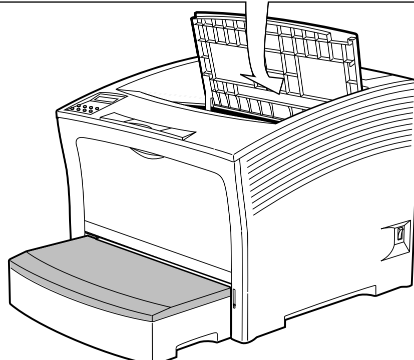
破 裂	プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。 使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
誤 飲	・トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。 ・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
け が	上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。 上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

⚠注意

やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



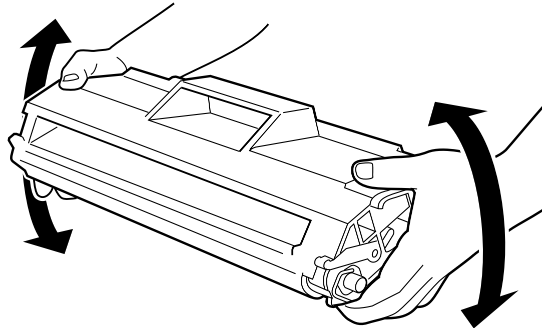


お願い

- **プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。**
  - **直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。**
  - **ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。**
- **感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。**
- **立てたり、裏返しにして置かないでください。**
- **トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。**
- **常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。**

ガイド

・プロセスカートリッジの保管期限は約２年間です。お買い上げ後は２年以内にご使用ください。
・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを矢印の方向にかるく7〜8回振り、トナーの状態を均一にして、再度印刷してください。



・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
  ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  プロセスカートリッジを上記の手順で取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
  ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

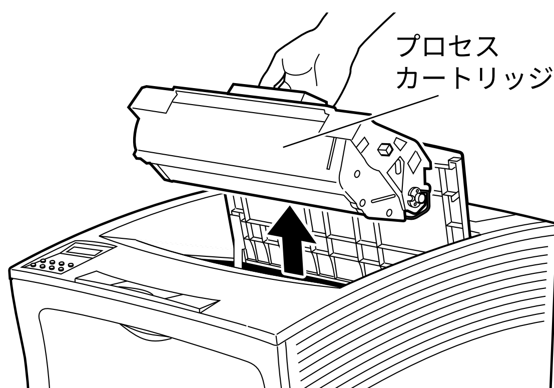
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

お願い
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。

1 ***プリンタの上部カバーを開く***

上部カバーの開け方は、12ページを参照してください。

2 ***プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる***



ガイド
- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「プロセスカートリッジの取り付け」（13ページ）にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-30-0693
平日　8:40～12:00および13:00～17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
・直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。
・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを５分以上放置しないでください。
・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
・寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
・ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体（ドラム）が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。
・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。
・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　０～35℃、湿度範囲　15～80%RH
　（ただし、結露のないこと）
・高温多湿になる場所には置かないでください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約１か月に１回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

注意

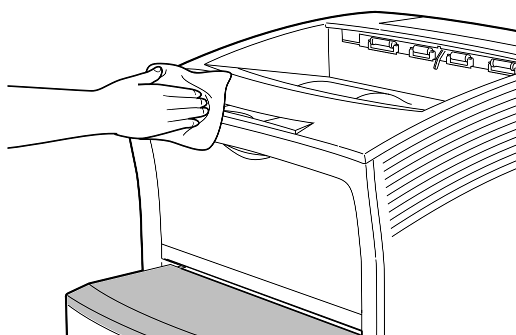
やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- **プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。**
- **水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。**
- **油をさす必要はありません。注油はしないでください。**

プリンタ外部の清掃



カバーの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部の清掃

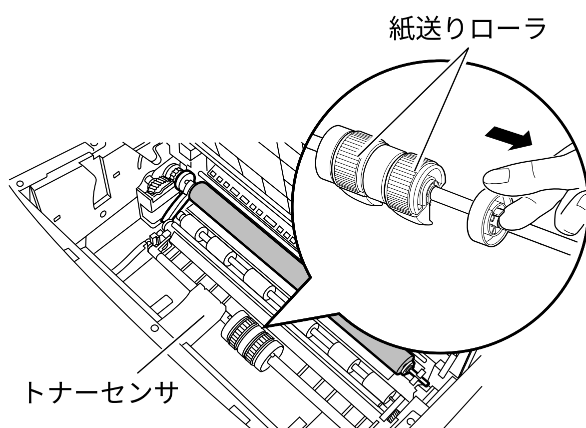
紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

・紙片が残っていれば取り除きます。

・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

紙送りローラの清掃

年賀はがきやかもめーるなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り出し、紙送りローラ（半月状のゴムローラ（２個））を清掃してください。

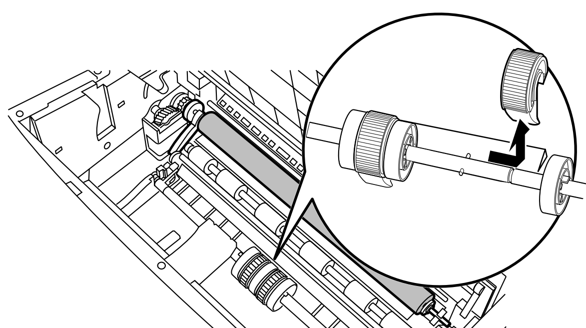


1　紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラのツメを、軸の溝から外しながら外側にずらす

左側のローラは左へ、右側のローラは右へずらします。

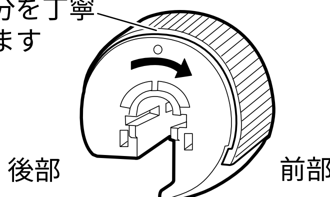
お願い

トナーセンサ側にあるプラスチックのローラは左側に動かしてください。このとき、トナーセンサを軽く持ち上げながら行ってください。



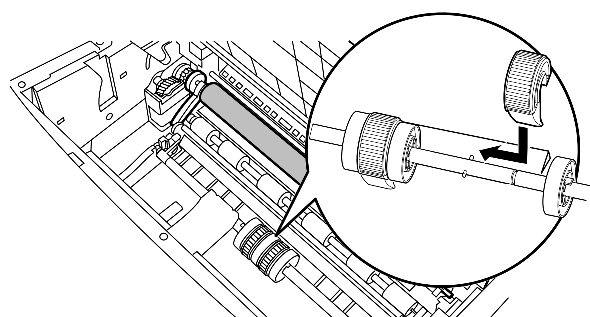
2　紙送りローラを外側にずらして、垂直に取り外す

3　紙送りローラのゴムの部分を、水でぬらして硬く絞った柔らかい布でていねいに拭く

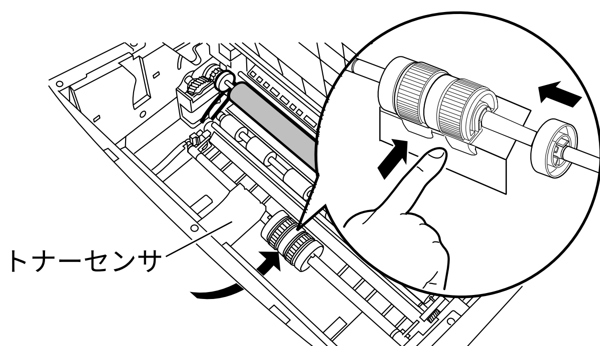


お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。



4 紙送りローラの矢印を手前に向けて軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす



5 給紙トレイの給紙口から手を入れ、軸の後ろにあるプレートを押しながら、外側のローラ（プラスチック）を、内側にずらして紙送りローラを固定する

左側の紙送りローラも同じ手順で清掃してください。



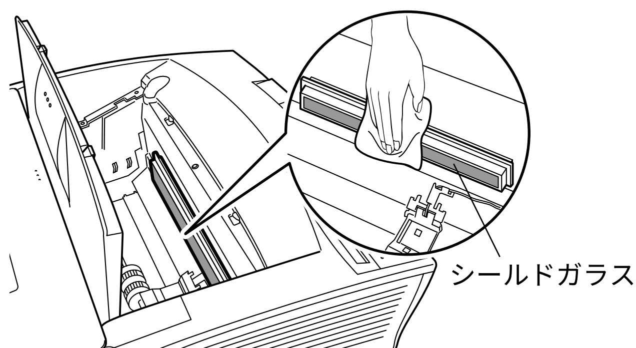
外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。



左側の紙送りローラを清掃するときは、トナーセンサに力を加えないように注意してください。

シールドガラスの清掃

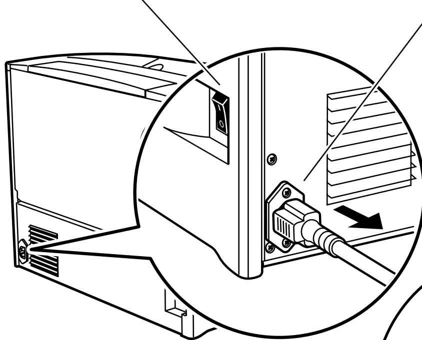
シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

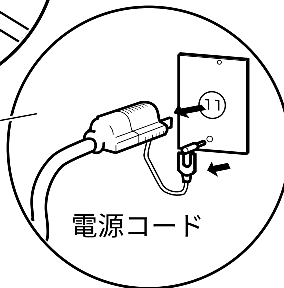


シールドガラスを乾いた布でていねいに拭く

プリンタを長期間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。



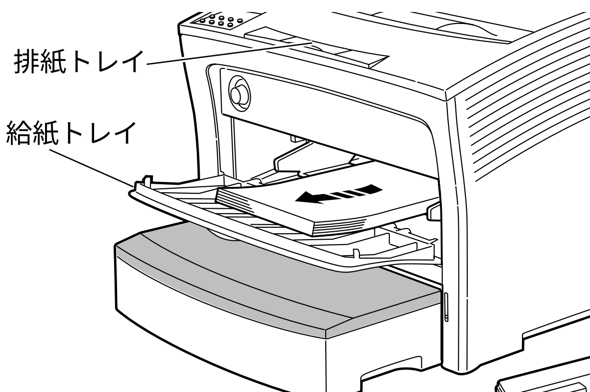


1　電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

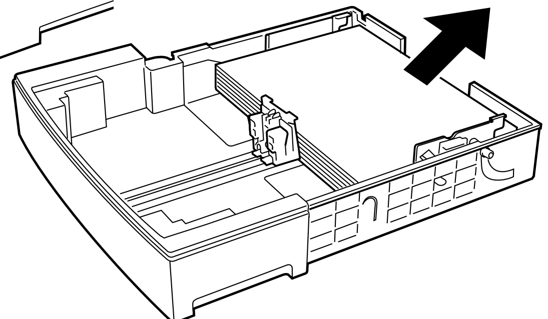
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「オペレータパネルのエラーメッセージ」（273ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



2　用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。





用紙の保管についての詳細

「第８章　用紙について」（137ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠注意	けが　プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

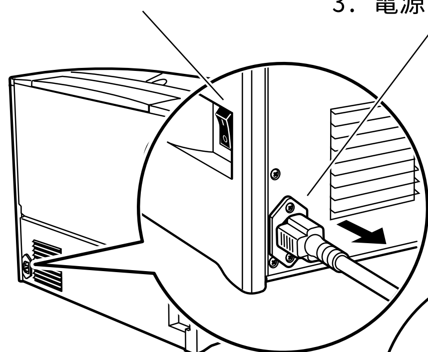
ガイド 拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

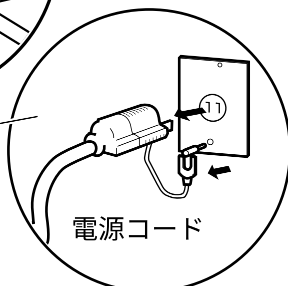
近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1．電源スイッチを「○」側に倒す

3．電源コードを外す





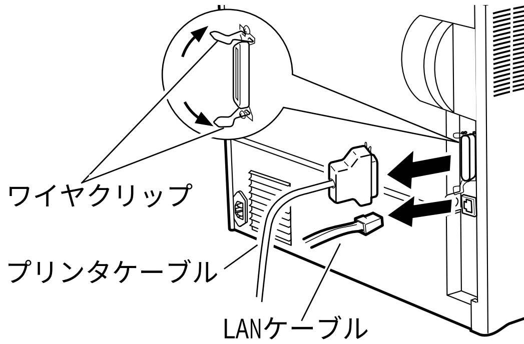
2．電源コードをコンセントから抜く

1　電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

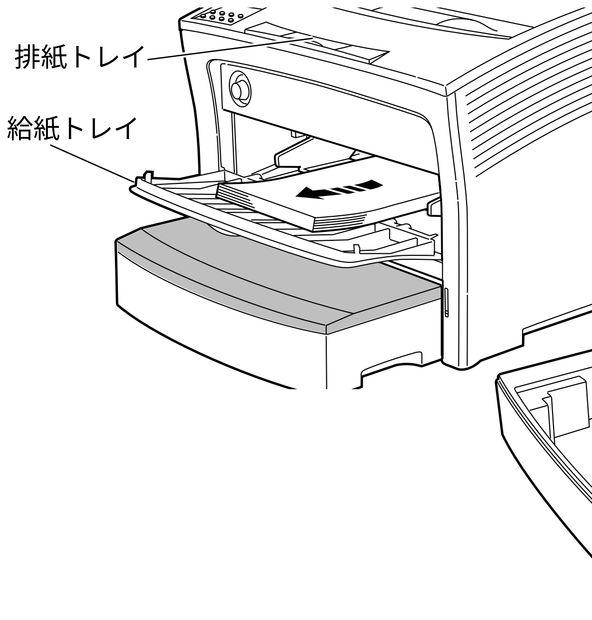
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「オペレータパネルのエラーメッセージ」（273ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



2　プリンタケーブルを抜く

パラレルインタフェースコネクタからプリンタケーブルを外します。また、LANケーブルが接続されている場合、ケーブルを外します。



3　用紙を取り出す

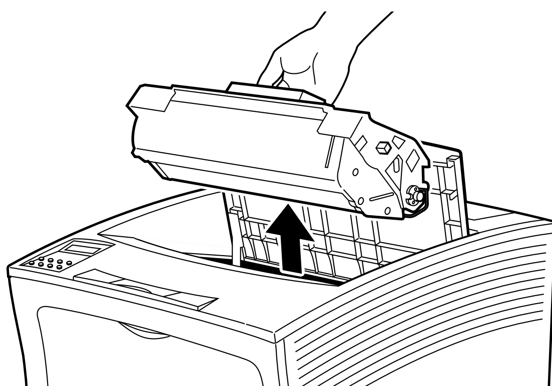
用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。



用紙の保管についての詳細
「第８章　用紙について」（137ページ）参照



用紙が入っている給紙カセットは重いので、「給紙カセットに用紙をセットする」（18ページ）を参照して、注意してプリンタから抜いてください。

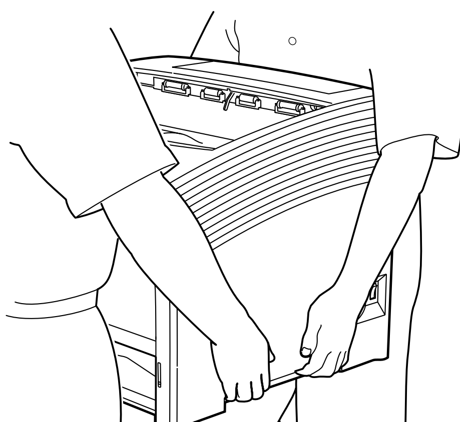


4　プロセスカートリッジを取り外す

「プロセスカートリッジの交換」（165ページ）を参照して、プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。

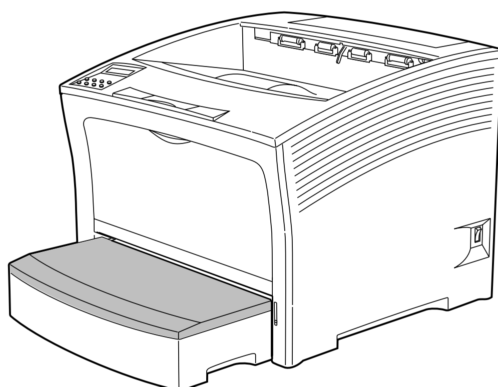
お願い

- **プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。**
- **取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。**
- **取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。**



5　プリンタを移動する

給紙カセットを抜いた状態で、プリンタを2人で持ち、静かに移動します。



6　適切な場所に、プリンタを設置し直す



参照

設置し直すときの手順の詳細「設置手順」（12ページ）参照

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

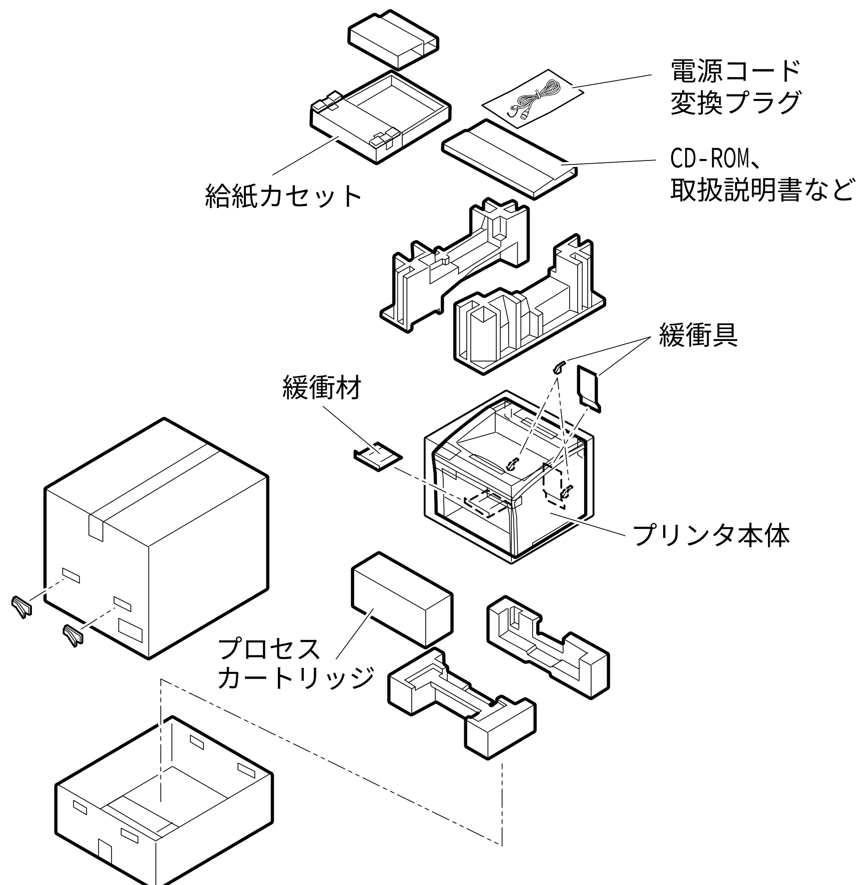
「近くに移動する」の手順1～4（174ページ）に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（169ページ）も合わせて参照してください。

・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
・プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第11章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネルの見かた

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

●液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
(１行16文字の２段に表示されます。)

（液晶ディスプレイ）

電源　オンライン　データ　メッセージ

設定






オンライン　メニュー　◀　▶
給紙口　印刷方向
排出　リセット　▲　▼

●電源ランプ（緑色）
電源の投入／切断状態を知らせます。
点灯：電源投入
消灯：電源切断

●オンラインランプ（緑色）
プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。
点灯：オンライン状態
消灯：オフライン状態

●データランプ（緑色）
プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。
点灯：データが残っている
点滅：データをパソコンから受信中
消灯：データがない

●メッセージランプ（オレンジ色）
印刷できない状態にあることを知らせます。
点灯：エラーが発生し、印刷できない状態
消灯：印刷できる状態

●オンラインスイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。設定の操作を終了する場合にも使用します。

●メニュー（設定）スイッチ
各種設定の操作を開始する場合に使用します。
また、設定メニューから選択した値を有効にする場合にも使用します。

● ◀▶▲▼スイッチ
設定メニューの選択や、設定値の選択で使用します。

●排出（給紙口）スイッチ
オンライン状態のときは、給紙口を切り替えます。
オフライン状態のときは、プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

●リセット（印刷方向）スイッチ
オンライン状態では、印刷方向を切り替えます。
オフライン状態では、プリンタ内に残っている未印刷データを消去します。


参照　「設定」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチの詳細
「セットアップの操作」(186 ページ）参照

運用編

11

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で２段に表示されます。

障害が発生すると「メッセージ」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（273ページ）参照

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

参照　電源投入時に液晶ディスプレイに表示される内容
「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」（17ページ）参照

オンライン状態（印刷できる状態）時の表示内容

１段目の表示内容

●インタフェース状態

オンライン／オフラインを表示します。
- オンライン　：オンライン状態
- オンライン１：オンライン状態（プリンタケーブル経由でデータを受信して処理中）
- オンライン２：オンライン状態（LAN経由でデータを受信して処理中）
- オフライン　：オフライン状態

●両面印刷の設定

両面ユニット装着時、両面印刷モードの設定状態を表示します。
- 表示なし：片面印刷
- D　　　：両面印刷

●プリンタの状態

レディ状態／パワーセーブ状態などを表示します。
- 表示なし：レディ状態（印刷可能な状態）
- セーブ　：パワーセーブ状態（データ受信でウォームアップを開始）
- ウォーム：ウォームアップ状態（印刷可能まで最大60秒かかります）

●動作モードの設定

プリンタの動作モード（エミュレーション設定）を表示します。
Printia　XLドライバからの印刷では、動作モードを自動で切り替えます。
- ＥＰ　　：ESC/Pモード
- ＥＧ　　：ESC/Pageモード
- ＰＣ　　：PC-PR201モード
- ＶＦ　　：Virtual FMモード（FMLBP 240dpi互換モード）
- 表示なし：Printia XLドライバの印刷動作中
- MW　　：Printia XLドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中
- ＭＲ　　：Printia XLドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中

```
オンライン　　Ｄ　セーブ　　ＥＰ
トナー　７０タテ　　１－Ａ４
```

ESC/Pモード時の表示例

```
オンライン１　　　ウォーム
　　　　▷▷▷▷▷　１－Ａ４
```

Printia XLドライバ使用時の表示例

２段目の表示内容

ESC/Pモード時の表示例

```
オンライン　　Ｄ　セーフ゛　ＥＰ
トナー　７０タテ　　１－Ａ４
```

Printia XLドライバ使用時の表示例

```
オンライン１　　　ウォーム
　　　　　▷▷▷▷▷　１－Ａ４
```

●給紙口／用紙サイズ

設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。

給紙口	用紙サイズ
１：給紙カセット１	Ａ３：Ａ３用紙
２：給紙カセット２	Ａ４：Ａ４用紙
３：給紙カセット３	Ａ５：Ａ５用紙
Ｍ：給紙トレイ（手差し）	Ｂ４：Ｂ４用紙
	Ｂ５：Ｂ５用紙
	ＬＧＬ：リーガル用紙
	ＬＴＲ：レター用紙
	ハガキ：官製はがき

給紙トレイ用紙サイズスイッチで用紙サイズを指定して、給紙口が給紙トレイのときは「Ｍ＊Ａ４」のように「＊」が表示されます。

●縮小印刷／リスト印刷／HEXダンプ印刷

設定されている印刷モードを表示します。

表示なし：等倍印刷
７５　　：75%縮小印刷
７０　　：70%縮小印刷
ＬＡ　　：リスト印刷A4
ＬＢ　　：リスト印刷B4
ＨＸ　　：HEXダンプ印刷

リスト印刷指定はESC/P、PC-PR201、Virtual FMモードのときのみ有効です。
Printia XLドライバ印刷時は、ページ処理状況を表示します。

●印刷方向

設定されている印刷方向を表示します。

タテ　：縦方向印刷
ヨコ　：横方向印刷
タテヨ：余白付き縦方向印刷
ヨコヨ：余白付き横方向印刷

余白付き指定はESC/P　PC-PR201、VirtualFMモードのときのみ有効です。
Printia XLドライバ印刷時は、ページ処理状況を表示します。

●消耗品／寿命部品交換

トナーの残量が少なくなったときや、寿命部品の交換時期が近づくと表示します。

表示なし：正常
トナー　：トナーが残り少ない状態
ホシュ　：寿命部品の交換時期が近づいた状態



Printia XL ドライバ印刷時の縮小印刷、印刷方向、給紙口、用紙サイズ、両面印刷設定は、パソコン（Printia XL ドライバ）で設定した内容に従います。

オペレータパネルを操作する

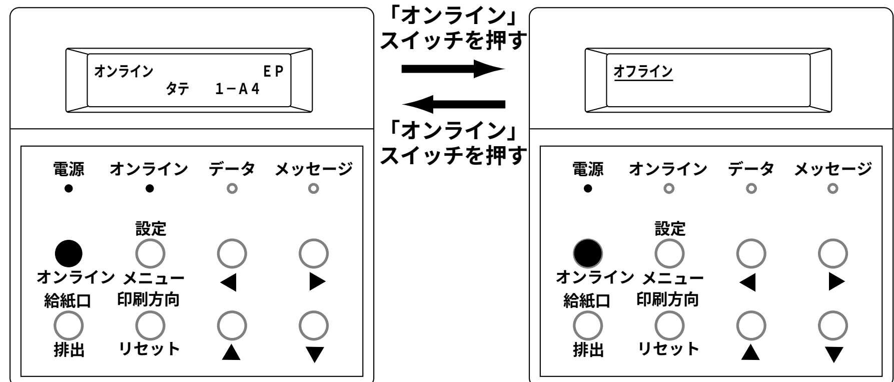
プリンタの設定を変更したり、設定の一覧を印刷したり、また印刷を中止してプリンタをリセットするときは、オペレータパネルを操作します。

オンライン状態とオフライン状態

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。

オンライン状態とオフライン状態を切り替える

オンライン状態とオフライン状態は「オンライン」スイッチを押して、切り替えることができます。
オペレータパネルを操作するときは、通常、プリンタをオフライン状態にします。オペレータパネルを操作した後や、プリンタのエラーを解除した後は、プリンタはオフライン状態です。このときは、オンライン状態に切り替えて印刷できる状態にします。



印刷中に「オンライン」スイッチを押すと、液晶ディスプレイに『ハイシュツ　ショリチュウ』と表示され、印刷後にオフライン状態に切り替わります。
オフライン状態になると「オンライン」ランプが消灯し、パソコンからの印刷データは受信しません。

オフライン状態で有効なスイッチ

スイッチ	状　態
オンライン	オンライン状態に切り替えます。
メニュー（設定）	セットアップの操作を開始します。 参照　「セットアップの操作」（186 ページ）参照
排出（給紙口）	プリンタ内に残っている未印刷のデータを強制的に印刷します。 参照　「未印刷データの強制印刷」（204 ページ）参照
リセット（印刷方向）	プリンタをリセットします。 印刷の途中（データランプ点灯中）にオフライン状態に切り替えてリセットすると、印刷を中止します。 参照　「印刷の中止（プリンタのリセット）」（203 ページ）参照

上記以外のスイッチは、セットアップの操作中を除き、無効です。

オンライン状態で有効なスイッチ

スイッチ	状　態
オンライン	オフライン状態に切り替えます。 印刷設定モードを終了するときも、「オンライン」スイッチを押します。
メニュー（設定）	メニュー印刷設定モードの操作を開始します。 参照 「メニュー印刷設定の操作」（199 ページ）参照
排紙（給紙口）	印刷設定モードに移行し、「給紙口」の選択を一時的に変更できます。 スイッチを押すごとに「給紙口」が次の順に切り替わります。 「１」（給紙カセット１） 「２」（給紙カセット２） 「３」（給紙カセット３） 「M」（給紙トレイ） 「オンライン」スイッチを押すと、最後に表示した給紙口が選択され、オンライン状態に戻ります。
リセット（印刷方向）	印刷設定モードに移行し、「印刷方向」の選択を一時的に変更できます。 スイッチを押すごとに「印刷方向」が次の順に切り替わります。 「タテ」（縦方向印刷） 「タテヨ」（余白付き縦方向印刷） 「ヨコ」（横方向印刷） 「ヨコヨ」（余白付き横方向印刷） 「オンライン」スイッチを押すと、最後に表示した印刷方向が選択され、オンライン状態に戻ります。

上記以外のスイッチは、メニュー印刷設定モードの操作中を除き、無効です。

ガイド

メニュー印刷設定モードは、次の場合は無効です。
・未印刷データがあるとき
・オンライン状態で HEX ダンプ印刷設定中
・Printia XL ドライバで印刷中（ドライバの設定が優先されます）

運用編

11

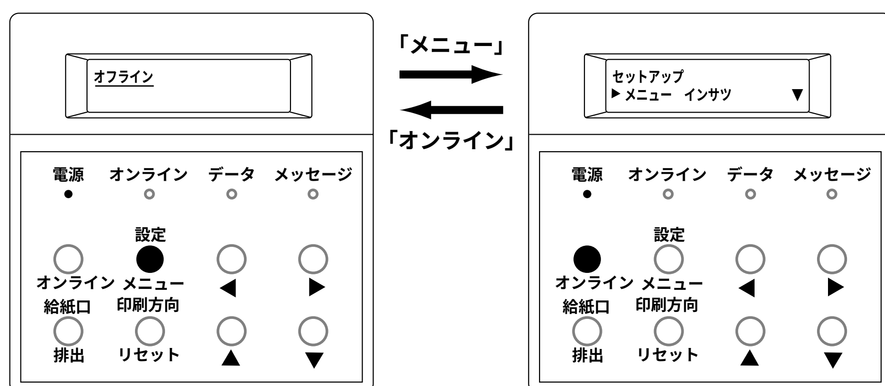
セットアップの操作

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、セットアップモードで行います。

参照　セットアップモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）
「セットアップの項目一覧」（188 ページ）参照

基本的な操作

セットアップモードに入るときは、プリンタをオフライン状態に切り替えて、「メニュー」スイッチを押します。印刷の途中（データランプ点灯中）は、セットアップモードに入ることはできません。
セットアップモードを終了させるには、「オンライン」スイッチを押します。
再度、「オンライン」スイッチを押すと、印刷できる状態（オンライン状態）になります。



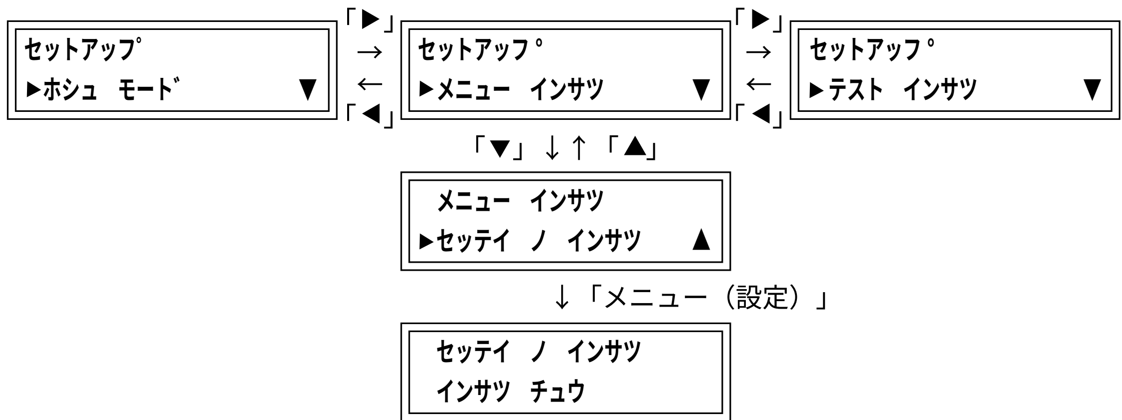
セットアップモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

「▶」または「◀」スイッチ .... 同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。

「▼」または「▲」スイッチ ... 下のレベルまたは上のレベルに移動します。

「メニュー（設定)」スイッチ ... 表示された値に設定するときや、メニュー印刷を行うときに押します。



ガイド

- セットアップモードで設定した値は、一部を除いて「一時的な設定」です。このため、プリンタの電源を切ると設定前の値に戻ってしまいます。設定した内容を記憶させるためには、「登録」で「設定登録」を行ってください。
- 「LAN設定」内の設定値を変更すると、「オンライン」スイッチでセットアップモードを終了した際に、プリンタをリセット（初期化）します。
- 「HEXダンプ印刷」を設定すると、HEXダンプ印刷モードで印刷できる状態（オンライン状態）に移行します。HEXダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを2回押します。
- Ethernetのタイプを設定した場合、いったん電源を切断し、再び投入してください。

セットアップの項目一覧

セットアップモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値および範囲の値の前の「＊」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

参照　各項目の設定方法は「セットアップの操作」(186 ページ)参照

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
メニュー印刷	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷する。
	LANの印刷				現在のLANポートの設定内容を印刷する。
テスト印刷	ESC/P印刷				ESC/Pモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	ESC/Page印刷				ESC/Pageモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	PC-PR201印刷				PC-PR201モードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	VF印刷				Virtual FMモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	ｱｳﾄﾗｲﾝ文字印刷				アウトライン文字（ANK/漢字）でテスト印刷する。
	その他の印刷			H連続印刷	「H」を連続して印刷する。(＊1)
				黒ベタ印刷	印刷可能領域をすべて黒で塗りつぶして印刷する。
				白紙印刷	白紙のまま印刷する。
				格子印刷１	格子を600dpiで印刷する。
				格子印刷２	格子を300dpiで印刷する。
				格子印刷３	格子を240dpiで印刷する。
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ設定				＊ ESC/P	プリンタをESC/Pモードで動作させる。
				ESC/Page	プリンタをESC/Pageモードで動作させる。
				PC-PR201	プリンタをPC-PR201モードで動作させる。
				VF	プリンタをVirtual FMモードで動作させる。

＊1：リセットスイッチを押すと連続印刷が終了します。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　　能［範　囲］
印刷設定	印刷方向			＊ 縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。
				縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
				横	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。
				横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
	給紙口			＊ カセット1	1段目の給紙カセットから給紙する。
				カセット2（＊2）	2段目の給紙カセット（拡張給紙ユニット）から給紙する。
				カセット3（＊2）	3段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				給紙トレイ	給紙トレイから給紙する。
	縮小印刷			＊ 100%	縮小せずに印刷する。
				75%	75%に縮小して印刷する。
				70%	70%に縮小して印刷する。
				リスト印刷A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷する。
				リスト印刷B4	ストックフォーム用の印刷データをB4用紙に横方向で印刷する。
	給紙トレイサイズ			＊ A4	A4サイズに設定する。
				B5	B5サイズに設定する。
				A5	A5サイズに設定する。
				リーガル	リーガルサイズに設定する。
				レター	レターサイズに設定する。
				ハガキ	はがきサイズに設定する。
				不定形	不定形用紙に設定する。このときの用紙サイズは、『不定形サイズ』で設定する。
				A3	A3サイズに設定する。
				B4	B4サイズに設定する。

＊2：拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているとき表示します。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
印刷設定	不定形サイズ		不定形縦	×××㎜	不定形用紙の縦の長さを指定する。［148～＊420㎜］
			不定形横	×××㎜	不定形用紙の横の長さを指定する。［100～＊297㎜］
	コピー枚数			××枚	印刷する部数を設定する。［＊1～99枚］
	両面印刷（＊3）			＊解除	両面印刷を行わない。（片面印刷）
				設定	両面印刷を行う。
	綴じしろ方向（＊3）			＊ 長辺綴じ	長辺側を綴じしろとする。
				短辺綴じ	短辺側を綴じしろとする。
	綴じしろモード（＊3）			＊ 左/上綴じ	左側、または上側を綴じる。
				右/下綴じ	右側、または下側を綴じる。
	綴じしろ量（＊3）		表	××㎜	表面の綴じしろ量を設定する。［＊0～30㎜］
			裏	××㎜	裏面の綴じしろ量を設定する。［＊0～30㎜］
EPモード設定	文字コード			＊ カタカナ	カタカナコード表(343ページ)を使用する。
				グラフィック	拡張グラフィックコード表(343ページ)を使用する。
	給紙位置（＊4）			＊ 8.5㎜	印刷開始位置を用紙の上辺から8.5㎜に設定する。
				22㎜	印刷開始位置を用紙の上辺から22㎜に設定する。
	右マージン位置			＊ 用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定する。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端まで。
				136桁	用紙サイズに関係なく１３６桁（13.6インチ)に設定する。用紙幅が136桁に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されない。
	ANK文字			＊ ローマン	ANK文字の書体をローマンにする。abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				サンセリフ	ANK文字の書体をサンセリフにする。abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

＊３：オプションの両面ユニットを搭載しているときのみ表示されます。
＊４：給紙位置が余白の最小値となります。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
EPモード設定	漢字書体			＊ 明朝	漢字の書体を明朝体にする。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にする。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作（復帰のみ）を行う。
				CR&LF	CR動作（復帰）とLF動作（改行）を行う。
	縦余白設定		縦上端余白	××.×mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。 [＊給紙位置(＊4)～50.0mm]
			縦左端余白	××.×mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。[＊5.0～50.0mm]
	横余白設定		横上端余白	××.×mm	横印刷のときの上端余白を設定する。 [＊給紙位置(＊4)～50.0mm]
			横左端余白	××.×mm	横印刷のときの左側余白を設定する。[＊5.0～50.0mm]
EGモード設定	復帰改行			＊ 設定	自動復帰改行動作を行う。
				解除	自動復帰改行動作を行わない。
	改ページ			＊ 設定	自動的に改ページする。
				解除	自動的に改ページしない。
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	LFコード			＊ CR&LF	LF動作(改ページ)とCR動作（復帰）を行う。
				LFのみ	LF動作（改行）のみを行う。
	FFコード			＊ CR&FF	FF動作(改ページ)とCR動作（復帰）を行う。
				FFのみ	FF動作(改ページ)のみを行う。
	エラーコード			＊ 無視	未定義文字を無視する。
				スペース	未定義文字をスペース(空白)に置き換える。
	イメージパターン			＊ 標準	イメージデータを補正しない。
				補正	イメージデータを補正する。
	メモリオーバー解除			＊ しない	何かスイッチが押されるまで待機する。
				する	何かスイッチが押されるか、メッセージを3秒間表示した後、印刷処理を続行する。
	給紙トレイ番号			＊ 3	LP8000互換仕様を設定する。
				4	LP8500互換仕様を設定する。
				5	拡張仕様1（4段カセットサポート機用）を設定する。

＊4：給紙位置が余白の最小値となります。

運用編

11

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
PCモード設定	1バイト系ゼロ			＊0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				Ø	0(ゼロ)の書体を「Ø」にする。
	2バイト系ゼロ			＊0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				Ø	0(ゼロ)の書体を「Ø」にする。
	ANK文字			＊標準	標準の書体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				イタリック	イタリックを使用する。 *abcdefghijklmnopqrstuvwxyz*
				クーリエ	クーリエを使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			＊明朝	明朝体を使用する。 亜唖娃阿哀愛挨始逢葵茜穐悪握渥
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 亜唖娃阿哀愛挨始逢葵茜穐悪握渥
	漢字文字サイズ			＊10.5ポ	10.5ポイントにする。
				7ポ	7ポイントにする。
				12ポ	12ポイントにする。
	各国文字			＊日本	日本の文字コードを使用する。
				アメリカ	アメリカの文字コードを使用する。
				イギリス	イギリスの文字コードを使用する。
				ドイツ	ドイツの文字コードを使用する。
				スウェーデン	スウェーデンの文字コードを使用する。
	136/LM設定			＊LM初期設定	「LM位置設定」の設定内容を使用する。
				136桁モード	最大印字幅を136桁にする。「用紙位置」「書き出し桁位置」の設定内容を使用する。
	LM位置設定			＊××/10インチ	印刷開始位置までの左マージン(LM位置)を設定する。用紙の左端印刷位置を基準とする。 ［＊0/10～15/10インチ］
	用紙位置設定			＊左	用紙位置を左合わせにする。
				中央	用紙位置を中央揃えにする。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　　能［範　囲］
PCモード設定	書き出し桁位置			×××/10インチ	用紙位置を微調整するために、書き出し桁位置を設定する。[-15/10～*0/10～15/10インチ]
	自動CR&LF			* CR&LF	復帰動作と改行動作の両方を行う。
				CRのみ	復帰動作のみを行う。
	印刷指令			* CRのみ	CRコードのみとする。
				CR+その他	CR、LF、VT、FF、US、ESC＋a、ESC＋bとする。
	CRコード			* CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	グラフィックモード			* ネイティブモード	標準横方向のドットピッチとする。
				コピーモード	横方向のドットピッチを1/80インチに変換する。8ビットのドット列イメージを印字するときに設定する。
	コード系			* 8ビット	8ビット系のコードを使用する。
				7ビット	7ビット系のコードを使用する。
	縦余白設定	縦上端余白		××.×mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。[*5.0～50.0mm]
		縦左端余白		××.×mm	縦印刷のときの左端余白を設定する。[*7.9～50.0mm]
	横余白設定	横上端余白		××.×mm	横印刷のときの上端余白を設定する。[*7.9～50.0mm]
		横左端余白		××.×mm	横印刷のときの左端余白を設定する。[*5.0～50.0mm]
VFモード設定	漢字書体			* 明朝	明朝体で印刷する。
				ゴシック	ゴシック体で印刷する。
	文字コード体系			* 富士通コード	13～15区の文字を富士通コード（半角漢字）で印刷する。
				MSコード	13～15区の文字をMS標準コードで印刷する。
	漢字文字サイズ			* 10.5ポ	10.5ポイントで印刷する。
				7ポ	7ポイントで印刷する。
				9ポ	9ポイントで印刷する。
				12ポ	12ポイントで印刷する。
	オーバーマーク印刷			* 解除	オーバーマーク印刷をしない。
				白四角	オーバーマークとして「□」を印刷する。
				黒四角	オーバーマークとしてを「■」を印刷する。

運用編

11

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　　能［範　囲］
VFモード設定	行ピッチ			＊ 6LPI	1インチあたりに印刷する行数を6行に設定する。
				8LPI	1インチあたりに印刷する行数を8行に設定する。
	ANK文字ピッチ			＊ 10CPI	ANK文字の文字間隔を1インチあたり10文字に設定する。
				12CPI	ANK文字の文字間隔を1インチあたり12文字に設定する。
	スケーラブル文字			＊ 無効	ドットフォントの範囲内で使用する
				有効	アウトラインフォントの範囲内で使用する。
	優先文字			＊ ドット優先	ドットフォントを使用できる文字はドットフォントで、その50%縮小文字はドットフォントを50%縮小したサイズで印刷する。その他の文字サイズは、アウトラインフォントで印刷する。
				アウトライン優先	すべてアウトラインフォントで印刷する。
	禁止文字		明朝7ポ	＊ 解除	明朝体7ポに対しドットフォントを使用する。
				設定	明朝体7ポに対しドットフォントの使用を禁止する。
			明朝9ポ	＊ 解除	明朝体9ポに対しドットフォントを使用する。
				設定	明朝体9ポに対しドットフォントの使用を禁止する。
			明朝12ポ	＊ 解除	明朝体12ポに対しドットフォントを使用する。
				設定	明朝体12ポに対しドットフォントの使用を禁止する。
			アウトライン	＊ 解除	指定したドットフォントがない場合、アウトラインフォントで代用する。
				設定	指定したドットフォントがない場合、アウトラインフォントで代用することを禁止する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
VFモード設定	DPIエラー解除			＊ しない	400dpi解像度指定コマンドを受信した場合、メッセージを表示したままスイッチ操作を待つ。
				する	400dpi解像度指定コマンドを受信した場合、スイッチ操作または3秒間のメッセージ表示後、処理を続行する。
	縦余白設定		縦上端余白	××.×mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。［＊5.0〜50.0mm］
			縦左端余白	××.×mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。［＊5.0〜50.0mm］
	横余白設定		横上端余白	××.×mm	横印刷のときの上端余白を設定する。［＊5.0〜50.0mm］
			横左端余白	××.×mm	横印刷のときの左側余白を設定する。［＊5.0〜50.0mm］
	VF専用登録域			××××KB	オーバレイ領域を指定する。［＊0〜4096KB］ 注）本設定は、オプションのプリンタRAMモジュール増設時に有効となります。
環境設定	スムージング			＊ 設定	印刷結果を滑らかにする。
				解除	印刷結果を滑らかにしない。
	トナーセーブ			＊ 解除	トナーを節約しない。
				設定	トナーを節約する。
	自動給紙			＊ 設定	給紙口の自動選択を行う。
				解除	給紙口の自動選択を行わない。
	ブザー			＊ 設定	ブザーを鳴らす。
				解除	ブザーを鳴らさない。
	タッチ音			＊ 設定	タッチ音を鳴らす。
				解除	タッチ音を鳴らさない。
	データ保証			＊ 設定	データをもう一度印刷する。
				解除	データは印刷し直さない。
	データなし印刷			＊ 解除	印刷しない。ただし、オーバレイ登録中はデータがないときでも印刷する。
				設定	印刷する。（白紙印刷）
	タイマー監視			＊ 解除	タイマー監視印刷を行わない。
				30秒	監視時間を30秒にする。
				10秒	監視時間を10秒にする。

運用編

11

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
環境設定	給紙トレイ印刷（＊5）			＊ コマンド優先	コマンドで指定した用紙サイズで印刷する
				設定優先	オペレータパネルで指定した用紙サイズで印刷する。
	メモリ不足解除			＊しない	メモリ不足が発生した場合、メッセージを表示したままスイッチ操作を待つ。
				する	メモリ不足が発生した場合、スイッチ操作または３秒間のメッセージ表示後、処理を続行する。
	印刷濃度調整			××	印刷濃度を設定する。(16段階)［0～＊8～15］
補助機能設定	パワーセーブ時間			＊ 30分	30分
				60分	60分
				解除	パワーセーブを行わない。
				15分	15分
	ポート切り替え時間			××××秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。［30～3600秒］
	トナーセーブ補正			＊ 設定	補正する。
				解除	補正しない。
	HEXダンプ印刷			設定	ヘキサダンプ形式で印刷する。
	ポート１設定	バイセントロモード		＊ 設定	双方向インタフェースを有効にする。
				解除	双方向インタフェースを無効にする。
		ACKタイミング		＊ 高速	パルス幅を短い値に設定する。
				標準	パルス幅を標準の値に設定する。
		ビジーディレイ		＊ A-B	ACK信号 BUSY信号
				A-B-A	ACK信号 BUSY信号
				B-A	ACK信号 BUSY信号
		INIT受信		＊ 有効	INIT受信を有効にする。
				無効	INIT受信を無効にする。

＊5：給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にしたときに有効です。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能［範　囲］
補助機能設定	LAN設定	プロトコル	TCP/IP	＊ 有効	TCP/IPを有効にする。
				無効	TCP/IPを無効にする。
			NetWare	＊ 無効	NetWareを無効にする。
				有効	NetWareを有効にする。
		Ethernetタイプ (＊6)		＊ 自動	自動検出して動作する。
				100Mbps Full	100Mbps(Full)で動作する。
				100Mbps Half	100Mbps(Half)で動作する。
				10Mbps	10Mbpsで動作する。
		TCP/IP設定	DHCP自動取得	＊設定	ＩＰアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得する。
				解除	ＩＰアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得しない。
			IPアドレス (＊7)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。
			サブネットマスク (＊7)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。
			ゲートウェイ (＊7)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する
			ポート番号1	＊ 9313	印刷を受け付けるときに使用するポート番号を設定する(1～65535)
			ポート番号2	＊ 9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定する(1～65535)
		LAN初期化		設定	LAN設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻す

＊6: Ethernetのタイプを設定した場合、いったん電源を切断し、再び投入してください。

＊7:「DHCP自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　　能［範　囲］
登録				設定呼び出し	プリンタの設定内容を読み出す。
				設定初期化	プリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻す。
				設定登録	セットアップによって設定した内容をプリンタに記憶させる。電源を切っても、設定内容は保持される。
保守モード	印刷枚数			XXXXXXXページ	
	メモリ容量			××MB	
	ROM版数			Ver×.××	
	エンジンステータス		STATUS＊＊=XX		
	NVコード		＊＊=XX		
	LANステータス		a.bbbb.cccc.dd		
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチX-X		＊ OFF	
				ON	

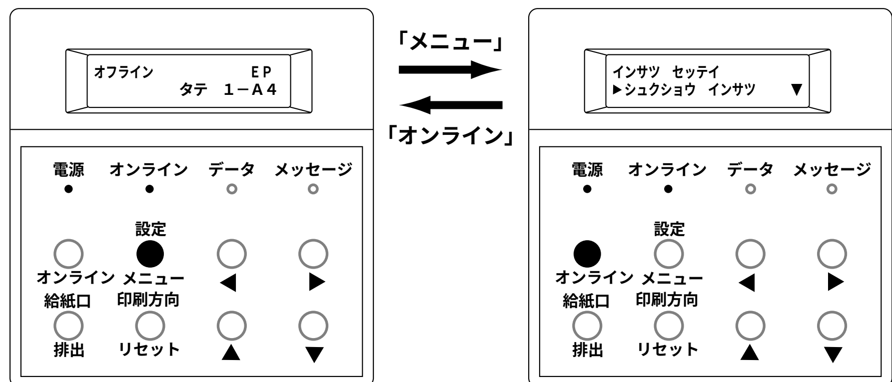
メニュー印刷設定の操作

Printia XLドライバを使用せずにESC/Pなどのエミュレーションモードで印刷するときの印刷条件を、オンライン状態で設定することができます。「給紙口」および「印刷方向」は、各スイッチを押します。縮小印刷や給紙トレイの用紙サイズ、コピー枚数、両面印刷の設定を変更したいときは、メニュー印刷モードを使用します。Printia XL ドライバで印刷する場合、印刷条件はドライバの設定内容に従います。
メニュー印刷設定モードの操作方法は、オンライン状態で操作する点を除いては、セットアップの操作方法と同じです。

参照　メニュー印刷設定モードで設定できる項目と値の詳細
「メニュー印刷設定の項目一覧」（201 ページ）参照

基本的な操作

メニュー印刷設定に入るときは、オンライン状態で「メニュー」スイッチを押します。印刷の途中(データランプ点灯中)やHEXダンプ印刷モード中は、メニュー印刷設定に入ることはできません。
メニュー印刷設定を終了するには、「オンライン」スイッチを押します。



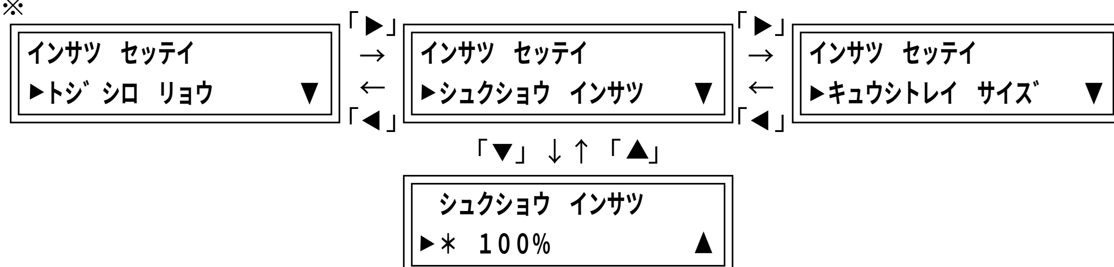
メニュー印刷設定では、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

メニュー印刷設定モード内では、次のスイッチを使用します。

「▶」または「◀」スイッチ .... 同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。

「▼」または「▲」スイッチ .... 下のレベルまたは上のレベルに移動します。

「メニュー（設定）」スイッチ ..... 表示された値に設定します。



※ オプションの両面ユニットを搭載しているときのみ表示されます。

ガイド

- 設定値は電源を切ると元に戻ります。
- 未印刷データがある場合（データランプ点灯中）やHEXダンプ印刷設定中は、メニュー印刷設定モードを選択できません。
- Printia XL ドライバからの印刷では、ドライバ設定に従います。
- 縮小印刷について
  - ESC/Page モードでは、縮小印刷の「リストインサツ A4（LA）」「リストインサツ B4（LB）」は表示されません。
  - 縮小印刷の表示が「LA」「LB」のときは、コマンドで ESC/Page モードへ移行できません。
- コピー枚数（印刷部数）の設定では、印刷データ内の部数指定コマンドが優先します。
- 給紙トレイ用紙サイズスイッチを「パネルで設定」にした場合のみ、給紙トレイサイズで指定した値が有効になります。
- 両面印刷は、はがき、不定形用紙では無効となります。

メニュー印刷設定の項目一覧

設定項目	設定値	機　　能
ｼｭｸｼｮｳ　ｲﾝｻﾂ		100% 縮小せずに印刷します。メニュー印刷設定モードを解除すると、液晶ディスプレイの表示は『□□』となります。
	75%	75%に縮小して印刷します。
	70%	70%に縮小して印刷します。
	ﾘｽﾄｲﾝｻﾂ　A4	ストックフォーム用印刷データを75%に縮小し、A4用紙に横方向で印刷します。
	ﾘｽﾄｲﾝｻﾂ　B4	ストックフォーム用印刷データをB4用紙に横方向で印刷します。
ｷｭｳｼﾄﾚｲ　ｻｲｽﾞ	Ａ４	A4サイズに設定します。
	Ｂ５	B5サイズに設定します。
	Ａ５	A5サイズに設定します。
	ﾘｰｶﾞﾙ	リーガルサイズに設定します。
	ﾚﾀｰ	レターサイズに設定します。
	ﾊｶﾞｷ	ハガキに設定します。
	ﾌﾃｲｹｲ	不定形用紙に指定します。 不定形用紙のサイズは『フテイケイ　サイズ』で設定します。
	Ａ３	A3サイズに設定します。
	Ｂ４	B4サイズに設定します。
ﾌﾃｲｹｲ　ｻｲｽﾞ	ﾌﾃｲｹｲ　ﾀﾃ×××　mm	不定形用紙の縦と横の長さを指定します。1mmずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
	ﾌﾃｲｹｲ　ﾖｺ×××　mm	スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。) 「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。 「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は次ページの※を参照してください。

運用編

11

設定項目		設定値	機　　能
ｺﾋﾟｰ　ﾏｲｽｳ		×× 　ﾏｲ	印刷する部数を設定します。初期値は１枚です。１枚ずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに速くなります。）「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。 設定範囲は１枚から 99 枚です。
ﾘｮｳﾒﾝ　ｲﾝｻﾂ		ｶｲｼﾞｮ	両面印刷を行いません。
		ｾｯﾃｲ	両面印刷を行います。
ﾄｼﾞｼﾛ　ﾎｳｺｳ		ﾁｮｳﾍﾝ　ﾄｼﾞ	両面印刷のときに、長辺側を綴じしろにします。
		ﾀﾝﾍﾟﾝ　ﾄｼﾞ	両面印刷のときに、短辺側を綴じしろにします。
ﾄｼﾞｼﾛ　ﾓｰﾄﾞ		ﾋﾀﾞﾘ/ｳｴ　ﾄｼﾞ	両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を左／上にします。
		ﾐｷﾞ/ｼﾀ　ﾄｼﾞ	両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を右／下にします。
ﾄｼﾞｼﾛ　ﾘｮｳ	ｵﾓﾃ	XX㎜	両面印刷のときの表と裏の綴じしろ量を設定します。1㎜ずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
	ｳﾗ	XX㎜	スイッチを押している時間により、加算減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに早くなります。） 「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。 「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。 設定範囲は０～30㎜です。

※ 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm～420 mm	100 mm～297 mm
初期値	420 mm（Ａ３相当）	297 mm（Ａ３相当）

印刷の中止（プリンタのリセット）

印刷開始後（データランプ点滅または点灯）に印刷を中止したいときは、プリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作を行います。

プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら（データランプ点滅）、印刷ジョブを受け捨てます。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。
プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianaviを使用しているときは、パソコン上のPrintianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

オンライン１（または２） ▷▷▷▷▷ １－Ａ４

① 印刷中に「オンライン」スイッチを押します。

↓「オンライン」

ハイシュツ　ショリチュウ ▷▷▷▷▷ １－Ａ４

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

オフライン ▷▷▷▷▷ １－Ａ４

↓「リセット」

ショキカ　シマスカ？ ▷▷▷▷▷ １－Ａ４

②「リセット」スイッチを押します。
確認のメッセージが表示されます。
このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

↓「リセット」

ショキカチュウ

③ 再度「リセット」スイッチを押すと、プリンタを初期化します。
受信データがあると、データランプが点滅します。

初期化が終了すると、オフライン状態に戻ります。

未印刷データの強制印刷

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。
Printia XL ドライバから印刷したときや、未印刷データがないとき（データランプ消灯）は、強制印刷できません。

本プリンタは、パソコンから1ページ分のデータを受信したとき、または排出（改頁）コマンドを受信したときに、初めて印刷を実行します。したがって、データを受信しても1ページに満たない状態や排出（改頁）コマンドを受信していない状態では、データがプリンタ内に残っています。

未印刷データを強制的に印刷するときは、オフライン状態に切り替えてから、次の操作を行います。

オンライン	ＥＰ
タテ	１－Ａ４

①データランプが点灯した状態のときに、「オンライン」スイッチを押します。

↓「オンライン」

オフライン	ＥＰ
タテ	１－Ａ４

↓「排出」

②「排出」スイッチを押します。

ハイシュツ　ショリチュウ	
タテ	１－Ａ４



強制印刷を中断したい場合には、用紙を排出中にもう一度「排出」スイッチを押します。強制印刷を中断し、印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になります。

第12章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）の設定項目および設定方法について説明します。

設定画面について

ここでは、プリンタドライバの設定画面の表示方法と設定方法を、OSごとに説明します。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのとき

ここでは、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPをお使いの場合に、本プリンタドライバの設定を変更するための画面と手順について説明します。

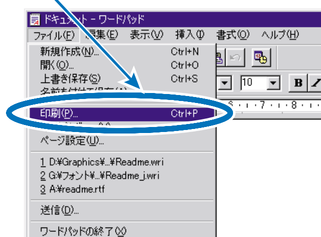
アプリケーションからの印刷設定

アプリケーションソフトから印刷を行うときに、用紙サイズや解像度など、印刷に関する設定を行う画面について説明します。

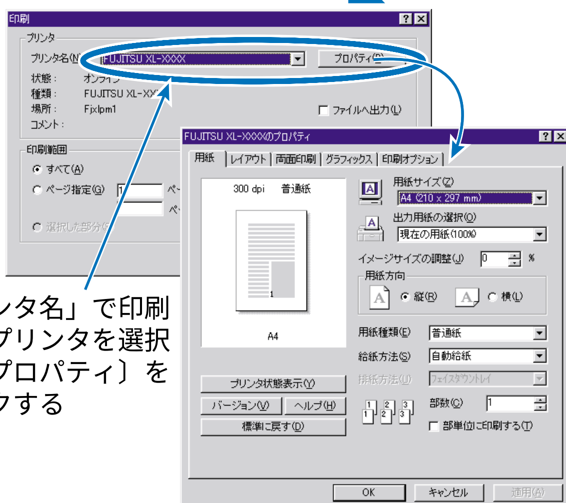
設定画面の表示方法

設定画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する

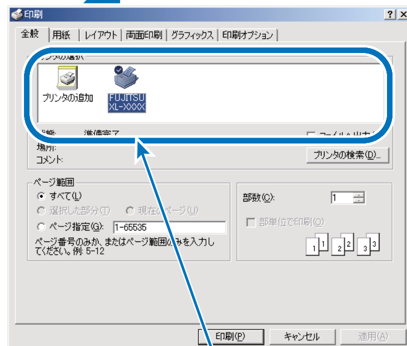


Windows 95/98/Me/NT4.0のとき



「プリンタ名」で印刷を行うプリンタを選択し、〔プロパティ〕をクリックする

Windows 2000/XPのとき



「プリンタの選択」で印刷を行うプリンタを選択する
※選択したプリンタによって後ろのタブが切り替わります。

設定方法

前ページの操作により、次の画面が表示されます。
設定を変更する手順を以下に示します。
※ 画面はWindows 95/98/Meの場合です。



1　設定を変更するダイアログのタブをクリックする

参照　各ダイアログで設定できる内容の詳細
「ダイアログ一覧」（211ページ）参照

2　設定を変更する

〔標準に戻す〕のあるダイアログでは、このボタンをクリックすると、表示中のダイアログの設定値を初期値に戻します。

3　変更した値を保存またはキャンセルする

〔OK〕 .... 設定保存後に画面を終了
〔適用〕 ...... 画面を開いたまま設定を保存
〔キャンセル〕 .. 設定を保存せずに画面を終了

装置に関する設定／印刷に関する既定値の設定

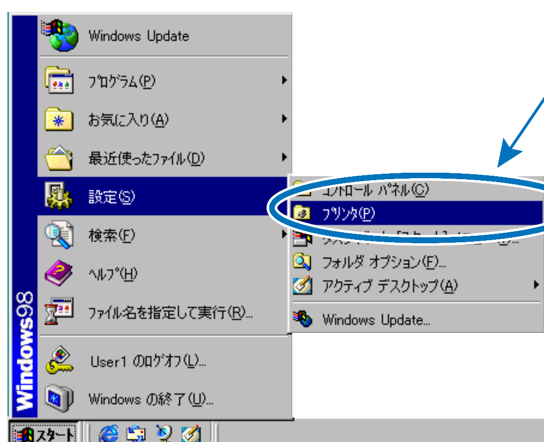
OSが提供する設定や装置のオプション情報の設定、Printianaviに関する設定を行う画面です。
また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値（アプリケーションソフトから印刷設定を行わない場合に使用する設定値）も設定できます。

お願い

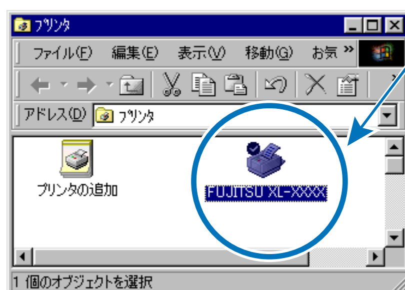
Windows NT4.0/2000/XPでは、一般ユーザはこの設定を変更できません。設定するときは、管理者グループのメンバーでログオンしてください。

設定画面の表示方法

装置に関する設定、および印刷に関する既定値の設定を行う画面は、次の手順で表示します。
OS によって選択するメニューが異なりますので、ご注意ください。
※ 1、2 の画面は Windows 98 の場合です。



1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する



2 設定を行うプリンタをクリックする

3　設定画面を表示する

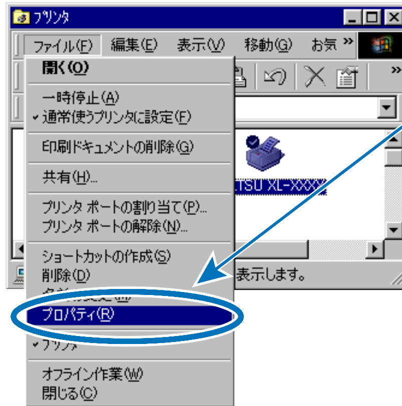
装置に関する設定、および印刷に関する既定値の設定を行う画面は、OS によって次のように異なります。

OS	装置に関する設定	印刷に関する既定値の設定
Windows 95/98/Me	プリンタのプロパティ	プリンタのプロパティ
Windows 2000/XP	プリンタのプロパティ	印刷設定
Windows NT4.0	プリンタのプロパティ	ドキュメントの既定値

設定を行う項目に合わせて、画面を表示してください。

「プリンタのプロパティ」の表示

※画面はWindows 98の場合です。

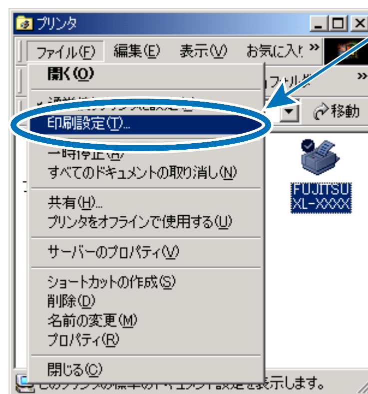


〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕を選択する

表示される画面は、OSによって異なります。

「印刷設定」(Windows 2000/XP)/「ドキュメントの既定値」(Windows NT4.0)の表示

※画面はWindows 2000/XPの場合です。



〔ファイル〕メニューから、Windows 2000/XPのときは〔印刷設定〕を、Windows NT4.0のときは〔ドキュメントの既定値〕を選択する

運用編

12

設定方法

※画面はWindows 98のプリンタのプロパティです。



1　設定を変更するダイアログのタブをクリックする

参照　各ダイアログで設定できる内容の詳細「ダイアログ一覧」(211ページ) 参照

2　設定を変更する

〔標準に戻す〕ボタンがあるダイアログでは、このボタンをクリックすると、表示中のダイアログの設定値を初期値に戻します。

3　変更した値を保存またはキャンセルする

〔OK〕...... 設定保存後に画面を終了

〔適用〕...... 画面を開いたまま設定を保存

〔キャンセル〕.. 設定を保存せずに画面を終了

ダイアログ一覧

プリンタドライバの設定を変更するためのダイアログの一覧を示します。

印刷に関する設定

アプリケーションからの設定画面で表示されるダイアログです。
Windows 95/98/Me ではプリンタのプロパティ、Windows NT4.0 ではドキュメントの既定値、Windows 2000/XPでは印刷設定でも表示されます。

参照　詳細は、「プリンタドライバのヘルプ」または『ソフトウェアマニュアル』「第２章　プリンタドライバの設定」参照

画　面	説　明
〔用紙〕	用紙サイズや種類、印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙／排紙、部数印刷に関する設定を行います。 参照　「拡大／縮小印刷」（219 ページ） 「複数部数／部単位印刷」（227 ページ）
〔レイアウト〕	１枚の用紙に複数ページを配置するN-up印刷に関する設定を行います。 参照　「１枚の用紙に複数ページを配置する（N-up 印刷）」（224 ページ）
〔両面印刷〕	両面印刷に関する設定を行います。 参照　「両面印刷」（230 ページ）

画　面		説　明
〔グラフィックス〕		
Windows 95/98/Meのとき	Windows NT4.0/2000/XPのとき	解像度やディザパターンなどを設定します。
〔印刷オプション〕		
Windows 95/98/Meのとき	Windows NT4.0/2000/XPのとき	以下の印刷に関するオプション設定を行います。 1) トナーセーブ、白紙ページの扱い、スプールに関する設定 2) スムージング 3) テキストの高速印刷

装置に関する設定

〔プリンタ〕フォルダのメニューから表示する画面です。

・Printia XL ドライバ固有のダイアログ

プリンタのプロパティで表示されるPrintia XLドライバ固有のダイアログです。



詳細は、「プリンタドライバのヘルプ」または『ソフトウェアマニュアル』「第2章　プリンタドライバの設定」参照

画　面	説　明

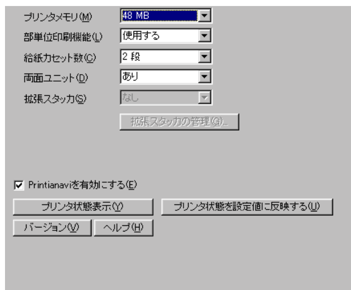
〔Printianavi〕



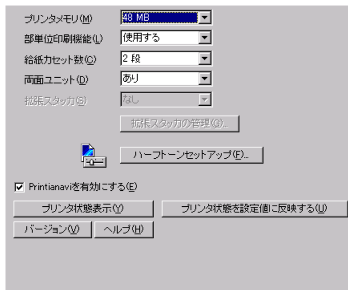
エラーメッセージの表示方法や印刷完了時のメッセージ通知などのPrintianaviに関する設定を行います。

〔装置オプション〕

Windows 95/98/Meのとき



Windows NT4.0/2000/XPのとき



オプションの装着状態や、Printianaviを有効にするかどうかの設定を行います。

• OS が提供する共通のダイアログ

プリンタのプロパティで表示される OS 提供のダイアログです。
詳細については、Windows のヘルプ、マニュアル等を参照してください。

画　面	説　明

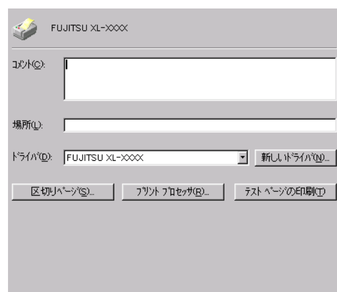
〔全般〕（Windows 95 は〔情報〕）

Windows 95/98/Me のとき

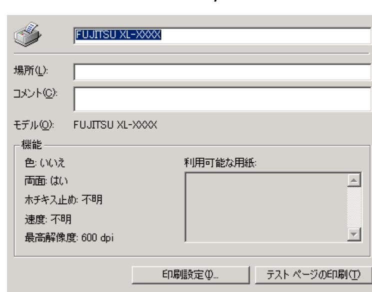


プリンタに関するコメントの入力やテストページ印刷を行います。

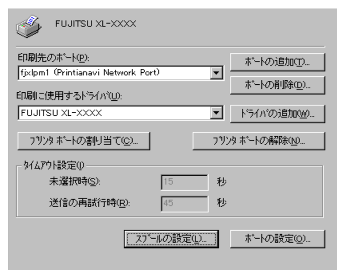
Windows NT4.0 のとき（注１）



Windows 2000/XP のとき



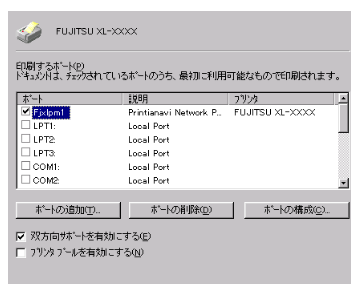
〔詳細〕（Windows 95/98/Me）



印刷先のポートに関する設定を行います。

参照「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（234ページ）

〔ポート〕（Windows NT4.0）



〔ポート〕（Windows 2000/XP）

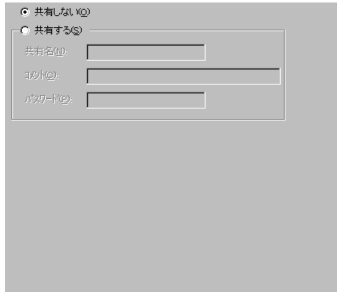


注１：本プリンタでは、Windows NT4.0の区切りページ印刷はサポートしていません。

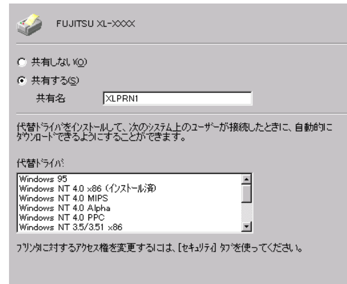
画　面	説　明

〔共有〕

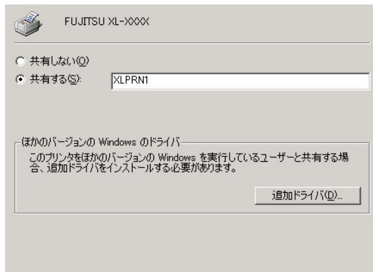
Windows 95/98/Meのとき（注２）



Windows NT4.0のとき



Windows 2000のとき



Windows XPのとき

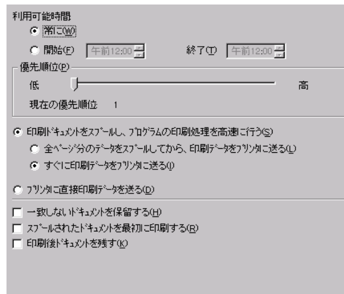


プリンタの共有に関する設定を行います。

参照　「第７章　プリンタ共有の設定」（113ページ）

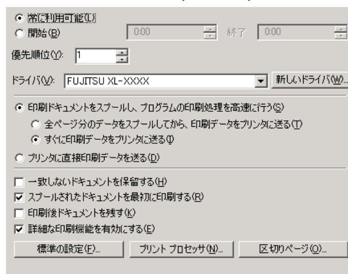
〔スケジュール〕

Windows NT4.0のとき（注４）



〔詳細設定〕

Windows 2000/XPのとき（注３）（注４）



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

通常お使いになる際は、この設定の変更は必要ありません。

注２：Windows 95/98/Meでは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。

注３：本プリンタでは、Windows 2000の区切りページ印刷はサポートしていません。

注４：本プリンタでは「一致しないドキュメントを保留する」設定は無効です。

画　面	説　明
〔セキュリティ〕 Windows NT4.0 のとき　Windows 2000 のとき Windows XP のとき	プリンタのセキュリティに関する設定を行います。 通常お使いになる際はこの設定の変更は必要ありません。

Windows 3.1のとき

ここでは、Windows 3.1をお使いの場合に、本プリンタドライバの設定を変更するための画面と手順について説明します。

設定画面の表示方法と設定方法



1　〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕をダブルクリックする

2　「組み込まれているプリンタ」から設定を行うプリンタを選択し、〔設定〕をクリックする

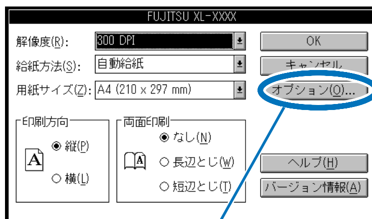
〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログが表示されます。

3　設定画面を表示する

〔オプション〕をクリックすると〔オプション〕ダイアログが表示されます。

〔オプション〕ダイアログの〔印刷部数設定〕〔両面印刷設定〕をクリックすると、各設定ダイアログが表示されます。

各ダイアログで、〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してダイアログを終了します。〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでダイアログを終了します。



「オプション」をクリック

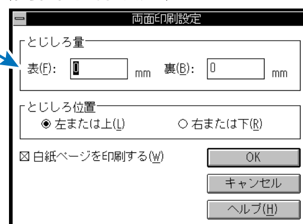
〔オプション〕ダイアログ



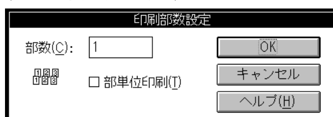
「両面印刷設定」をクリック

「印刷部数設定」をクリック

〔両面印刷設定〕ダイアログ



〔印刷部数設定〕ダイアログ



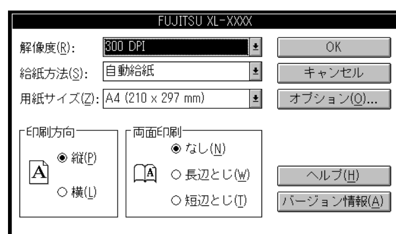
ダイアログ一覧

プリンタドライバの設定を変更するためのダイアログ一覧を示します。

参照　詳細は、プリンタドライバのヘルプまたは添付 CD-ROM のソフトウェアマニュアル「第3章　プリンタドライバの設定」参照

画　面	説　明

〔FUJITSU XL-XXXX〕



用紙サイズや印刷の向きなどの用紙に関する設定や給紙方法、解像度、両面印刷に関する設定を行います。

参照　「両面印刷」（230 ページ）

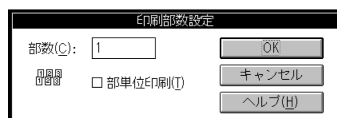
〔オプション〕



ディザリングやスムージング、不定形用紙サイズの設定や縮小印刷、用紙種類、トナーセーブの設定を行います。

参照　「縮小印刷」（223 ページ）

〔印刷部数設定〕



印刷部数や部単位印刷の設定を行います。

参照　「複数部数／部単位印刷」（227 ページ）

〔両面印刷設定〕



両面印刷に関するとじしろなどの設定を行います。

参照　「両面印刷」（230 ページ）

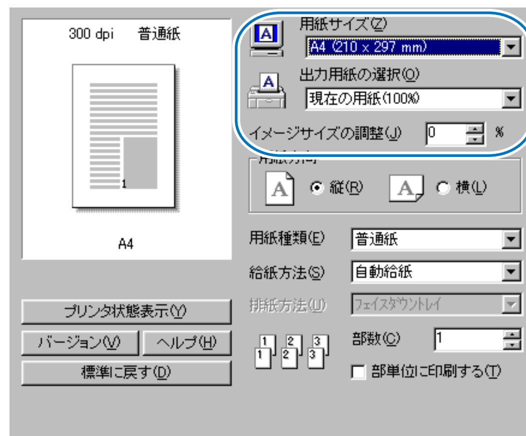
便利な印刷機能

ここでは、本プリンタドライバで行える便利な印刷機能の設定について説明します。

拡大／縮小印刷(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP)

アプリケーションで作成したデータ（文書）を拡大または縮小して印刷します。

〔用紙〕ダイアログ



用紙サイズ

拡大／縮小する前の、用紙サイズを指定します。



アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。

出力用紙の選択

拡大／縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。

現在の用紙（100%）..... 拡大／縮小印刷は行いません。
○○固定 .... 用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大／縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを○○に固定して出力します。
自動○○%拡大 .... 拡大率を指定して拡大印刷します。
自動○○%縮小 .... 縮小率を指定して縮小印刷します。



出力用紙の設定を行うと、〔用紙〕ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。

例えば、「B4→A4」と表示されているときは、B4 の用紙に収まるように作成した文書を、A4 の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。

プリンタの給紙口に出力用紙で指定したサイズの用紙が入っていることを確認してから印刷してください。



拡大／縮小率を算出した結果、印刷可能な用紙サイズにならないときは、自動的に印刷可能な用紙サイズの範囲内に設定します。この場合、拡大／縮小率も変更されます。

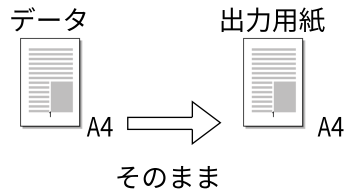
イメージサイズの調整

実際に出力する用紙サイズを変更せずに、－50%～＋50%の範囲で印刷イメージだけの拡大／縮小率を設定します。
印刷結果が用紙にうまくおさまっていないときの調整用として設定することもできます。

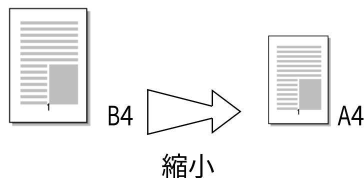
拡大／縮小印刷の設定例

印刷する用紙サイズを固定する

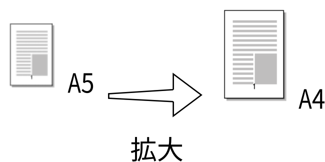
例：



・A4サイズに収まるように作成したデータは、A4サイズの用紙に収まるように印刷



・B4サイズに収まるように作成したデータは、縮小してA4サイズの用紙に収まるように印刷



・A5サイズに収まるように作成したデータは、拡大してA4サイズの用紙に収まるように印刷

このようなときは、次の設定をします。

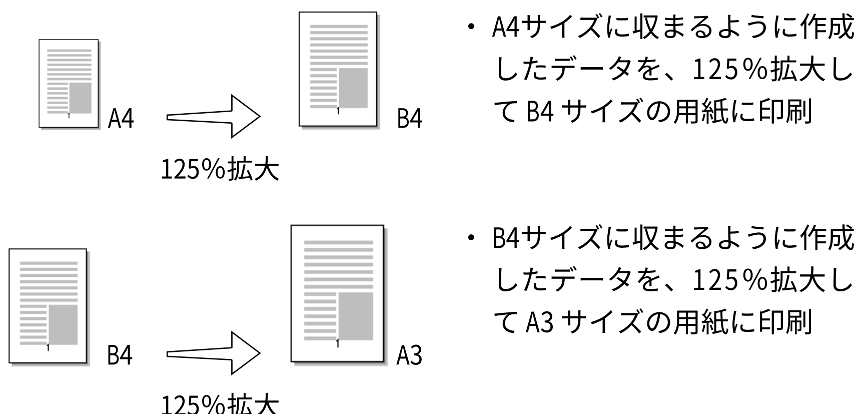
用紙サイズ .... 拡大 / 縮小前の用紙サイズを選択します。
出力用紙の選択 .... 「A4 固定」を選択します。
イメージサイズの調整 .. 拡大 / 縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

運用編

12

データを決まった拡大率で印刷する

例：



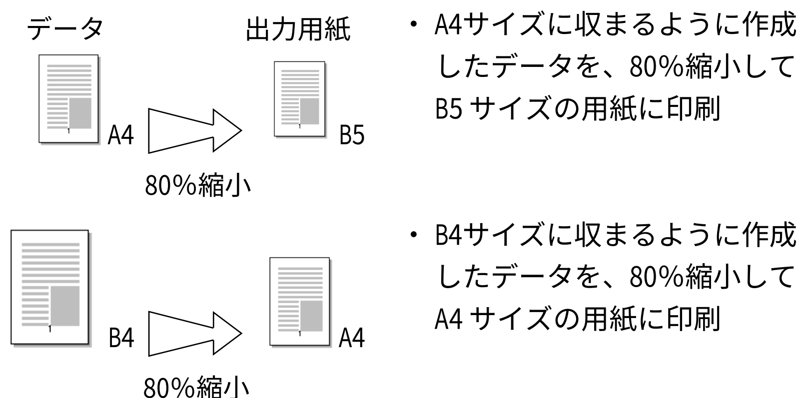
- A4サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大して B4 サイズの用紙に印刷
- B4サイズに収まるように作成したデータを、125%拡大して A3 サイズの用紙に印刷

このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ .... 拡大前の用紙サイズを選択します。
出力用紙の選択 ....「自動 125%拡大」を選択します。
イメージサイズの調整 ... 拡大した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

データを決まった縮小率で印刷する

例：



- A4サイズに収まるように作成したデータを、80%縮小して B5 サイズの用紙に印刷
- B4サイズに収まるように作成したデータを、80%縮小して A4 サイズの用紙に印刷

このようなときは、次の設定をします。

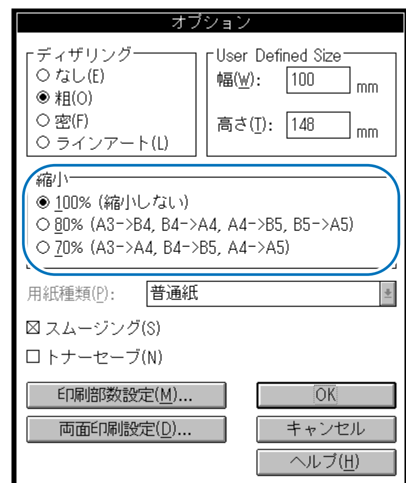
用紙サイズ .... 縮小前の用紙サイズを選択します。
出力用紙の選択 ....「自動 80%縮小」を選択します。
イメージサイズの調整 ... 縮小した印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

縮小印刷(Windows 3.1)

アプリケーションで作成したデータ（文書）を縮小して印刷します。

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ　〔オプション〕ダイアログ





用紙サイズ

拡大／縮小する前の、用紙サイズを指定します。



アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常アプリケーション側の設定値が優先されます。

縮小

縮小印刷について指定します。
縮小印刷は、次の用紙サイズのときに行われます。

80%縮小 .... A3、B4、A4 または B5 用紙
（A3 は B4 に、B4 は A4 に、A4 は B5 に、B5 は A5 に縮小）
70%縮小 .... A3、B4 または A4 用紙
（A3 は A4 に、B4 は B5 に、A4 は A5 に縮小）

上記以外の用紙（A5、はがき、リーガル、レター、不定形用紙（User Defined Size)、および 70%縮小指定時の B5 用紙）を指定したときは縮小印刷を行いません。用紙サイズを確認のうえ、印刷してください。

1枚の用紙に複数ページを配置して印刷する（N-up印刷）（Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP）

１枚の用紙に複数のページを配置して印刷するには、N-up印刷機能を使います。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのとき

〔レイアウト〕ダイアログ



N-up印刷

N-up印刷を行うときは、1up～16upの中から1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

ページ配置

N-up印刷を行うときに、１枚の用紙上のページの配置のしかたを指定します。

レイアウト枠を付ける

通常の１ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。レイアウト枠を付ける場合は、チェックします。

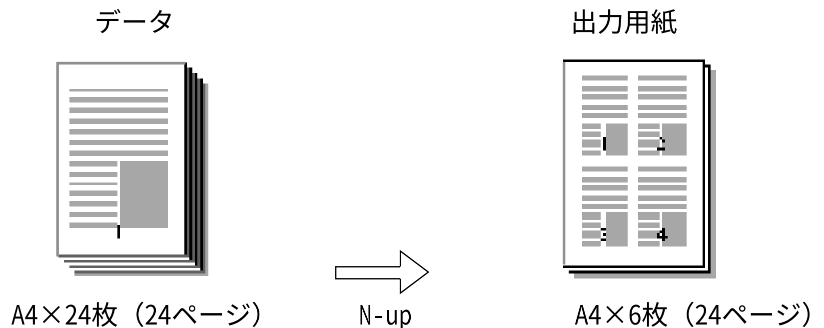
ガイド

- ユーザ定義サイズの用紙には、N-up 印刷できません。
- アプリケーションによっては、「N-up 印刷」や「出力用紙の選択」を使用して印刷結果を拡大／縮小した場合、まれに期待どおりに印刷されないことがあります。このようなときには、「イメージサイズの調整」で調整してください。
- 解像度の違いによってN-up印刷で印刷されるページの位置が異なる（ページ間の余白が異なる）場合があります。
- アプリケーションによっては、独自でページレイアウト機能を持っている場合があります。このようなアプリケーションで印刷するときには、アプリケーションのページレイアウト機能か、プリンタドライバのN-up 機能かのどちらかを使用してください。両方の機能を使用してページレイアウトを行うと、二重にレイアウトされてしまいます。

N-up 印刷の設定例

作成したデータと出力する用紙のサイズが同じとき

例：



A4 サイズに収まるように作成した 24 ページのデータを、A4 サイズの用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ、合計 6 枚に収まるよう縮小し、左上→右上→左下→右下の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

〔レイアウト〕ダイアログ

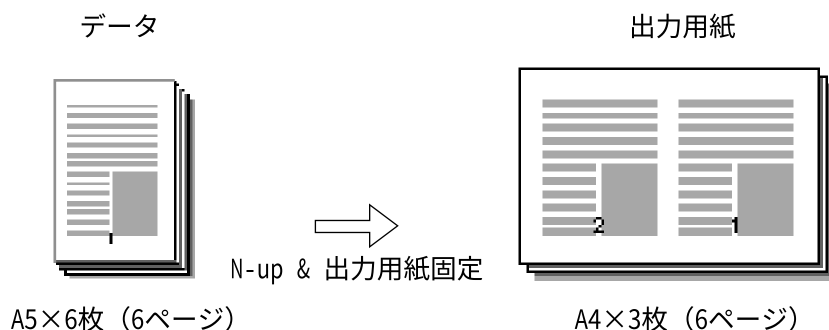
N-up 印刷 ....「4up」を選択します。
ページ配置 ....「右下」を選択します。
レイアウト枠を付ける ....1 ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

〔用紙〕ダイアログ

用紙サイズ ....「A4」を選択します。
出力用紙の選択 ....「現在の用紙（100%）」を選択します。
イメージサイズの調整 ....印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

作成したデータと出力する用紙のサイズが違うとき

例：



A5サイズに収まるように作成した6ページのデータを、A4サイズの用紙1枚に2ページ分ずつ、合計3枚に収まるように、右→左の配置で印刷

このようなときは、次の設定をします。

〔レイアウト〕ダイアログ

N-up印刷 ....「2up」を選択します。
ページ配置 ....「右→左」を選択します。
レイアウト枠を付ける ... 1ページ分に相当する部分に枠を付ける場合は、チェックします。

〔用紙〕ダイアログ

用紙サイズ ....「A5」を選択します。
出力用紙の選択 ....「A4固定」を選択します。
イメージサイズの調整 ... 印刷結果がうまく収まっていないときに調整します。

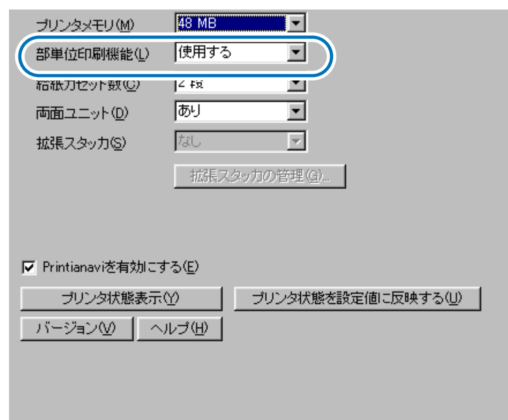
複数部数／部単位印刷

1回の印刷で同じ文書を2部以上印刷したいときは、複数部数印刷を、さらにそれらを部単位に出力させるときは部単位印刷を行います。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP のとき

※ 画面の例は Windows 95/98 の場合です。

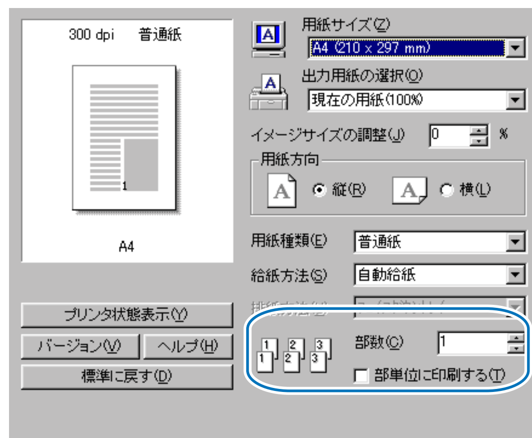
〔装置オプション〕ダイアログ



部単位印刷機能

部単位印刷をする場合は、「使用する」に設定します。

〔用紙〕ダイアログ



部数

印刷する部数を、1～999 部の範囲で指定します。

運用編

12

部単位に印刷する

２部以上印刷するときに、部単位で出力するかページ単位で出力するかを指定します。

部単位で印刷するときは、チェックします。



Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPでの部単位印刷には、次の2種類があります。

お使いのプリンタや環境によっては、部単位印刷が行えない場合もありますのでご注意ください。

・プリンタメモリを使用した部単位印刷

増設したプリンタRAMモジュール（64MB）のメモリに印刷データを保持し、必要部数分コピーするため高速に部単位印刷が行えます。

・Printianaviホスト連携による部単位印刷

スプールした印刷データをパソコン側で保持し、プリンタに必要部数分繰り返し送信します。

Printianaviが有効で次の1)または2)の条件が必要です。

1）OSがWindows NT4.0/2000/XP

プリンタのプロパティで〔詳細設定〕(Windows NT4.0は〔スケジュール〕）ダイアログの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」が選択されていることが必要です。

2）1)の共有プリンタに印刷を行うとき

なお、お使いのプリンタで部単位印刷ができるかどうかは、〔装置オプション〕ダイアログで「プリンタ状態を設定値に反映する」をクリックし、取得した状態を反映すると簡単に調べることができます。(Printianavi有効時)

「部単位印刷機能」に「使用する」と表示されているとき：

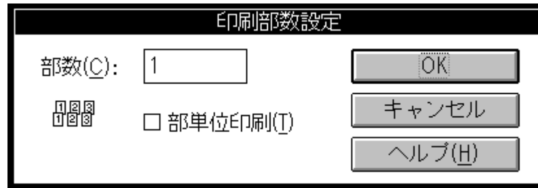
プリンタドライバの機能による部単位印刷を行うことができます。

「部単位印刷機能」に「使用しない」と表示されているとき：

プリンタドライバの機能による部単位印刷は行えません。

Windows 3.1のとき

〔印刷部数設定〕ダイアログ



部数

印刷する部数を、1～999部の範囲で指定します。

部単位印刷

２部以上印刷するときに、部単位で出力するかページ単位で出力するかを指定します。

部単位で印刷するときは、チェックします。



部単位印刷を行うには、64MBのプリンタRAMモジュールの増設が必要です。

両面印刷

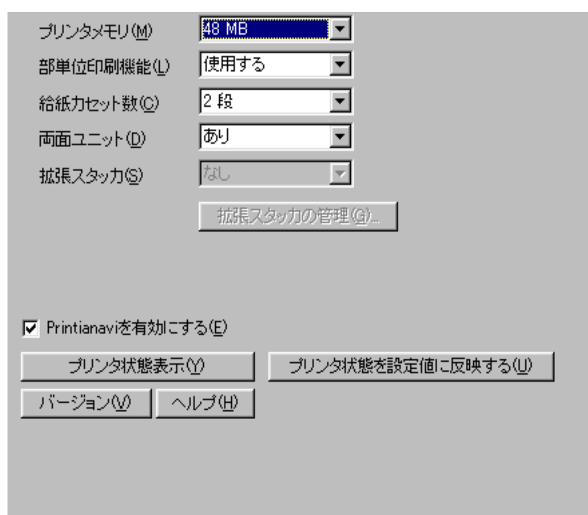
両面印刷を行うには、次の設定を行います。



・次の用紙には、両面印刷できません。
はがき、不定形用紙（「ユーザ定義サイズ」（Windows 3.1は「User Defined Size」））、厚紙、OHP フィルム
・両面印刷を行うには、両面ユニット（オプション）の装着が必要です。

設定手順

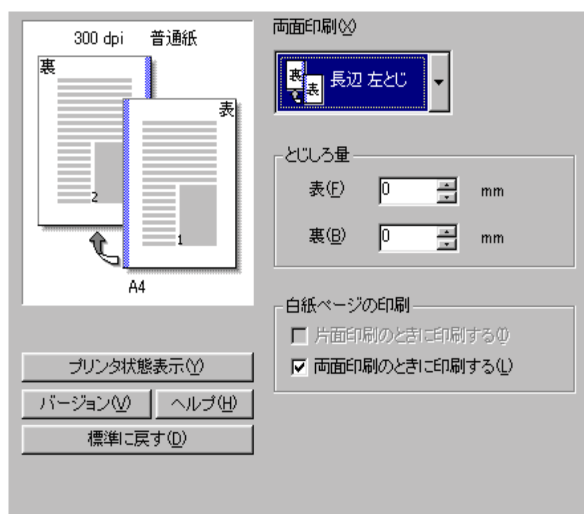
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP のとき



1 ***〔装置オプション〕ダイアログで「両面ユニット」を「あり」に設定する***

〔両面印刷〕ダイアログの設定が行えるようになります。

※ 画面の例はWindows 98/95のものです。



2 ***〔両面印刷〕ダイアログで両面印刷に関する設定を行う***

両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷の場合はとじしろ位置を設定します。

しない	片面印刷をします。
長辺左とじ／長辺右とじ／長辺上とじ／長辺下とじ	用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。 とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは左か右、横のときは上か下を選択します。
短辺上とじ／短辺下とじ／短辺左とじ／短辺右とじ	用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。 とじしろ位置は、用紙方向が縦のときは上か下、横のときは左か右を選択します。

とじしろ量

両面印刷時のとじしろ量を、0～30㎜の範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

白紙ページの印刷

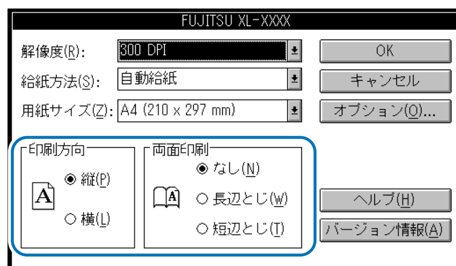
印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。
白紙のページを印刷するときは、チェックします。
片面、両面それぞれの場合について設定できます。



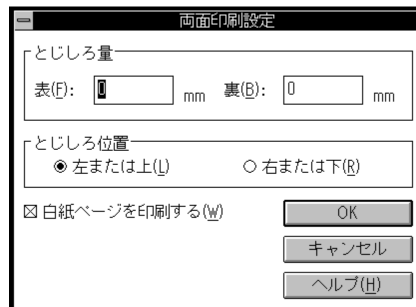
・〔レイアウト〕ダイアログで「レイアウト枠を付ける」をチェックした場合は、この設定は無効です。
・〔印刷オプション〕ダイアログでも設定できます。

Windows 3.1のとき

〔FUJITSU XL-XXXX〕ダイアログ



〔両面印刷設定〕ダイアログ



両面印刷

片面印刷か、両面印刷かを設定します。また、両面印刷の場合は用紙の長い辺でとじるか、短い辺でとじるかを設定します。

なし .... 片面印刷をします。
長辺とじ .... 用紙の長い辺でとじるように両面印刷します。
短辺とじ .... 用紙の短い辺でとじるように両面印刷します。

とじしろ量

両面印刷時のとじしろ量を、0～30㎜の範囲で、用紙の裏と表を別々に設定します。

とじしろ位置

両面印刷時のとじしろ位置を設定します。

白紙ページの印刷

両面印刷を行う文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷（出力）するかどうかを設定します。
白紙のページを印刷するときは、チェックします。



解像度が600dpiの場合、印刷する用紙サイズや方法によってはプリンタＲＡＭモジュールの増設が必要ですのでご注意ください。

	XL-6100
プリンタＲＡＭモジュールの増設が必要な場合	A3、B4、リーガル用紙に600dpiで両面印刷するとき
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処(Printianavi有効時)	自動的に片面印刷で続行します。
増設なしに印刷を行ったときの動作と対処(Printianavi無効時)	プリンタの液晶画面にRAM不足のメッセージが表示 されます。プリンタの何かのスイッチを押すと片面印刷で印刷を続行します。また、プリンタのセットアップモードの環境設定で、「メモリ不足解除」を「スル」に設定している場合は３秒経過すると自動的に片面印刷で印刷を続行します。
再度印刷するときは	解像度の設定を300dpiに変更するか、A4サイズの用紙に収まるように縮小設定にして印刷し直してください。

運用編

12

プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）

プリンタの接続方法を変更するときは、印刷先ポートの設定を変更する必要があります。また、プリンタがLAN（TCP/IP）に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

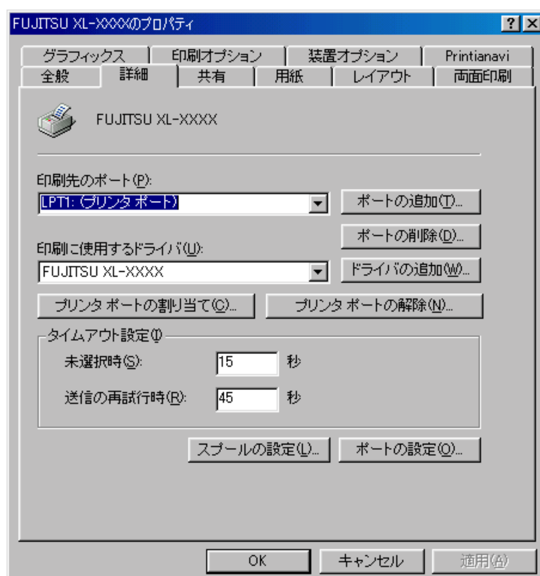
Windows 95/98/Meのとき

パソコンのOSがWindows 95/98/Meのときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

設定方法

1　〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする

2　〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する



3　〔詳細〕タブをクリックし、「印刷先のポート」の▼をクリックして、一覧を表示する

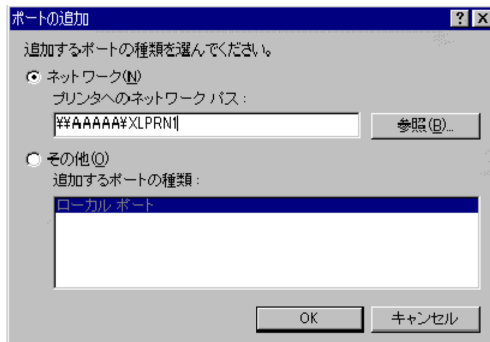
一覧から選択したら〔OK〕をクリックしてください。
一覧にない場合や、新しく追加する場合は、手順４に進んでください。

4 〔ポートの追加〕をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



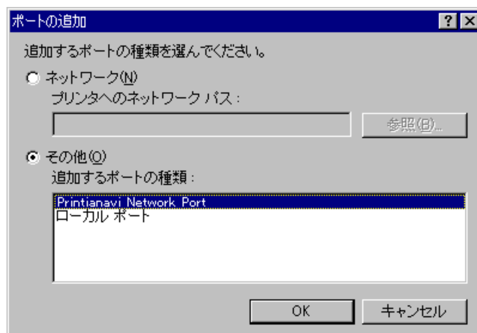
「ネットワーク」を選択後、〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックします。
入力形式は「\\ サーバのネットワークコンピュータ名 \ プリンタの共有名」です。



NetWare で印刷する場合の入力形式は、「\\ ファイルサーバ名 \ プリントキュー名」です。

LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用して LAN（TCP/IP）に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする



「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。



「第 5 章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照

運用編

12

2 目的に合わせて接続先とポート名を入力し、終わったら〔OK〕をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

参照　「ポートの追加」（66 ページ）参照

Windows NT4.0/2000/XP のとき

パソコンの OS が Windows NT4.0/2000/XP のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

設定方法

管理者権限でログオンし、次の操作をします。
※ 画面は Windows 2000 の場合です。

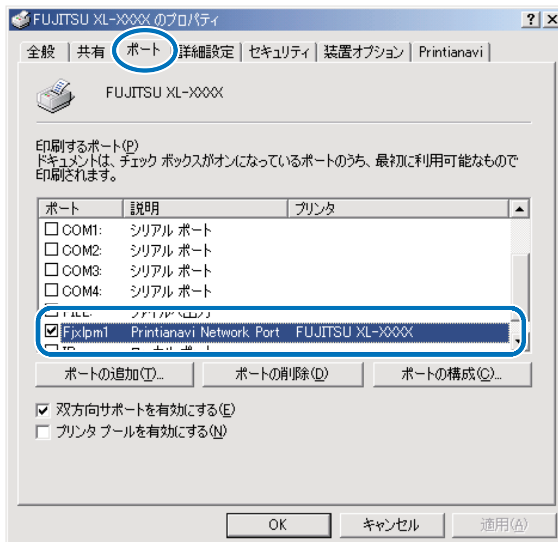
1 ***Windows NT4.0/2000 のとき:***

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックします。

Windows XP のとき:

〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックします。

2 ***〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する***



3 ***〔ポート〕タブをクリックし、「印刷するポート」の一覧から、新しい印刷ポートを選択する***

チェックを付けたら〔OK〕をクリックしてください。
一覧にない場合や新しく追加する場合は、手順４に進んでください。

4 〔ポートの追加〕をクリックする

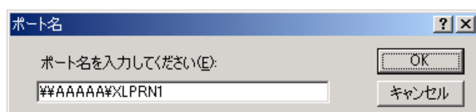
以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



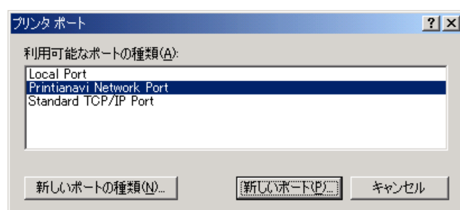
1 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は「利用可能なプリンタポート」）から「Local Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする



2 ネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックする
入力形式は「\\サーバのネットワークコンピュータ名\プリンタの共有名」です。

LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用してLAN（TCP/IP）に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は〔利用可能なプリンタポート〕）から「Printianavi Network Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

ガイド

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。

参照「第5章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49 ページ）参照

2　目的に合わせて接続先とポートを入力し、〔OK〕をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

参照　「ポートの追加」（66 ページ）参照

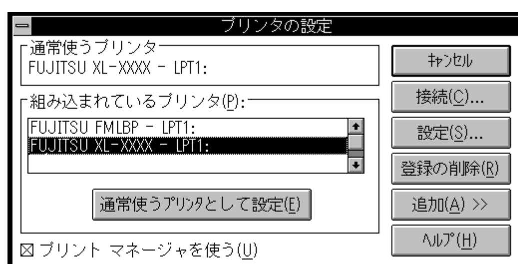
Windows 3.1のとき

パソコンのOSがWindows 3.1のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

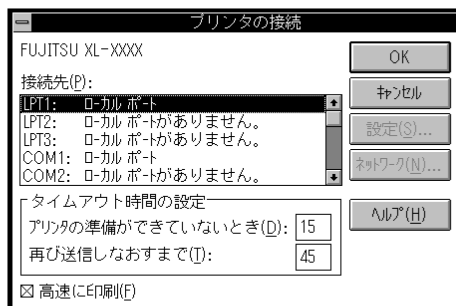
設定方法

1 *〔メイン〕グループの〔コントロールパネル〕をダブルクリックする*

2 *〔コントロールパネル〕の〔プリンタ〕をダブルクリックする*



3 *〔プリンタの設定〕ダイアログボックスの「組み込まれているプリンタ」で接続先を変更するプリンタを選択し、〔接続〕をクリックする*



4 *〔プリンタの接続〕ダイアログボックスの「接続先」リストから新しいポートを選択する、またはネットワークに接続する場合は〔ネットワーク〕をクリックして接続先を指定する*

新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）

他のWindowsで本プリンタを使用していて、プリンタドライバを削除せずにWindowsをアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのとき

Windows NT4.0/2000/XPの場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

※ 画面はWindows 2000の場合です。



Printianavi印刷ログビューア/消耗品ログビューアの表示対象となるプリンタドライバをすべて削除すると、Printianavi印刷ログビューア / 消耗品ログビューアも同時に削除されます。

1 ***Windows 95/98/Me/NT4.0/2000のとき:***

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、削除するプリンタをクリックします。

Windows XPのとき:

〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、削除するプリンタをクリックします。

2 ***〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する***



3 ***〔はい〕をクリックする***



通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

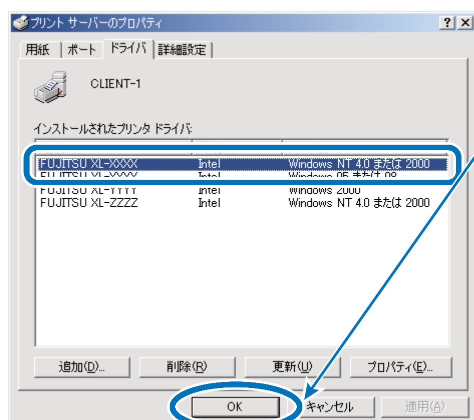
- 「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘ XXXX ’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」（XXXXはプリンタ名）
- 「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4　Windows 95/98/Me/NT4.0の場合：Windowsを再起動する Windows 2000/XPの場合：手順5～11を行う

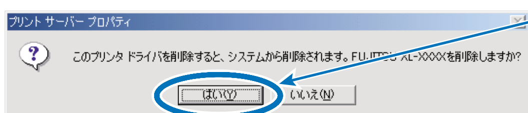
Windows 95/98/Me/NT4.0の場合は、Windowsを再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。新しいドライバをインストールしてください。

Windows 2000/XPの場合は、引き続き手順5～11までの操作を行います。

5　〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択し、〔ドライバ〕タブをクリックする



6　「インストールされたプリンタドライバ」リストから、手順2で削除したプリンタ名を選択し、〔削除〕をクリックする

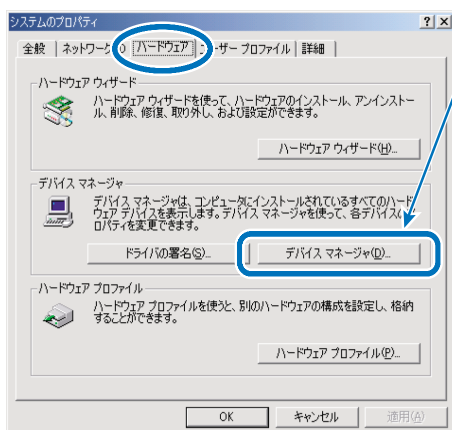


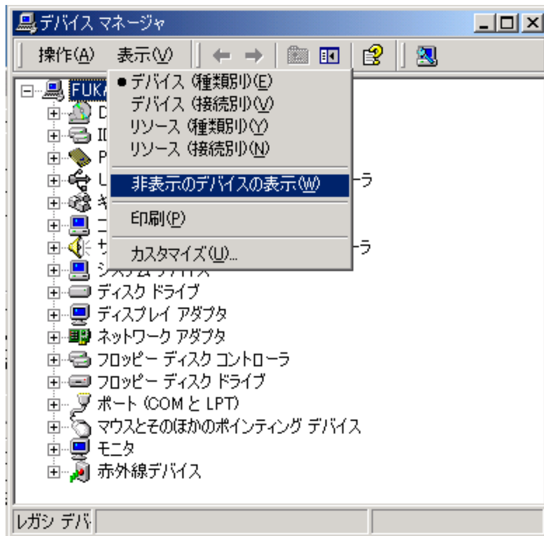
7　〔はい〕をクリックする

ドライバの削除が終わったら〔閉じる〕をクリックして、〔プリントサーバープロパティ〕ダイアログを終了します。

8　〔マイコンピュータ〕を右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

9　〔ハードウェア〕タブをクリックし、〔デバイスマネージャ〕をクリックする





10 〔表示〕メニューの〔非表示のデバイスの表示〕を選択し、〔プリンタ〕に削除したＸＬプリンタが表示された場合はアンインストールする

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで〔削除〕を選択します。
処理が終わったら〔デバイスマネージャ〕および〔システムのプロパティ〕ダイアログを終了します。



プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

11 Windows 2000/XP を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000を再起動します。
新しいドライバはWindows再起動後にインストールしてください。



プリンタをプリンタケーブルで接続時､再起動後にプラグアンドプレイによってXLドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

運用編

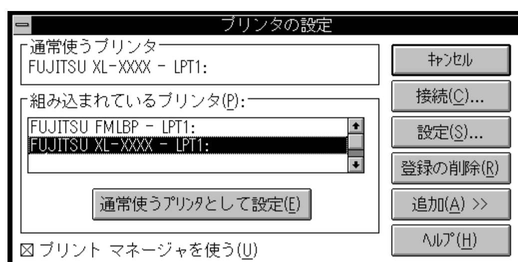
12

Windows 3.1のとき

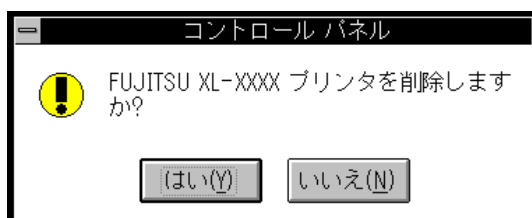
1 〔メイン〕グループの〔コントロールパネル〕をダブルクリックする。

2 コントロールパネルの〔プリンタ〕をダブルクリックする

〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。



3 〔プリンタの設定〕ダイアログボックスで、「組み込まれているプリンタ」から該当するプリンタをクリックし、〔登録の削除〕をクリックする

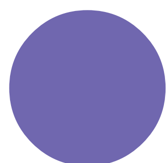


4 〔はい〕をクリックする

プリンタドライバが削除されます。削除が終わったら、新しいドライバをインストールしてください。

第13章

添付ソフトウェア（CD-ROM）について



この章では、プリンタに添付されているCD-ROMに収められているソフトウェアについて説明します。

Printianavi インストーラ

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコンで「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、Printianaviインストーラが自動的に起動し、次の画面が表示されます。



メニュー

マウスカーソルをあわせた項目が黄色く光り、左下に説明が表示されます。操作を行うには項目をクリックします。

終　了

Printianaviインストーラを終了します。



Printianaviインストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。

メニューの各項目からは、次の操作が行えます。

項　目	操作内容
はじめにお読みください	CD-ROMのソフトウェアについて留意事項を表示します。
ネットワーク連携ユーティリティ ネットワークでプリンタを使う	Printianavi関連ソフトウェアをインストールします。 参照　「Printianaviについて」（248ページ）
かんたんバーコードLite	かんたんバーコードLiteをインストールします。 参照　添付CD-ROMの「Barcode」フォルダに収められた「Readme.txt」および「Manual.pdf」（PDF形式）
Adobe® Acrobat® Reader	ソフトウェアマニュアルなどのPDF形式のファイルを表示するためのAcrobat Readerをインストールします。 参照　「ソフトウェアマニュアルについて」（251ページ）
ソフトウェアマニュアル	ソフトウェアマニュアル（PDF形式）を表示します。 参照　「ソフトウェアマニュアルについて」（251ページ）

Printianavi について

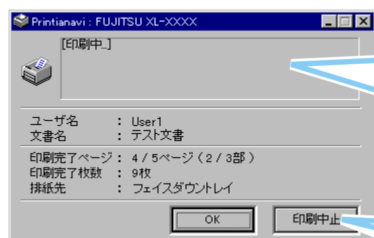
Printianavi は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP の Printia XL ドライバ対応の双方向プリンティングシステムです。
Printianavi は、Printia XL ドライバをインストールすることにより自動的に組み込まれ、次の機能を実現します。

Printianavi の基本機能

Printianavi には次の機能があります。

メッセージ表示機能
プリンタの状態や印刷状況などのメッセージをグラフィカルに表示します。

〔印刷中のステータス表示〕



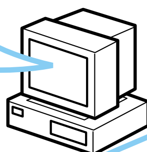
印刷状況通知
・印刷の進み具合
・エラー発生時の内容と対処方法
・印刷完了のメッセージ
をパソコンに通知することができます。

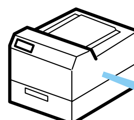
印刷中止操作
印刷を途中で中止することができます。

〔プリンタ状態表示〕



プリンタ状態表示
トナー／用紙の残量やプリンタの状態をいつでも確認することができます。





高速転送
・プリンタの状態や空きメモリ量を確認しながら、効率的に印刷データを転送します。
・100BASE-TX／セントロポートに標準で対応しています。

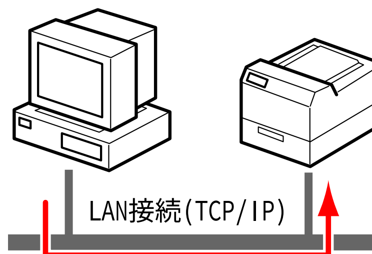
印刷自動再開機能
紙詰まりなどのエラー解除後には、失敗したページから自動的に印刷を再開します。
（再開不可能なエラーの場合は打ち切ります。）

Printianavi 機能拡張ソフトウェア

「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM には、Printianavi 機能をさらに拡張するために、以下の３つのソフトウェアが収められています。ご使用の環境や運用形態によって必要なソフトウェアが異なります。必要に応じてインストールしてください。

Printianavi ネットワークポートモニタ

LAN（TCP/IP）で接続したXLプリンタに対して、パソコンからの直接印刷とPrintianavi 機能の使用を可能にします。

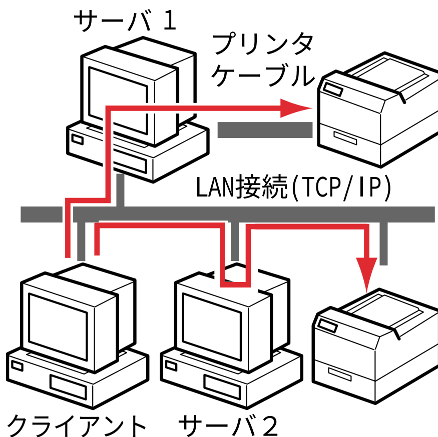


インストールするソフトウェア	パソコン
Printia XL ドライバ	○
Printianavi ネットワークポートモニタ	○

○：インストールが必要

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

LAN（TCP/IP）上のサーバ共有プリンタに印刷を行うパソコンで、Printianavi 機能の使用を可能にします。



インストールするソフトウェア	クライアント	サーバ1	サーバ2
Printia XL ドライバ	○	○	○
Printianavi ネットワークポートモニタ	―	―	○
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	○	○	○

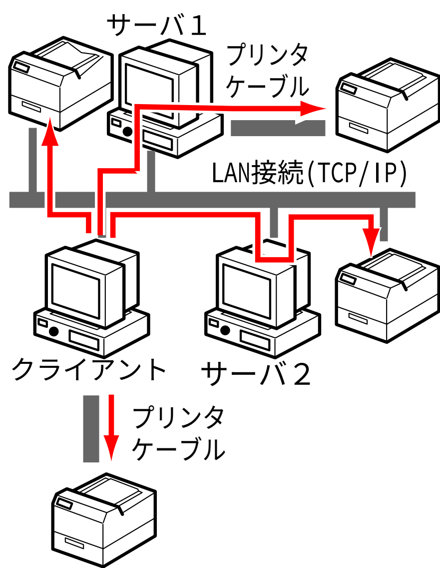
○：インストールが必要

運用編

13

Printianavi マネージャ

ローカルプリンタやネットワークプリンタ、サーバの共有プリンタの情報参照や環境設定などの複数のプリンタ管理を、パソコン上から一括して行えるようにします。



インストールするソフトウェア	クライアント	サーバ1	サーバ2
Printia XL ドライバ	○	○	○
Printianavi ネットワークポートモニタ	○	―	○
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	○	○	○
Printianavi マネージャ	○	―	―

○：インストールが必要

ソフトウェアマニュアルについて

ソフトウェアマニュアルは、CD-ROMに収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載したPDF形式のマニュアルです。
本書と併せてご活用ください。

Acrobat Reader のインストール

ソフトウェアマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンにAcrobat Reader(4.05J またはそれ以降)があらかじめインストールされていることが必要です。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP の場合

添付の CD-ROM から次の手順で Acrobat Reader 4.05J をインストールすることができます。

1　*添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする*

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

2　*〔Adobe® Acrobat® Reader〕をクリックし、インストールする*

Adobe Acrobat Reader 4.05J インストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。



- Printianaviインストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある「AR405JPN.exe」をエクスプローラから実行し、インストールを行ってください。なお、同フォルダ内にインストール時の注意事項などが記載されたReadme.txtが収められていますので併せてご覧ください。
- Acrobat Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 4.05Jは、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版のAcrobat Readerの入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp

運用編

13

ソフトウェアマニュアルの使い方

ソフトウェアマニュアルは、Acrobat Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1　添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

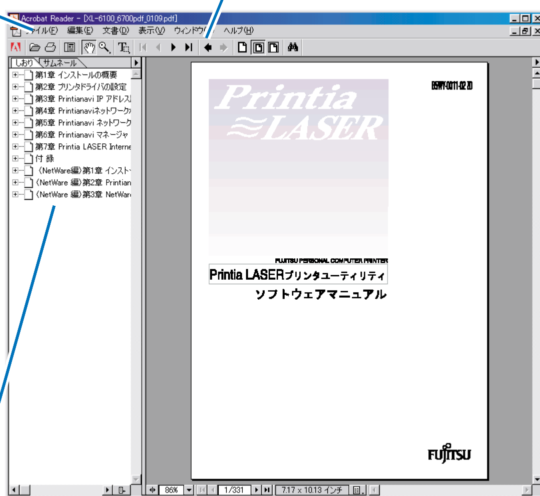
ガイド　Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから実行してください。

2　〔ソフトウェアマニュアル〕をクリックする

Acrobat Reader が起動し、ソフトウェアマニュアルが表示されます。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAcrobat Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
▶ をクリックすると次のページを表示します。
また、拡大や検索などの操作を行うことができます。



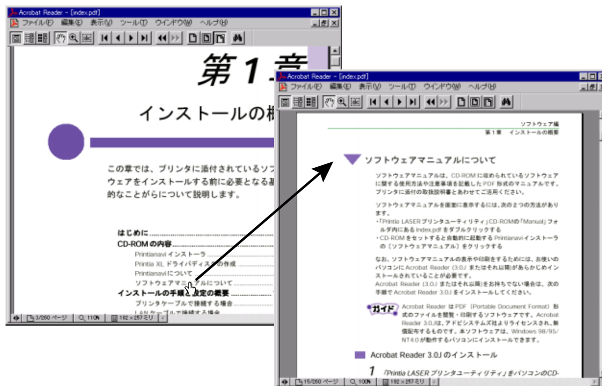
しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
▷ が表示されている場合、そこをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

Acrobat Reader の便利な機能



印刷

ソフトウェアマニュアルを印刷する場合は、〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択し、〔印刷〕ダイアログボックスで印刷部数や印刷する範囲を指定します。

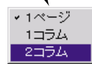


リンク

リンクとは、設定されているページにジャンプする機能です。マウスポインタが☝に変わる場所をクリックすると、リンク先のページを表示します。



1.クリック

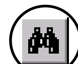


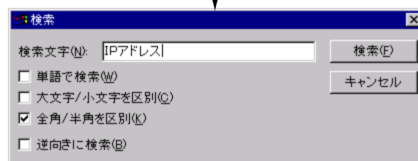
2.「2コラム」をクリック



見開き表示

〔用紙方向と用紙サイズ〕をクリックして「2コラム」を選択すると、ページを見開きで表示します。





検索

ソフトウェアマニュアル内の文字を検索するには、ツールバーの検索ボタン（🔍）をクリックし、〔検索〕ダイアログで検索文字や条件を指定します。

第14章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅ　マリ』『カミヲ　トリノゾ　イテクダ　サイ』と表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

次の要領でつまった用紙を取り除いてください。
つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じると、メッセージが消えてオフライン状態になります。「オンライン」スイッチを押してオンライン状態にすると、印刷を再開します。

「環境設定」の中の「データ保証」を「設定」にしていると、紙づまりが発生したページから印刷します。

お願い

- **つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。**
- **紙づまりが発生したら、必ず一度、上部カバーを開閉してください。**
- **用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。**

⚠注意

けが　つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
- ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災　つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。
なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ハードウェア修理相談センター（369 ページ参照）にご連絡ください。

紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

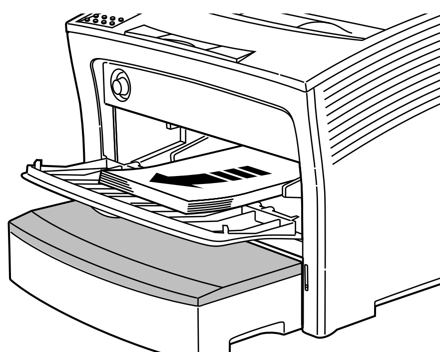
・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

紙づまりの取り除きかた

つまった用紙の取り除きかたを、給紙部と用紙搬送部それぞれについて説明します。

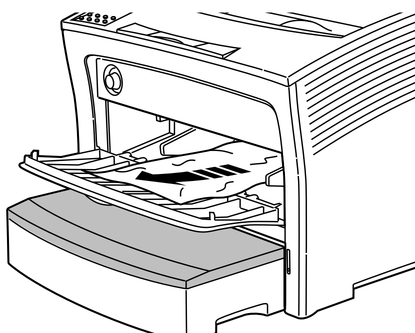
給紙部でつまった用紙の取り除きかた

給紙部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



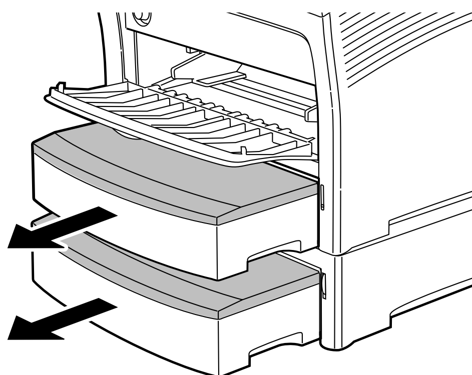
1 給紙トレイにセットされている用紙を取り出す

給紙トレイから給紙していた場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、手順3に進んでください。



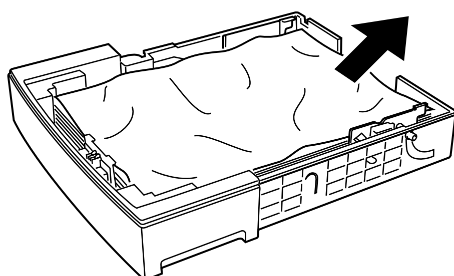
2 給紙トレイの奥を点検する

給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまった用紙があった場合は、取り除きます。



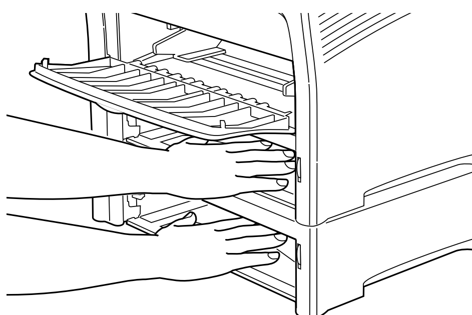
3 給紙カセットをプリンタから抜く

給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。
オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。



4 シワになっている用紙がある場合は取り除く

給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合は、取り除きます。

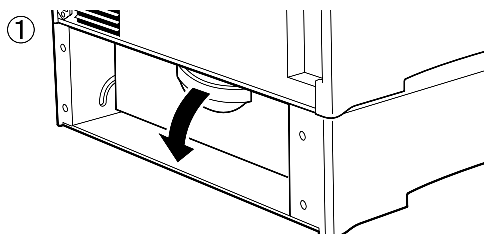


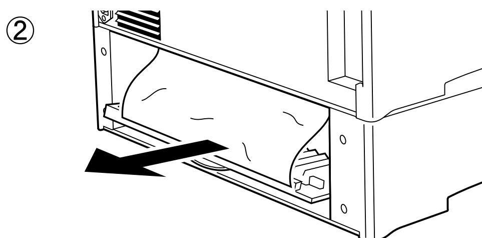
5 給紙カセット差し込み口の奥を点検する

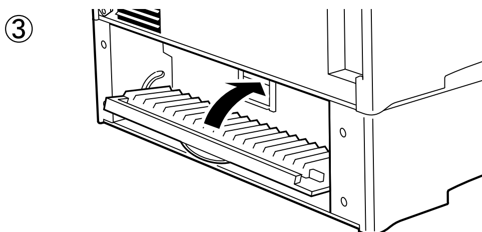
給紙カセット差し込み口の奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除きます。
オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセット差し込み口の奥を点検します。

お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。







6　拡張給紙ユニット背面のカバーを開き点検する

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、背面のカバーを開きます(①)。
つまった用紙があれば取り除き(②)、カバーを閉じます(③)。

7　給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

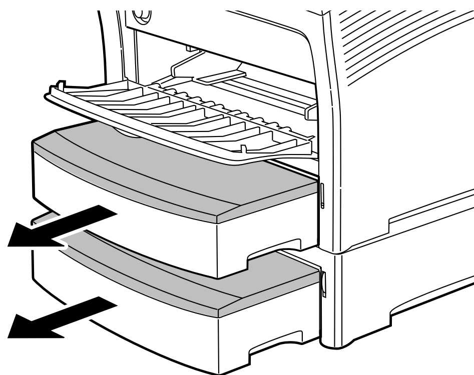
参照「用紙のセット」(143ページ）参照



給紙トレイ内での紙づまりの場合も、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

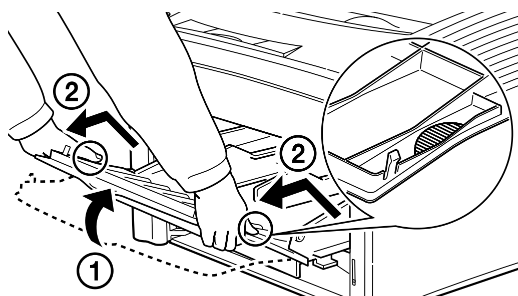
用紙搬送部でつまった用紙の取り除きかた

用紙搬送部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。



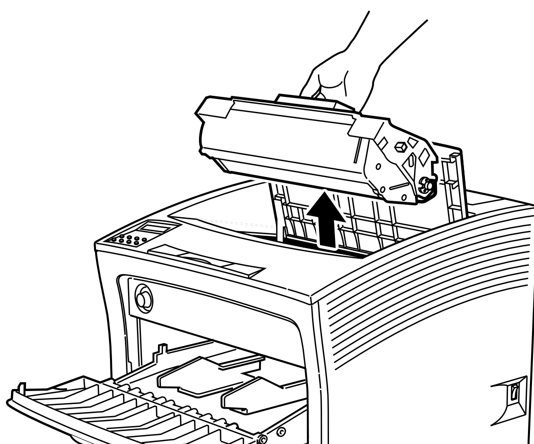
1 給紙カセットをプリンタから抜く

給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜きます。
オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。



2 給紙トレイを引き出す

給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。
給紙トレイの左右を持って、少し上に傾けます(①)。
さらに、軽く持ち上げて手前に引き出します(②)。

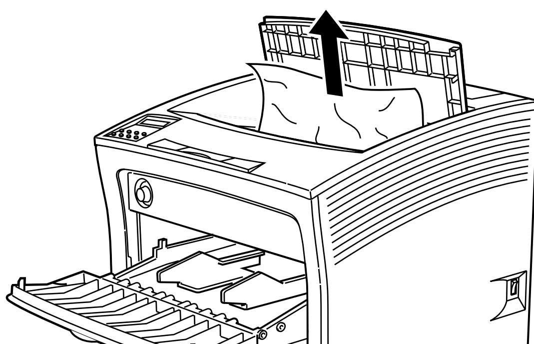


3 プロセスカートリッジを取り外す

参照 「プロセスカートリッジの交換」（165ページ）参照

お願い

トナーで床を汚さないように、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。



4 プロセスカートリッジを抜き出した奥を点検する

プロセスカートリッジを抜き出した奥を点検し、つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

⚠警告

誤　飲	用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。 トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

運用編

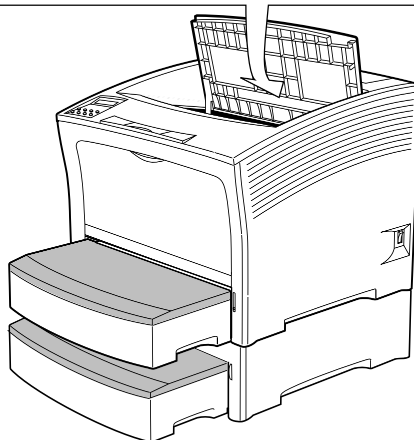
14

⚠注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

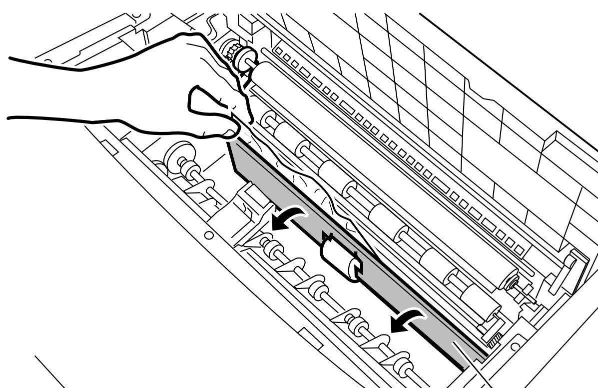
警告ラベル





お願い

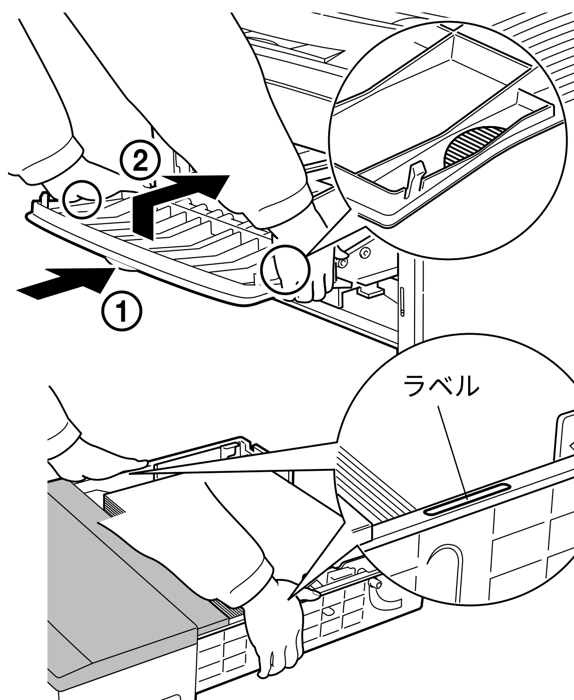
プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。



用紙搬送部のカバー

5　用紙搬送部の用紙を取り除く

用紙搬送部のカバーを開け、つまっている用紙があったら取り除きます。

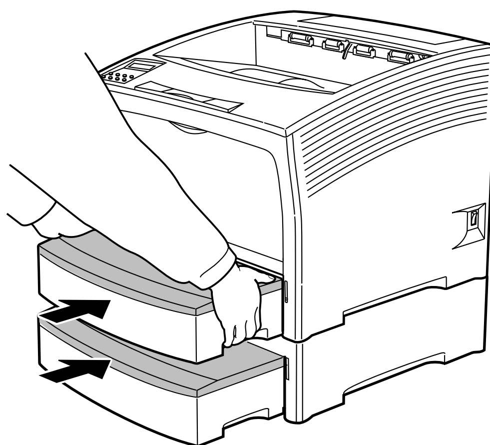


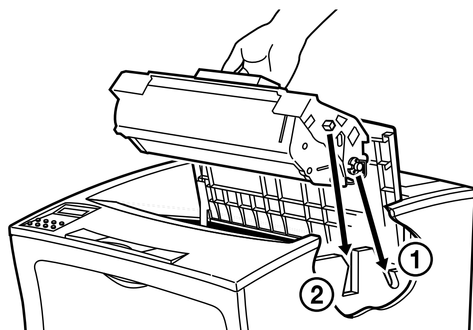
6 給紙トレイを元に戻す

給紙トレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます(①)。軽く持ち上げさらに押し込み、元の位置に戻します(②)。

7 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、プリンタに差し込みます。
給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。





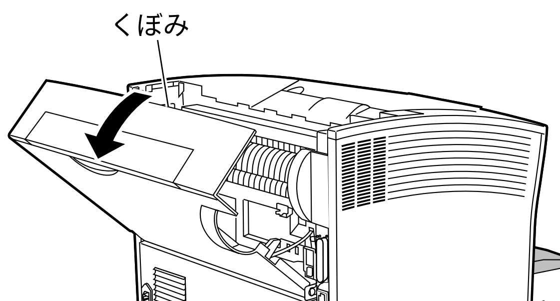
8 プロセスカートリッジをプリンタ内部に戻す

プロセスカートリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックします。

参照 「プロセスカートリッジの取り付け」(13 ページ)参照

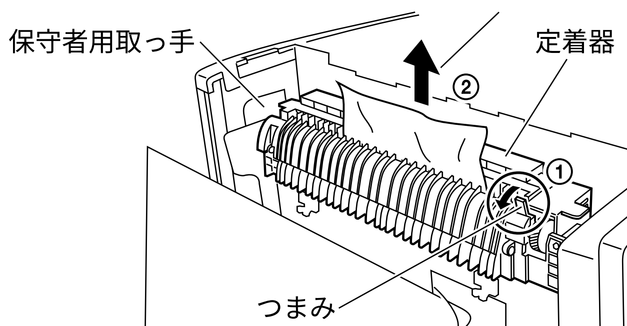
お願い

- **上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。**
- **次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。**



9 背面カバーを開き点検する

背面カバー上部のくぼみに手をかけ、手前に引いて背面カバーを開きます。



10 定着器内を確認する

定着器のつまみ(緑色)を手前に引き(①)、つまった用紙があれば取り除きます(②)。

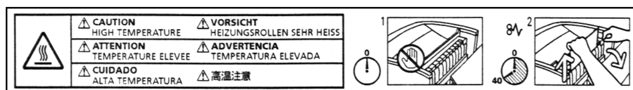
お願い

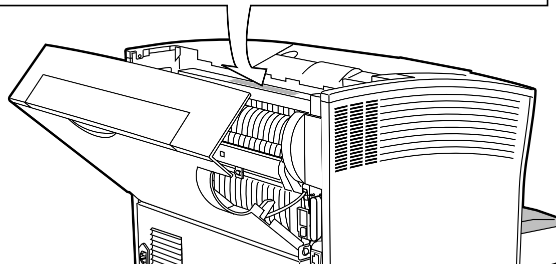
オレンジ色の取っ手は保守者用のため、手を触れないでください。定着器がプリンタから外れてしまいます。

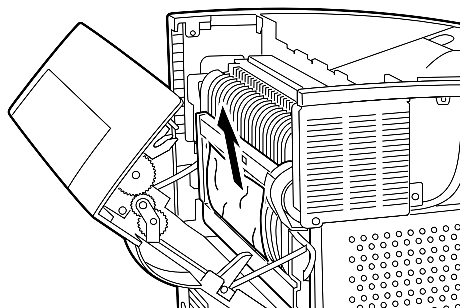
⚠注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



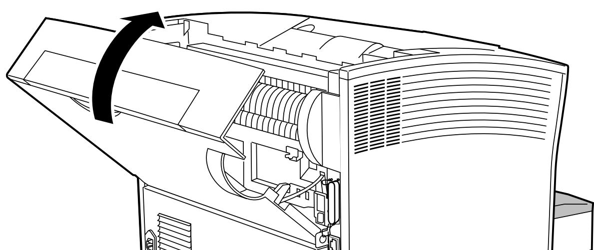




11 両面ユニットを点検する

オプションの両面ユニットを使用している場合は、両面ユニットを点検します。

両面ユニットにつまった用紙があれば、取り除きます。



12 定着器のつまみ（緑色）を元に戻し、背面カバーを閉じる

お願い

定着器が確実に元に戻っていることと、背面カバーが確実にロックされていることを確認してください。印刷不良が発生することがあります。

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照「安全上のご注意」（(ｉｉ)ページ） 「電源コードの接続」(15 ページ） 「電源を入れる」(15 ページ）
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照「パソコンとのローカル接続」(26 ページ） 「電源を入れる」(15 ページ） 「オンライン状態とオフライン状態を切り替える」(183 ページ）
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照「オペレータパネルの操作」（179 ページ）
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」(143 ページ） 「紙づまりになったとき」(256 ページ）
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「安全上のご注意」（(ｉｉ)ページ） 「用紙について」（137 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は１枚ずつセットして印刷してください。 参照「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」(143 ページ)
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をしていない。 ・用紙のセット方向を確認してください。 ・A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 ・A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 参照「安全上のご注意」((ii)ページ) 「用紙について」（137 ページ） 「紙づまりになったとき」(256 ページ)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「電源を入れる」(15 ページ) 「紙づまりになったとき」(256 ページ)
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、テスト印刷をしてください。 参照「セットアップの操作」(186 ページ) 「プリンタの清掃」（170 ページ）
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「オペレータパネルのエラーメッセージ」（273 ページ）

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。

ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）へご連絡ください。



注意	
やけど	プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。プロセスカートリッジを取り扱うときは、定着器に手を触れないよう十分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい(かすれる、不鮮明)	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、環境設定の印刷濃度調整で設定してください。 参照 「セットアップの操作」（186 ページ）
	シールドガラスが汚れています。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（172 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（143 ページ）
	プロセスカートリッジ内にトナーがありません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
黒点が印刷される	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
等間隔に汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れています。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照 「セットアップの操作」（186 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
黒く塗りつぶされた部分に白点がある	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
指でこするとトナーがかすれる	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット（給紙トレイ）」（143 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）
用紙全体が黒く印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。	ハードウェア修理相談センター（369 ページ参照）にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	トナーシールを引き抜きます。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（143 ページ）
	プロセスカートリッジにトナーが残っていません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えらます。	ハードウェア修理相談センター（369 ページ参照）にご連絡ください。
白抜けが起こる	シールドガラスが汚れています。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（172 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（143 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）
	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
用紙にシワがつく	用紙のセットが適切ではありません。	用紙を正しくセットしてください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（143 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（143 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（18 ページ） 「用紙のセット（給紙トレイ）」（143 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっています。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	シールドガラスが汚れています。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（172 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
不要なトナーがつく	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、環境設定の印刷濃度調整で設定してください。 参照 「セットアップの操作」（186 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（137 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
太い文字に影が出る P	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをセットアップモードにして、環境設定の印刷濃度調整で設定してください。 参照　「セットアップの操作」（186 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

次の表にしたがって処置してください。

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>表示内容と処置</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>ﾖｳｼ　ﾅｼ
････ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ</td><td>自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットおよび給紙トレイに用紙がないと表示されます。
給紙カセット×(1、2または３)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。</td><td>参照
「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ)
「用紙のセット(給紙トレイ)」(143 ページ)</td></tr>
<tr><td>ﾖｳｼ　ﾅｼ　　　　X
････ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ</td><td>印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。
給紙カセット×(1、2または３)に、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。</td><td>参照
「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ)</td></tr>
<tr><td>ﾖｳｼ　ﾅｼ　　　　M
････ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ</td><td>印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。</td><td>参照
「用紙のセット(給紙トレイ)」(143 ページ)</td></tr>
<tr><td>ｶｾｯﾄ　ﾅｼ
ｶｾｯﾄ　ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ</td><td>セットされていない給紙カセットが あると表示されます。すべての給紙カセットをセットしてください。</td><td>参照
「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ)</td></tr>
<tr><td>ｶﾐﾂﾞﾏﾘ　　　　　X
ｶﾐｦ　ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ　ｸﾀﾞｻｲ</td><td>紙づまりが発生すると表示されます。
上部カバー、背面カバーの内部や、給紙カセットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙づまりが発生した場合、給紙トレイを引き出し、プロセスカートリッジと給紙カセットを取り外して、プリンタの内部を確認してください。
×はエラーコードです。次の 7 種類が表示されます。
<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>確認箇所</th></tr>
<tr><td>1</td><td>カセット 1、上部カバー</td></tr>
<tr><td>2</td><td>カセット 2、上部カバー、拡張給紙ユニット背面カバー</td></tr>
<tr><td>3</td><td>カセット 3、上部カバー、拡張給紙ユニット背面カバー</td></tr>
<tr><td>M</td><td>給紙トレイ、上部カバー</td></tr>
<tr><td>I</td><td>上部カバー、プリンタ内部、背面カバー、排紙部</td></tr>
<tr><td>E</td><td>背面カバー、排紙部</td></tr>
<tr><td>D</td><td>プリンタ内部、背面カバー、両面ユニット、排紙部</td></tr>
</table></td><td>参照
「紙づまりになったとき」(256 ページ)</td></tr>
</table>

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ｶﾊﾞｰ　ｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰ　ｦ　ﾄｼﾞﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	カバーを開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	
ﾖｳｼｻｲｽﾞ　ﾌｲｯﾁ ・・・・ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	自動給紙で印刷を開始したときに、カセットおよび給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット×(1、2 または３)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ) 「用紙のセット(給紙トレイ)」(143 ページ)
ﾖｳｼｻｲｽﾞ　ﾌｲｯﾁ　　X ・・・・ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに、給紙カセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ)
ﾖｳｼｻｲｽﾞ　ﾌｲｯﾁ　　M ・・・・ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	参照 「用紙のセット(給紙トレイ)」(143 ページ)
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ﾅｼ EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞ　ｶｸﾆﾝ	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、または、使用できないプロセスカートリッジがセットされています。プロセスカートリッジを確認し、セットし直してください。	参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ) 「プロセスカートリッジの取扱いと保管」(169 ページ)
ﾊｲｼ　ﾄﾚｲ　ﾌﾙ ｶﾐｦ　ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに排出用紙が排紙トレイにたまり過ぎていると表示されます。 排紙トレイの用紙を取り除き「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	
ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ　　　X ｶｾｯﾄ　ｦ　ｶｴﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	サポートしていない用紙をセットしたときに表示されます。給紙カセット X（1、2 または 3）に正しい用紙をセットしてください。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(18 ページ)
ﾕﾆｯﾄ　ｶｸﾆﾝ FUSER　ﾕﾆｯﾄ	定着器が正しくセットされていない、または使用できない定着器がセットされています。 定着器を確認し、セットし直してください。 定着器装着の際は、電源を切って行うことを推奨します。	参照 「用紙搬送部でつまった用紙の取り除きかた」の手順 10 (264 ページ)

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ﾕﾆｯﾄ ｶｸﾆﾝ ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ	両面ユニットが正しくセットされていない、または使用できない両面ユニットがセットされています。両面ユニットを確認し、セットし直してください。 また、両面ユニット装着の際は、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	
ﾕﾆｯﾄ ｶｸﾆﾝ ｷｭｳｼﾄﾚｲ ﾕﾆｯﾄ	給紙トレイが正しくセットされていない、または使用できない給紙トレイがセットされています。給紙トレイを確認し、セットし直してください。	
ﾄｳﾛｸ ﾒﾓﾘ ｵｰﾊﾞｰ ｿﾞｯｺｳ ｶｸﾆﾝ OK?	ESC/Page コマンド受信中に、外字、オーバレイ、マクロなどを登録するメモリが足りなくなると表示されます。 セットアップモードで、『ESC/Page モード』の『メモリオーバー解除』が『スル』になっているときは、何かスイッチを押すか、３秒経過すると処理が続行されます。『シナイ』になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。	－
ｶｲｿﾞｳﾄﾞ ｼﾃｲｴﾗｰ ｲﾝｻﾂ ｦ ﾁｭｳﾀﾞﾝ	Virtual FM コマンド受信中に 400dpi 解像度コマンドを受信すると表示されます。 セットアップモードで、「VF モード」の「DPI エラー解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3 秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。	－
ﾒﾓﾘ ﾌｿｸ ｶﾀﾒﾝ ｲﾝｻﾂ ｿﾞｯｺｳ	両面印刷を指定して印刷を行う場合、A3、B4、リーガル用紙にプリンタ RAM モジュールを取り付けずに、600dpi 両面の印刷を行うと表示されます。 セットアップモードで「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3 秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理は再開されません。 ただし、Printianavi を利用している場合、「スル」の動作となります。	参照 「両面印刷」のガイド（230 ページ）

運用編

14

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ﾒﾓﾘ ﾌｿｸ ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ	メモリ未増設および32MBメモリ増設時、部単位印刷を設定して印刷を行った場合に表示されます。 セットアップモードで、「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。 ただし、Printianavi を使用する場合「スル」の動作となります。 メモリ不足エラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバがWindows 2000/NT4.0でPrintianaviを使用した場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。	―
ﾒﾓﾘ ｵｰﾊﾞｰ ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ	64MBメモリ増設時、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 セットアップモードで、「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。 ただし、Printianavi を使用する場合「スル」の動作となります。 メモリオーバーエラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XPでPrintianaviを使用した場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。	―

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 2 RAM1ｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 3 RAM2ｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 4 CG-ROM1ｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 5 CG-ROM2ｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 6 CG-ROM12ｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 11 LANﾕﾆｯﾄｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 12 LANCｱｸｾｽｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 13 MACｱﾄﾞﾚｽｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 14 ROMﾁｪｯｸｻﾑｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 15 Flash-ROMｴﾗｰ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｲｼﾞｮｳ 16 ﾄｳﾛｸ ｼｮｷｶ ｼﾏｽ Unexpect Trap XXXXXXXX XX	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（369 ページ参照）へご連絡ください。 『コントローラ　イジョウ　16』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。 設定値を変更している場合は再度設定してください。	―
ｴﾝｼﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ 1 FUSERｲｼﾞｮｳ ｴﾝｼﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ 2 ROS ﾓｰﾀ ｺｼｮｳ ｴﾝｼﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ 3 ﾒｲﾝﾓｰﾀ ｺｼｮｳ ｴﾝｼﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ 4 ﾌｧﾝ ｱﾗｰﾑ ｴﾝｼﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ 5 ﾒﾓﾘ ｲｼﾞｮｳ ｴﾝｼﾞﾝ ｲｼﾞｮｳ 6 ﾊﾟﾘﾃｨ ｴﾗｰ	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージが出る場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（369 ページ参照）へご連絡ください。	―

Printianavi のメッセージ

プリンタ一覧（Printianavi マネージャ）



Printianaviマネージャの〔プリンター覧〕

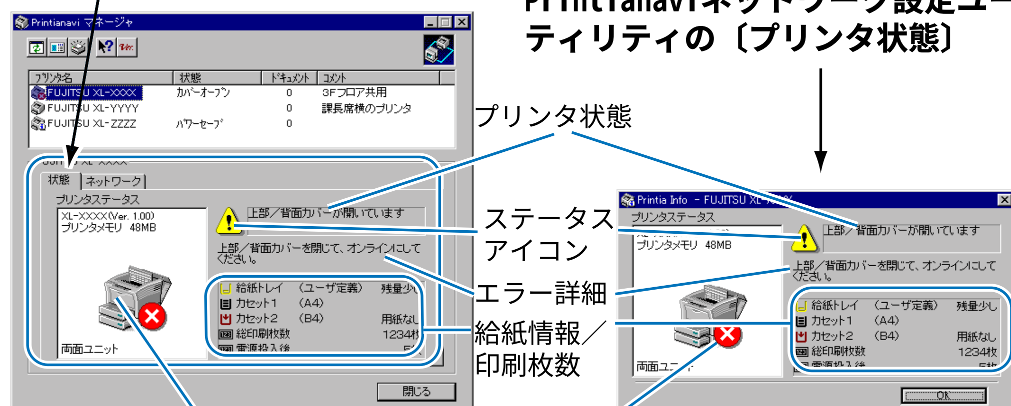
表示内容	意味	ｱｲｺﾝ	備考
(空白)	プリンタは正常状態です。	正常状態	プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
印刷中	印刷中です。		
停止中	プリンタが一時停止状態となっています。		
他で使用中	プリンタが他のコンピュータより使用されています。	情報あり	
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ中	プリンタがセットアップ中です。		
ﾌﾟﾘﾝﾀ空き待ち	プリンタが他のコンピュータより使用されており、その終了を待ち合せています。		
準備中	プリンタの印刷準備完了を待ち合せています。		
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	プリンタがパワーセーブ状態です。		
印刷設定中	プリンタが印刷設定中です。		
ﾄﾅｰ少	トナーが残り少なくなっています。	警告あり	
印刷中(ﾄﾅｰ少)	印刷中かつトナーが残り少なくなった状態です。		

表示内容	意味	ｱｲｺﾝ	備考
ｵﾌﾗｲﾝ	プリンタがオフライン状態です。		プリンタとの通信が不可能な場合は表示されません。
用紙なし	プリンタの用紙がありません。		
ｶｾｯﾄなし	プリンタのカセットがセットされていません。		
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	プリンタがカバーオープン状態です。	異常状態	
ﾕﾆｯﾄ確認	プリンタの給紙トレイ、両面ユニット、または定着器が外れています。		
用紙交換	プリンタの用紙を交換してください。		
用紙ｻｲｽﾞｴﾗｰ	プリンタの用紙サイズが違います。		
紙詰まり	プリンタが紙詰まり状態です。		
ｶｰﾄﾘｯｼﾞなし	プリンタのプロセスカートリッジが正しくセットされていません。		
ﾄﾚｲﾌﾙ	プリンタの排紙トレイに用紙がたまっています。		
解像度指定無効	プリンタで印刷できない解像度が指定されました。		
ﾒﾓﾘ不足	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えない状態です。		
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰ	プリンタでメモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。		
ﾌﾟﾘﾝﾀﾘｾｯﾄ	プリンタがプリンタリセットエラー状態です。		
ﾊｰﾄﾞｴﾗｰ	プリンタがハードエラー状態です。		
通信ｴﾗｰ	プリンタとの通信が異常となりました。		
応答なし	プリンタからの応答がありません。		
ｴﾗｰ	その他のエラーが発生しています。		
（空白）	プリンタの情報を取得中です。	その他	

プリンタステータス（Printianavi マネージャ、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ、Printia XL ドライバ）

Printianaviマネージャの〔状態〕

Printia XLドライバのプロパティの〔プリンタ状態表示〕、およびPrintianaviネットワーク設定ユーティリティの〔プリンタ状態〕



プリンタ情報ビットマップ
プリンタの機種や給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

給紙情報

給紙情報で表示されるアイコンは、次のとおりです。

アイコン　（色）	説　明
（黒）	用紙が入っています。
（黄色）	用紙が残り少なくなっています。用紙サイズの横に「残量少し」と表示されます。
（暗い赤色）	用紙がありません。この給紙口から印刷を行う前に、用紙を補給してください。 用紙サイズの横に「用紙なし」と表示されます。
（暗い赤色）	給紙カセットが正しくセットされていません。 給紙カセットにサポート外の用紙をセットしたときは「用紙サイズエラー」、給紙カセットが正しく装着されていないときは「カセットなし」、給紙トレイが正しく装着されていないとときは「ユニットなし」と表示されます。（用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。）
（グレー）	プリンタからの情報をまだ取得していないか、取得に失敗したため、給紙情報が不明です。 （用紙サイズおよび用紙残量情報は表示されません。）

また、次のプリンタ状態（エラー）の場合は、エラーが発生している給紙口情報の文字が暗い赤色で表示されます。

プリンタ状態	暗い赤色で表示される給紙口
給紙トレイが外れています	給紙トレイ
給紙カセットがセットされていません	カセットなしの給紙口すべて
給紙カセットＸが正しくセットされていません	カセットＸ
給紙トレイの用紙サイズが違います	給紙トレイ
給紙カセットＸの用紙サイズが違います	カセットＸ
給紙トレイの用紙がありません	給紙トレイ
給紙カセットＸの用紙がありません	カセットＸ
給紙トレイで紙詰まりが発生しました	給紙トレイ
給紙カセットＸで紙詰まりが発生しました	カセットＸ

ただし、これらはプリンタ状態の表示内容と同期しているため、給紙口のエラーが解除されないまま他のエラーが発生した場合は、給紙口情報の文字は黒色になります。（例えば、プリンタ状態が「給紙カセットがセットされていません」のとき、カセットをセットしないで上部／背面カバーを開くと、プリンタ状態は「上部／背面カバーが開いています」に変わり、同時に暗い赤色で表示された給紙情報の文字は黒色になります。）

運用編

14

ステータスアイコン／プリンタ状態／エラー詳細

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
正常	オンライン	
	パワーセーブ中...	
	準備中...	
	印刷中...	
	情報取得中...	しばらくおまちください。
	他で使用中	プリンタ装置が他で使用中です。
	情報設定中...(注1)	しばらくおまちください。
	情報の設定が完了しました(注1)	しばらくおまちください。
トナー少（黄色）	オンライン	トナーが残り少なくなりました。
	パワーセーブ中...	
	準備中...	
	印刷中...	
エラー、警告	プリンタからの応答がありません(注2)	
	プリンタが印刷設定中です	
	上部／背面カバーが開いています	上部／背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。
	給紙トレイが外れています	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。
	両面ユニットが外れています	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。
	定着器が外れています	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。
	排紙トレイが用紙でいっぱいです	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	プリンタがオフラインとなっています	プリンタをオンラインにしてください。
	プリンタがリセットされました	プリンタをオンラインにしてください。

注1：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕で、設定を行ったときのみ表示されます。
注2：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でも表示されます。

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
エラー、警告	リモート設定中です	しばらくおまちください。
	初期化中です	しばらくおまちください。
	印刷できない解像度が指定されました(Virtual FM)	アプリケーションの設定等を確認してください。
	メモリオーバーが発生しました(ESC/Page)	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。
	メモリオーバーが発生しました（部単位印刷）	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	プリンタメモリが不足しています	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	プリンタからの情報取得ができません(注2)	環境を確認してください。
	システムエラーが発生しました(注2)	(注3)
	プリンタで異常が発生しました	プリンタの状態を確認してください。
	プリンタからの応答が異常です(注4)	(注3)
用紙なし	指定した用紙がありません（用紙サイズ）	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙カセットＸに用紙がありません（用紙サイズ）	給紙カセットＸに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	給紙トレイに用紙がありません（用紙サイズ）	給紙トレイに用紙を補給してください。

注2：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でも表示されます。
注3：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕では、エラー詳細に「エラー詳細：コード」の形式でエラーコードが表示されます。
注4：Printianavi マネージャの〔ネットワーク〕でのみ表示されます。

運用編

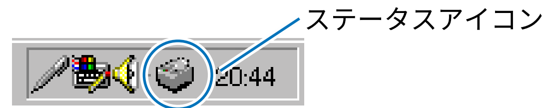
14

ステータスアイコン	プリンタ状態	エラー詳細
カセットエラー（暗い赤色）	給紙カセットがセットされていません	給紙カセットをセットしてください。
	給紙カセットＸが正しくセットされていません	給紙カセットＸをセットし直してください。
	用紙サイズが違います（用紙サイズ）	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	給紙カセットＸの用紙サイズが違います（用紙サイズ）	給紙カセットＸの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	給紙トレイの用紙サイズが違います（用紙サイズ）	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
紙詰まり	給紙カセット×で紙詰まりが発生しました	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	給紙トレイで紙詰まりが発生しました	
	プリンタ内部で紙詰まりが発生しました	
	排紙部で紙詰まりが発生しました	
	両面ユニットで紙詰まりが発生しました	
カートリッジエラー	プロセスカートリッジが正しくセットされていません	プロセスカートリッジをセットし直してください。
ハードエラー	ハードエラーが発生しました	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。

ステータス表示ウィンドウ

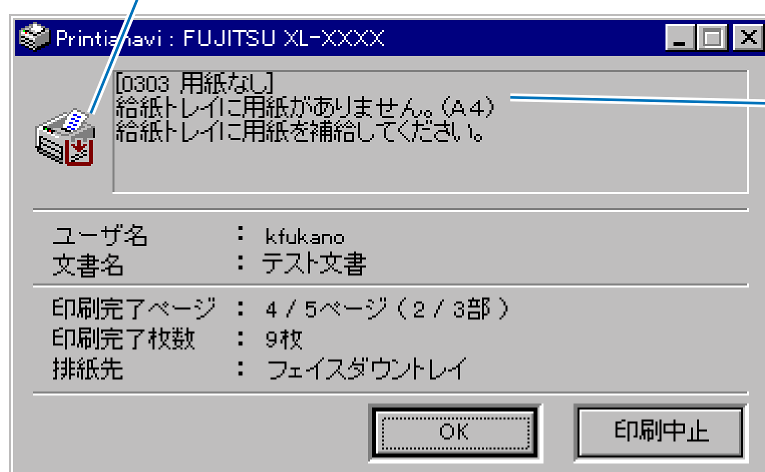
Printianavi の設定で「印刷中のステータス表示」を「表示しない」以外に設定している場合、印刷中にプリンタの状態や印刷状況を表示します。

最小化時



アイコン	説　明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 　印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、その他の状態を示します。

ポップアップ時



ステータスアイコン	ステータス内容
正常	〔印刷中 . . .〕
情報あり	〔印刷待ち〕 プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。
	〔準備中 . . .〕 印刷の準備中です。しばらくお待ちください。
	〔印刷の再開準備中 . . .〕 印刷の再開準備中です。しばらくお待ちください。
	〔印刷中 . . .〕 （注 1）
トナー少	〔印刷中 . . .（トナーニアエンプティ）〕 トナーが残り少なくなりました。
	〔印刷中 . . .（トナーニアエンプティ）〕 トナーが残り少なくなりました。 （注 1）

注１：両面印刷、部単位印刷への印刷が指定どおり行えない場合に「XXの指定は無効です（無効な理由）」のメッセージを１つまたは組み合わせて表示します。
なお、各メッセージの理由（（ ）の中身）には、次の項目のいずれかが表示されます。
両面印刷　：両面ユニットなし、プリンタメモリ不足
部単位印刷：プリンタメモリ不足、プリンタメモリオーバー

ステータスアイコン	ステータス内容
トナー少	〔準備中 . . .（トナーニアエンプティ）〕 印刷の準備中です。しばらくお待ちください。 トナーが残り少なくなりました。
エラー、警告	〔印刷設定中 . . .〕 プリンタの設定スイッチが有効となっています。
	〔0300 オフライン〕 プリンタがオフラインとなっています。 プリンタをオンラインにしてください。
用紙なし	〔0301 用紙なし〕 指定した用紙がありません。（用紙サイズ） 給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	〔0302 用紙なし〕 給紙カセットＸに用紙がありません。（用紙サイズ） 給紙カセットＸに用紙を補給し、オンラインにしてください。
	〔0303 用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。（用紙サイズ） 給紙トレイに用紙を補給してください。
カセットエラー	〔0304 カセットなし〕 給紙カセットがセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。
	〔0309 用紙交換〕 用紙サイズが違います。（用紙サイズ） 給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	〔0310 用紙交換〕 給紙カセットＸの用紙サイズが違います。（用紙サイズ） 給紙カセットＸの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	〔0311 用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。（用紙サイズ） 給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。
	〔0312 用紙サイズエラー〕 給紙カセットＸが正しくセットされていません。 給紙カセットＸをセットし直してください。

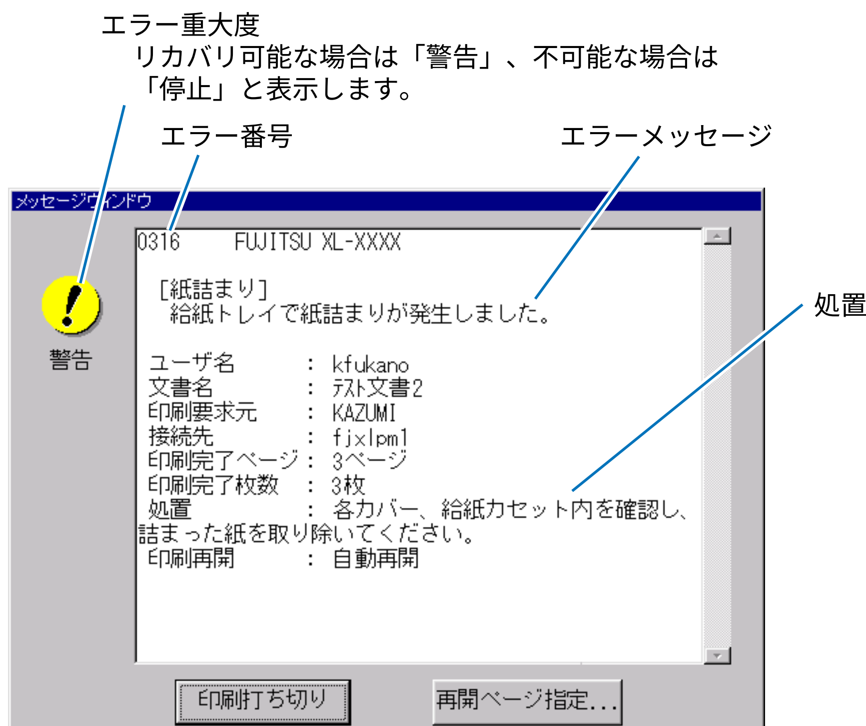
ステータスアイコン	ステータス内容
紙詰まり	〔0314　紙詰まり〕 排紙部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	〔0315　紙詰まり〕 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	〔0316　紙詰まり〕 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	〔0317　紙詰まり〕 プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
	〔0318　紙詰まり〕 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。 各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。
カートリッジエラー	〔0319　カートリッジなし〕 プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。
エラー、警告	〔0320　トレイフル〕 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。
	〔0330　ユニット確認〕 給紙トレイが外れています。 給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。
	〔0331　ユニット確認〕 両面ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。
	〔0332　ユニット確認〕 定着器が外れています。 プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。

ステータスアイコン	ステータス内容
エラー、警告	〔0350　解像度指定無効〕 印刷できない解像度が指定されました。（Virtual FM） アプリケーションの設定等を確認してください。
	〔0351　メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生しました。（ESC/Page） プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。
	〔0355　メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生しました。（部単位印刷） プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	〔0356　メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しています。 プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷で続行します。
	〔0357　メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しています。 プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。
	〔0371　プリンタリセット〕 プリンタがリセットされました。 プリンタをオンラインにしてください。
	〔0373　プリンタリセット〕 プリンタが初期化中です。 プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。
	〔0390　プリンタ異常〕 プリンタで異常が発生しました。 プリンタの状態を確認してください。
	〔0405　カバーオープン〕 上部／背面カバーが開いています。 上部／背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。

ステータスアイコン	ステータス内容
ハード エラー	〔XXXX　ハードエラー〕 ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。
エラー、警告	〔1500　応答なし〕 プリンタからの応答がありません。 プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。
	〔1900　メモリ不足〕 メモリ不足が発生しました。 プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。
	〔XXXX　通信エラー〕 プリンタとの通信が異常となりました。 プリンタの電源を投入し直してください。
	〔XXXX　システムエラー〕 システムエラーが発生しました。 いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。

エラーメッセージ

Printianavi の設定で「エラーを通知する」を設定している場合、印刷中にエラーが発生したときにエラーメッセージを表示します。



※　以降のメッセージ一覧表中の自動再開欄の記号は､次の意味を示します。

○ ....プリンタの操作でエラーが解除されると､印刷を自動的に再開します。

□ ....印刷開始前にエラーを検出した場合は､印刷を自動的に再開します。
印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。

× ....印刷を再開しません。（印刷打ち切り）

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処　置	自動再開
0300	オフライン	〔オフライン〕 プリンタがオフラインとなっています。	プリンタをオンラインにしてください。	○
0301	用紙なし	〔用紙なし〕 指定した用紙がありません。 （用紙サイズ）	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。	○
0302	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙カセット×に用紙がありません。（用紙サイズ）	給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。	○
0303	用紙なし	〔用紙なし〕 給紙トレイに用紙がありません。 （用紙サイズ）	給紙トレイに用紙を補給してください。	○
0304	カセットなし	〔カセットなし〕 給紙カセットがセットされていません。	給紙カセットをセットしてください。	○
0309	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 用紙サイズが違います。 （用紙サイズ）	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	○
0310	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙カセットＸの用紙サイズが違います。（用紙サイズ）	給紙カセットＸの用紙を交換し、オンラインにしてください。	○
0311	用紙サイズ不一致	〔用紙交換〕 給紙トレイの用紙サイズが違います。（用紙サイズ）	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	○
0312	用紙サイズエラー	〔用紙サイズエラー〕 給紙カセットＸが正しくセットされていません。	給紙カセットＸをセットし直してください。	○
0314	紙詰まり	〔紙詰まり〕 排紙部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。	○ （注1）
0315	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙カセットＸで紙詰まりが発生しました。		
0316	紙詰まり	〔紙詰まり〕 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。		
0317	紙詰まり	〔紙詰まり〕 プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。		

注1：プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XPの場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。（印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ）

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処　置	自動再開
0318	紙詰まり	〔紙詰まり〕 両面ユニットで紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。	○ （注1）
0319	カートリッジなし	〔カートリッジなし〕 プロセスカートリッジが正しくセットされていません。	プリセスカートリッジをセットし直してください。	○
0320	トレイフル	〔トレイフル〕 排紙トレイが用紙でいっぱいです。	排紙トレイの用紙を取り除いて、オンラインにしてください。	○
0330	ユニット確認	〔ユニット確認〕 給紙トレイが外れています。	給紙トレイを装着して、オンラインにしてください。	○
0331	ユニット確認	〔ユニット確認〕 両面ユニットが外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、両面ユニットを正しく装着してください。	○
0332	ユニット確認	〔ユニット確認〕 定着器が外れています。	プリンタの電源を切り、背面カバーを開けて、定着器を正しく装着してください。	○
0350	解像度指定エラー	〔解像度指定無効〕 印刷できない解像度が指定されました。（Virtual FM）	アプリケーションの設定等を確認してください。	□
0351	メモリオーバー	〔メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 （ESC/Page）	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。処理を続行します。	○
0355	メモリオーバー	〔メモリオーバー〕 メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 （部単位印刷）	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。	□
0356	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。（両面印刷）	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。片面印刷のみで続行します。	○
0357	メモリ不足	〔メモリ不足〕 プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。（部単位印刷）	プリンタのいずれかのスイッチを押してください。一部のみ印刷します。	□
0371	パネルリセット （注2）	〔プリンタリセット〕 プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	□
0373	プリンタソフトリセット	〔プリンタリセット〕 プリンタが初期化中です。	プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。	○

注1：プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XPの場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。（印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ）

注2：プリンタリセットのタイミングによっては、通信エラーとなることがあります。印刷を中止したいときは、プリンタをオフラインにしてから、Printianaviのエラーメッセージ画面で「印刷打ち切り」を実行することをお勧めします。

番号	エラー内容	エラーメッセージ	処　置	自動再開
0390	プリンタ異常	〔プリンタ異常〕 プリンタで異常が発生しました。	プリンタの状態を確認してください。	○ (注1)
0405	カバーオープン	〔カバーオープン〕 上部／背面カバーが開いています。	上部／背面カバーを閉じて、オンラインにしてください。	○
0500	通信タイムアウト	〔通信エラー〕 プリンタとの通信が異常となりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	□
0520 ～ 0526	パラメータ長 エラー			
0540	未定義コマンド			
0560 ～ 0567	コマンドシーケンス エラー			
5500 ～ 5505	ポートモニタ エラー			
1520	プロトコル異常			
1500	通信タイム アウト （電源断）	〔応答なし〕 プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。プリンタの接続が正常な場合、プリンタ側のパネル操作で、双方向インタフェースが有効（バイセントロモード：設定）になっていることを確認してください。	□
0705	エンジン異常	〔ハードエラー〕 ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□
1900	メモリ不足 （パソコン側）	〔メモリ不足〕 メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているコンピュータ上の不要なアプリケーションを終了してください。	×
5900 5901	システムエラー （ポートモニタ）	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×
上記以外	システムエラー	〔システムエラー〕 システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×

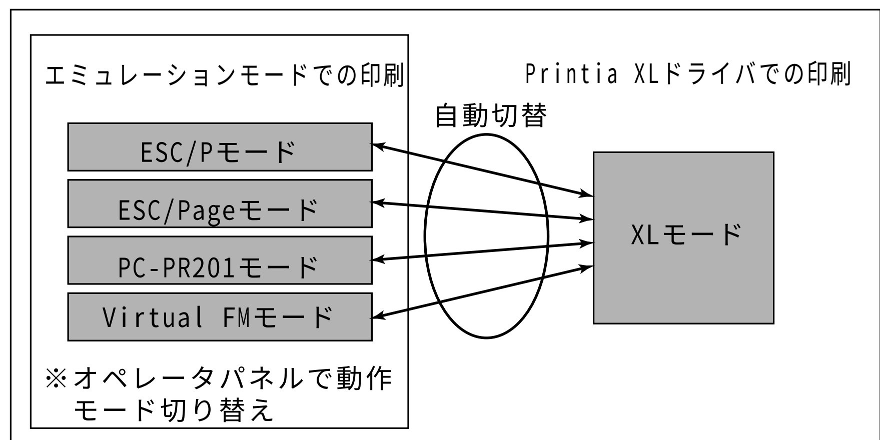
注1:　プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XPの場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしていて、部単位印刷を行っていないときのみ)

エミュレーションモードの使いかた

ここでは、エミュレーションモードで印刷する方法について説明します。

Printia XL ドライバで印刷する

Windows対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XLドライバ（FUJITSU XL-6100）を選択します。プリンタの設定は、Windowsのダイアログボックスの設定内容に従います。Windowsからの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。



ガイド　コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XLドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通FMVシリーズや各社AT互換機および日本電気PC-9800シリーズのパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

・ESC/Pモード　：セイコーエプソン　ドットプリンタ　VP-1000 相当
・ESC/Pageモード　：セイコーエプソン　ページプリンタ　LP-8000S 相当
・PC-PR201モード　：日本電気PC-PR201系シリアルプリンタ相当

さらに、本プリンタをサーバプリンタとして使用する場合には、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

・Virtual FMモード：富士通ページプリンタFMLBP121相当（240dpi）

動作モード（エミュレーションモード）は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。

参照　オペレータパネルで切り替える方法
「セットアップの操作」（186ページ）参照

コマンドエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード（コマンド）で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWareやNetWare、Windows NTなどのネットワークOSを使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワークOSのマニュアルをお読みください。

エミュレーションモードを切り替える

エミュレーションモードを切り替えるには、次のコマンドを発行します。(〈××〉16 は、16 進数表記での値です。)

【形式】

ESC ＋ ／ ＋ イ ＋ @ ＋ DEL ＋ ESC ＋ DEL ＋ NULL ＋ NULL ＋ SOH ＋ Pa

〈1B〉16 〈2F〉16 〈B2〉16 〈40〉16 〈7F〉16 〈1B〉16 〈7F〉16 〈00〉16 〈00〉16 〈01〉16 〈××〉16

【解説】

- Paは１バイトの選択パラメータで、切り替えるエミュレーションモードを指定します。各エミュレーションごとのPaの値は次のとおりです。

  ESC/P　：Pa ＝〈09〉16
  ESC/Page　：Pa ＝〈06〉16
  PC-PR201　：Pa ＝〈04〉16
  Virtual FM　：Pa ＝〈00〉16

  また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻す場合には、次のPaを使用します。

  デフォルトモード：Pa ＝〈05〉16
- パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
- エミュレーションモードを切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
- 設定されたエミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。

  「液晶ディスプレイの表示内容」（181 ページ）参照

- コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XLドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻ります。

  「印刷の中止（プリンタのリセット）」（203 ページ）参照

運用編

14

切り替えコマンドの使いかた

複数のエミュレーションの印刷やPrintia XLドライバの印刷を行う場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷を行うアプリケーションソフトの印刷では、エミュレーションモードの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

エミュレーションモードを使う上での留意事項

エミュレーションモードは、本プリンタに、次のプリンタと同等の動作をさせるものです。

- セイコーエプソンの24ドットマトリクスプリンタVP-1000（ESC/Pモード）
- セイコーエプソンのページプリンタLP-8000S（ESC/Pageモード）
- 日本電気のPC-PR201系シリアルプリンタ（PC-PR201モード）
- 富士通ページプリンタFMLBP（Virtual FMモード）

ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

次に、各エミュレーションモードを使う場合の留意事項について説明します。

セイコーエプソンVP-1000との違い

ESC/Pエミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製のVP-1000と、次の点で違います。

- 文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
- 用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。



印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域の詳細
「用紙関係」(327ページ)参照

セイコーエプソン LP-8000S との違い

ESC/Pageエミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の LP-8000S とは、次の点で違います。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
・Windows の LP-8000S プリンタドライバでの 80%縮小は、75%縮小で印刷します。
・登録、または記憶を行うコマンドは、メモリ容量の違いから、「登録メモリオーバー」エラーになることがあります。

PC-PR201 系プリンタとの違い

PC-PR201エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、日本電気製の PC-PR201 系シリアルプリンタとは、以下の点で違います。

・文字パターンの大きさ、デザイン等が多少異なります。
・用紙方向が縦の場合と横の場合で印刷可能領域が異なります。



印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域の詳細
「用紙関係」(327 ページ)参照

・Windows の PC-PR201 系プリンタドライバや市販のソフトウェアで用紙位置を中央に設定した場合は、印刷位置がずれたり、最後の方の文字が次の行に印刷されたりします。このようなときは、「PC モード設定」の「136/LM 設定」を「136 桁モード」に設定し、「用紙位置設定」を「中央」に設定してください。



「セットアップの操作」(186 ページ)参照

運用編

14

富士通ページプリンタ FMLBP との違い

Virtual FM エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、次の点で違います。

・FMLBPの接続インタフェースと一部の仕様が異なるため、FMR/FM-TOWNSシリーズなどに直接接続して、Virtual FM モードで印刷することはできません。
・サーバプリンタとして使用する場合に限り、Virtual FM モードで印刷できます。
・FMLBP121 相当のコマンドに対応しています。
・400dpi の印刷はできません。400dpi の解像度コマンドを受信すると「解像度指定エラー」になります。
・以下の文字パターンを内蔵しています。
　　明朝体 ...... 7 ポ／ 9 ポ／ 10.5 ポ／ 12 ポ／アウトライン
・フリーサイズ用紙の印刷を行う場合、FMLBPと印刷位置が異なることがあります。
・給紙口設定コマンド（給紙トレイを除く）を受信した場合、通常、用紙サイズにより、給紙カセットを自動的に選択します。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

セットアップ時のトラブルシューテング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

ポートの選択画面に「Printianavi Network Port」が表示されない

《現 象》

プリンタをTCP/IPのLAN環境に直接接続して使用したいが、プリンタドライバインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対 処》

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、それぞれの操作を行ってください。

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認する

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000のとき

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔セットアップ〕の順に選択します。セットアップ画面で「変更」を選択して〔次へ〕をクリックし、「Printianaviネットワークポートモニタ」にチェックがついているか確認してください。

Windows XPのとき

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔プログラムの追加と削除〕をダブルクリックします。インストールされているアプリケーションの一覧に「Printianaviネットワークポートモニタ」が表示されているか確認してください。

・「Printianaviネットワークポートモニタ」が表示されないとき
インストールとポートの作成を行います。

参照　「第5章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（49ページ）参照

・「Printianaviネットワークポートモニタ」が表示されたとき
仮のポート（LPT1など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティからポートを追加します。

参照　ポートの追加方法の詳細
「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（234ページ）参照

運用編

14

「Printianavi Network Port」を複数作成したい

《現 象》

1台目のプリンタはPrintianavi ネットワークポートモニタのインストール時に作成したポートを使用した。2台目以降のプリンタのポートを作成したい。

《対 処》

仮のポート（LPT1など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティから「Printianavi Network Port」を追加します。

参照　ポートの追加方法の詳細
「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（234ページ）参照

プリンタドライバのインストール中に警告画面が表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告画面が表示されることがあります。ここでは、注意が必要な3つの現象（メッセージ）について説明します。

《現　象》

「WindowsのCD-ROMを挿入してください」というメッセージが表示された。

《対　処》

製造元とモデルの選択画面で〔ディスク使用〕をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示される画面です。

インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付のCD-ROMのドライバをインストールし直すことをお勧めします。

参照　「第6章　プリンタドライバのインストール」（93ページ）参照

このままWindowsのCD-ROMをセットしてインストールを続行すると、OS添付のドライバがインストールされます。
OS添付のドライバは、最低限の印刷は可能ですがPrintianavi機能およびさまざまな便利な印刷機能がお使いになれません。

お願い

OS添付のドライバをインストールしたときは、ドライバを削除してからインストールし直してください。

参照　**「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（241ページ）参照**

《現 象》

〔バージョンの競合〕というメッセージが表示された。

《対　処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示される画面です。
〔はい〕をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現 象》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対 処》

クライアントのOS（Windows）用のプリンタドライバが、サーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示される画面です。
クライアントのOSにより、次の操作をしてください。

クライアントがWindows 95/98/Me/NT4.0のとき

1 添付のCD-ROMをクライアントにセットして、〔OK〕をクリックします。

2 プリンタの製造元とモデルを選択する画面では〔ディスク使用〕をクリックし、CD-ROMにあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。

クライアントがWindows 2000/XPのとき

〔キャンセル〕をクリックして、ネットワークインストールを中止します。ポート変更による方法でインストールし直してください。

参照　「ポート変更による方法」（128ページ）参照



サーバがWindows NT4.0/2000/XPでWindows 95/98/Me/NT4.0のクライアントが複数台あるときは、追加（または代替）ドライバをインストールしておくと便利です。


参照　「第７章　プリンタ共有の設定」の「サーバ側の設定」
Windows 95/98/Meのときは114ページ、Windows NT4.0のときは118ページ、Windows 2000/XPのときは123ページ参照

運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

印刷できない

《現　象》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対処１》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。
次の４点を確認してください。

- プリンタの電源が入っていますか。
- プリンタケーブル、またはLANケーブルが正しく接続されていますか。
- プリンタがエラー状態になっていませんか。
  プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、オンライン状態に戻してください。
- プリンタ切替器を使用していませんか。
  プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となったりする恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対処２》

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。
LAN 設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。



LAN 設定の一覧の印刷方法
「ネットワークプリンタの準備」（32 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタを使用、または LPR 印刷のとき

次の３点を確認してください。

- TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
  「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

運用編

14

・TCP/IP 状態コードは「0」（正常）になっていますか。
「0」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。

「1」のとき .... IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
「2」のとき .... DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。再度、LAN 設定の一覧を印刷してください。
「3」以上のとき .... DHCPによるTCP/IP構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCPサーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しいIPアドレスやサブネットマスクを設定し直してください。

IPアドレス設定ユーティリティを使って設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。

・IP アドレスは正しく設定されていますか。
参照　IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法
「IP アドレスの設定方法」（34 ページ）を参照してください。

NetWare 印刷のとき

LAN 設定の一覧を印刷し、NetWare 設定の次の２点を確認してください。

・NetWare 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、オペレータパネルで「有効」に変更してください。
参照　「第 11 章　オペレータパネルの操作」（179 ページ）参照

・NetWare の各種設定が NetWare サーバの設定と一致していますか。
参照　詳細および設定方法
『ソフトウェアマニュアル』「NetWare 編」参照

《対処３》

プリンタドライバの設定を確認します。
サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定画面を開き、次の点を確認してください。
・印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか
・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか
参照　「第12章　プリンタドライバの設定」（205ページ）参照

お使いのOSによって、印刷先ポートを確認する画面が異なります。

Windows 95/98/Meのとき..	〔プリンタのプロパティ〕の〔詳細〕ダイアログ
Windows NT4.0/2000/XPのとき....	〔プリンタのプロパティ〕の〔ポート〕ダイアログ
Windows 3.1のとき.......	〔プリンタの設定〕の〔プリンタの接続〕ダイアログ

プリンタをLANケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・「Printianavi Network Port」で接続のとき（Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのみ）
印刷したLAN設定の一覧と、IPアドレスおよびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。
それぞれ次のダイアログで確認できます。

IPアドレス（注）..	〔ポートの設定〕または〔ポートの構成〕
ポート番号........	〔オプション〕 ポート番号がプリンタのポート番号1と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

注：ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用するIPアドレスで確認してください。

・「LPR Port」で接続のとき（Windows NT4.0/2000/XPのみ）
次の２点を確認してください。
-〔ポート〕ダイアログの〔ポートの構成〕をクリックし、IPアドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
-〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずし、双方向通信を無効にしてください。

《対処４》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000のとき

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択します。

2 〔プリンタ〕フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。

3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。
停止状態のときは、〔ファイル〕メニューおよび〔ドキュメント〕メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

Windows XPのとき

1 〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択します。

2 〔プリンタ〕フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。

3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。
停止状態のときは、〔ファイル〕メニューおよび〔ドキュメント〕メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

Windows 3.1のとき

1 〔メイン〕グループの〔プリント　マネージャ〕をダブルクリックします。

2 表示される画面で、該当するプリンタが「一時停止」と表示されているか確認します。
停止状態の場合は、〔再開〕をクリックします。

《対処５》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJシリーズなど）がインストールされていないか、確認してください。

双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート（LPT1：）に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。

実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE：」に変更してください。

《対処６》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 95/98/Me でプリンタポート（LPT1：）から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。
次の手順で確認します。

1〔プリンタのプロパティ〕で〔詳細〕ダイアログを表示します。

2〔スプールの設定〕をクリックして「このプリンタで双方向印刷をサポートする」と「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。
「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECPプリンタポートが設定されているときは、次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows 95 のとき

1〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COM/LPT）」の「プリンタ　ポート（LPT1）」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの変更〕の順にクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択します。

4「モデル」の「プリンタポート」をダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Windows 95 でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は、Windows 95 の修正モジュール等を適用し、プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

運用編

14

・Windows 98のとき

1 〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2 〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COM/LPT）〕の〔プリンタ　ポート（LPT1）」をダブルクリックします。

3 〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面では〔次へ〕をクリックします。

4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。

5 「すべてのデバイスを表示」を選択し、「プリンタポート」を選択して〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

・Windows Meのとき

1 〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2 〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COMとLPT）〕の〔プリンタ　ポート（LPT1）」をダブルクリックします。

3 〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面で「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、〔次へ〕をクリックします。

4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。

5 「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「（標準ポート）」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して、〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

Printianavi のメッセージが表示されない

《現　象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンにPrintianaviのメッセージが表示されない。

《対 処》

〔プリンタのプロパティ〕を開き、次の点を確認してください。

参照 「第 12 章　プリンタドライバの設定」（205 ページ）参照

・Printianavi に対応していないプリンタドライバを使用していませんか。
OS添付のプリンタドライバやエミュレーションモード（ESC/PやESC/Page）で印刷している場合は、Printianavi機能は使用できません。
また、古い機種用のPrintia XLドライバでは、新しいプリンタやPrintianavi機能に対応していないことがあります。
添付のCD-ROMに収められたプリンタドライバを使用してください。

・NetWare 印刷、または LPR 印刷ではありませんか。
Windows 95/98/Meは〔詳細〕ダイアログ、Windows NT4.0/2000/XPは〔ポート〕ダイアログで印刷先のポートがNetWareのプリントキューやLPR Portの場合は、Printianavi機能は使用できません。

・Printianavi を使用する設定になっていますか。
〔装置オプション〕ダイアログの「Printianaviを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックしてください。

・Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
〔Printianavi〕ダイアログの「印刷中のステータス表示」「印刷の終了を通知する」「エラーを通知する」の設定を確認してください。

参照 詳細は、「プリンタドライバのヘルプ」または『ソフトウェアマニュアル』「第 2 章　プリンタドライバの設定」参照

・ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。
〔Printianavi〕ダイアログの「ステータスとメッセージの通知先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「このコンピュータ」に変更してください。

・双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。

Windows 95/98/Meのとき .....〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。

Windows NT4.0/2000/XPのとき ...〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックします。

・ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。
サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi機能が使用できなくなります。
印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

・Windows NT4.0/2000/XP で区切りページを指定していませんか。
本プリンタではWindows NT4.0/2000/XPの区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。

・サーバのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP以外ではありませんか。
PrintianaviはWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP対応です。また、クライアントがPrintianavi対応でも、Printianaviに対応していないサーバの共有プリンタに印刷の際は、Printianavi機能はお使いになれませんのでご了承ください。

・Windows NT4.0のサーバからWindows 2000/XPのクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。
この場合〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレーアウトされ、Printianavi機能が正常に動作しません。
プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。

参照　「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（241 ページ）参照

参照　「第７章　プリンタ共有の設定」の「クライアント側の設定」の「ポート変更による方法」（128 ページ）参照

・Printianaviネットワーク連携ユーティリティは正しくインストール、設定されていますか。
サーバ側にメッセージが表示されている場合は、Printianaviネットワーク連携ユーティリティがインストールされていないか、正しく起動されていないことが考えられます。サーバ共有プリンタに印刷を行い、Printianaviのメッセージを表示するには、Printianaviネットワーク連携ユーティリティをサーバとクライアントの両方にインストールしてください。

参照　「Printianaviネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132 ページ）参照

また、次のことも確認してください。

- クライアント側の到着通知パネルが起動していること
  クライアントの到着通知パネルを起動した後にサーバを起動した場合は、メッセージがサーバ側に表示されないことがあります。この場合は、一度クライアントの到着通知パネルを終了し、再度起動させてください。
- 〔メッセージ操作動作環境〕の〔ポート番号〕ダイアログで、「メッセージ管理のポート番号」と「到着通知パネルのポート番号」がサーバとクライアントで一致していること
- 〔メッセージ操作動作環境〕の〔メッセージサーバ〕ダイアログで、「認証したホストをメッセージサーバとする」と「メッセージ通知ホストをメッセージサーバとする」がチェックされている（標準の設定）か、メッセージを通知するホスト名が定義されていること

プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現　象》

プリンタドライバの設定画面やPrintianavi マネージャから「プリンタ状態表示」が行えない。また、「プリンタ状態を設定値に反映する」で情報の取得に失敗してしまう。

《対 処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知などPrintianaviのメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianaviのメッセージが表示されない」（284ページ）を参照してください。

「プリンタ状態表示」および「プリンタ状態を設定値に反映する」でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

・プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。
・プリンタドライバを更新せずにPrintianaviネットワークポートモニタのみ新しいものをインストールていませんか（Windows 2000/XP）

参照　「旧バージョン・レベルとの混在運用について」（319ページ）および「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（241ページ）参照

印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現　象》

アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対　処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。
このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。
このような場合は、〔プリンタのプロパティ〕（Windows 95/98/Me）や〔印刷設定〕（Windows 2000/XP）、〔ドキュメントの既定値〕（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。
印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

参照　「第12章　プリンタドライバの設定」（205ページ）参照

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本プリンタ添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

他の Windows OS から Windows 2000 へアップグレードする場合

Windows 95/98/Me や、Windows NT4.0 などから Windows 2000 へアップグレードする場合、 XL プリンタドライバおよびXL プリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除(アンインストール) してください。Windows 2000 へアップグレード後、 再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずにWindows 2000 にアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処について、以下で説明しますので参照してください。

プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態でWindows 2000へのアップグレードを行うと、Windows 2000 添付のドライバに置き換わることがあります。
この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できません。
〔プリンタ〕フォルダ、〔サーバのプロパティ〕の〔ドライバ〕リスト、〔デバイスマネージャ〕(表示された場合のみ) からXLプリンタを削除し、パソコンの再起動後、再度インストールを行ってください。

参照　「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除)」(241 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Printianaviのポート(Printianavi Network Port）が新規に作成できなくなります。
また、ネットワークポートモニタの上書きインストールもできませんので、アンインストールを行ってから再度最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ（またはPrintia LASER プリンタユーティリティ V1.1）

ネットワーク連携ユーティリティ（またはPrintia LASERプリンタユーティリティ V1.1）がインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、ネットワーク連携ユーティリティ（またはPrintia LASER プリンタユーティリティ V1.1）のアンインストールができなくなります。
この場合、添付のCD-ROMの「WORKIT」フォルダにある「Howtodel.txt」を参照して削除処理を行った後、再度最新版のネットワーク連携ユーティリティをインストールしてください。

Windows 2000/XP 環境で使用時の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000/XP 環境で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROMに納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールする際は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。
一般ユーザでログオンした状態では、インストール先のフォルダ等へのアクセス権限がないため、正しくインストールまたはアンインストールできない場合があります。
一般ユーザでインストールまたはアンインストールを行って正常に動作しなくなった場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

ネットワーク経由でのドライバインストールについて

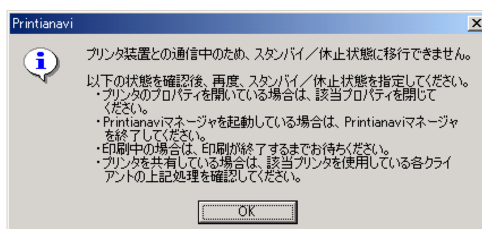
クライアント／サーバ運用で、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows NT4.0 を使用した場合、 サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、〔ポート〕タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に機能しません。
また、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows 95/98/Me を使用した場合、 ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。
上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントにローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

Windows 2000/XP クラスタ環境について

Windows 2000/XP クラスタ環境での動作は保証していません。

ACPI の動作について

本プリンタとパソコンが通信中の場合は、パソコンがACPIによるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。



パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。

プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

- **印刷中のとき**
  印刷が終了するまでお待ちください。
- **プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を開いているとき**
  プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を閉じてください。
- **Printianavi マネージャを起動しているとき**
  Printianavi マネージャを終了してください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくます。このときは、次の操作を行ってください。

- **プリンタドライバの設定画面の〔プリンタ状態表示〕または〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でエラーになったとき**
  エラー表示の画面を閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。
- **Printianaviマネージャの状態表示やネットワークの設定でエラーになったとき**
  サーバが通常状態に復帰した後に、〔最新の情報に更新〕ボタンをクリックして表示を更新してください。
  ネットワークの設定を行う場合は、再度設定してください。

旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-5310/5510/5710/5810/6010およびXL-5320/5720/6100/6700を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版CD-ROMに添付のバージョン以降に更新してください。

とくに注意が必要な組み合わせ

とくに注意が必要な組み合せについて説明します。

Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

Windows 2000環境でPrintianavi ネットワークポートモニタV3.1L31以降をインストールする際は、プリンタドライバを必ず最新版に更新してください。古いプリンタドライバと組み合わせると、プリンタの状態を正しく取得できません。

Printianavi マネージャと対応プリンタ

各プリンタに対応するPrintianaviマネージャのバージョンを次の表に示します。

プリンタ	対応バージョン
XL-6100	V3.1L31以降
XL-6700	V3.1L21以降
XL-5720/5320	V3.1L20以降
XL-6010	V3.1L11以降
XL-5710/5310	V3.1L10以降

Printianaviマネージャが、お使いのプリンタに対応していないバージョンの場合、プリンター覧に表示されず、状態表示や管理は行えません。

更新時の注意事項

各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

Printia XL ドライバ

各プリンタに対応したプリンタドライバは、添付のCD-ROMの以下の場所に収められています。

プリンタ	プリンタドライバのある場所
XL-5320/5720/6100/6700	「FJXLV41」フォルダ

参照　プリンタドライバの更新方法は、「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」（241 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタ

Printianavi ネットワークポートモニタの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。ただし、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- Windows起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

参照　「ネットワークソフトウェアのインストール」（50 ページ）参照

参照　詳細は、『ソフトウェアマニュアル』「第 4 章　Printianavi ネットワークポートモニタ」参照

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティの更新は、次の手順で行います。

1 古いバージョンのPrintianaviネットワーク連携ユーティリティをアンインストールする

Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でアンインストールを行ってください。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔アプリケーションの追加と削除〕を選択します。

2 インストール済みのアプリケーション一覧から、「Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」を選択し、〔追加と削除〕（Windows 2000 の場合は〔変更／削除〕）をクリックします。

以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

2 新しいバージョンのPrintianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする

更新は、サーバおよびクライアントの両方で行い、バージョン・レベルを同一にしてください。

参照 「Printianaviネットワーク連携ユーティリティのインストール」（132 ページ）参照

参照 詳細は、『ソフトウェアマニュアル』「第 5 章　Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」参照

Printianavi マネージャ

Printianavi マネージャの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。

・Printianavi　マネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

参照 「ネットワークソフトウェアのインストール」（50ページ）参照

参照 詳細は、『ソフトウェアマニュアル』「第6章　Printianavi マネージャ」参照

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー　最大 28 枚／分（A4 サイズ横送り） 両面印刷時　最大 23 ページ／分（A4 サイズ横送り）
エンジン解像度	600dpi/480dpi
スムージング処理	FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット：A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ　：A3 ～ A5、官製はがき、リーガル、レター
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数 500 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,500 枚) ・給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 200 枚（はがき 75 枚））
排紙方法 *1	フェイスダウンスタッカ（スタック枚数 500 枚）
使用環境条件	温度 10℃～ 32℃、湿度 15%～ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時　850 W以下、節電時　25 W
騒　音	待機時 35dB(A)、動作時 53dB(A)（フルオプション 55dB(A)）
外形寸法	幅 490㎜、奥行き 585㎜、高さ 395㎜（給紙カセット装着時）
質　量	約 25kg（消耗品、オプションを除く）
インタフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page、PC-PR201 Virtual FM
文字・書体	ESC/Page　：明朝体／ゴシック体　アウトライン文字 明朝体：32 ドット、40 ドット ESC/P　：明朝体：40 ドット PC-PR201　：明朝体：7 ポ、10.5 ポ、12 ポ Virtual FM ：明朝体／ゴシック体　アウトライン文字 明朝体：7 ポ、9 ポ、10.5 ポ、12 ポ その他：OCR-B フォント
耐用期間 *3	5 年(8 時間 / 日)または 60 万枚印刷(A4 サイズ横送り)

＊１：収容枚数は64g/㎡にて換算
＊２：データ処理解像度
・XLプリンタドライバ　：600dpi(FEIT：1200dpi相当)
・ESC/P：180dpi(FEIT：600dpi相当)
・ESC/Page：300dpi（FEIT：600dpi相当）
・PC-PR201：160dpi（FEIT：480dpi相当）
・Virtual FM：240dpi
＊３：・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
・累積使用時間は、24時間運用の場合も同一です。
・A4より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が60万ページより短くなります。
・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、ハードウェア修理相談センター（369ページ参照）にご連絡ください。なお、部品および交換作業は有償です。

部　品	交換目安
定着器	10万ページ
転写ローラ	20万ページ
給紙トレイ紙送りローラ	20万枚

＊片面印刷時：1枚＝1ページ
＊両面印刷時：1枚＝2ページ

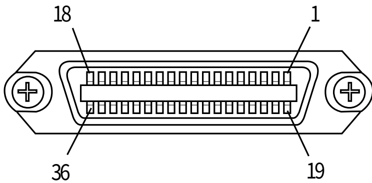
付

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE P1284の仕様に準拠した双方向パラレルインタフェースを採用しています。

インタフェース仕様とコネクタピン配列

・インタフェースコネクタ
プリンタ側：36極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360相当品
・ケーブル
最長1.5m以下のケーブルを使用してください。
(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
・信号レベル
LOW：0.0 V〜＋0.4 V HIGH：＋2.4 V〜＋5.0 V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	PError	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5VSignal	プリンタ

ピン番号	信号名称	発信元
19	-RET	—
20	-RET	—
21	-RET	—
22	-RET	—
23	-RET	—
24	-RET	—
25	-RET	—
26	-RET	—
27	-RET	—
28	-RET	—
29	-RET	—
30	-RET	—
31	＊Init	パソコン
32	＊Fault	プリンタ
33	-RET	—
34	—	—
35	—	—
36	＊SelectIn	パソコン

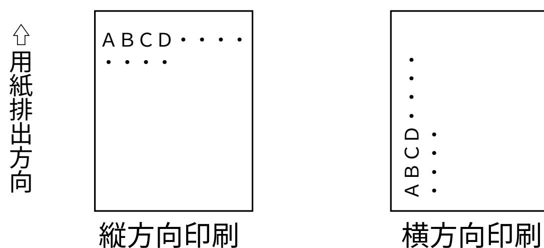
注)“＊”は、負論理信号であることを示します。
-RET信号は、すべてSGに接続されています。

用紙関係

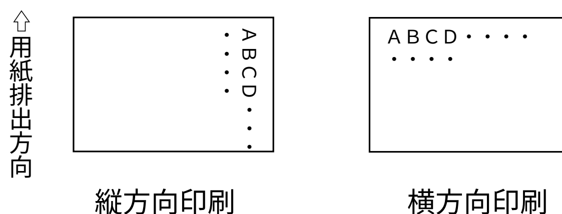
本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

印刷方向

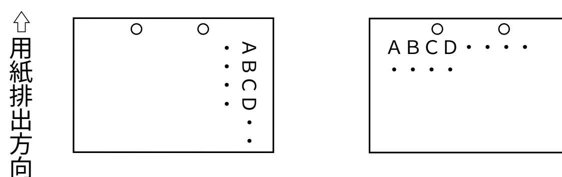
・A3、B4、リーガルサイズの用紙の場合



・A4、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合



とじ穴のあるＡ４サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

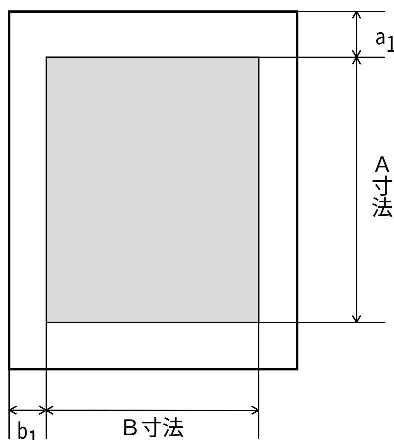


付

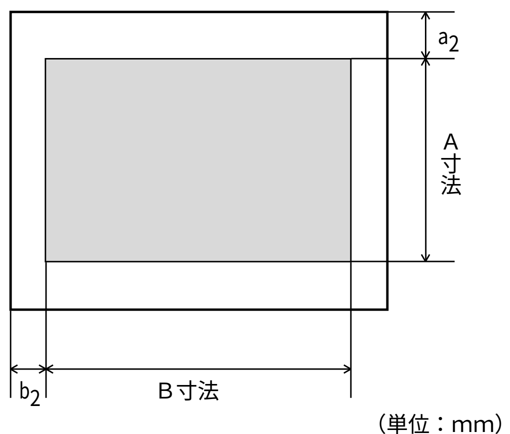
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］



［印刷方向：横］



（単位：mm）

Printia XL ドライバおよびESC/Page モード、Virtual FM モード使用時

$a_1=a_2=5$㎜、$b_1=b_2=5$㎜

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

ESC/P モード使用時

$a_1=a_2=8.5$㎜ または 22㎜（はがき：10㎜）、$b_1=b_2=5$㎜

用紙方向	用紙サイズ		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	8.5㎜時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22㎜時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	8.5㎜時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22㎜時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

PC-PR201 モード使用時

$a_1=5$㎜、$a_2=8$㎜、$b_1=8$㎜、$b_2=5$㎜

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	レター	はがき
縦方向	A寸法	409	353	287	246	200	270	138
	B寸法	284	241	197	169	135	203	86
横方向	A寸法	284	241	197	169	135	203	86
	B寸法	409	345	287	246	200	270	137

セットアップ項目の補足

ここでは、セットアップモードで値を設定するときに、とくに留意していただきたい内容について説明します。

メニュー印刷

プリンタおよびLANポートの現在の設定内容を印刷します。メニュー印刷には「設定の印刷」「LANの印刷」の2種類があります。印刷は現在オペレータパネルに表示されている給紙口の用紙に行います。A4サイズの用紙を基準とし、A4より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します（ただし、A5まででハガキに印刷する場合は、印刷が途中で切れます）。
用紙がない場合は印刷せずに終了しますので、用紙を補給してください。
LAN設定で「TCP/IP」および「NetWare」を「無効」にしたとき、「LANの印刷」は印刷しません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

エミュレーション設定

カレントエミュレーション設定
　＝　ＥＳＣ／Ｐモード

印刷設定

印刷方向	＝	縦
給紙口	＝	カセット１
縮小印刷	＝	１００％
給紙トレイサイズ	＝	Ａ４

不定形サイズ

縦方向	＝	４２０ｍｍ
横方向	＝	２９７ｍｍ

コピー枚数	＝	０１枚
両面印刷	＝	解除
とじしろ方向	＝	

ＥＳＣ／Ｐモード設定

文字コード	＝	カタカナ
給紙位置	＝	８．５ｍｍ
右マージン	＝	用紙幅
ＡＮＫ文字	＝	ローマン
漢字書体	＝	明朝体
ＣＲコード	＝	ＣＲのみ

縦余白設定

縦上端余白	＝	８．５ｍｍ
縦左端余白	＝	５．０ｍｍ

横余白設定

縦上端余白	＝	８．５ｍｍ
縦左端余白	＝	５．０ｍｍ

ＥＳＣ／Ｐａｇｅモード設定

復帰改行	＝	設定
改頁		

VF専用登録域

Virtual FMモードでの専用登録域を、256KB単位で0～4096KBの範囲で設定します。



VF専用登録域を0KBにしても、オーバレイ印刷は可能です。ただし、エミュレーション切り替えやポート切り替えに対しては、専用登録域をプリンタに記憶させることはできません。プリンタに記憶させたい場合は、専用登録域の確保が必要です。

付

ポート1設定

プリンタケーブル経由でデータを受信する場合に、接続するパラレルポートのインタフェースタイミングを設定するときは、次の点に注意してください。

ACKタイミング

ACK信号のパルス幅を設定します。

ACKのパルス幅は、バイセントロモードとの組み合わせにより次のとおりになります。

ACK タイミング	バイセントロ モード 設定	解除
高速	1μs	2.5μs
標準	2.5μs	5μs

ビジーディレイ

ACK信号とBUSY信号の位置関係を設定します。接続するパソコンの仕様に合わせて設定します。

ビジーディレイは、バイセントロモードとACKタイミングとの組み合わせにより次のとおりになります。

ACK タイミング	バイセントロ モード 設定	解除
高速	A－B固定	A－B固定
標準	A－B固定	設定値



バイセントロモードを「解除」する設定にすると、Printianaviの双方向機能、およびWindows 95/98/Meのプラグアンドプレイ機能が使えなくなります。

TCP/IP設定

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびポート番号1、2を設定します。

IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCPにより自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP自動取得」を「解除」してください。

TCP/IPの設定を行ってもTCP/IPが正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷の「LANの印刷」を行い、「TCP/IP動作状態コード」（下記の表）および「LANステータス」（332ページ）を確認してください。

TCP/IP動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IPは正常に動作しています。
1	IPアドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCPによりTCP/IP構成情報を取得中です。
3	DHCPによるTCP/IP構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LANケーブルが正しく接続 されているか、またはDHCPサーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCPによるTCP/IP構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCPによるTCP/IP構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LANケーブルが正しく接続 されているか、またはDHCPサーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCPにより取得したIPアドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。

DHCPクライアントの予約について

DHCPによりTCP/IP構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じIPアドレスを取得できるようにDHCPサーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタのMACアドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照するか(17ページ)、またはメニュー印刷を行うと出力されます(32ページ)。



「プロトコル」の「TCP/IP」を「無効」にした場合、「TCP/IP設定」は表示されません。

付

LAN ステータスは、次のとおりです。

設定項目	機　能
a.bbbb.cccc.dd	LAN の接続状態を 2 進数の各コードで示します。 a：リンク・ステータス 0 ＝無効／ 1 ＝有効 bbbb:プリンタデータ転送能力 │││└ 10Base-T　半二重（0＝無効／1＝有効） ││└─ 10Base-T　全二重（0＝無効／1＝有効） │└── 100Base-TX半二重（0＝無効／1＝有効） └─── 100Base-TX全二重（0＝無効／1＝有効） cccc:リンクパ-トナデータ転送能力 │││└ 10Base-T　半二重（0＝無効／1＝有効） ││└─ 10Base-T　全二重（0＝無効／1＝有効） │└── 100Base-TX半二重（0＝無効／1＝有効） └─── 100Base-TX全二重（0＝無効／1＝有効） dd:データ転送速度 │└ データレート（0=10Mbps/1=100Mbps） └─ 全二重／半二重（0＝半二重／1＝全二重） a:リンクステータスが0＝無効の場合、 「-　-」と表示

綴じしろモード（綴じしろ位置）

両面印刷のときの、綴じしろ方向と綴じしろモードの関係は、次のとおりです。

（表綴じしろ量：a、裏綴じしろ量：b）

画面印刷	綴じしろモード	綴じしろ位置 印刷方向　縦 表	綴じしろ位置 印刷方向　縦 裏	綴じしろ位置 印刷方向　横 表	綴じしろ位置 印刷方向　横 裏
長辺綴じ	左／上綴じ	a	b	a	b
	右／下綴じ	a	b	a	b
短辺綴じ	左／上綴じ	a	b	a	b
	右／下綴じ	a	b	a	b

付

コマンド（機能コード）一覧

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。
表中の Pa、P_1、P_2、…、Pn は、パラメータを表します。
表中の D_1、D_2、…、Dn は、データを表します。
表中の sp は、スペース記号を示します。

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+ C +Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+ C +NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+ N +Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+ O
	右マージン設定	ESC+ Q +Pa
	左マージン設定	ESC+ L +Pa
改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC+0
	1/6 インチ改行量指定	ESC+ 2
	n/180 インチ改行量指定	ESC+ 3 +Pa
	n/60 インチ改行量指定	ESC+ A +Pa
タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC+ B +P_1+P_2+… Pn+NUL
	水平タブ位置設定	ESC+ D +P_1+P_2+… Pn+NUL
	VFU チャネル選択	ESC+ ／ +Pa
	VFU タブ位置設定	ESC+ b +Pa+P_1+… Pn+NUL
印字・紙送り	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+ J +Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+ j +Pa
印字位置設定	水平タブ実行	HT
	垂直タブ項実行	VT
	後退	BS
	絶対位置指定	ESC+＄+P_1+P_2
	相対位置指定	ESC+￥+P_1+P_2

テキスト処理〜 ANK 文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI 指定	ESC+M
	10CPI 指定	ESC+ P
	15CPI 指定	ESC+ g
	プロポーショナル指定／解除	ESC+ p +Pa
	国際文字選択	ESC+ R +Pa
	スーパー / サブスクリプト指定	ESC+ S +Pa
	スーパー / サブスクリプト解除	ESC+ T
	文字品位選択	ESC+ x +Pa
	書体選択	ESC+ k +Pa
	文字コード表選択	ESC+ t +Pa
文字定義	ダウンロード文字セット指定 / 解除	ESC+%+Pa
	ダウンロード文字定義	ESC+ & +NUL+P_1+P_2+ {Pa_1+Pb_1+Pc_1+D_1 ～ Dn} × n
	文字セットコピー	ESC+：+NUL+P_1+P_2
文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC+sp+Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+ a +Pa
装飾	縮小指定	SI
	縮小指定	ESC+SI
	縮小解除	DC2
	アンダーライン指定／解除	ESC+―+Pa
	縦倍拡大指定／解除	ESC+ w +Pa

テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定／解除	ESC+ W +Pa
	強調指定	ESC+ E
	強調解除	ESC+ F
	二重印字指定	ESC+ G
	二重印字解除	ESC+ H
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+ ! +Pa
	イタリック指定	ESC+ 4
	イタリック解除	ESC+ 5
	文字スタイル選択	ESC+ q +Pa

テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+ J
	横書き指定	FS+ K
	半角縦書き２文字指定	FS+ D
	４倍角指定／解除	FS+ W +Pa
	漢字アンダーライン指定／解除	FS+－+Pa
	漢字一括指定	FS+ ! +Pa
文字セット	漢字モード指定	FS+ &
	漢字モード解除	FS+.
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	1／4角文字指定	FS+ r +Pa
	漢字書体選択	FS+ k +Pa
文字定義	外字定義	FS+ 2 $+P_1+P_2+D_1 \sim D_{72}$
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	F S $+S+P_1+P_2$
	半角文字スペース量設定	FS+ T $+P_1+P_2$
	半角文字ｽﾍﾟｰｽ量補正	FS+ U
	半角文字ｽﾍﾟｰｽ量補正解除	FS+ V

イメージ処理

コマンド名	コード名
8ドット単密度ビットイメージ	ESC+ K $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC+ L $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+ Y $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC+ Z $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
ビットイメージ選択	ESC+ ＊ $+Pa+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
ビットイメージ変換	ESC+？ $+P_1+P_2$

補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+ @
データ入力制御	データ抹消	CAN
ＣＳＦ制御	カットシートフィーダ制御	ESC+EM+Pa

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+z+NUL+NUL
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+@ +DEL+ESC+ DEL+NUL+ NUL+SOH+Pa

付

ESC/Page モードコマンド一覧表

ESC/Page モードコマンドは、下表のとおりです。

環境設定

コマンド名	コード名
最小単位設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋m＋u＋E
ドットパターン解像度選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3 ＋d＋r＋E
スクリーンモード指定／解除	GS＋Pa＋s＋t＋E
スクリーンパターン選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3 ＋s＋p＋E
スクリーンパターン登録	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4 ＋s＋p＋｛＋E
スクリーンパターン登録数設定	GS＋Pa＋i＋s＋E
上書きモード指定／解除	GS＋Pa＋o＋w＋E
ハードリセット	GS＋r＋h＋E
パラメータリセット	GS＋r＋p＋E
用紙方向選択	GS＋Pa＋p＋o＋E
論理原点設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋l＋o＋E
用紙サイズ設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3 ＋p＋s＋E
給紙装置選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋i＋u＋E
クリップ領域設定	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4 ＋c＋a＋E
クリップモード指定／解除	GS＋Pa＋c＋m＋E
トップマージン設定	GS＋Pa＋t＋m＋E
トップマージン設定（行単位）	GS＋Pa＋t＋m＋l＋E
ボトムマージン設定	GS＋Pa＋b＋m＋E
ボトムマージン設定（行単位）	GS＋Pa＋b＋m＋l＋E
レフトマージン設定	GS＋Pa＋l＋m＋E
レフトマージン設定(桁単位)	GS＋Pa＋l＋m＋c＋E
ライトマージン設定	GS＋Pa＋r＋m＋E
ライトマージン設定（桁単位）	GS＋Pa＋r＋m＋c＋E

印字位置設定

コマンド名	コード名
復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
後退	BS
水平方向現在位置絶対指定	GS＋Pa＋X
水平方向現在位置絶対指定（桁単位）	GS＋Pa＋x＋P
垂直方向現在位置絶対指定	GS＋Pa＋Y
垂直方向現在位置絶対指定（行単位）	GS＋Pa＋y＋P
水平方向現在位置相対指定	GS＋Pa＋H
水平方向現在位置相対指定	GS＋Pa＋h＋P （桁単位）
垂直方向現在位置相対指定	GS＋Pa＋V
垂直方向現在位置相対指定（行単位）	GS＋Pa＋v＋P
プッシュ・ポップスタック数指定	GS＋Pa＋s＋s＋P
現在位置プッシュ・ポップ	GS＋Pa＋p＋p＋P
現在位置記憶数指定	GS＋Pa＋i＋p＋P
現在位置記憶	GS＋Pa＋m＋P
現在位置呼び出し	GS＋P_1＋;＋P_2＋c＋P
現在位置記憶（番号自動変更）	GS＋Pa＋a＋m＋P
現在位置呼び出し（番号自動変更）	GS＋P_1＋;＋P_2＋a＋c＋P
改行量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋l＋p＋P
自動復帰改行選択	GS＋Pa＋a＋l＋f＋P
自動改ページ選択	GS＋Pa＋a＋f＋f＋P
CR/LF/FF 動作選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3 ＋c＋l＋f＋P
現在位置移動モード選択	GS＋Pa＋p＋m＋P
印字ピッチ設定	GS＋P1＋;＋P2＋p＋P
文字オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋c＋o＋P
ビットイメージオフセット量設定	GS＋Pa＋b＋o＋P
ビットイメージ描画後現在位置選択	GS＋Pa＋a＋b＋P

フォント

コマンド名	コード名
シンボルセット選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋s＋s＋F
文字スペーシング選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋s＋p＋F
文字幅設定（CPI）	GS＋Pa＋w＋c＋F
文字幅設定（最小単位）	GS＋Pa＋w＋m＋F
文字高さ設定（ポイント）	GS＋Pa＋h＋p＋F
文字高さ設定（最小単位）	GS＋Pa＋h＋m＋F
書体選択	GS＋Pa＋t＋f＋F
文字スタイル選択	GS＋Pa＋s＋t＋F
文字線幅選択	GS＋Pa＋w＋e＋F
文字回転設定	GS＋Pa＋r＋o＋F
文字傾き設定	GS＋Pa＋s＋l＋F
フォント属性記憶／呼び出し	GS＋P_1＋;＋P_2＋m＋c＋F
ダウンロードフォント選択	GS＋Pa＋d＋c＋F
ダウンロードフォント削除	GS＋Pa＋d＋d＋c＋F
シンボルセット登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋d＋s＋s＋{＋F
シンボルセット削除	GS＋Pa＋d＋s＋s＋F
フォントコピー	GS＋P_1＋;＋P_2＋f＋c＋{＋F
ヘッダー登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋d＋h＋{＋F
１文字登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3＋s＋c＋{＋F
文字幅テーブル登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋c＋w＋{＋F
フォント属性記憶数設定	GS＋Pa＋i＋a＋F
フォント登録数設定	GS＋Pa＋l＋i＋a＋F
シンボルセット登録数設定	GS＋Pa＋i＋s＋s＋F

文字印字

コマンド名	コード名
アンダーライン指定／解除	GS＋Pa＋u＋l＋C
アンダーライン水平方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋u＋h＋C
アンダーライン垂直方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋u＋v＋C
バックグラウンド指定／解除	GS＋Pa＋b＋g＋C
バックグラウンド水平方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋b＋h＋C
バックグラウンド垂直方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3＋b＋v＋C
コントロールコードキャラクタ印字	GS＋Pa＋c＋p＋{＋C
縦書きモード指定／解除	GS＋Pa＋v＋p＋C
組文字指定	GS＋Pa＋c＋c＋C

イメージ描画

コマンド名	コード名
網掛け描画	GS＋P_1＋;＋P_2＋b＋g＋I
罫線描画	GS＋P_1＋;＋P_2＋r＋u＋I
罫線／アンダーラインパターン選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋r＋p＋I
罫線／アンダーラインパターン登録	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4＋r＋p＋{＋I
罫線／アンダーラインパターン登録数設定	GS＋Pa＋i＋r＋I
ビットイメージ描画	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4＋b＋i＋{＋I
ビットイメージ登録	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_5＋b＋d＋{＋I
登録ビットイメージ描画	GS＋Pa＋d＋b＋I
ビットイメージ登録数設画	GS＋Pa＋i＋b＋I
ビットイメージデータ圧縮形式選択	GS＋Pa＋b＋c＋I
ラスターイメージ描画開始	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4＋b＋r＋I
ラスターイメージ描画終了	GS＋e＋r＋I
ラスターイメージ描画	GS＋Pa＋r＋{＋I
圧縮なしラスターイメージ描画	GS＋Pa＋u＋{＋I
エンプティラスターイメージ描画	GS＋Pa＋e＋I

付

図形描画

コマンド名	コード名
線描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ Pn ＋ l ＋ G
多角形描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ Pn ＋ p ＋ G
スプライン曲線描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ Pn ＋ s ＋ G
Bezier 曲線描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ Pn ＋ b ＋ G
Ｂスプライン曲線描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ Pn ＋ b ＋ s ＋ G
矩形描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_5 ＋ r ＋ G
円描画	GS ＋ P_1 ＋；＋ P_2 ＋；＋ P_3 ＋ c ＋ G
円弧描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_5 ＋ a ＋ G
扇形描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_6 ＋ f ＋ G
楕円描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_5 ＋ e ＋ G
楕円弧描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_7 ＋ e ＋ a ＋ G
楕円扇形描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_8 ＋ e ＋ f ＋ G
ベクタ指定円弧描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_7 ＋ a ＋ v ＋ G
ベクタ指定扇形描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_8 ＋ f ＋ v ＋ G
ベクタ指定楕円弧描画	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ P_9 ＋ e ＋ a ＋ v ＋ G
ベクタ指定楕円扇形描画	GS ＋ P1 ＋；＋…＋；＋ P_{10} ＋ e ＋ f ＋ v ＋ G
線種選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋l＋p＋G
線種登録	GS ＋ P_1 ＋；＋…＋；＋ Pn ＋ d ＋ l ＋ G
線種登録数設定	GS ＋ Pa ＋ i ＋ l ＋ G
線幅設定	GS ＋ P_1 ＋；＋ P_2 ＋；＋ P_3 ＋ l ＋ w ＋ G
図形描画モード選択	GS ＋ Pa ＋ d ＋ m ＋ G
図形座標モード選択	GS＋Pa＋s＋a＋r＋G

マクロ

コマンド名	コード名
マクロ登録開始	GS ＋ Pa ＋ b ＋ m ＋ M
マクロ登録終了	GS ＋ e ＋ m ＋ M
マクロ実行	GS ＋ P_1 ＋；＋ P_2 ＋ s ＋ m ＋ M
ﾌｫｰﾑｵｰﾊﾞｰﾚｲ指定／解除	GS ＋ P_1 ＋；＋ P_2 ＋；＋ P_3 ＋ a ＋ m ＋ M
マクロ登録数設定	GS ＋ Pa ＋ i ＋ m ＋ M

その他

コマンド名	コード名
コピー枚数設定	GS ＋ Pa ＋ c ＋ o ＋ 0

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	GS ＋ Pa ＋ p ＋ m ＋ E
エミュレーション切替え	ESC ＋ / ＋ｲ＋ @ ＋ DEL ＋ ESC ＋ DEL ＋ NUL ＋ NUL ＋ SOH ＋ Pa

PC-PR201 モードコマンド一覧表

PC-PR201 モードコマンドは、下表のとおりです。

書式設定・実行

コマンド名	コード名
右マージン設定	ESC ＋／＋ Pa
左マージン設定	ESC ＋ L ＋ Pa
1/6 インチ改行ピッチ指定	ESC ＋ A
1/8 インチ改行ピッチ指定	ESC ＋ B
n/120 インチ改行ピッチ指定	ESC ＋ T ＋ Pa
VFU セットの開始指定	GS
VFU セットの終了指定	RS
簡易 VFU 指定	ESC ＋ v ＋ P_1 ＋ , ＋ P_2 ＋ , ＋…＋ Pn ＋ .
水平タブ位置設定	ESC ＋ (＋ P_1 ＋ , ＋…Pn ＋ .
水平タブ部分クリア指定	ESC ＋)＋ P_1 ＋ , ＋…Pn ＋ .
水平タブ全クリア指定	ESC ＋ 2
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
順方向改行指定	ESC ＋ f
逆方向改行指定	ESC ＋ r
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
チャネル制御、改行量制御	US ＋ Pa
ドットスペース指定	ESC ＋ Pa
ドットアドレッシング指定	ESC ＋ F ＋ Pa
キャラクタリピート指定	ESC ＋ R ＋ P_1 ＋ P_2
コピーモード指定	ESC ＋ D
ネイティブモード指定	ESC ＋ M

テキスト処理

コマンド名	コード名
CG グラフィックモード指定	ESC ＋ #
カタカナモード指定	ESC ＋ $
ひらがなモード指定	ESC ＋ &
エリートモード指定	ESC ＋ E
パイカモード指定	ESC ＋ H
プロポーショナルモード指定	ESC ＋ P
コンデンスモード指定	ESC ＋ Q
ドラフトモード指定	ESC ＋ d ＋ Pa
HS パイカモードの切り替え指定	ESC ＋ n ＋ Pa
スクリプト文字モード指定	ESC ＋ s ＋ Pa
1バイト文字フォント選択指定	FS ＋ 0 ＋ 6 ＋ F ＋ P_1 ＋ P_2 ＋ P_3 ＋ P_4 ＋ P_5

コマンド名	コード名
1バイト文字のダウンロード	ESC ＋ l ＋ P_1 ＋ P_2 ＋ P_3 ＋ P_4 ＋ Dn
登録文字印字指定	ESC ＋ l ＋＋
プリンタ内蔵文字印字指定	ESC ＋ l ＋－
登録文字クリア指定	ESC ＋ l ＋ 0
横拡大解除	SI（8 ビットコード）
印字モード切替え	SI（7 ビットコード）
横拡大指定	SO(8 ビットコード)
カタカナモード指定	SO(7 ビットコード)
横拡大指定	DC2
横拡大解除指定	DC4
強調文字印刷開始指定	ESC ＋ !
強調文字印刷解除指定	ESC ＋ ”
縦横拡大率指定	ESC ＋ e ＋ P_1 ＋ P_2
縮小文字組文字印刷指定	FS ＋ P
文字修飾指定	FS ＋ c ＋ P_1 ＋ , ＋ P_2 ＋ , ＋ P_3 ＋…Pn ＋ .
文字の拡大率、縮小率指定	FS ＋ m ＋ P_1 ＋／＋ P_2 ＋ , ＋ P_3 ＋／＋ P_4 ＋ , ＋ P_5 ＋ .
固定ドットスペース指定	FS ＋ w ＋ P_1 ＋ , ＋ P_2 ＋ .
漢字横印刷指定	ESC ＋ K
ゴシック体漢字 ROM カートリッジ指定	ESC ＋ 0 ＋ Pa
半角縦印刷指定	ESC ＋ h ＋ Pa
半角組文字縦印刷指定	ESC ＋ q
漢字縦印刷指定	ESC ＋ t
外字のロード終了	EOT
外字(16 × 16 ドット)のロード	ESC ＋＊＋ P_1 ＋ P_2 ＋ D_1 ＋…＋ D_{32} ＋ EOT
外字(24 × 24 ドット)のロード	ESC ＋＋＋ P_1 ＋ P_2 ＋ D_1 ＋…＋ D_{72} ＋ EOT
文字サイズ指定	FS ＋ 0 ＋ 4 ＋ S ＋ P_1 ＋ P_2 ＋ P_3
漢字文字幅、ポイント指定	FS ＋ A FS ＋ B
漢字文字幅、ポイント指定	FS ＋ C FS ＋ D
漢字文字幅、ポイント指定	FS ＋ F FS ＋ G
文字幅指定	FS ＋ p ＋ P_1 ＋ , ＋ P_2 ＋／＋ P_3 ＋ .

付

イメージ処理

コマンド名	コード名
16ビットグラフィックイメージ	ESC＋I＋Pa＋Dn
24ビットグラフィックイメージ	ESC＋J＋Pa＋Dn
8ビットグラフィックイメージ	ESC＋S＋Pa＋Dn
24ビットドット列リピート	ESC＋U＋Pa＋Dn
8ビットドット列リピート	ESC＋V＋Pa＋Dn
16ビットドット列リピート	ESC＋W＋Pa＋Dn

ライン処理

コマンド名	コード名
ライン付加指定	ESC＋X
ライン付加モード解除指定	ESC＋Y
ラインモード指定	ESC＋_＋Pa
付加ライン線種指定	FS＋0＋4＋L＋P_1＋P_2＋P_3

補助機能

コマンド名	コード名
初期化	ESC＋c＋1
片方向印字指定	ESC＋>
両方向印字指定	ESC＋]
データ抹消	CAN
全吸入全排出指定	ESC＋a
全排出指定	ESC＋b
カラー指定	ESC＋C＋n
ホッパ選択	FS＋f＋P_1＋P_2＋P_3＋.
用紙サイズ指定	FS＋f＋P_1＋P_2＋P_3＋.

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
エミュレーション切替え	ESC＋/＋ｲ＋@＋DEL＋ESC＋DEL＋NUL＋NUL＋SOH＋Pa

Virtual FM モードコマンド一覧表

Virtual FM モードコマンドは、下表のとおりです。

装置制御

機能名称	コマンド名	コード名
リセット	リセット	ESC+c
	リセット	CEX+]
印刷モード設定	縮小印刷指定	PU1+Pa+!+ I
	特殊印刷指定	PU1+Pa+!+ J
動作モード設定	解像度変更指定	PU1+Pa+!+ A
装置制御	抹消	<18>$_{16}$
	削除	<7F>$_{16}$

ページ制御

機能名称	コマンド名	コード名
用紙制御	カットシートフィーダ制御	PU1+Pa+sP+ [
	改ページ	<0C>$_{16}$
	コピー枚数指定	PU1+Pa+!+ D
サイズ	用紙指定	PU1+P_1+；+…+P_4+!+@
	用紙指定２	PU1+P_1+；+…+P_3+!+F
印字領域	自動改ページ指定	PU1+Pa+sP+ K
	左端指定	PU1+P_1+；+P_2+sP+q
	原点移動指定	PU1+P_1+；+P_2+!+ B
	印刷領域指定	PU1+P_{1x}+；+P_{1y}+； +P_{2x}+；+P_{2y}+!+H
ページ長設定	ページ長指定１	PU1+Pa+sP+ A
	ページ長指定２	PU1+Pa+sP+ B

印刷位置制御

機能名称	コマンド名	コード名
基本制御	復帰	<0D>$_{16}$
	後退	<08>$_{16}$
	改行	<0A>$_{16}$
	復改	ESC+ E
ピッチ制御	漢字文字ピッチ指定	CEX+＄+Pa
	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa
	改行ピッチ指定２	PU1+P_1+；+P_2+sP+ G
	改行ピッチ指定３	PU1+Pa+sP+ H
	改行ピッチ／ ANK 文字ピッチ指定	CSI+P_1+；+P_2+sP+ G

機能名称	コマンド名	コード名
タブストップ設定	水平タブセット	ESC+ H
	水平タブセット	CEX+ F
	水平タブ位置指定	CEX+ # +P_1+…+Pn
	水平タブ位置指定	CSI+P_1+；+…+Pn+sP+ N
	垂直タブセット	ESC+ J
	垂直タブセット	CEX+ H
	垂直タブ位置指定	PU1+P_1+；+…+Pn+sP+ @
タブ解除	水平タブリセット	CEX+ G
	垂直タブリセット	CEX+ I
	タブクリア	CSI+Pa+ g
タブ異動	水平タブ	<09>$_{16}$
	絶対水平タブ	CSI+Pa+ `
	絶対水平タブ２	PU1+Pa+sP+P
	相対水平タブ	CSI+Pa+ a
	指定間隔	CEX+!+Pa
	水平逆タブ	CEX+ D
	相対水平逆タブ	CSI+Pa+ j
	垂直タブ	<0B>$_{16}$
	絶対垂直タブ	CSI+Pa+ d
	相対垂直タブ	CSI+Pa+ e
	垂直逆タブ	CEX+ E
	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+ k
印字位置	動作位置指定	CEX+ ” +P_1+P_2
	動作位置指定	CSI+P_1+；+P_2+ f
	漢字モードｾｯﾄ	CEX+ ― +Pa
	漢字モードﾘｾｯﾄ	CEX+.+Pa
	漢字基準線指定	PU1+Pa+sP+ d
	行組み指定	CEX+)+P_1+P_2+P_3+P_4
	漢字復改１	CEX+ A
	漢字復改２	CEX+B CEX+C
	段落	ESC+$+@

付

文字印字制御

機能名称	コマンド名	コード名
漢字／ANK	漢字指定	ESC+$+B
	ANK 指定	ESC+（+H
	漢字文字サイズ指定	CEX+&+P1+P2
	漢字文字サイズ指定２	PU1+P_1+；+P_2+；+ R
	書体指定	CEX+（+P_1+P_2
	半角指定	PU1+Pa+sP+1
プロポーショナル	欧文ピッチ処理開始	CEX+T
	欧文ピッチ処理終了	CEX+U
上つき／下つき文字	上つき文字開始	CEX+N
	上つき文字終了	CEX+O
	下つき文字開始	CEX+P
	下つき文字終了	CEX+Q
拡大／縮小	漢字拡大印刷指定	CEX+ ´ +P_1+P_2
	ANK 倍幅拡大印刷指定	CSI+P_1+；+P_2+sP+ B
スケーラブル文字制御	スケーラブル文字制御	PU1+P_1+；+P_2+；+… +P_5+!+Q
強調	強調	CEX+ ＊ +Pa
	強調	CSI+Pa+ m
縦書き／横書き	漢字縦書き指定	CEX+ J
	漢字縦書き指定２	PU1+Pa+sP+q
	漢字横書き指定	CEX+ K
	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+sP+P
その他	罫線接続指定	PU1+Pa+sP+ t
	漢字未定義コード指定	PU1+Pa+sP+ x
	スペース幅指定	CSI+Pa+sP+ E

イメージ処理

コマンド名	コード名
イメージ転送	PU1+Pa+sP+ W +D1+…+Dn
単密度倍幅イメージ転送	PU1+Pa+sP+ V +D_1+…+Dn
倍幅イメージ転送	PU1+Pa+sP+ X +D_1+…+Dn
矩形イメージ転送	PU1+P_1+；+P_2+；+P_3+!+a+D1+…+Dn

外字登録

コマンド名	コード名
外字登録	CEX+ 2 + 0 +P_1+P_2+D_1+…+Dn
外字登録２	CEX+ 2 + 1 +P_1+P_2+D_1+…+Dn
文字パターン構成モード選択	CEX+ O +P_1+P_2+P_3+P_4

オーバレイ機能

機能名称	コマンド名	コード名
オーバレイ登録	オーバレイ登録／ページ指定	PU1+P_1+；+P_2+!+j
	オーバレイクリア指定	PU1+Pa+!+k
オーバレイ参照	オーバレイ参照指定	PU1+P1+；+P2+… +；+Pn+!+l
	コピーオーバレイ参照指定１	PU1+P_1+；+P_2+…+； +Pn+；+Pn+1+!+ m
	コピーオーバレイ参照指定２	PU1+P_1+；+P_2+…+； +Pn+；+Pn+1+!+n
網かけ	網かけパターン登録指定	PU1+Pa+! +P+D1+…+Dn
	網かけパターン選択指定	PU1+Pa+!+q
形状	線幅指定	PU1+P1+；+P2+!+s
	ベクトル罫線２間隔指定	PU1+Pa+；+Pb+!+u
	ベクトル罫線４間隔指定	PU1+Pa+；+Pb+； +Pc+；+Pd+!+ v
	マーク２間隔指定	PU1+Pa+；+Pb+!+w
ベクトル	ベクトル罫線指定１ 複数点接続	PU1+P_1+；+P_{AX}+；+P_{AY}+ ；+P_{BX}+；+P_{BY}+；+…+P_{NX} +；+P_{NY}+!+ x
	ベクトル罫線指定２ リピートライン	PU1+P_1+；+P_2+；+P_3+； +P_4+；+P_{AX}+；+P_{AY}+；+Pb+!+ y
	BOX 指定	PU1+P_1+；+P_2+；+P_{AX}+； +P_{AY}+；+P_{BX}+；+P_{BY}+!+z
	円／円弧指定	PU1+P_1+；+P_2+；+Px+； +Py+；+Pr+；+P_{TS}+；+P_{TE}+!+ {
	扇型指定	PU1+P1+；+P2+； +Px+；+Py+；+Pr+； +PTS+；+PTE+!+ ｜
	三角形指定	PUl+P_1+；+P_2+；+PAX+； +P_{AY}+；+P_{BX}+；+P_{BY}+；+P_{CX}+； +P_{CY}+!+}
MH データ	MH 展開指定	PU1+P_{AX}+；+P_{AY}+； +P_{BX}+；+P_{BY}+!+ ‾
	MH モード指定	PU1+Pa+；+Pb+!+DEL+MH 符号コード

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
エミュレーション切替え	ESC+/+ｲ+@+<7F>$_{16}$+ESC+ <7F>$_{16}$+<00>$_{16}$+<00>$_{16}$+ <01>$_{16}$+Pa

キャラクタコード一覧

各エミュレーションモードでのキャラクタコード（ANK コード）の一覧を以下にまとめます。なお、キャラクタコードはすべて 16 進形式です。

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

カタカナコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ		×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	┗	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	｢	イ	ツ	メ	┻	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	│	｣	ウ	テ	モ	┛	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅		、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆		・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O		o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á		└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í		┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	CR		-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	SI		/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
フランス	#	$	à	º	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	º	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
フランス	#	$	à	º	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	º	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

付

ESC/Page モードキャラクタコード一覧表

ESC/Page モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		"		0	@	P	`	p	Ç	É	á		─	┴	α	
1		'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í		·	┬	β	±
2		™	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	·	┌	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú		─	└	π	≤
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	─	─	╵	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	═	─	╷	σ	⌡
6		¶	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	─	─	┌	μ	÷
7		©	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	┐	├	┼	τ	≈
8		®	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	┐	├	┼	Φ	°
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö		╕	┌	┘	θ	▪
A		¢	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬		╧	┌	Ω	·
B			–	;	K	[	k	{	ï	¢	½	─	╤	█	δ	√
C		"	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	─	╟	▄	∞	ⁿ
D				=	M	]	m	}	ì	¥	¡	┘		▌	φ	²
E		_	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	·	┘	╪	▐	ε	■
F		†	/	?	O		o		Å	ƒ	·	─	─	▀	∩	

キャラクタセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		"		0	@	P	`	p	Ç	É	á	«	ĳ		α	
1		'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¤	cc		β	
2		™	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	ß	´		Γ	
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	Ø	?		π	
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	φ	½		Σ	
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	¨			σ	
6		¶	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	¶			μ	
7		©	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	§			τ	
8		®	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	µ			Φ	
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö		¾			θ	
A		¢	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	³			Ω	
B			+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	¯			δ	
C		°	,	<	L	\	¦		î	£	¼	Fr			∞	
D			–		M	]	m	}	ì	¥	¡	‰			φ	
E		_	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	·	ª			∈	
F		†	/	?	O	_	o		Å	ƒ	·		§		∩	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{			~
フランス	#	$	à		ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`				~
デンマークI	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@			é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインI	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ		~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{			~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークII	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインII	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[			^	`	{	¦		~
フランス	#	$	à		ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[			^	`	{	¦		~
デンマークI	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@			é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインI	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ		~
日本	#	$	@	[	¥		^	`	{	¦		~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークII	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインII	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

Nordic(コードページ865)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	₧	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	¤	┐	╧	▀	∩	

Portuguese(コードページ860)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	À	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	È	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ã	õ	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	Á	Ú	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	Ì	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	Ê	Õ	Ò	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	Í	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	Ô	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ù	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ã	₧	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Â	Ó	»	┐	╧	▀	∩	

Multilingual(コードページ850)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	ð	Ó	
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	Ð	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	Ê	Ô	‗
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	Ë	Ò	¾
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	È	õ	¶
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	Á	┼	ı	Õ	§
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	Â	ã	Í	µ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	À	Ã	Î	þ	¸
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	©	╚	Ï	Þ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	®	╣	╔	┘	Ú	¨
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Û	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	Ù	¹
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	ý	³
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	¢	═	¦	Ý	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	×	«	¥	╬	Ì	¯	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	¤	▀	´	

Canadian-French (コードページ863)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	¦	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	È	´	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Ê	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	Â	Ë	¨	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	Ï	¸	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	¶	û	³	╢	╞	╓	µ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	¯	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	¤	Î	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ô	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	‗	Ù	¾	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	À	Û	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	§	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

付

ECMA 94-1

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				°	À	Ð	à	ð
1			!	1	A	Q	a	q			¡	±	Á	Ñ	á	ñ
2			"	2	B	R	b	r			¢	²	Â	Ò	â	ò
3			#	3	C	S	c	s			£	³	Ã	Ó	ã	ó
4			$	4	D	T	d	t			¤	´	Ä	Ô	ä	ô
5			%	5	E	U	e	u			¥	µ	Å	Õ	å	õ
6			&	6	F	V	f	v				¶	Æ	Ö	æ	ö
7			'	7	G	W	g	w			§	·	Ç	×	ç	÷
8			(	8	H	X	h	x			¨	¸	È	Ø	è	ø
9			)	9	I	Y	i	y			©	¹	É	Ù	é	ù
A			*	:	J	Z	j	z			ª	º	Ê	Ú	ê	ú
B			+	;	K	[	k	{			«	»	Ë	Û	ë	û
C			,	<	L	\	l	|			¬	¼	Ì	Ü	ì	ü
D			-	=	M	]	m	}			-	½	Í	Ý	í	ý
E			.	>	N	^	n	~			®	¾	Î	Þ	î	þ
F			/	?	O	_	o					¿	Ï	ß	ï	ÿ

US English(コードページ437)

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	₧	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

カタカナ　グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ｰ	ﾀ	ﾐ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	｡	ｱ	ﾁ	ﾑ	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	｢	ｲ	ﾂ	ﾒ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	｣	ｳ	ﾃ	ﾓ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	¯	､	ｴ	ﾄ	ﾔ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	･	ｵ	ﾅ	ﾕ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ	♦	区
B			+	;	K	[	k	{	▌	┘	ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ	♣	町
C			,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ	●	村
D			-	=	M	]	m	}	▊	╮	ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ	╱	▓
F			/	?	O	_	o		—	╯	ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ	╲	

ひらがな　グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		‥	た	み		×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	¯	、	え	と	や	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x		┌	ぃ	く	ね	り	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	区
B			+	;	K	[	k	{	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	町
C			,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	村
D			-	=	M	]	m	}	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	▓
F			/	?	O	_	o		┼	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

カタカナセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ー	タ	ミ		
1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2			"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S	c	s				ウ	テ	モ		
4			$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7			'	7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8			(	8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9			)	9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A			*	:	J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B			−	;	K	[	k	{			ォ	サ	ヒ	ロ		
C			,	<	L	¥	l	|			ャ	シ	フ	ワ		
D			−	−	M	]	m	}			ュ	ス	ヘ	ン		
E			.	>	N	‾	n	~			ョ	セ	ホ	゛		
F			／	?	O	_	o				ッ	ソ	マ			

ひらがなセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				‥	た	み		
1			!	1	A	Q	a	q			。	あ	ち	む		
2			"	2	B	R	b	r				い	つ	め		
3			#	3	C	S	c	s			」	う	て	も		
4			$	4	D	T	d	t			、	え	と	や		
5			%	5	E	U	e	u			・	お	な	ゆ		
6			&	6	F	V	f	v			を	か	に	よ		
7			'	7	G	W	g	w			ぁ	き	ぬ	ら		
8			(	8	H	X	h	x			ぃ	く	ね	り		
9			)	9	I	Y	i	y			ぅ	け	の	る		
A			*	:	J	Z	j	z			ぇ	こ	は	れ		
B			−	;	K	[	k	{			ぉ	さ	ひ	ろ		
C			,	<	L	¥	l				ゃ	し	ふ	わ		
D			−		M	]	m	}			ゅ	す	へ	ん		
E			.	\	N	‾	n	~			ょ	せ	ほ	゛		
F			／	?	O		o				っ	そ	ま			

付

PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表

PC-PR201 モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

8ビット　カタカナモード

上位／下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	─	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	═	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	▅	￣	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
D	CR	GS	-		M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
F	SI	US		?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ		╲	

8ビット　ひらがなモード

上位／下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p		╷		ー	た	み	─	×
1			!	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	あ	ち	む	┌	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	┤	「	い	つ	め	┼	年
3			#	3	C	S	c	s	▃	├	」	う	て	も	┤	月
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	▄		、	え	と	や	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	─	・	お	な	ゆ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆	│	を	か	に	よ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	▇	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x		╷	ぃ	く	ね	り	♠	
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▏	┐	ぅ	け	の	る	♥	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▎	└	ぇ	こ	は	れ	♦	
B	VT	ESC	-	;	K		k	{	▍	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		▌	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	▋	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▊	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
F	SI	US	／	?	O		o		│	╯	っ	そ	ま		╲	

国際文字コード

コード16進／国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`		¦		~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`		¦		~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`		¦		~

国際文字コード

コード16進／国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@			]	^	`				~
イギリス	£	$	@		\	]	^	`				~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{			~



<30>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ ∅ ”になります。

7ビット　英数モード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	`	p
1			!	1	A	Q	a	q
2		DC2	"	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v
7			'	7	G	W	g	w
8		CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT		)	9	I	Y	i	y
A	LF		*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	−		M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	／	?	O		o	

7ビット　カタカナモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	タ	ミ	`	p
1			。	ア	チ	ム	a	q
2		DC2	「	イ	ツ	メ	b	r
3			」	ウ	テ	モ	c	s
4	EOT	DC4	、	エ	ト	ヤ	d	t
5			・	オ	ナ	ユ	e	u
6			ヲ	カ	ニ	ヨ	f	v
7			ァ	キ	ヌ	ラ	g	w
8		CAN	ィ	ク	ネ	リ	h	x
9	HT		ゥ	ケ	ノ	ル	i	y
A	LF		ェ	コ	ハ	レ	j	z
B	VT	ESC	ォ	サ	ヒ	ロ	k	{
C	FF	FS	ャ	シ	フ	ワ	l	
D	CR	GS	ュ	ス	ヘ	ン	m	}
E	SO	RS	ョ	セ	ホ	゛	n	~
F	SI	US	ッ	ソ	マ		o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{			~
イギリス	£	$	@	[		]	^	`	{			~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{			~

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{			~
イギリス	£	$	@	[		]	^	`	{			~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{			~



７ビット英数モードの<30>$_{16}$のコードは、ゼロ文字設定により“ ０ ”または“ Ø ”になります。

付

7ビット　ひらがなモード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	た	み	'	p
1			。	あ	ち	む	a	q
2		DC2	「	い	つ	め	b	r
3			」	う	て	も	c	s
4	EOT	DC4	、	え	と	や	d	t
5			・	お	な	ゆ	e	u
6			を	か	に	よ	f	v
7			ぁ	き	ぬ	ら	g	w
8		CAN	ぃ	く	ね	り	h	x
9	HT		ぅ	け	の	る	i	y
A	LF		ぇ	こ	は	れ	j	z
B	VT	ESC	ぉ	さ	ひ	ろ	k	{
C	FF	FS	ゃ	し	ふ	わ	l	¦
D	CR	GS	ゅ	す	へ	ん	m	}
E	SO	RS	ょ	せ	は	゛	n	~
F	SI	US	っ	そ	ま		o	

7ビット　グラフィックモード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			＿	╵	＝	×	'	p
1			━	╷	＝	円	a	q
2		DC2	▬	│	＝	年	b	r
3			▬	│	＝	月	c	s
4	EOT	DC4	▬		◢	日	d	t
5			■	─	◣	時	e	u
6			■	│	◥	分	f	v
7			■		◤	秒	g	w
8		CAN		┌	♠		h	x
9	HT		▎	┐	♥		i	y
A	LF		▎	└	♦		j	z
B	VT	ESC	▌	┘	♣		k	{
C	FF	FS	▌	╭	●		l	¦
D	CR	GS	█	╮	○		m	}
E	SO	RS	■	╰	／		n	~
F	SI	US	┼	╯	＼		o	

国際文字コード

コード 16進 / 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~

国際文字コード

コード 16進 / 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	|	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~

Virtual FM モードキャラクタコード一覧表

Virtual FM モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	╳
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	￣	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

JIS-90 第一水準漢字一覧表

区$ \ 点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		蚫	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

点 $ / 区 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	╂																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	捧	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区 $	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点 $ / 点		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表

区 $ ＼ 点 $	20 0	21 1	22 2	23 3	24 4	25 5	26 6	27 7	28 8	29 9	2A 10	2B 11	2C 12	2D 13	2E 14	2F 15	30 16	31 17	32 18	33 19	34 20	35 21	36 22	37 23	38 24	39 25	3A 26	3B 27	3C 28	3D 29	3E 30	3F 31
50 48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51 49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
52 50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53 51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54 52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55 53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56 54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57 55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58 56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59 57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A 58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B 59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C 60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D 61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E 62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F 63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60 64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61 65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62 66		癩	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63 67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64 68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65 69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66 70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67 71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68 72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69 73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A 74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B 75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C 76		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D 77		蹇	蹊	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E 78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F 79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70 80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71 81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72 82		髯	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73 83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74 84		堯	槇	遙	瑤																											
75 85																																
76 86																																
77 87																																
78 88																																
79 89																																
7A 90																																
7B 91																																
7C 92																																
7D 93																																
7E 94																																

付

区 \ 点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	榆	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	霆	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $ \ 点 $		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壘	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	懥	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	榭	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	窟	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袮	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閨	閠	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞋	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鰊	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

ＪＩＳ漢字コードについてのご注意

PC-PR201 モードでの違い

PC-PR201 モードでは、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

点$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区$	区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																	
23	3																	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8																																
29	9	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2A	10	※	｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2B	11	※	SP	ﾞ	ﾟ	─	━	│	┃	┄	┅		┇	┈	┉	┊	┋	┌	┍	┎	┏	┐	┑	┒	┓	└	┕	┖	┗	┘	┙	┚	┛
2C	12					─	━	│	┃	┄	┅	┈	┉	┆	┇	┊	┋	┌	┍	┎	┏	┐	┑	┒	┓	└	┕	┖	┗	┘	┙	┚	┛
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																

注 1) <2920>$_{16}$ ～ <2B3F>$_{16}$ は半角漢字です。
注 2)「※」の部分は、半角の空白印字になります。
注 3) <2930>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により “ 0 ” または “ ∅ ” になります。

点$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区$	区	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2																																
23	3		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8																																
29	9	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
2A	10	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
2B	11	├	┝	┞	┟	┠	┡	┢	┣	┤	┥	┦	┧	┨	┩	┪	┫	┬	┭	┮	┯	┰	┱	┲	┳	┴	┵	┶	┷	┸	┹	┺	┻
2C	12	├	┝	┞	┟	┠	┡	┢	┣	┤	┥	┦	┧	┨	┩	┪	┫																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																

注) <2940>$_{16}$ ～ <2B5F>$_{16}$ は半角漢字です。

区 $ \ 点 $		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	
20	0																																
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
22	2																																
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん												
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
26	6																																
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
28	8																																
29	9	‾	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	¦	}		※
2A	10	キ	ヱ	ヮ	ヵ	ヶ	ヴ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	バ	パ	ビ	ピ	ブ	プ	ベ	ペ	ボ	ポ	※
2B	11	¨	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┬	┼	┼	┼	┼	┼	´	˝	‘	“	〔	〕	〈	〉	《	》	「	』	【	】	￣	※
2C	12	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼																
2D	13	〝	〟	№	K.K.	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
2E	14																																
2F	15																																

注１）<2960>$_{16}$ ～ <2B7F>$_{16}$ は半角漢字です。
注２）「※」の部分は、半角の空白印字になります。

ＪＩＳ第二水準漢字

区 $ \ 点 $		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																外字登録領域																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区＼点 $	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
70 80	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71 81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72 82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73 83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74 84																																
75 85																																
76 86																																
77 87																																
78 88																																
79 89																																
7A 90																																
7B 91																																
7C 92																																
7D 93																																
7E 94																																

外字登録領域

区＼点 $	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
70 80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71 81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72 82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73 83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74 84																															
75 85																															
76 86																															
77 87																															
78 88																															
79 89																															
7A 90																															
7B 91																															
7C 92																															
7D 93																															
7E 94																															

外字登録領域

半角漢字

区$ \ 点$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
002X	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
003X	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
004X	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
005X	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	|	¥	¨		…
006X		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
007X	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					※
008X	SP	゛	¯	_	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
009X	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00AX	※	゛	¯	_	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00BX	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00CX	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00DX	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゜	゜
00EX	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00FX	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゜	゜

注１）「※」の部分は、半角の空白印字になります。

注２）<0030>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ Ø ”になります。

JIS の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR
3724	靴	靴	4042	逝	逝	3D6D	渚	渚	622B	皓	皓
3937	昂	昂	444E	塚	塚	3F69	翠	翠	514B	冕	冕
3E3F	梢	梢	4951	頻	頻	4072	栓	栓	5B4A	枴	枴
432A	棚	棚	4D5A	遥	遙	4275	濯	濯	5C53	楆	楆
463E	鴇	鴇	4E4B	遼	遼	4276	琢	琢	6646	翔	翔
4B22	泡	泡	327D	拐	拐	4661	那	那	5B74	梍	梍
3646	尭	堯	3365	喝	喝	4862	扉	扉	6076	瑶	瑤
3745	慧	慧	336C	褐	褐	4B6A	槙	槇	6C62	赳	赳
3755	荊	荆	3764	隙	隙	4B7A	藺	藺	6D6C	迪	迪
3942	溝	溝	3779	嫌	嫌	4C7E	癒	癒			
3C57	遮	遮	3A63	冴	冴	5B2E	朞	朞			

付

Virtual FM モード（JIS^{-78}）での違い

Virtual FM モード（JIS^{-78}）では、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

区$＼点$	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)
20 (0)																
21 (1)		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
22 (2)		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─
23 (3)																
24 (4)		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
25 (5)		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
26 (6)		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
27 (7)		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
28 (8)	外字登録領域															
29 (9)																
2A (10)	未定義領域															
2B (11)																
2C (12)																
2D (13)		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
2E (14)		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
2F (15)	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼

区$＼点$	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
20 (0)																
21 (1)	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22 (2)	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23 (3)	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24 (4)	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25 (5)	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26 (6)	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27 (7)	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28 (8)																
29 (9)																
2A (10)																
2B (11)																
2C (12)																
2D (13)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E (14)	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2F (15)	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯

注）<2D20>$_{16}$～<2F3F>$_{16}$ は半角領域です。

区$＼点$	40 (32)	41 (33)	42 (34)	43 (35)	44 (36)	45 (37)	46 (38)	47 (39)	48 (40)	49 (41)	4A (42)	4B (43)	4C (44)	4D (45)	4E (46)	4F (47)
20 (0)																
21 (1)	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
22 (2)	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀
23 (3)		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
24 (4)	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
25 (5)	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
26 (6)		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
27 (7)	Ю	Я														
28 (8)	外字登録領域															
29 (9)																
2A (10)	未定義領域															
2B (11)																
2C (12)																
2D (13)	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
2E (14)	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
2F (15)																

区$＼点$	50 (48)	51 (49)	52 (50)	53 (51)	54 (52)	55 (53)	56 (54)	57 (55)	58 (56)	59 (57)	5A (58)	5B (59)	5C (60)	5D (61)	5E (62)	5F (63)
20 (0)																
21 (1)	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22 (2)	∃												∠	⊥	⌒	∂
23 (3)	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24 (4)	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25 (5)	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26 (6)	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27 (7)		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28 (8)																
29 (9)																
2A (10)																
2B (11)																
2C (12)																
2D (13)	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
2E (14)	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
2F (15)																

注）<2D40>$_{16}$～<2F5F>$_{16}$ は半角領域です。

区$	点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8	外字登録領域																														
29	9																															
2A	10	未定義領域																														
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾
2E	14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	╳	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▓
2F	15																															

注）<2D60>$_{16}$ ～ <2F7E>$_{16}$ は半角領域です。

Virtual FM モード（JIS-83）での違い

Virtual FM モード（JIS-83）では、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

区$	点$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		蚫	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9	外字登録領域																															
2A	10																																
2B	11	未定義領域																															
2C	12																																
2D	13		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E	14		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2F	15	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯

注）<2D20>$_{16}$ ～ <2F3F>$_{16}$ は半角領域です。

付

区$		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	┼																															
29	9	外字登録領域																															
2A	10																																
2B	11	未定義領域																															
2C	12																																
2D	13	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
2E	14	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
2F	15																																

注）<2D40>$_{16}$～<2F5F>$_{16}$ は半角領域です。

区$		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
	点$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9	外字登録領域																														
2A	10																															
2B	11	未定義領域																														
2C	12																															
2D	13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	¦	}	‾
2E	14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	×	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▓
2F	15																															

注）<2D60>$_{16}$～<2F7E>$_{16}$ は半角領域です。

JIS C6234-1983 の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983（情報交換用漢字符号系：旧JIS C6226-1983）に準拠していますが、JIS X9052-1983（ドットプリンタ用24ドット字形：旧JIS C6234-1983）は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983 の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

JISコード（区点）	プリンタ	JIS	JISコード（区点）	プリンタ	JIS	JISコード（区点）	プリンタ	JIS
3022（1602）	啞	唖	3979（2589）	甑	甑	4578（3788）	禱	祷
303B（1627）	飴	飴	3A67（2671）	榊	榊	4642（3834）	瀆	涜
306E（1678）	溢	溢	3A74（2684）	柵	柵	4654（3852）	瀞	瀞
3135（1721）	鬱	鬱	3B2A（2710）	鯖	鯖	466A（3874）	楢	楢
3139（1725）	廐	厩	3B2C（2712）	錆	錆	4729（3909）	禰	禰
313D（1729）	噂	噂	3B39（2725）	珊	珊	4739（3925）	囊	嚢
3142（1734）	餌	餌	3C48（2840）	屢	屡	482E（4014）	潑	溌
316B（1775）	焰	焔	3D2B（2911）	繡	繍	4830（4016）	醱	醗
322A（1810）	鷗	鴎	3D36（2922）	酋	酋	4B4B（4343）	頰	頬
327A（1890）	恢	恢	3E55（3053）	蔣	蒋	4B70（4380）	鱒	鱒
336B（1975）	葛	葛	3E5F（3063）	醬	醤	4C4D（4445）	麵	麺
337A（1990）	嚙	噛	3F2A（3110）	蝕	蝕	4C5F（4463）	餠	餅
3442（2034）	澗	澗	4066（3270）	蟬	蝉	4D32（4518）	猷	猷
3540（2132）	祇	祇	4139（3325）	噌	噌	4D69（4573）	萊	莱
3622（2202）	俠	侠	4169（3373）	瘦	痩	4E7B（4691）	煉	煉
362A（2210）	卿	卿	424D（3445）	驒	騨	4F31（4717）	榔	榔
366D（2277）	軀	躯	4263（3467）	黛	黛	4F39（4725）	蠟	蝋
367B（2291）	櫛	櫛	432E（3514）	樽	樽	5622（5402）	屛	屏
3737（2323）	祁	祁	433D（3529）	簞	箪	5960（5764）	搌	搌
3771（2381）	倦	倦	444F（3647）	摑	掴	5A39（5825）	攢	攅
377E（2394）	捲	捲	4522（3702）	鄭	鄭	6546（6938）	[illegible]	[illegible]
3834（2420）	鹼	鹸	4536（3722）	塡	填			
396D（2577）	麴	麹	453F（3731）	顚	顛			

ネットワーク用語の解説

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用のSNMP管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報であるMIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

•SNMP メッセージ

SNMPによるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説　明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ → エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ → エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ → エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント → マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント → マネージャ

なお、本プリンタではSetRequestはサポートしていません。

MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータをMIB（Management Information Base : 管理情報ベース）といいます。
本プリンタはMIB-ⅡおよびPrinterMIBをサポートしています。プリンタに添付されているCD-ROMにはPrinterMIBに対応したASN.1形式の「XLprtmib.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これをSNMP管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後にはサーバにIPアドレスを戻します。IPアドレス設定ユーティリティはDHCPを利用してプリンタへのIPアドレス割り当てを実現しています。

BPP（Business Printer Protocol）

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル（TCP/IPを使用）です。
プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、LPR印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

LPR（Line Printer Remote）

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows 2000/NTでは、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR印刷ではPrintianavi機能は使用できません。

RFC（Request For Comments）

インターネットの研究開発機関IETF（Internet Engineering Task Force）がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IPの規格書として知られています。

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FM WORLD」からダウンロードすることができます。FM WORLD ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示した URL よりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FM WORLD.NET URL: http://www.fmworld.net/



- 「FM WORLD.NET」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版ドライバが収められおり、「FM WORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障の際は下記までご連絡ください。

  『ハードウェア修理相談センター』
  フリーダイヤル：0120-422-297
  受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
  （土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

- プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記までご連絡ください。

  『富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口』
  フリーダイヤル：0120-950-222
  受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
  （土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

付

索　引

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

ツ

テ

ト

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

メ

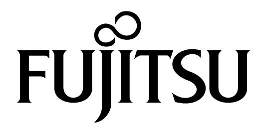
ヨ

ラ

リ

ロ

ページプリンタ XL-6100
取扱説明書
B1WY-4561-03-00
発行日　　2002 年 4 月
発行責任　富士通株式会社
Printed in Japan



このマニュアルは再生紙を使用しています。